

教 育 要 項

—— 履修の手引き ——

2019年4月～2020年3月

第1学年～第6学年



東京医科歯科大学医学部医学科

医学部医学科

教育理念

疾患の治療と予防及び健康の保持・増進を研究し、その成果を広く医療・福祉に応用する医学の発展を担う指導者を育成する。

教育目標

1. 幅広い教養と豊かな感性を備え、広い視野と高い倫理観をもつ人間性を培う。
2. 自ら問題を提起して解決し、医学のフロンティアを切り開く創造能力を修得する。
3. 世界的規模で働く国際人としての意識を持ち、世界に貢献できる医師・医学研究者を養成する。

求める学生像

1. 医学・医療に深い関心を有する。
2. 協調性とコミュニケーション能力に優れている。
3. 創造性とチャレンジ精神に富んでいる。
4. 高い倫理性を備えている。

カリキュラムポリシー

東京医科歯科大学の教育理念、および医学部医学科の教育理念に基づき「疾患の治療と予防及び健康の保持・増進を研究し、その成果を広く医療・福祉に応用する医学の発展を担う指導者を育成する」を見据え、ディプロマ・ポリシーを実現するためのカリキュラムの策定方針を以下の通り定める。

1. 幅広い教養と豊かな感性を備え、広い視野と高い倫理観をもつ人間性を培う。
専門教育に併走する形で教養教育および医療倫理教育を実施し、時間をかけて幅広い教養と感性を磨くと共に、医学医療に求められる高い倫理観の醸成をはかる。また、歯学科、保健衛生学科、口腔保健学科と共に学ぶ機会を設け、医療における広い視野を獲得する機会を与える。
2. 自ら問題を提起して解決し、医学のフロンティアを切り開く創造能力を修得する。関連基礎医学分野の講義実習を一体的に実施(モジュール化)し、基礎的知識の統合的理解を促す。さらに、モジュールの配置はマクロからミクロへ基礎医学から臨床医学へと順次性にも配慮し、段階的な理解の深化をはかる。

また、臨床医学教育においては、臓器別に講義・演習・実習を集約し、関

連する基礎医学知識の確認、臨床医学の基本的知識を学ぶ講義とその知識の応用演習を通じて、臨床医学に関する基本的知識の深い理解を促す。

以上の教育に関連する医学英語および医学医療統計の講義・演習が行われ、医学・医療情報の批判的吟味能力を養成する。加えて、自由選択研究において研究面での問題提起、解決能力の基礎を固めるとともに、臨床導入実習および臨床実習においても少人数による演習を通じて臨床上の問題発見、解決能力の強化をはかる。

- 3.世界的規模で働く国際人としての意識を持ち、世界に貢献できる医師・医学研究者を養成する。入学当初に国際医療に関する学習機会を設定する他、その後も継続して医学を英語で学ぶ機会を設け、さらに海外の提携大学を中心とした単位互換の短期留学機会を設定し、国際人としての意識を高めるよう配慮する。

ディプロマ・ポリシー

医学部医学科では、全学共通科目の一部、研究実践プログラムおよび地域医療学習プログラムを除き全ての科目が必修科目であり、学年ごとに設定された進級要件（東京医科歯科大学全学共通科目履修規則及び東京医科歯科大学専門科目履修規則）を満たし、卒業までに、所定の単位を修得し、以下の要件を満たしている者に学位を授与する。

1.幅広い教養と豊かな感性

自然科学から人文科学に至る全学共通科目を履修するとともに、医学科専門科目においては生命科学に関する基本的な知識を修得し、実習を通じてその概念への理解を深めることが不可欠となる。さらに、医歯学融合教育科目においては、医歯学の隣接領域の学習を通じて多職種が連携する医学医療への認識を深めることが必要となる。

2.問題提起、解決能力

全教育課程を通じてその涵養を目指す、殊に自由選択学習（プロジェクト Semester）は、自ら設定した課題を探究し成果を報告する貴重な機会であり、その履修は必須となる。

3.国際性

全学共通科目と医歯学基盤教育を通じて医学を英語で学ぶ基盤を確固たるものとするとともに、海外実習にも積極的に参加することが求められる。

上記の要件を満たし、さらに臨床実習の修了と卒業試験の合格が必須となる。卒業生が修得した学術的・臨床的知識を基盤として、研究意欲に富み、すぐれた人格と洞察力を持つ医療人となり、国内・世界の人々に貢献していくことを本学は強く望んでいる。

2019（平成31）年度医学部医学科授業計画

第1学年			第2学年			第3学年			第4学年			第5学年			第6学年			
区分		期 間	区分		期 間	区分		期 間	区分		期 間	区分		期 間	区分		期 間	
前期授業	17W	2019（平成31）年 4.8(月)～7.31(水)	前期授業	17W	2019（平成31）年 4.4(木)～7.22(月)	前期授業	16W	2019（平成31）年 4.1(月)～7.19(金)	前期授業	4W	2019（平成31）年 4.1(月)～4.26(金)	臨実総	1W	2019（平成31）年 4.1(月)～4.5(金)	臨実	3W	2019（平成31）年 4.8(月)～6.21(金)	
									臨時休業	2W	4.29(月)～5.6(月)							臨時休業
夏季休業		8.1(木)～9.6(金)	夏季休業		7.23(火)～8.16(金)	夏季休業		7.22(月)～8.16(金)	前期授業	11W	5.7(火)～7.19(金)	臨実	33W	5.7(火)～12.20(金)	臨実	8W	5.7(火)～6.21(金)	
前期授業	4W	9.5(木)～9.27(金)	前期授業	5W	8.19(月)～9.20(金)	前期授業	5W	8.19(月)～9.20(金)	*夏季休業		7.22(月)～8.16(金) *学生により異なる	臨時休業						
後期授業	12W	9.30(月)～12.20(金)	後期授業	13W	9.24(火)～12.20(金)	後期授業	13W	9.24(火)～12.20(金)	後期授業	13W	8.19(月)～11.15(金)	臨実	床習	33W	5.7(火)～12.20(金)	包括医療	2W	6.24(月)～7.5(金)
									再試	1W	11.18(月)～11.22(金)					臨実	12W	7.8(月)～9.27(金)
									PCC	4W	11.25(月)～12.20(金)					臨時休業		9.30(月)～10.4(金)
									冬季休業		12.24(火)～32.1.3(金)					卒業試験		10.7(月)～11.1(金)
冬季休業		12.24(火)～32.1.1(水)	冬季休業		12.24(火)～32.1.3(金)	冬季休業		12.24(火)～32.1.3(金)	PCC	7W	2020（平成32）年 1.6(月)～2.21(金)	冬季休業		12.23(月)～32.1.3(金)	臨時休業		11.5(火)～11.8(金)	
後期授業	9W	2020（平成32）年 1.2(木)～2.28(金)	後期授業	7W	2020（平成32）年 1.6(月)～2.28(金)	後期授業	8W	2020（平成32）年 1.6(月)～2.28(金)	後期授業	8W	2.24(月)～2.25(火)	臨実	床習	12W	2020（平成32）年 1.7(火)～3.27(金)	卒試再試験		11.11(月)～11.22(金)
									CBT		2.26(水)（予定）					臨時休業		11.25(月)～12.6(金)
									OSCE		2.29(土)（予定）					冬季休業		12.9(月)～32.1.3(金)
									臨実導入	1W	3.2(月)～3.6(金)					臨時休業		2020（平成32）年 1.6(月)～3.19(木)
									M4 OSCE		2.29(土)（未定）					卒業式		3.25(水)
臨時休業		3月下旬～	臨時休業		3月下旬～	臨時休業		3月下旬～	臨時休業		3月下旬～	臨時休業		3月下旬～	卒業式		3.25(水)	

主な行事
(2019年度)

入学式
M2カリキュラム説明
M1医学科ガイダンス
体育祭
健康診断
M4プロジェクトセメスター開始

2019.4.8(月)
2019.4.4(木)
2019.4.10(水)、4.16(火)
2019.5.11(土)
2019.5.21(火)～24(金)
2019.5.27(月)～28(火)

創立記念日
お茶の水祭
解剖体追悼式
プロジェクトセメスター発表会
M4合宿研修
ご遺骨返還式

2019.10.12(土)
2019.10.12(土)～13(日)
2019.10.24(木)
2019.11.15(金)
2019.11.23(土)～11.24(日)
2020年※未定

2019(平成31年)年度 授業時間割 第1学年

前期(21週) 2019(平成31年) 4月8日(月)～9月27日(金)

日付	9:00～10:20	10:30～11:50	12:50～14:10	14:20～15:40	15:50～17:10
3/25	月				
3/26	火				
3/27	水				
3/28	木				
3/29	金				

日付	9:00～10:20	10:30～11:50	12:50～14:10	14:20～15:40	15:50～17:10
6/10	月	教養部講義			
6/11	火				
6/12	水				
6/13	木				
6/14	金				

後期(20週) 9月30日(月)～2月21日(金)

日付	9:00～10:20	10:30～11:50	12:50～14:10	14:20～15:40	15:50～17:10
9/30	月	教養部講義			
10/1	火	医学導入 1			
10/2	水	教養部講義			
10/3	木				
10/4	金				

日付	9:00～10:20	10:30～11:50	12:50～14:10	14:20～15:40	15:50～17:10
12/16	月	教養部講義			
12/17	火	医学導入 11			
12/18	水	教養部講義			
12/19	木				
12/20	金				

冬季休業:12月23日(月)～1月1日(水)

4/1	月				
4/2	火				
4/3	水				
4/4	木				
4/5	金				

6/17	月	教養部講義			
6/18	火				
6/19	水				
6/20	木				
6/21	金				

10/7	月	教養部講義			
10/8	火	医学導入2			
10/9	水	教養部講義			
10/10	木				
10/11	金				

12/23	月	教養部講義			
12/24	火	冬季休業			
12/25	水				
12/26	木				
12/27	金				
1/6	月				

お茶の水祭:10月12日(土)～10月13日(日)予定

4/8	月	入学式			
4/9	火	教養部オリエンテーション			
4/10	水	医学科オリエンテーション①			
4/11	木	教養部講義			
4/12	金				

6/24	月	教養部講義			
6/25	火				
6/26	水				
6/27	木				
6/28	金				

10/14	月	体育の日			
10/15	火	医学導入 3			
10/16	水	教養部講義			
10/17	木				
10/18	金				
10/19	土				

1/6	月	教養部講義			
1/7	火	医学導入 12			
1/8	水	教養部講義			
1/9	木				
1/10	金				

4/15	月	教養部講義			
4/16	火	医学科オリエンテーション②			
4/17	水	教養部講義			
4/18	木				
4/19	金				

7/1	月	教養部講義			
7/2	火				
7/3	水				
7/4	木				
7/5	金				

10/21	月	教養部講義			
10/22	火	祝日(即位礼正殿の儀)			
10/23	水	教養部講義			
10/24	木				
10/25	金				

1/13	月	成人の日			
1/14	火	医学導入 13			
1/15	水	教養部講義			
1/16	木				
1/17	金				

4/22	月	教養部講義			
4/23	火				
4/24	水				
4/25	木				
4/26	金				

7/8	月	教養部講義			
7/9	火				
7/10	水				
7/11	木				
7/12	金				

10/28	月	教養部講義			
10/29	火	医学導入 4			
10/30	水	教養部講義			
10/31	木				
11/1	金				

1/20	月	教養部講義			
1/21	火	医学導入 14			
1/22	水	教養部講義			
1/23	木				
1/24	金				

4/29	月	昭和の日			
4/30	火	退位の日			
5/1	水	即位の日			
5/2	木	祝日			
5/3	金	憲法記念日			

7/15	月	海の日(※教養部講義実施)			
7/16	火	教養部講義			
7/17	水				
7/18	木				
7/19	金				
7/20	土				

11/4	月	振替休日(文化の日)			
11/5	火	医学導入 5			
11/6	水	教養部講義			
11/7	木				
11/8	金				

1/27	月	教養部講義			
1/28	火	医学導入 15			
1/29	水	教養部講義			
1/30	木				
1/31	金				

5/6	月	振替休日(こどもの日)(※教養部講義実施)			
5/7	火	教養部講義			
5/8	水				
5/9	木				
5/10	金				
5/11	土				

7/22	月	教養部講義			
7/23	火				
7/24	水				
7/25	木				
7/26	金				

11/11	月	教養部講義			
11/12	火	医学導入 6			
11/13	水	教養部講義			
11/14	木				
11/15	金				

2/3	月	教養部講義			
2/4	火	医学導入 16			
2/5	水	教養部試験・補講			
2/6	木				
2/7	金				

5/13	月	教養部講義			
5/14	火				
5/15	水				
5/16	木				
5/17	金				

7/29	月	教養部講義			
7/30	火				
7/31	水				
9/5	木				
9/6	金				

11/18	月	教養部講義			
11/19	火	医学導入 7			
11/20	水	教養部講義			
11/21	木				
11/22	金				

2/10	月	教養部試験・補講			
2/11	火	建国記念日			
2/12	水	教養部試験・補講			
2/13	木				
2/14	金				

夏季休業:8月1日(木)～9月6日(金)

5/20	月	教養部講義			
5/21	火				
5/22	水				
5/23	木				
5/24	金				

9/9	月	教養部講義			
9/10	火				
9/11	水				
9/12	木				
9/13	金				

11/25	月	教養部講義			
11/26	火	医学導入 8			
11/27	水	教養部講義			
11/28	木				
11/29	金				

2/17	月	教養部再試験			
2/18	火	医学導入 17			
2/19	水	教養部再試験			
2/20	木				
2/21	金				

5/27	月	教養部講義			
5/28	火				
5/29	水				
5/30	木				
5/31	金				

9/16	月	敬老の日			
9/17	火	教養部講義			
9/18	水				
9/19	木				
9/20	金				

12/2	月	教養部講義			
12/3	火	医学導入 9			
12/4	水	教養部講義			
12/5	木				
12/6	金				

2/24	月	振替休日(天皇誕生日)			
2/25	火	春季休業			
2/26	水				
2/27	木				
2/28	金				

6/3	月	教養部講義			
6/4	火				
6/5	水				
6/6	木				
6/7	金				

9/23	月	秋分の日			
9/24	火	教養部講義			
9/25	水				
9/26	木				
9/27	金				

12/9	月	教養部講義			
12/10	火	医学導入 10			
12/11	水	教養部講義			
12/12	木				
12/13	金				

2019年(平成31)年度 授業時間割 第2学年

前期(22週) 2019(平成31)年 4月4日(木)～9月20日(金)

日付	9:00～10:20	10:30～11:50	12:50～14:10	14:20～15:40	15:50～17:10
3/25 月					
3/26 火					
3/27 水					
3/28 木					
3/29 金					

4/1 月					
4/2 火					
4/3 水					
4/4 木	教養/歯医学基礎教育1	カリキュラム説明会			
4/5 金	人体構造総論1	人体構造総論2	細胞生物学1	細胞生物学2	

4/8 月	入学式	細胞生物学3	細胞生物学4	研究実践701	
4/9 火	人体構造総論3	人体構造総論4	細胞生物学5	細胞生物学6	研究実践702
4/10 水	人体構造総論5	人体構造総論6	細胞生物学7	細胞生物学8	研究実践703
4/11 木	教養/歯医学基礎教育2	人体構造総論7	人体構造総論8	研究実践704	
4/12 金	人体構造総論9	人体構造総論10	細胞生物学9	細胞生物学10	研究実践705

4/15 月	人体構造総論11	人体構造総論12	細胞生物学11	細胞生物学12	研究実践706
4/16 火	人体構造総論13	人体構造総論14	神経生理導入1	神経生理導入2	研究実践707
4/17 水	人体構造総論15	人体構造総論16	神経生理導入3	神経生理導入4	研究実践708
4/18 木	教養/歯医学基礎教育3	人体構造総論17	人体構造総論18	研究実践709	
4/19 金	人体構造総論19	人体構造総論20	神経生理導入5	神経生理導入6	解剖学実習説明会

4/22 月	人体構造総論21	神経生理導入7	組織学1	組織学実習1	*
4/23 火	人体構造総論22	人体解剖学1	人体解剖実習1	人体解剖実習2	*
4/24 水	人体構造総論23	人体解剖学2	人体解剖実習3	人体解剖実習4	*
4/25 木	教養/歯医学基礎教育4	組織学2	組織学実習2	組織学実習3	
4/26 金	人体構造総論24	人体解剖学3	人体解剖実習5	人体解剖実習6	*

4/29 月		昭和の日			
4/30 火		退位の日			
5/1 水		即位の日			
5/2 木		祝日			
5/3 金		憲法記念日			

5/6 月		振替休日(こどもの日)			
5/7 火	自習・補講	細胞生物学	自習・補講	自習・補講	
5/8 水	自習・補講	人体構造総論	自習・補講	自習・補講	
5/9 木	教養/歯医学基礎教育5	組織学3	組織学実習4	組織学実習5	
5/10 金	生理学1	人体解剖学4	人体解剖実習7	人体解剖実習8	*

5/13 月	神経生理導入8	神経生理導入9	組織学4	組織学実習6	組織学実習7
5/14 火	生理学2	人体解剖学5	人体解剖実習9	人体解剖実習10	*
5/15 水	生理学3	人体解剖学6	人体解剖実習11	人体解剖実習12	*
5/16 木	教養/歯医学基礎教育6	組織学5	組織学実習8	組織学実習9	
5/17 金	生理学4	人体解剖学7	人体解剖実習13	人体解剖実習14	*

5/20 月	神経生理導入10	神経生理導入11	組織学6	組織学実習10	組織学実習11
5/21 火	生理学5	人体解剖学8	人体解剖実習15	人体解剖実習16	*
5/22 水	生理学6	人体解剖学9	人体解剖実習17	人体解剖実習18	*
5/23 木	教養/歯医学基礎教育7	組織学7	組織学実習12	組織学実習13	
5/24 金	生理学7	人体解剖学10	人体解剖実習19	人体解剖実習20	*

5/27 月	神経生理導入12	神経生理導入13	組織学8	組織学実習14	組織学実習15
5/28 火	生理学8	人体解剖学11	人体解剖実習21	人体解剖実習22	*
5/29 水	生理学9	人体解剖学12	人体解剖実習23	人体解剖実習24	*
5/30 木	教養/歯医学基礎教育8	組織学9	組織学実習16	組織学実習17	
5/31 金	生理学10	人体解剖学13	人体解剖実習25	人体解剖実習26	*

6/3 月	神経生理導入14	生理学11	組織学10	組織学実習18	組織学実習19
6/4 火	生理学12	人体解剖学14	人体解剖実習27	人体解剖実習28	*
6/5 水	生理学13	人体解剖学15	人体解剖実習29	人体解剖実習30	*
6/6 木	教養/歯医学基礎教育9	組織学11	組織学実習20	組織学実習21	
6/7 金	生理学14	人体解剖学16	人体解剖実習31	人体解剖実習32	*

6/10 月	神経生理導入15	神経生理導入16	組織学12	組織学実習22	組織学実習23
6/11 火	生理学15	人体解剖学17	人体解剖実習33	人体解剖実習34	*
6/12 水	生理学16	人体解剖学18	人体解剖実習35	人体解剖実習36	*
6/13 木	教養/歯医学基礎教育10	組織学13	組織学実習24	組織学実習25	
6/14 金	生理学17	人体解剖学19	人体解剖実習37	人体解剖実習38	*

6/17 月	人体解剖学20	生理学18	組織学14	組織学実習26	組織学実習27
6/18 火	人体解剖学21	人体解剖学22	人体解剖実習39	人体解剖実習40	*
6/19 水	生理学19	人体解剖学23	人体解剖実習41	人体解剖実習42	*
6/20 木	教養/歯医学基礎教育11	組織学15	組織学実習28	組織学実習29	
6/21 金	生理学20	人体解剖学24	人体解剖実習43	人体解剖実習44	*

6/24 月	生理学21	生理学22	組織学16	組織学実習30	組織学実習31
6/25 火	生理学23	人体解剖学25	人体解剖実習45	人体解剖実習46	*
6/26 水	生理学24	人体解剖学26	人体解剖実習47	人体解剖実習48	*
6/27 木	教養/歯医学基礎教育12	組織学17	組織学実習32	組織学実習33	
6/28 金	組織学18	人体解剖学27	人体解剖実習49	人体解剖実習50	*

7/1 月					
7/2 火	人体解剖学28	人体解剖学29			
7/3 水			頭頸部・基礎(歯医学融合)ブロック(1週目)		
7/4 木	教養/歯医学基礎教育13				
7/5 金					

7/8 月					
7/9 火	組織学実習34	組織学実習35			
7/10 水			頭頸部・基礎(歯医学融合)ブロック(2週目)		
7/11 木	教養/歯医学基礎教育14				
7/12 金					

7/15 月		海の日			
7/16 火	組織学実習試	組織学実習試			
7/17 水			頭頸部・基礎(歯医学融合)ブロック(3週目)		
7/18 木	教養/歯医学基礎教育15				
7/19 金					

7/22 月		頭頸部・基礎(歯医学融合)ブロック(4週目)			
7/23 火					
7/24 水					
7/25 木		夏季休業			
7/26 金		夏季休業:7月23日(火)～8月16日(金)			

7/29 月					
7/30 火					
7/31 水		夏季休業			
8/1 木					
8/2 金					

8/19 月	自習・補講	自習・補講	自習・補講	自習・補講	
8/20 火	自習・補講	神経生理導入	自習・補講	自習・補講	
8/21 水	自習・補講	人体解剖学	自習・補講	自習・補講	
8/22 木	自習・補講	組織学	自習・補講	自習・補講	
8/23 金	自習・補講	生理学	生理学実習1	生理学実習2	生理学実習3

8/26 月	生化学1	薬理学1	生理学実習4	生理学実習5	生理学実習6
8/27 火	分子遺伝学1	薬理学2	生理学実習7	生理学実習8	生理学実習9
8/28 水	生化学2	薬理学3	生理学実習10	生理学実習11	生理学実習12
8/29 木	分子遺伝学2	薬理学4	生理学実習13	生理学実習14	生理学実習15
8/30 金	生化学3	薬理学5	生理学実習16	生理学実習17	生理学実習18

9/2 月	生化学4	薬理学6	生理学実習19	生理学実習20	生理学実習21
9/3 火	分子遺伝学3	薬理学7	生理学実習22	生理学実習23	生理学実習24
9/4 水	生化学5	薬理学8	生理学実習試	生理学実習試	生理学実習試
9/5 木		教養試験	自習・補講	自習・補講	
9/6 金	分子遺伝学4	薬理学9	薬理学実習1	薬理学実習2	薬理学実習3

9/9 月	生化学6	薬理学10	薬理学実習4	薬理学実習5	薬理学実習6
9/10 火	生化学7	薬理学11	薬理学実習7	薬理学実習8	薬理学実習9
9/11 水	分子遺伝学5	薬理学12	薬理学実習10	薬理学実習11	薬理学実習12
9/12 木	教養予備/歯医学基礎教育1	薬理学実習13	薬理学実習14	薬理学実習15	
9/13 金	生化学8	薬理学13	薬理学実習16	薬理学実習17	薬理学実習18

9/16 月		敬老の日			
9/17 火	生化学9	薬理学14	薬理学実習19	薬理学実習20	薬理学実習21
9/18 水	生化学10	薬理学15	薬理学実習22	薬理学実習23	薬理学実習24
9/19 木	歯医学基礎教育2	薬理学実習25	薬理学実習26	薬理学実習27	
9/20 金	分子遺伝学6	薬理学16	薬理学実習28	薬理学実習29	薬理学実習30

後期(21週) 9月24日(火)～3月6日(金)

日付	9:00～10:20	10:30～11:50	12:50～14:10	14:20～15:40	15:50～17:10
9/23 月			秋分の日		
9/24 火	生化学11	分子遺伝学7	生化学実習1	生化学実習2	生化学実習3
9/25 水	生化学12	分子遺伝学8	実験動物設置式(未定)		
9/26 木	教養/歯医学基礎教育3	生化学実習3	生化学実習4	生化学実習5	生化学実習6
9/27 金	生化学13	分子遺伝学9	生化学実習7	生化学実習8	生化学実習9

9/30 月	生化学14	分子遺伝学10	生化学実習10	生化学実習11	生化学実習12
10/1 火	生化学15	分子遺伝学11	生化学実習13	生化学実習14	生化学実習15
10/2 水	生化学16	分子遺伝学12	生化学実習16	生化学実習17	生化学実習18
10/3 木	教養/歯医学基礎教育4	生化学実習19	生化学実習20	生化学実習21	
10/4 金	生化学17	分子遺伝学13	生化学実習22	生化学実習23	生化学実習24

10/7 月	分子遺伝学14	分子遺伝学15	生化学実習25	生化学実習26	生化学実習27
10/8 火	自習・補講	薬理学	自習・補講	自習・補講	
10/9 水	自習・補講	生化学	自習・補講	自習・補講	
10/10 木	教養/歯医学基礎教育5		自習・補講	自習・補講	
10/11 金	自習・補講	自習・補講	自習・補講	自習・補講	

10/14 月		体育の日			
10/15 火	自習・補講	分子遺伝学	自習・補講	自習・補講	
10/16 水	神経解剖学1	神経解剖学2	神経解剖学実習1	自習・補講*	*
10/17 木	教養/歯医学基礎教育6	免疫学I1	免疫学I2		
10/18 金	免疫学I3	免疫学I4	感染・基礎1	感染・基礎2	

10/21 月	免疫学I5	免疫学I6	感染・基礎3	感染・基礎4	
10/22 火			祝日(即位礼正殿の儀)		
10/23 水	免疫学I7	神経解剖学3	神経解剖学実習2	自習・補講*	
10/24 木	自習・補講	自習・補講	解剖体道悼式		
10/25 金	免疫学I8	免疫学I9	感染・基礎5	感染・基礎6	

10/28 月	感染・基礎7	感染・基礎8	感染・基礎9	感染・基礎10	
10/29 火	免疫学I10	免疫学I11	免疫学I12	免疫学I13	
10/30 水	免疫学II1	神経解剖学5	神経解剖学実習3	神経解剖学実習4	*
10/31 木	教養/歯医学基礎教育7	自習・補講	自習・補講		
11/1 金	免疫学II2	免疫学II3	感染・基礎11	感染・基礎12	

11/4 月		振替休日(文化の日)			
11/5 火	免疫学II4	免疫学II5	感染・基礎13	感染・基礎14	
11/6 水	感染・基礎15	感染・基礎16	神経科学1	神経科学2	
11/7 木	教養/歯医学基礎教育8	免疫学II6			
11/8 金	神経解剖学6	神経解剖学7	神経解剖学実習5	自習・補講*	*

11/11 月	神経解剖学8	神経解剖学9	神経解剖学実習6	自習・補講*	*
11/12 火	免疫学II7	免疫学II8	神経科学3	神経科学4	
11/13 水	自習・補講	自習・補講	神経科学5	神経科学6	
11/14 木	教養/歯医学基礎教育9	神経科学7	神経科学8		
11/15 金	免疫学II9	免疫学II10	神経解剖学実習補講		

11/18 月	感染・基礎17	神経解剖学10	神経解剖学実習7	神経解剖学実習8	*
11/19 火	免疫学II11	免疫学II12	神経科学9	神経科学10	
11/20 水	医動物学1	医動物学2	神経科学11	神経科学12	
11/21 木	教養/歯医学基礎教育10	神経科学13	神経科学14		
11/22 金	自習・補講	自習・補講	自習・補講	自習・補講	

11/25 月	医動物学3	医動物学4	神経科学15	神経科学16	
11/26 火	神経解剖学11	神経解剖学12	神経解剖学実習9	自習・補講*	
11/27 水	神経解剖学13	神経解剖学14	神経解剖学実習10	自習・補講*	*
11/28 木	教養/歯医学基礎教育11	医動物学実習1	医動物学実習2	医動物学実習3	
11/29 金	医動物学5	医動物学6	医動物学7	医動物学8	*

12/2 月					
12/3 火			病理学総論ブロック		
12/4 水					
12/5 木	教養/歯医学基礎教育12				
12/6 金					

12/9 月	医動物学9	医動物学10	医動物学実習4	医動物学実習5	医動物学実習6
12/10 火	医動物学11	医動物学12	医動物学実習7	医動物学実習8	医動物学実習9
12/11 水	医動物学13	医動物学14	医動物学実習10	医動物学実習11	医動物学実習12
12/12 木	教養/歯医学基礎教育13	医動物学実習13	医動物学実習14	医動物学実習15	医動物学実習16
12/13 金	神経解剖学15	医動物学15	医動物学実習16	医動物学実習17	医動物学実習18

12/16 月	神経解剖学16	神経解剖学17	神経解剖学実習11	自習・補講*	*
12/17 火	神経解剖学18	神経解剖学19	神経解剖学実習12	自習・補講*	*
12/18 水	医動物学16	医動物学17	医動物学実習19	医動物学実習20	医動物学実習21
12/19 木	教養/歯医学基礎教育14	医動物学実習試	医動物学実習試	医動物学実習試	
12/20 金	神経解剖学20	神経解剖学21	神経科学17	自習・補講	

12/30 月					
12/31 火					
1/1 水			冬季休業		
1/2 木					
1/3 金					

1/6 月	自習・補講	免疫学I	自習・補講	自習・補講	
1/7 火	自習・補講	自習・補講	免疫学II	自習・補講	
1/8 水	自習・補講	病理学	自習・補講	自習・補講	
1/9 木	教養/歯医学基礎教育予備		自習・補講	自習・補	

2019(平成31)年度 授業時間割 第3学年

前期(21週) 2019(平成31)年 4月1日(月)～9月20日(金)

日付	9:00～10:20	10:30～11:50	12:50～14:10	14:20～15:40	15:50～17:10
3/25 月					
3/26 火					
3/27 水					
3/28 木					
3/29 金					

4/1 月	腫瘍学ブロック				
4/2 火	腫瘍学ブロック				
4/3 水	腫瘍学ブロック				
4/4 木	教養／歯医学基礎教育1				
4/5 金	腫瘍学ブロック				

4/8 月	衛生学 1	衛生学 2	東洋医学 1	東洋医学 2	東洋医学 3
4/9 火	法医学 1	法医学 2	社会医学 1	社会医学 2	法医学 3
4/10 水	法医学 4	法医学 5	社会医学 3	社会医学 4	法医学 6
4/11 木	教養／歯医学基礎教育2		法医学 7	法医学 8	東洋医学 4
4/12 金	公衆衛生学 1	公衆衛生学 2	衛生学 3	衛生学 4	

4/15 月	衛生学 5	衛生学 6	社会医学 5	社会医学 6	東洋医学 5
4/16 火	社会医学 7	社会医学 8	衛生学 7	衛生学 8	東洋医学 6
4/17 水	東洋医学 7	法医学 9	法医学 10	法医学 11	法医学 12
4/18 木	教養／歯医学基礎教育3		社会医学 9	社会医学 10	東洋医学 8
4/19 金	公衆衛生学 3	公衆衛生学 4	社会医学 11	社会医学 12	

4/22 月	法医学 13	法医学 14	衛生学実習 1	衛生学実習 2	衛生学実習 3
4/23 火	法医学 15	法医学 16	衛生学実習 4	衛生学実習 5	衛生学実習 6
4/24 水	社会医学 13	社会医学 14	衛生学実習 7	衛生学実習 8	衛生学実習 9
4/25 木	教養／歯医学基礎教育4		衛生学実習 10	衛生学実習 11	衛生学実習 12
4/26 金	公衆衛生学 5	公衆衛生学 6	衛生学実習 13	衛生学実習 14	衛生学実習 15

4/29 月	昭和の日				
4/30 火	退位の日				
5/1 水	即位の日				
5/2 木	祝日				
5/3 金	憲法記念日				

5/6 月	振替休日(こどもの日)				
5/7 火	公衆衛生学 7	公衆衛生学 8	衛生学 9	衛生学 10	
5/8 水	公衆衛生学 9	公衆衛生学 10	法医学実習 1	法医学実習 2	法医学実習 3
5/9 木	教養／歯医学基礎教育5		法医学実習 4	法医学実習 5	法医学実習 6
5/10 金	公衆衛生学 11	公衆衛生学 12	衛生学 11	衛生学 12	

5/13 月	社会医学 15	社会医学 16	法医学実習 7	法医学実習 8	法医学実習 9
5/14 火	自習・補講	腫瘍学	自習・補講	自習・補講	
5/15 水	自習・補講	法医学	自習・補講	自習・補講	
5/16 木	教養／歯医学基礎教育6		公衆衛生学	自習・補講	
5/17 金	自習・補講	社会医学	衛生学	自習・補講	

5/20 月	臨床医学導入ブロック				
5/21 火	臨床医学導入ブロック				
5/22 水	臨床医学導入ブロック				
5/23 木	教養／歯医学基礎教育7				
5/24 金	臨床医学導入ブロック				

5/27 月	循環器ブロック(1週目)				
5/28 火	循環器ブロック(1週目)				
5/29 水	循環器ブロック(1週目)				
5/30 木	教養／歯医学基礎教育8		GPS-Academic試験		
5/31 金	循環器ブロック(1週目)				

6/3 月	循環器ブロック(2週目)				
6/4 火	循環器ブロック(2週目)				
6/5 水	循環器ブロック(2週目)				
6/6 木	教養／歯医学基礎教育9				
6/7 金	循環器ブロック(2週目)				

後期(21週) 31年9月24日(火)～32年2月29日(土)

日付	9:00～10:20	10:30～11:50	12:50～14:10	14:20～15:40	15:50～17:10
6/10 月	循環器ブロック(3週目)				
6/11 火	循環器ブロック(3週目)				
6/12 水	循環器ブロック(3週目)				
6/13 木	教養／歯医学基礎教育10				
6/14 金	循環器ブロック(3週目)				

6/17 月	消化器ブロック(1週目)				
6/18 火	消化器ブロック(1週目)				
6/19 水	消化器ブロック(1週目)				
6/20 木	教養／歯医学基礎教育11				
6/21 金	消化器ブロック(1週目)				

6/24 月	消化器ブロック(2週目)				
6/25 火	消化器ブロック(2週目)				
6/26 水	消化器ブロック(2週目)				
6/27 木	教養／歯医学基礎教育12				
6/28 金	消化器ブロック(2週目)				

7/1 月	消化器ブロック(3週目)				
7/2 火	消化器ブロック(3週目)				
7/3 水	消化器ブロック(3週目)				
7/4 木	教養／歯医学基礎教育13				
7/5 金	消化器ブロック(3週目)				

7/8 月	呼吸器ブロック(1週目)				
7/9 火	呼吸器ブロック(1週目)				
7/10 水	呼吸器ブロック(1週目)				
7/11 木	教養／歯医学基礎教育14				
7/12 金	呼吸器ブロック(1週目)				

7/15 月	海の日				
7/16 火	呼吸器ブロック(2週目)				
7/17 水	呼吸器ブロック(2週目)				
7/18 木	教養／歯医学基礎教育15				
7/19 金	呼吸器ブロック(2週目)				

8/19 月	感染・臨床ブロック				
8/20 火	感染・臨床ブロック				
8/21 水	感染・臨床ブロック				
8/22 木	感染・臨床ブロック				
8/23 金	感染・臨床ブロック				

8/26 月	神経科学(臨床)ブロック(1週目)				
8/27 火	神経科学(臨床)ブロック(1週目)				
8/28 水	神経科学(臨床)ブロック(1週目)				
8/29 木	公衆衛生学				
8/30 金	神経科学(臨床)ブロック(1週目)				

9/2 月	神経科学(臨床)ブロック(2週目)				
9/3 火	神経科学(臨床)ブロック(2週目)				
9/4 水	神経科学(臨床)ブロック(2週目)				
9/5 木	教養予備／歯医学基礎教育予備				
9/6 金	神経科学(臨床)ブロック(2週目)				

9/9 月	神経科学(臨床)ブロック(3週目)				
9/10 火	神経科学(臨床)ブロック(3週目)				
9/11 水	神経科学(臨床)ブロック(3週目)				
9/12 木	歯医学基礎教育				
9/13 金	神経科学(臨床)ブロック(3週目)				

9/16 月	敬老の日				
9/17 火	神経科学(臨床)ブロック4週目				
9/18 水	神経科学(臨床)ブロック4週目				
9/19 木	歯医学基礎教育				
9/20 金	神経科学(臨床)ブロック4週目				

日付	9:00～10:20	10:30～11:50	12:50～14:10	14:20～15:40	15:50～17:10
9/23 月	秋分の日				
9/24 火	体液制御・泌尿器ブロック(1週目)				
9/25 水	体液制御・泌尿器ブロック(1週目)				
9/26 木	教養／歯医学基礎教育1				
9/27 金	体液制御・泌尿器ブロック(1週目)				

9/30 月	体液制御・泌尿器ブロック(2週目)				
10/1 火	体液制御・泌尿器ブロック(2週目)				
10/2 水	体液制御・泌尿器ブロック(2週目)				
10/3 木	教養／歯医学基礎教育2				
10/4 金	体液制御・泌尿器ブロック(2週目)				

10/7 月	体液制御・泌尿器ブロック(3週目)				
10/8 火	体液制御・泌尿器ブロック(3週目)				
10/9 水	体液制御・泌尿器ブロック(3週目)				
10/10 木	教養／歯医学基礎教育3				
10/11 金	体液制御・泌尿器ブロック(3週目)				

10/14 月	お茶の水祭:10月12日(土)～10月13日(日)予定				
10/15 火	体育の日				
10/16 水	一般外科ブロック(1週目)				
10/17 木	歯医学基礎教育		東洋医学 11 東洋医学 12		
10/18 金	東洋医学		一般外科ブロック		

10/21 月	一般外科ブロック(2週目)				
10/22 火	祝日(即位礼正殿の儀)				
10/23 水	一般外科ブロック(2週目)				
10/24 木	教養／歯医学基礎教育4		一般外科ブロック(2週目)		
10/25 金	一般外科ブロック(2週目)				

10/28 月	血液・腫瘍ブロック(1週目)				
10/29 火	血液・腫瘍ブロック(1週目)				
10/30 水	血液・腫瘍ブロック(1週目)				
10/31 木	教養／歯医学基礎教育5				
11/1 金	血液・腫瘍ブロック(1週目)				

11/4 月	振替休日(文化の日)				
11/5 火	血液・腫瘍ブロック(2週目)				
11/6 水	血液・腫瘍ブロック(2週目)				
11/7 木	教養／歯医学基礎教育6				
11/8 金	血液・腫瘍ブロック(2週目)				

11/11 月	内分泌・代謝ブロック(1週目)				
11/12 火	内分泌・代謝ブロック(1週目)				
11/13 水	内分泌・代謝ブロック(1週目)				
11/14 木	教養／歯医学基礎教育7				
11/15 金	内分泌・代謝ブロック(1週目)				

11/18 月	内分泌・代謝ブロック(2週目)				
11/19 火	内分泌・代謝ブロック(2週目)				
11/20 水	内分泌・代謝ブロック(2週目)				
11/21 木	教養／歯医学基礎教育8				
11/22 金	内分泌・代謝ブロック(2週目)				

11/25 月	皮膚・アレルギー・膠原病ブロック(1週目)				
11/26 火	皮膚・アレルギー・膠原病ブロック(1週目)				
11/27 水	皮膚・アレルギー・膠原病ブロック(1週目)				
11/28 木	教養／歯医学基礎教育9				
11/29 金	皮膚・アレルギー・膠原病ブロック(1週目)				

12/2 月	皮膚・アレルギー・膠原病ブロック(2週目)				
12/3 火	皮膚・アレルギー・膠原病ブロック(2週目)				
12/4 水	皮膚・アレルギー・膠原病ブロック(2週目)				
12/5 木	教養／歯医学基礎教育10				
12/6 金	皮膚・アレルギー・膠原病ブロック(2週目)				

日付	9:00～10:20	10:30～11:50	12:50～14:10	14:20～15:40	15:50～17:10
12/9 月	骨・関節・脊椎ブロック(1週目)				
12/10 火	骨・関節・脊椎ブロック(1週目)				
12/11 水	骨・関節・脊椎ブロック(1週目)				
12/12 木	教養／歯医学基礎教育11				
12/13 金	骨・関節・脊椎ブロック(1週目)				

12/16 月	骨・関節・脊椎ブロック(2週目)				
12/17 火	骨・関節・脊椎ブロック(2週目)				
12/18 水	骨・関節・脊椎ブロック(2週目)				
12/19 木	教養／歯医学基礎教育12				
12/20 金	骨・関節・脊椎ブロック(2週目)				

12/30 月	冬季休業:12月23日(月)～1月3日(金)				
12/31 火	冬季休業				
1/1 水	冬季休業				
1/2 木	冬季休業				
1/3 金	冬季休業				

1/6 月	頭頸部・臨床(歯医学融合)ブロック(1週目)				
1/7 火	頭頸部・臨床(歯医学融合)ブロック(1週目)				
1/8 水	頭頸部・臨床(歯医学融合)ブロック(1週目)				
1/9 木	教養／歯医学基礎教育13				
1/10 金	頭頸部・臨床(歯医学融合)ブロック(1週目)				

1/13 月	成人の日				
1/14 火	頭頸部・臨床(歯医学融合)ブロック(2週目)				
1/15 水	頭頸部・臨床(歯医学融合)ブロック(2週目)				
1/16 木	教養／歯医学基礎教育14				
1/17 金	頭頸部・臨床(歯医学融合)ブロック(2週目)				

1/20 月	頭頸部・臨床(歯医学融合)ブロック(3週目)				
1/21 火	頭頸部・臨床(歯医学融合)ブロック(3週目)				
1/22 水	頭頸部・臨床(歯医学融合)ブロック(3週目)				
1/23 木	教養／歯医学基礎教育15				
1/24 金	頭頸部・臨床(歯医学融合)ブロック(3週目)				

1/27 月	頭頸部・臨床(歯医学融合)ブロック(4週目)				
1/28 火	頭頸部・臨床(歯医学融合)ブロック(4週目)				
1/29 水	頭頸部・臨床(歯医学融合)ブロック(4週目)				
1/30 木	教養予備／歯医学基礎教育				
1/31 金	頭頸部・臨床(歯医学融合)ブロック(4週目)				

2/3 月	「総合診療・地域医療」ブロック(1週目)				
2/4 火	「総合診療・地域医療」ブロック(1週目)				
2/5 水	「総合診療・地域医療」ブロック(1週目)				
2/6 木	歯医学基礎教育				
2/7 金	「総合診療・地域医療」ブロック(1週目)				

2/10 月	「総合診療・地域医療」ブロック(2週目)				
2/11 火	建国記念の日				
2/12 水	「総合診療・地域医療」ブロック(2週目)				
2/13 木	歯医学基礎教育		「総合診療・地域医療」ブロック(2週目)		
2/14 金	「総合診療・地域医療」ブロック(2週目)				

2/17 月	臨時休業				
2/18 火	臨時休業				
2/19 水	臨時休業				
2/20 木	臨時休業				
2/21 金	臨時休業				

2/24 月	振替休日(天皇誕生日)				
2/25 火	再試験期間				
2/26 水	再試験期間				
2/27 木	歯医学基礎教育 再試験				
2/28 金	再試験期間				
2/29 土	M4 OSCE				

3/2 月	再試験期間				
3/3 火	再試験期間				
3/4 水	再試験期間				
3/5 木	再試験期間				
3/6 金	再試験期間				

2019(平成31年)年度 授業時間割 第4学年

前期(22週) 2019(平成31年)年 4月1日(月)～9月27日(金)

日付	9:00～10:20	10:30～11:50	12:50～14:10	14:20～15:40	15:50～17:10	
4/1 月	生殖・発達ブロック(1週目)					
4/2 火						
4/3 水						
4/4 木						医歯学基盤教育1
4/5 金						

4/8 月	生殖・発達ブロック(2週目)					
4/9 火						
4/10 水						
4/11 木						医歯学基盤教育2
4/12 金						

4/15 月	救急・麻酔ブロック(1週目)					
4/16 火						
4/17 水						
4/18 木						医歯学基盤教育3
4/19 金						

4/22 月	救急・麻酔ブロック(2週目)					
4/23 火						
4/24 水						
4/25 木						医歯学基盤教育4
4/26 金						

4/29 月	昭和の日
4/30 火	退位の日
5/1 水	即位の日
5/2 木	祝日
5/3 金	憲法記念日

5/6 月	振替休日(こどもの日)					
5/7 火	生殖・発達ブロック(3週目)					
5/8 水						
5/9 木						医歯学基盤教育5
5/10 金						

5/13 月	生殖・発達ブロック(4週目)					
5/14 火						
5/15 水						
5/16 木						医歯学基盤教育6
5/17 金						

5/20 月	公衆衛生学実習	公衆衛生学実習	公衆衛生学実習	公衆衛生学実習	公衆衛生学実習
5/21 火	公衆衛生学実習	公衆衛生学実習	公衆衛生学実習	公衆衛生学実習	公衆衛生学実習
5/22 水	公衆衛生学実習	公衆衛生学実習	公衆衛生学実習	公衆衛生学実習	公衆衛生学実習
5/23 木	公衆衛生学実習	公衆衛生学実習	公衆衛生学実習	公衆衛生学実習	公衆衛生学実習
5/24 金	公衆衛生学実習	公衆衛生学実習	公衆衛生学実習	公衆衛生学実習	公衆衛生学実習

5/27 月	自由選択学習(プロジェクトセメスター)(1週目)				
5/28 火					
5/29 水					
5/30 木					
5/31 金					

6/3 月	自由選択学習(プロジェクトセメスター)(2週目)				
6/4 火					
6/5 水					
6/6 木					
6/7 金					

6/10 月	自由選択学習(プロジェクトセメスター)(3週目)				
6/11 火					
6/12 水					
6/13 木					
6/14 金					

日付	9:00～10:20	10:30～11:50	12:50～14:10	14:20～15:40	15:50～17:10
6/17 月	自由選択学習(プロジェクトセメスター)(4週目)				
6/18 火					
6/19 水					
6/20 木					
6/21 金					

6/24 月	自由選択学習(プロジェクトセメスター)(5週目)				
6/25 火					
6/26 水					
6/27 木					
6/28 金					

7/1 月	自由選択学習(プロジェクトセメスター)(6週目)				
7/2 火					
7/3 水					
7/4 木					
7/5 金					

7/8 月	自由選択学習(プロジェクトセメスター)(7週目)				
7/9 火					
7/10 水					
7/11 木					
7/12 金					

7/15 月	海の日				
7/16 火	自由選択学習(プロジェクトセメスター)(8週目)				
7/17 水					
7/18 木					
7/19 金					

7/22 月	自由選択学習(プロジェクトセメスター)(9週目)					
7/23 火						
7/24 水						夏季休業
7/25 木						
7/26 金						

8/19 月	自由選択学習(プロジェクトセメスター)(10週目)				
8/20 火					
8/21 水					
8/22 木					
8/23 金					

8/26 月	自由選択学習(プロジェクトセメスター)(10週目)				
8/27 火					
8/28 水					
8/29 木					
8/30 金					

9/2 月	自由選択学習(プロジェクトセメスター)(11週目)				
9/3 火					
9/4 水					
9/5 木					
9/6 金					

9/9 月	自由選択学習(プロジェクトセメスター)(12週目)				
9/10 火					
9/11 水					
9/12 木					
9/13 金					

9/16 月	敬老の日				
9/17 火	自由選択学習(プロジェクトセメスター)(13週目)				
9/18 水					
9/19 木					
9/20 金					

9/23 月	振替休日				
9/24 火	自由選択学習(プロジェクトセメスター)(14週目)				
9/25 水					
9/26 木					
9/27 金					

後期(22週) 9月30日(月)～3月6日(金)

日付	9:00～10:20	10:30～11:50	12:50～14:10	14:20～15:40	15:50～17:10
9/30 月	自由選択学習(プロジェクトセメスター)(15週目)				
10/1 火					
10/2 水					
10/3 木					
10/4 金					

10/7 月	自由選択学習(プロジェクトセメスター)(16週目)				
10/8 火					
10/9 水					
10/10 木					
10/11 金					

10/14 月	お茶の水祭:10月12日(土)～10月13日(日)予定				
10/15 火	体育の日				
10/16 水	自由選択学習(プロジェクトセメスター)(17週目)				
10/17 木					
10/18 金					

10/21 月	自由選択学習(プロジェクトセメスター)(18週目)				
10/22 火	祝日(即位礼正殿の儀)				
10/23 水	自由選択学習(プロジェクトセメスター)(18週目)				
10/24 木					
10/25 金					

10/28 月	自由選択学習(プロジェクトセメスター)(19週目)				
10/29 火					
10/30 水					
10/31 木					
11/1 金					

11/4 月	振替休日(文化の日)				
11/5 火	自由選択学習(プロジェクトセメスター)(20週目)				
11/6 水					
11/7 木					
11/8 金					

11/11 月	自由選択学習(プロジェクトセメスター)(21週目)				
11/12 火					
11/13 水					
11/14 木					
11/15 金					

11/18 月	再試験期間				
11/19 火					
11/20 水					
11/21 木					
11/22 金					

11/25 月	臨床導入実習(1週目) PCC総論				
11/26 火					
11/27 水					
11/28 木					
11/29 金					

12/2 月	臨床導入実習(2週目) PCC総論				
12/3 火					
12/4 水					
12/5 木					
12/6 金					

12/9 月	臨床導入実習(3週目) 各論①				
12/10 火					
12/11 水					
12/12 木					
12/13 金					

12/16 月	臨床導入実習(4週目) 各論②				
12/17 火					
12/18 水					
12/19 木					
12/20 金					

冬季休業:12月23日(月)～1月3日(金)

日付	9:00～10:20	10:30～11:50	12:50～14:10	14:20～15:40	15:50～17:10
12/30 月	冬季休業				
12/31 火					
1/1 水					
1/2 木					
1/3 金					

1/6 月	臨床導入実習(5週目) 各論③				
1/7 火					
1/8 水					
1/9 木					
1/10 金					

1/13 月	成人の日				
1/14 火	臨床導入実習(6週目) 各論④				
1/15 水					
1/16 木					
1/17 金					

1/20 月	臨床導入実習(7週目) 各論⑤				
1/21 火					
1/22 水					
1/23 木					
1/24 金					

1/27 月	臨床導入実習(8週目) 各論⑥				
1/28 火					
1/29 水					
1/30 木					
1/31 金					

2/3 月	臨床導入実習(9週目) 各論⑦				
2/4 火					
2/5 水					
2/6 木					
2/7 金					

2/10 月	臨床導入実習(10週目)各論⑧				
2/11 火	建国記念日				
2/12 水	臨床導入実習(10週目) 各論⑧				
2/13 木					
2/14 金					

2/17 月	臨床導入実習(11週目) 各論⑨				
2/18 火					
2/19 水					
2/20 木					
2/21 金					

2/24 月	振替休日(天皇誕生日)
2/25 火	臨時休業
2/26 水	CBT
2/27 木	臨時休業
2/28 金	OSCE

3/2 月	臨床導入実習(11週目) 各論⑨				
3/3 火					
3/4 水					
3/5 木					
3/6 金					

3/9 月	OSCE再試験期間				
3/10 火					
3/11 水					
3/12 木					
3/13 金					

3/16 月	OSCE再試験期間				
3/17 火					
3/18 水					
3/19 木					
3/20 金					

2019(平成31)年度 授業時間割 第5学年

日付	9:00~10:20	10:30~11:50	12:50~14:10	14:20~15:40	15:50~17:10	日付	9:00~10:20	10:30~11:50	12:50~14:10	14:20~15:40	15:50~17:10	日付	9:00~10:20	10:30~11:50	12:50~14:10	14:20~15:40	15:50~17:10	日付	9:00~10:20	10:30~11:50	12:50~14:10	14:20~15:40	15:50~17:10
4/1 月	臨床実習総論					7/1 月	臨床実習(第3クール)					9/30 月	臨床実習(第7クール)					12/30 月	冬季休業				
4/2 火																							
4/3 水																							
4/4 木																							
4/5 金																							
4/8 月	臨床実習(第1クール)					7/8 月	臨床実習(第4クール)					10/7 月	第7クール					1/6 月	臨床実習(第10クール)				
4/9 火																							
4/10 水																							
4/11 木																							
4/12 金																							
4/15 月	臨床実習(第1クール)					7/15 月	海の日					10/14 月	お茶の水祭:10月12日(土)~10月13日(日)予定 体育の日					1/13 月	成人の日				
4/16 火																							
4/17 水																							
4/18 木																							
4/19 金																							
4/22 月	臨床実習(第1クール)					7/22 月	臨床実習(第4クール)					10/21 月	臨床実習(第7クール) 祝日(即位礼正殿の儀)					1/20 月	臨床実習(第10クール)				
4/23 火																							
4/24 水																							
4/25 木																							
4/26 金																							
4/29 月	昭和の日 退位の日 即位の日 祝日 憲法記念日					7/29 月	臨床実習(第4クール)					10/28 月	臨床実習(第8クール)					1/27 月	臨床実習(第10クール)				
4/30 火																							
5/1 水																							
5/2 木																							
5/3 金																							
5/6 月	振替休日(こどもの日)					8/5 月	臨床実習(第5クール)					11/4 月	振替休日(文化の日)					2/3 月	臨床実習(第11クール)				
5/7 火																							
5/8 水																							
5/9 木																							
5/10 金																							
5/13 月	臨床実習(第2クール)					8/12 月	振替休日(山の日)					11/11 月	臨床実習(第8クール)					2/10 月	臨床実習(第11クール) 建国記念の日				
5/14 火																							
5/15 水																							
5/16 木																							
5/17 金																							
5/20 月	臨床実習(第2クール)					8/19 月	臨床実習(第5クール)					11/18 月	臨床実習(第8クール)					2/17 月	臨床実習(第11クール)				
5/21 火																							
5/22 水																							
5/23 木																							
5/24 金																							
5/27 月	臨床実習(第2クール)					8/26 月	臨床実習(第5クール)					11/25 月	臨床実習(第9クール)					2/24 月	振替休日(天皇誕生日)				
5/28 火																							
5/29 水																							
5/30 木																							
5/31 金																							
6/3 月	臨床実習(第2クール)					9/2 月	臨床実習(第6クール)					12/2 月	臨床実習(第9クール)					3/2 月	臨床実習(第12クール)				
6/4 火																							
6/5 水																							
6/6 木																							
6/7 金																							
6/10 月	臨床実習(第3クール)					9/9 月	臨床実習(第6クール)					12/9 月	臨床実習(第9クール)					3/9 月	臨床実習(第12クール)				
6/11 火																							
6/12 水																							
6/13 木																							
6/14 金																							
6/17 月	臨床実習(第3クール)					9/16 月	敬老の日					12/16 月	臨床実習(第9クール)					3/16 月	臨床実習(第12クール)				
6/18 火																							
6/19 水																							
6/20 木																							
6/21 金																							
6/24 月	臨床実習(第3クール)					9/23 月	秋分の日					12/23 月	冬季休業					3/23 月	臨床実習(第12クール)				
6/25 火																							
6/26 水																							
6/27 木																							
6/28 金																							

2019(平成31)年度 授業時間割 第6学年

日付	9:00~10:20	10:30~11:50	12:50~14:10	14:20~15:40	15:50~17:10	日付	9:00~10:20	10:30~11:50	12:50~14:10	14:20~15:40	15:50~17:10	日付	9:00~10:20	10:30~11:50	12:50~14:10	14:20~15:40	15:50~17:10	日付	9:00~10:20	10:30~11:50	12:50~14:10	14:20~15:40	15:50~17:10
4/1 月	臨時休業					6/24 月	包括医療統合教育講義 (期間中2日間程度講義が入る予定)					9/16 月	敬老の日 臨床実習(第23クール)					1/6 月	冬季休業:12月9日(月)~1月4日(金)				
4/2 火																							
4/3 水																							
4/4 木																							
4/5 金																							
4/8 月	臨床実習(第13クール)					7/1 月	包括医療統合教育セッション					9/23 月	秋分の日 臨床実習(第23クール)					1/7 火	臨時休業				
4/9 火																							
4/10 水																							
4/11 木																							
4/12 金																							
4/15 月	臨床実習(第13クール)					7/8 月	臨床実習(第18クール)					9/30 月	臨時休業					1/13 月	成人の日				
4/16 火																							
4/17 水																							
4/18 木																							
4/19 金																							
4/22 月	臨床実習(第14クール)					7/15 月	海の日 臨床実習(第18クール)					10/7 月	卒業試験1W					1/20 月	臨時休業				
4/23 火																							
4/24 水																							
4/25 木																							
4/26 金																							
4/29 月	昭和の日 退位の日 即位の日 祝日 憲法記念日					7/22 月	臨床実習(第19クール)					10/14 月	お茶の水祭:10月12日(土)~10月13日(日)予定 体育の日 卒業試験2W					1/27 月	臨時休業				
4/30 火																							
5/1 水																							
5/2 木																							
5/3 金																							
5/6 月	振替休日(こどもの日) 臨床実習(第14クール)					7/29 月	臨床実習(第19クール)					10/21 月	卒業試験3W 祝日(即位礼正殿の儀) 卒業試験3W CSA試験:10月26日(土)(予定)					2/3 月	臨時休業				
5/7 火																							
5/8 水																							
5/9 木																							
5/10 金																							
5/13 月	臨床実習(第15クール)					8/5 月	臨床実習(第20クール)					10/28 月	臨時休業					2/10 月	臨時休業 建国記念日 臨時休業				
5/14 火																							
5/15 水																							
5/16 木																							
5/17 金																							
5/20 月	臨床実習(第15クール)					8/12 月	振替休日(山の日) 臨床実習(第20クール)					11/4 月	振替休日(文化の日) 再試験1W					2/17 月	臨時休業				
5/21 火																							
5/22 水																							
5/23 木																							
5/24 金																							
5/27 月	臨床実習(第16クール)					8/19 月	臨床実習(第21クール)					11/11 月	再試験2W					2/24 月	振替休日(天皇誕生日) 臨時休業				
5/28 火																							
5/29 水																							
5/30 木																							
5/31 金																							
6/3 月	臨床実習(第16クール)					8/26 月	臨床実習(第21クール)					11/18 月	再試験3W					3/2 月	臨時休業				
6/4 火																							
6/5 水																							
6/6 木																							
6/7 金																							
6/10 月	臨床実習(第17クール)					9/2 月	臨床実習(第22クール)					11/25 月	臨時休業										
6/11 火																							
6/12 水																							
6/13 木																							
6/14 金																							
6/17 月	臨床実習(第17クール)					9/9 月	臨床実習(第22クール)					12/2 月	臨時休業										
6/18 火																							
6/19 水																							
6/20 木																							
6/21 金																							

第 1 学年

時間割番号	011001						
科目名	医学導入						
担当教員	田中 雄二郎, 秋田 恵一, 高田 和生, 中川 美奈, 岡田 英理子, 山口 久美子, JANELLE RENEE MORO SS						
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	6.5		
英文名: Medical Introductory Course							
主な講義場所							
MD タワー2 階 共用講義室 1・2							
MD タワー4 階 アクティブラーニング教室							
授業の目的、概要等							
専門教育の礎をつくる(教育理念、課程への理解、個々の学習目標と学習方法の探索、および自律性の涵養) 以下の A)~E) の項目に分け、到達目標等を記す。							
授業の到達目標							
A) 医学—過去、現在、未来 医学の発展の歴史を学び、医学の様々な分野でフロンティアを切り開く創造能力を養う。社会における医師の役割(過去、現在および今後の様々な形)、中核病院医療、地域医療、研究、先進医療、医療行政、新しい医療技術など社会貢献の形を説明でき、将来のキャリアビジョンを描き始める。							
B) 症候学導入 これから学習する基礎医学・臨床医学において、臨床症状からの視点を備えるため、主要な症候と疾患を学ぶ。							
C) 世界の医療 国際医療について学び、国際人としての意識、そして広い視野を習得する。							
D) 議論の技法 自ら問題を提起し、解決に向けてチームメンバーと協力し、効果的に取り組むことができる。							
E) 医療の現場 シャドウイングを通して医療の現場を体験し、社会における医療従事者の役割を説明できる。医師というプロフェッションに必要な態度を習得するための基盤を形成する。							
文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成 28 年度改訂版) http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm							
A-1-1)①							
A-2-1)①②③④⑤							
A-2-2)①②③							
A-4-1)①②③							
A-4-2)⑥⑦							
A-5-1)①							
A-6-3)①							
A-7-1)①③							
A-7-2)③④							
A-8-1)①							
A-9-1)①④							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/1	09:00-10:20	アクティブラーニング教室	総論	履修説明	田中 雄二郎	講義、課題提出
2	10/1	10:30-11:50	アクティブラーニング教室	世界の医療/CEATEC	オリエンテーション	高田 和生 長堀 正和 J	講義、グループワーク、課題提出

			ング教室			ANELLE R ENEE MO ROSS	
3-4	10/1	12:50-15:40	6階学生 実習室	世界の医療	卒前留学の意義	高田 和生	講義、グループ ワーク、課題提出
5	10/8	09:00-10:20	アクティ ブラーニ ング教室	医療の現場	実習オリエンテーション	中川 美奈 川崎 つま子	講義、課題提出
6	10/8	10:30-11:50	アクティ ブラーニ ング教室	医学-過去・現在・未来	未来の医療(仮)	加藤 浩晃	講義、課題提出
7	10/8	12:50-14:10	アクティ ブラーニ ング教室	医学-過去・現在・未来	人工知能(AI)とプレジジョンメディ スン、未来医療について	東條有伸	講義、課題提出
8	10/8	14:20-15:40	アクティ ブラーニ ング教室	医学-過去・現在・未来	CEATEC-JAPANオリエンテーショ ン	長堀 正和	講義、グループ ワーク、課題提出
9-12	10/15	09:00-15:40	その他	医学-過去・現在・未来	CEATEC-JAPAN-2019(幕張メッ セ)	田中 雄二郎 長堀 正和 岡田 英理子 山口 久美子	実習
13-15	10/29	09:00-14:10	症例検討 室	医療の現場	① (AM) CC 学生 shadowing / (PM) BLS ②臨床系教員 Shadowing ③看護師 Shadowing ④患者 Shadowing 実習	中川 美奈 金子 英司 井津井 康浩 岡田 英理子 高橋 誠 本 藤 憲一、江 頭 隆一郎 加藤 渚	実習
16	10/29	14:20-15:40	アクティ ブラーニ ング教室	医療の現場	シャドーイング実習総括	中川 美奈	講義、グループ ワーク
17-19	11/5	09:00-14:10	症例検討 室	医療の現場	① (AM) CC 学生 shadowing / (PM) BLS ②臨床系教員 Shadowing ③看護師 Shadowing ④患者 Shadowing 実習	中川 美奈 金子 英司 井津井 康浩 岡田 英理子 高橋 誠 本 藤 憲一、江 頭 隆一郎 加藤 渚	実習
20	11/5	14:20-15:40	アクティ ブラーニ ング教室	医学-過去・現在・未来	CEATEC-JAPAN 総括	長堀 正和	学生発表、グル ープワーク
21-23	11/12	09:00-14:10	症例検討 室	医療の現場	① (AM) CC 学生 shadowing / (PM) BLS ②臨床系教員 Shadowing ③看護師 Shadowing ④患者 Shadowing 実習	中川 美奈 金子 英司 井津井 康浩 岡田 英理子 高橋 誠 本 藤 憲一、江	実習

						頭 隆一郎 加藤 渚	
24	11/12	14:20-15:40	アクティ ブラーニ ング教室	症候学導入	オリエンテーション	岡田 英理子	講義、グループ ワーク、課題提出
25-27	11/19	09:00-14:10	症例検討 室	医療の現場	① (AM) CC 学生 shadowing / (PM) BLS ②臨床系教員 Shadowing ③看護師 Shadowing ④患者 Shadowing 実習	中川 美奈, 金子 英司, 井津井 康浩, 岡田 英理子, 高橋 誠 本 藤 憲一, 江 頭 隆一郎 加藤 渚	実習
28	11/19	14:20-15:40	アクティ ブラーニ ング教室	医療の現場	シャドーイング実習総括	中川 美奈	講義、グループ ワーク、課題提出
29-30	11/26	09:00-11:50	6 階学生 実習室	症候学導入	症候学導入① 胸痛	金子 英司	講義、グループ ワーク、課題提出
31	11/26	12:50-14:10	その他 (医学科)	世界の医療	グループ英語討論①	高田 和生 J ANELLE R ENEE MO ROSS	グループワーク
32	11/26	14:20-15:40	アクティ ブラーニ ング教室	医学-過去・現在・未来	未来医療を変えるクリエイティブ研 究 -Future of Healthcare2020-	武部 貴則	講義、課題提出
33	12/3	09:00-10:20	共用講義 室 2	世界の医療	国際医療①講義:ワクチン	貫井 陽子	講義
34	12/3	10:30-11:50	共用講義 室 2	世界の医療	国際医療①TBL	貫井 陽子, 中川 美奈	TBL
35	12/3	12:50-14:10	その他 (医学科)	世界の医療	グループ英語討論②	高田 和生 J ANELLE R ENEE MO ROSS	グループワーク
36	12/3	14:20-15:40	アクティ ブラーニ ング教室	医学-過去・現在・未来	近代医学前史	佐藤 達夫	講義、課題提出
37-38	12/10	09:00-11:50	6 階学生 実習室	症候学導入	症候学導入② 腰痛	高橋 誠	講義、グループ ワーク、課題提出
39	12/10	12:50-14:10	その他 (医学科)	世界の医療	グループ英語討論③	高田 和生 J ANELLE R ENEE MO ROSS	グループワーク
40	12/10	14:20-15:40	その他 (医学科)	医学-過去・現在・未来	Personalized medicine	池田 貞勝	講義、課題提出
41	12/17	09:00-10:20	共用講義 室 2	世界の医療	国際医療②講義: 地域間の健康 格差とその是正	藤原 武男	講義
42	12/17	10:30-11:50	共用講義 室 2	世界の医療	国際医療②TBL	藤原 武男, 山口 久美子	TBL
43	12/17	12:50-14:10	その他	世界の医療	グループ英語討論④	高田 和生 J	グループワーク

			(医学科)			ANELLE R ENEE MO ROSS	
44	12/17	14:20-15:40	アクティ ブラーニ ング教室	医学-過去・現在・未来	プライマリケア	竹村 洋典	講義、課題提出
45-46	1/7	09:00-11:50	6階学生 実習室	症候学導入	症候学導入③ 腹痛	井津井 康浩	講義、グループ ワーク、課題提出
47	1/7	12:50-14:10	その他 (医学科)	世界の医療	グループ英語討論⑤	高田 和生 J ANELLE R ENEE MO ROSS	グループワーク
48	1/7	14:20-15:40	アクティ ブラーニ ング教室	医学-過去・現在・未来	災害医療	越智 小枝	講義、課題提出
49	1/14	09:00-10:20	アクティ ブラーニ ング教室	医学-過去・現在・未来	厚生労働省医系技官という道～国 民の健康を制度で支える～	岡田 就将	講義、課題提出
50	1/14	10:30-11:50	アクティ ブラーニ ング教室	医学-過去・現在・未来	ロボット手術	絹笠 祐介	講義、課題提出
51	1/14	12:50-14:10	その他 (医学科)	世界の医療	グループ英語討論⑥	高田 和生 J ANELLE R ENEE MO ROSS	グループワーク
52	1/14	14:20-15:40	アクティ ブラーニ ング教室	医学-過去・現在・未来	「技術革新の大波がもたらす、医 療・ヘルスケアの新時代 ー転換 期の中で押さえるべきエッセンス とは?ー」	宮田裕章	講義、課題提出
53	1/21	09:00-10:20	アクティ ブラーニ ング教室	医学-過去・現在・未来	研究と臨床を行う	横田 隆徳	講義、課題提出
54	1/21	10:30-11:50	アクティ ブラーニ ング教室	医学-過去・現在・未来	～君たちに伝えたい3つのこと: 医学部卒業後の進路は二つあ る!??～	中山 敬一	講義、課題提出
55-56	1/21	12:50-15:40	アクティ ブラーニ ング教室	症候学導入	症候学導入④ 頭痛	沼沢 祥行	講義、グループ ワーク、課題提出
57-58	1/28	09:00-11:50	6階学生 実習室	症候学導入	症候学導入⑤ 咳	角 勇樹	講義、グループ ワーク、課題提出
59	1/28	12:50-14:10	アクティ ブラーニ ング教室	医学-過去・現在・未来	ビッグデータ	稲澤 譲治	講義、課題提出
60	1/28	14:20-15:40	アクティ ブラーニ ング教室	議論の技法	オリエンテーション	秋田 恵一	講義、課題提出
61-62	2/4	09:00-11:50	6階学生 実習室	議論の技法	PBL①	秋田 恵一	PBL
63	2/4	12:50-14:10	アクティ	総論	メンタルヘルスケア	平井 伸英	講義、課題提出

			ブラーニング教室				
64	2/4	14:20-15:40	アクティ ブラーニング教室	医学-過去・現在・未来	海外で臨床を行う	重光 秀信	講義、課題提出
65-66	2/18	09:00-11:50	6階学生 実習室	議論の技法	PBL②	秋田 恵一	PBL
67	2/18	12:50-14:10	アクティ ブラーニング教室	総論	研究者養成コースの説明／解剖 実習オリエンテーション	秋田 恵一、 藤原 武男、 山口 久美子	講義、課題提出
68	2/18	14:20-15:40	情報検索 室	総論	総括/卒業時の獲得資質について	田中 雄二郎 岡田 英理子	講義、課題提出

授業方法

- A) 医学-過去、現在、未来
講演、グループ討論、プレゼンテーション
- B) 症候学導入
講演、グループ討論、自己学習とプレゼンテーション
- C) 世界の医療
グループ英語討論、講義、チーム基盤型学習(TBL)
- D) 議論の技法
グループ討論、自己学習とプレゼンテーション、問題基盤型学習(PBL)
- E) 医療の現場
シャドウイング

授業内容

- A) 医学-過去、現在、未来
講演(近代医学前史、現代の医療を作り上げた研究、地域中核病院勤務医、アカデミックドクター(基礎、臨床)、医療行政従事者)、グループ発表(新しい医療技術について)
- B) 症候学導入
与えられた課題に対し自己学習し小グループにて情報共有する、プレゼンテーション
- C) 世界の医療
講演(国際医療従事者)
国際人としての視野を高めるために認識しておくべきトピックにつき、英語記事を基に小グループで英語議論を行い、問題提起および考察を行う。その後当該領域を専門とする教員による日本語講義を行う。学習内容につきチーム基盤型学習形式にて翌週復習・応用を行う
- D) 議論の技法
小グループにて自己問題提起／議論を行う
問題基盤型学習(Problem-based learning: PBL)を行う
- E) 医療の現場
実習(シャドウイング;教員、第5学年学生の臨床実習、患者、看護師、シミュレーション/救急蘇生実習)

成績評価の方法

- A) 医学-過去、現在、未来
提出課題、参加態度
- B) 症候学導入
提出課題、参加態度、テスト
- C) 世界の医療
チーム基盤型学習、提出課題、参加態度、ピア評価
- D) 議論の技法
提出課題、参加態度、ピア評価
- E) 医療の現場

提出課題、参加態度
<p>準備学習などについての具体的な指示</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国際医療のチーム基盤型学習は、前の週の学習項目の内容を問う試験を含む。復習をして参加することが求められる。 ○ 英語討論では、WebClass 上に提示された教材を予習してくることが前提となる。予習内容を基に議論が行われるので、グループワークを行う上で予習・関連領域の自己学習が求められる。 ○ 症候学導入は与えられた課題に対して教科書等を用いて事前に自己学習することが求められる。講義の前の週に予習内容をまとめたスライドの提出が必要になる。
<p>試験の受験資格</p> <p>講義全体の 2/3、実習全体の 3/4 の出席が単位履修のための要件となる。</p>
<p>教科書</p> <p>内科学 = ASAKURA Internal Medicine / 矢崎義雄 総編集 伊藤貞嘉, 伊藤裕, 岩本愛吉, 岡芳知, 金倉譲, 工藤正俊, 島本和明, 菅野健太郎, 須永眞司, 永井良三, 長谷川好規, 永澤英洋, 山本一彦 編集: 朝倉書店, 2017</p> <p>標準生理学 / 小澤澗司, 福田康一郎 監修 本間研一, 大森治紀, 大橋俊夫, 河合康明, 黒澤美枝子, 鯉淵典之, 伊佐正 編集 小澤, 澗司, 福田, 康一郎, 本間, 研一, 1946-, 大森, 治紀, 1950-, 大橋, 俊夫, 1949-, : 医学書院, 2014</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Harrison's Principles of Internal Medicine 20th Edition (McGraw-Hill iPad 版) ・ Gray's Anatomy for Students (3 版 Churchill Livingstone 2014 年) <p>・病気がみえるシリーズ (MEDIC MEDIA)</p> <p>病気がみえる vol.1 消化器 第 5 版 2016 年 3 月発行</p> <p>病気がみえる vol.2 循環器 第 4 版 2017 年 3 月発行</p> <p>病気がみえる vol.3 糖尿病・代謝・内分泌 第 4 版 2014 年 3 月発行</p> <p>病気がみえる vol.4 呼吸器 第 2 版 2013 年 3 月発行、第 3 版 2018 年 12 月発行予定</p> <p>病気がみえる vol.5 血液 第 2 版 2017 年 3 月発行</p> <p>病気がみえる vol.6 免疫・膠原病・感染症 第 2 版 2018 年 9 月発行</p> <p>病気がみえる vol.7 脳・神経 第 2 版 2017 年 11 月発行</p> <p>病気がみえる vol.8 腎・泌尿器 第 2 版 2014 年 9 月発行</p> <p>病気がみえる vol.9 婦人科・乳腺外科 第 4 版 2018 年 10 月発行</p> <p>病気がみえる vol.10 産科 第 4 版 2018 年 10 月発行</p> <p>病気がみえる vol.11 運動器・整形外科 第 1 版 2017 年 7 月発行</p>
<p>参考書</p> <p>君はどんな医師になりたいのか : 「主治医」を目指して / 川越正平 [ほか] 著 : 医学書院, 2002</p> <p>知的生活の方法 / 渡部昇一 / 著 : 講談社, 1984</p> <p>科学者という仕事 : 独創性はどのように生まれるか / 酒井邦嘉 著 : 中央公論新社, 2006</p> <p>死ぬ瞬間 死とその過程について / エリザベス・キューブラー・ロス 著 鈴木晶 訳 : 浜松市立中央図書館, 2001</p> <p>なぜ、国際教養大学で人材は育つのか / 中嶋嶺雄 著 : 祥伝社, 2010</p> <p>健康・老化・寿命 : 人といのちの文化誌 / 黒木登志夫 著 : 中央公論新社, 2007</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>すべてを通して一つの単位認定とする。単位未取得者は第 2 学年への進級を認められず、コース全体を再履修することが求められる。</p>

第2学年

時間割番号	011002				
科目名	人体構造総論				
担当教員					
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	1.5

英文名 : Introduction to Human Body

授業の目的、概要等

人体構造総論は、人体発生学の総論・各論ならびに人体解剖学の総論が含まれる。

人体発生学総論は、生殖子の形成から出生に至る過程を概説する。人体発生学各論は、器官系それぞれの発生について概説するとともに、人体解剖学の学習のための考え方や構造の配置の必然性についての学習を行う。

ここで扱うことは、発生過程を理解するというのみならず、先天異常の理解や機能について学ぶうえで重要な基本となる。また、人体の複雑な構造は単純な発生プロセスの多数の組み合わせによるものであり、この発生プロセスを理解しておくことで、解剖学的構造の位置関係を考える助けとなり、「解剖学は暗記である」ということからの呪縛を解くことができる。したがって、人体解剖学の講義は、人体構造総論の内容を踏まえたくで行われるので、ここで十分に理解していただくことが求められる。

人体発生学、人体解剖学は非常に古い学問である。そのため、時として人名のついた用語が現れることがある。国際的通用性の高い有名な用語については紹介するので、慣れ親しんでいただきたい。

授業の到達目標

ここで示される到達目標は、あくまでも試験に合格するレベルである。重要度については、授業で直接的に示すものばかりではなく、様々なことに応用しうる原理かどうかを考慮して、優先順位をつけることが重要である。

この科目は、基本的な発生過程やそのタイミングを、人体解剖学と関連付けながら理解することが求められる。また、臨床的に重要な事項との関連を踏まえながら理解することも求められる。さらに、基本的な発生生物学の基本概念は、他の多くの科目と様々に関わるので、理解することが求められる。

教科書「ウォルパート 発生生物学 第4版」の第1章「発生生物学の歴史と基本概念」で示される基本的な概念は理解していることが求められる。巻末の「用語解説」のうち、重要なものについて概ね理解していることが求められる。

教科書「ラングマン 人体発生学 第11版」の太字となっている用語については概ね理解していることが求められる。また、本書の図については、解剖学を理解するうえで、非常に助けになるので、理解し、説明できることが必要である。ただし、分子的制御とシグナル伝達については、講義でとくに強調して触れたところ以外は、「人体構造総論」の科目における到達目標とはしないが、自習することが望ましい。『臨床関連事項』については、正常発生を理解するための助けとなり、将来、臨床科目を理解する基礎となるので、太字の用語について簡単に説明できることが必要である。

また、エルゼビアの eReview に出ている人体発生学の問題についても、予習しておくことが求められる。予習は基礎レベルについて行うので十分であるが、授業後には、発展レベル、症例レベル、応用レベルについても学習することが望ましい。

学習するにあたっては、教科書「ラングマン 人体発生学 第11版」の各章末にある要約にまず目を通し、内容を簡単に把握した後に詳細を理解することが求められる。また、章末の問題については解答例を覚えるのではなく、グループ(任意)で相談し合うなどして、用語を適切に使用し、重要な点を文章に簡潔にまとめられることが求められる。

教科書「グレイ解剖学 第3版」の第1章ならびに第2～8章の「概観」は、人体発生学を理解する上で、また人体解剖学を理解するための基礎として重要であるので、事前に学習しておくことが求められる。

解剖学用語ならびに人体発生学用語については、人体解剖学実習で日本語と英語の解剖学用語の試験があるので、「人体構造総論」では基本的には日本語の用語で理解していただくことが求められるが、頻出するような用語や、様々なところで重要となる用語、人の名前をついた疾患名などは、英語または原語で理解することが求められる。

文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成 28 年度改訂版)

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm

- C-2-2)-(2)①
 C-2-4)①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
 D-4-1)①②③④⑤⑥⑦
 D-5-1)①⑤⑥⑦⑧⑨
 D-6-1)①②③④
 D-7-1)①②③⑥
 D-8-1)②
 D-9-1)③⑤⑦
 D-11-1)①
 D-12-1)②

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/5	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	人体の構造総論:方 向・位置の用語、人体 の基本構成、脊索動 物と脊椎動物	『グレイ解剖学 P2~4』	秋田 恵一	アクティブラー ニング(AL)の 種類:演習・リア クションペーパ ー
2	4/5	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	人体発生学総論:人 体の発生、発生の概 念、発生の調節機 構、四肢の軸	『ラングマン 人体発生学 はじ めに、第1章』 『ウォルパ ート 発生生物学 第1章』	秋田 恵一	ALの種類:演 習・リアクション ペーパー
3	4/9	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	人体発生学総論:細 胞分裂・生殖細胞生 成・卵巣周期と排卵	『ラングマン 人体発生学 第 2,3,4,5章』	秋田 恵一	ALの種類:演 習・リアクション ペーパー
4	4/9	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	人体発生学総論:受 精、着床、二層性胚 盤、原腸形成、三層 性胚盤、脊索	『ラングマン 人体発生学 第 2,3,4,5章』	秋田 恵一	ALの種類:演 習・リアクション ペーパー
5	4/10	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	人体発生学総論:三 胚葉の運命、外胚葉 由来の構造	『ラングマン 人体発生学 第6 章』	山口 久美 子	ALの種類:演 習・リアクション ペーパー
6	4/10	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	人体発生学総論:中 胚葉由来の構造、内 胚葉由来の構造	『ラングマン 人体発生学 第6 章』	秋田 恵一	ALの種類:演 習・リアクション ペーパー
7	4/11	12:50-	医学科	人体発生学総論:栄	『ラングマン 人体発生学 第8	秋田 恵一	ALの種類:演

		14:10	講義室 1	養膜の発達、胎盤、 羊膜と臍帯、胎児期、 子宮外妊娠、双胎	章』		習・リアクション ペーパー
8	4/11	14:20- 15:40	医学科 講義室 1	神経系序論	『ラングマン 人体発生学 第 18章』『グレイ解剖学 P27 ~45』	秋田 恵一	ALの種類:演 習・リアクション ペーパー
9	4/12	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	骨総論、骨の発生、 関節総論	『ラングマン 人体発生学 第 10章(P151、160~163)』『グ レイ解剖学 P12~20、48~ 57、451~462、571~583』	秋田 恵一	ALの種類:演 習・リアクション ペーパー
10	4/12	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	四肢の発生	『ラングマン 人体発生学 第 10章』	原田 理代	ALの種類:演 習・リアクション ペーパー
11	4/15	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	人体発生学各論:筋 総論と発生(皮膚と 筋膜、筋組織)	『ラングマン 人体発生学 第 11章』『グレイ解剖学 P21 ~22』	秋田 恵一	ALの種類:演 習・リアクション ペーパー
12	4/15	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	人体発生学各論:呼 吸器系、体腔・膜系	『ラングマン 人体発生学 第 7、14章』『グレイ解剖学 P108~118』	秋田 恵一	ALの種類:演 習・リアクション ペーパー
13	4/16	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	人体発生学各論:循 環器系①:心臓総論、 心房の発生(心臓血 管系、リンパ系)	『ラングマン 人体発生学 第 13章(~P209)』『グレイ解剖 学 P23~26』	秋田 恵一	ALの種類:演 習・リアクション ペーパー
14	4/16	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	人体発生学各論:循 環器系②:心臓の中 隔、肺動脈と大動脈、 心臓の弁、先天性心 疾患、冠状動静脈	『ラングマン 人体発生学 第 13章(~P209)』『グレイ解剖 学 P23~26』	秋田 恵一	ALの種類:演 習・リアクション ペーパー
15	4/17	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	人体発生学各論:循 環器系③:脈管の発 生、動脈系の発生、 静脈系の発生、胎児 循環と生後循環、リン パ系	『ラングマン 人体発生学 第 13章(P209~)』『グレイ解剖 学 P23~26』	秋田 恵一	ALの種類:演 習・リアクション ペーパー
16	4/17	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	人体発生学各論:消 化器系①:消化器系 発生総論、前腸、中 腸、後腸	『ラングマン 人体発生学 第 15章(P233~244、P247~ 257)』『グレイ解剖学 P217 ~234』	秋田 恵一	ALの種類:演 習・リアクション ペーパー
17	4/18	12:50- 14:10	医学科 講義室	人体発生学各論:消 化器系②:肝臓、膵臓	解剖学用語試験 1:1~22、35 ~39 『ラングマン 人体発	秋田 恵一、 山口 久美	ALの種類:演 習・リアクション

			1, 情報 検索室		生学 第 15 章(P244~247)』 『グレイ解剖学 P217~234』	子, 那須 久 代	ペーパー
18	4/18	14:20- 15:40	医学科 講義室 1	人体発生学各論:泌 尿生殖器系:泌尿器 系総論、泌尿器系、 副腎、生殖器系	『ラングマン 人体発生学 第 16 章』 『グレイ解剖学 P356 ~369』	秋田 恵一	AL の種類:演 習・リアクション ペーパー
19	4/19	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	人体発生学各論:頭 頸部①:頭蓋骨とその 形成、鰓、頭部の筋・ 神経の発生の基本	『ラングマン 人体発生学 第 10 章(P151~160) 第 17 章 (P287~302)』 『グレイ解剖 学 P356~302』	秋田 恵一	AL の種類:演 習・リアクション ペーパー
20	4/19	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	人体発生学各論:頭 頸部②:咽頭弓(鰓 弓)、咽頭溝、咽頭 嚢、舌の発生、甲状 腺・唾液腺の発生、顔 面の発生	『ラングマン 人体発生学 第 17 章(P287~302)』	秋田 恵一	AL の種類:演 習・リアクション ペーパー
21	4/22	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	人体発生学各論:頭 頸部③:口蓋の発生、 副鼻腔の発生、頭頸 部の先天異常	『ラングマン 人体発生学 第 17 章(P303~P314)』	秋田 恵一	AL の種類:演 習・リアクション ペーパー
22	4/23	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	人体発生学各論:感 覚器系:視覚器、平衡 聴覚器、嗅覚器、皮 膚	『ラングマン 人体発生学 第 19、20、21 章』	秋田 恵一	AL の種類:演 習・リアクション ペーパー
23	4/24	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	人体発生学総論:先 天異常	『ラングマン 人体発生学 第 9 章』	秋田 恵一	AL の種類:演 習・リアクション ペーパー
24	4/26	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	解剖学について、スケ ッチの仕方		秋田 恵一	AL の種類:演 習・リアクション ペーパー
25	5/8	10:30- 11:50	医学科 講義室 1		試験	秋田 恵一	

授業方法

授業は以下のように行う。

- 1) 授業には、授業明細に示された範囲について事前に予習をしてから臨むことが必要である。
- 2) 授業中の小テスト: 授業明細に示された予習範囲についての簡単な選択式の小テストを行う。授業中に、クリッカー(ARS: Audience Response System)、スマートフォン、マークシートなど何らかの形で小テストを行う。なお、小テストの範囲は、それまで終了している授業の内容が含まれる。
- 3) 講義: 講義は、各回の中で重要なこと、発展的なことを中心に行う。基本的なことで、教科書を見れば簡単にわかるような

ことは自習に任せる。講義の資料については、講義前に PDF を Webclass にあげておくので活用してほしい。講義内で小テストの解答は示される。講義はすべてビデオ収録するので、大学のサーバーにアクセスすることにより繰り返し視聴できる。

4)リアクションペーパー:講義開始時に配布する紙に、自由記述してもらい、授業終了後に回収する。講義内容についての質問や疑問、感想、または直接関係ないかもしれないものでもよい。記述内容について、答えられるものについては、次の授業の時に回答する。優れた質問が講義内容を深める助けとなる。また、講義や教科書等の誤りの指摘が授業の質を高めることに繋がるので、できるだけ活用してほしい。この紙は、講義の質向上にむけての非常に重要な情報となるため、回答がない場合も、学籍番号と氏名を記入の上、提出すること。

5)4月26日の授業では、図を描く実習をするので、鉛筆と消しゴムのほか赤・青・黄・緑・紫等の色鉛筆が必要である。必ず講義室に持参すること。

授業内容

授業スケジュール参照

成績評価の方法

次の3つの項目で評価を行う。なお、学習済みと考えられる領域における重要事項については、英単語が含まれることや、英文による問題もありうる。

- 1)授業中の小テスト:40%:各コマで行われる小テストの結果の合計による。
- 2)描画ならびに塗り絵:5%:人体構造総論の試験開始時を締切とする。締切を過ぎた場合には未提出とする。
- 3)記述試験(5月8日):55%:授業全般のうち、重要事項について、簡潔に文章にまとめて説明するという記述式で行われる。ただし、全体の2割ほどの配点で、多肢選択式の問題が含まれる。試験は、授業中に示した症例またはそれと同レベル程度のものを理解し、説明できることが必要となる。eReviewの問題についても、学習されているものとして、試験の中に一部含まれる。ただし、そのままの形で出題されるのではない。

成績評価の基準

上記の成績評価の方法に示す各項目の成績の合計により評価を行う。小テスト、試験問題は、授業の到達目標に達しているかを評価し、そのことが確認されたところで合格とする。それを上回る場合には加点される。

提出物は、締切が守られかつ授業中に示す基準を守っているかどうかが基準となる。

なお、合格した場合、リアクションペーパーでの、重要な質問や、誤りの指摘などがあつた場合には、最終評価において加点されることがある。

準備学習などについての具体的な指示

高校での生物学の履修の有無を考慮にいれないのかという声がしばしば聞かれるが、教養部での1年間に基本的な生物学的な事項は履修しているので、差は埋められているはずである。高校での生物学履修の有無については人体構造総論の履修に際しては一切考慮しない。

細かな内容を覚えることが重要なわけではない。発生学はストーリーで理解することが必要である。重要なことを見極められているかについては、グループで意見交換するなど、誰かに伝えることで、判断できる他の科目と関連することが多いので、重要なこととなる。それらについては講義で折に触れて述べていくので、とくにそのあたりを意識して理解していただきたい。

到達目標や授業明細の中に具体的に示されている項目について、準備してから授業にのぞむことが求められる。

エルゼビアの eReview に出ている人体発生学の問題についても、予習しておくことが求められる。予習は基礎レベルについて行うので十分であるが、授業後には、発展レベル、症例レベル、応用レベルについても学習することが望ましい。

教科書

ラングマン人体発生学/T.W.サドラー 著,安田峯生,山田重人 訳:メディカル・サイエンス・インターナショナル,2016

ウォルパート発生生物学／ルイス・ウォルパート, シェリル・ティックル 著, 武田洋幸, 田村宏治 監訳, Wolpert, Lewis, 1929-, Tickle, Cheryl, 武田, 洋幸, 1958-, 田村, 宏治, : メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2012

グレイ解剖学／Richard L. Drake, A. Wayne Vogl, Adam W. M. Mitchell 原著, 塩田浩平, 秋田恵一 監修・監訳, Drake, Richard Lee, 1950-, Vogl, Wayne, Mitchell, Adam W. M, 塩田, 浩平, 1946-, 秋田, 恵一, 1962-, : エルゼビア・ジャパン, 2016

他科目との関連

「人体構造総論」は、「人体解剖学」と密接な関係があるだけでなく、「組織学」や「神経解剖学」といった、他の解剖学の科目とも密接な関係にある。臨床的な事項との関連は、意識しないとなかなか気付かない。様々なところで関連を考えながら学んでいただきたい。

履修上の注意事項

講義中にスクリーンの撮影をすることを禁止する。ストリーミングで視聴することができるようにするので参照していただきたい。講義資料、ストリーミングなどは著作権の問題があるので、受講登録者以外に公開することを禁ずる。

備考

授業最終日(4月26日)から、科目についてのアンケートが webclass ができるようになっている。アンケートに回答しない場合は、定期試験の合否を含む成績が webclass に表示されない。

参照ホームページ

エルゼビア eReview ID を配布するので、十分に活用してほしい。

時間割番号	011003				
科目名	細胞生物学				
担当教員					
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	1

英文名 : Cell Biology

授業の目的、概要等

教養までの生物学であやふやな点がある者は細胞生物学のごく簡単な教科書でよいから、読んでおくとよい(特に方法)。後は授業の理解に努めること。

授業の到達目標

細胞生物学は細胞を単位として生命や病気を考えるというここ100年来の生物学の哲学を基にし、多様な研究方法を駆使する学問である。実際には1960年代に始まる電子顕微鏡で発見した細胞内の構造と生化学的な機能とをリンクさせる研究から始まっている。そうすると現代生物学の大部分は細胞生物学となり、すでに高校や教養でも或る程度習っていることになる。それらとの重複を避けて、少しだけ進んだ細胞生物学になるようにした。

細胞内小器官の構造と機能をやや進んだ観点から学習し、さらに細胞死、オートファジー、幹細胞、数理モデル化、器官形成、光遺伝学、等をそれぞれ専門の先生にお話いただく。最先端研究の成果もさることながら、それぞれの先生の問題へのアプローチの違い、ものみかたの違いのようなものを楽しんでほしい。

科目を履修することで、現代生物学、医学研究の基本が理解できるようになる。

文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成 28 年度改訂版)

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm

C-1-1)-(1)③④⑤⑥⑦

C-1-1)-(2)⑤

C-2-1)-(1)③④

C-2-1)-(2)①②③④

C-2-2)-(1)⑥

C-2-3)-(2)②③

C-2-4)①

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員
1	4/5	12:50- 14:10	医学科 講義室 1	分泌経路	中田 隆夫
2	4/5	14:20- 15:40	医学科 講義室 1	細胞骨格	稲葉 弘哲
3	4/8	12:50- 14:10	医学科 講義室	エンドサイトーシス	中田 隆夫

			1		
4	4/8	14:20- 15:40	医学科 講義室 1	ミトコンドリア	清水 重臣
5	4/9	12:50- 14:10	医学科 講義室 1	細胞周期と細胞老化	田中 敦
6	4/9	14:20- 15:40	医学科 講義室 1	オートファジー、細胞内分解系	水島 昇
7	4/10	12:50- 14:10	医学科 講義室 1	細胞死	清水 重臣
8	4/10	14:20- 15:40	医学科 講義室 1	細胞接着	畑 裕
9	4/12	12:50- 14:10	医学科 講義室 1	器官形成の遺伝学（モデル動物としての魚類）	仁科 博史
10	4/12	14:20- 15:40	医学科 講義室 1	細胞生物学研究の数理モデル化	中口 悦史
11	4/15	12:50- 14:10	医学科 講義室 1	光遺伝学	石井 智浩
12	4/15	14:20- 15:40	医学科 講義室 1	幹細胞	西村 栄美
13	5/7	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	細胞生物学試験	石井 智浩, 稲葉 弘哲

成績評価の方法

筆記試験によって評価する。

準備学習などについての具体的な指示

教養で学習した細胞生物学関連の内容について復習しておく。

教科書

Molecular Biology of the Cell, 6th Edition / B. Alberts 著: Garland Science, 2014

細胞の分子生物学 原著第6版 / Bruce Alberts, Alexander Johnson, Julian Lewis, David Morgan, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter 著, 中村桂子, 松原謙一 監訳: ニュートンプレス, 2017

ESSENTIAL CELL BIOLOGY, 5th Edition / B. Alberts 著: WW Norton & Co, 2018

Essential 細胞生物学 原著第 4 版／中村桂子, 松原謙一 監訳, Bruce Alberts, Dennis Bray, Karen Hopkin, Alexander Johnson, Julian Lewis, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter 著, : 南江堂, 2016

参考書

各講義で適宜紹介する。

時間割番号	011004					
科目名	神経生理導入					
担当教員						
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	1	
英文名: Introductory Neurophysiology						
主な講義場所						
別表のとおり。						
授業の目的、概要等						
<p>この科目は、平成 24 年度モジュール形式のカリキュラム導入に合わせて、2 年生最初のモジュールの授業科目として新たに編成された。従って、独立した授業科目ではあるが、科目の内容は、「神経科学」及び「生理学実習」と密接に関連している。具体的には膜輸送、細胞膜電位、イオンチャネルと受容体、興奮伝導、シナプス伝達など、神経生理学の基礎となる範囲を扱う。この科目で扱う範囲だけに合致した内容を記述するような書籍はないが、生理学・神経科学の教科書が参考書となる。授業では扱う内容の全体像を示すことを心がけるが、時間からしても制約がある。授業をきっかけとして、それ以上は学生が自ら学ぶことを身につけて欲しい。</p>						
授業の到達目標						
<p>神経生理学に関する科学的理論と方法論を説明できる。</p> <p>疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に必要な細胞・神経生理学の知識を提示できる。</p> <p>医学・歯学・健康に関して神経生理学的な問題提起ができる。</p> <p>神経生理学の専門用語(日本語・英語)の理解/表記/発音ができる。</p> <p>各授業参加者の人格を尊重し、敬意を払うことができる。</p> <p>授業の時間を厳守し、信頼性を示すことができる。</p> <p>自ら学習目標を設定し、学習活動に取り組むことができる。</p>						
<p>文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成 28 年度改訂版)</p> <p>http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm</p>						
C-2-1)-(2)③						
C-2-2)-(1)①④						
C-2-3)-(1)①②③						
C-2-3)-(2)①②③⑤						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/16	12:50- 14:10	医学科 講義室 1	序論および細胞膜 I	細胞内外の物理化学環境	杉原 泉
2	4/16	14:20- 15:40	医学科 講義室 1	細胞膜 II	静止膜電位と浸透圧	杉原 泉

3	4/17	12:50- 14:10	医学科 講義室 1	細胞膜Ⅲ	ポンプと運搬体(トランスポーター)、ナトリウムポンプの機能	杉原 泉
4	4/17	14:20- 15:40	医学科 講義室 1	イオンチャンネルと受容体Ⅰ	分類、電位依存性チャンネル	古川 哲史
5	4/19	12:50- 14:10	医学科 講義室 1	イオンチャンネルと受容体Ⅱ	チャンネル型受容体、GPCR、キナーゼ型受容体、核内受容体	古川 哲史
6	4/19	14:20- 15:40	医学科 講義室 1	神経の興奮と伝導Ⅰ	活動電位とその発生機構	伊澤 佳子
7	4/22	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	神経の興奮と伝導Ⅱ	活動電位の伝導	伊澤 佳子
8	5/13	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	神経の興奮と伝導Ⅲ	刺激作用	伊澤 佳子
9	5/13	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	細胞膜Ⅳ	各種分子の膜輸送機構	杉原 泉
10	5/20	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	シナプスⅠ	シナプスの基本構造と神経伝達物質	杉原 泉
11	5/20	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	シナプスⅡ	体性神経と自律神経のシナプス神経回路	杉原 泉
12	5/27	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	反射と神経回路	「生理学実習」に先立ち、脊髄反射と前庭反射に関する基本事項を解説する。	杉内 友理子
13	5/27	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	生体の神経生理学	生体の電気現象の記録、解析に必要な基本事項を理解する。	高橋 真有
14	6/3	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	神経細胞 構造と機能	神経組織の微細構造とその機能	中田 隆夫
15	6/10	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	シナプスⅢ	神経伝達物質の放出機構	神谷 温之
16	6/10	10:30-	医学科	シナプスⅣ	シナプス伝達の修飾と統合	神谷 温之

		11:50	講義室 1			
17	8/20	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	神経生理導入試験		杉原 泉

授業方法

主として、パソコンからの画像の提示と板書を併用した講義での授業を行う。配付資料を事前にアップロードする機会が多い(予習・復習にも利用してほしい)。教員からの質問等、インタラクティブな授業となる場合もある。一部で課題に関して学生に短い講義をしてもらうアクティブラーニングも取り入れている。

授業内容

別表のとおり。

成績評価の方法

試験は、記述式の問題を主とする。一部、英語による出題を行う。授業の参加状況は、講義室の出席管理システムによるが、もし、授業中に教員が別に参加状況を確認した場合には、そちらを優先する。

成績評価の基準

試験(ほとんど記述式)の評価を成績評価とするが、授業参加状況、授業態度に特記することがあれば、成績評価の 50% 以内で加味する。試験の記述問題に関しては、設問に関して適切なレベルの論述回答が得られているかどうかを評価する。

準備学習などについての具体的な指示

高等学校レベルおよび、本学教養レベルの、物理学(電磁気学、熱力学)、化学(物理化学、有機化学、無機化学)、生物学の復習をしておくこと。さらに、授業内容に相当することがらについて、下記参考書から予習して来ることを勧める。授業の配付資料がアップロードされた場合には、適切な方法で閲覧しておくことを勧める。

試験の受験資格

東京医科歯科大学試験規則に準ずる。

参考書

Guyton and Hall Textbook of Medical Physiology, 13th ed./John E. Hall:Elsevier, 2015

Ganong's Review of Medical Physiology, 25th ed./Kim E. Barrett:McGraw-Hill Education, 2016

Netter's Essential Physiology, 2nd ed./Mulroney & Myers:Elsevier, 2016

標準生理学/小澤澗司, 福田康一郎 監修,本間研一, 大森治紀, 大橋俊夫, 河合康明, 黒澤美枝子, 鯉淵典之, 伊佐正 編集.:医学書院, 2014

Cell Physiology Source Book, 4th Edition/Edna Kaneshiro (ed):Elsevier, 2011

Medical Physiology ボロン生理学 第3版/Boron, Walter:Elsevier, 2016

Human Physiology: From Cells to Systems, 9th Edition/Lauralee Sherwood:Cengage Learning, 2017

Ganong's Review of Medical Physiology 第23版(McGraw-Hill, 2009年)

(同翻訳)ギャング生理学 第23版(丸善, 2011年)

Guyton and Hall Textbook of Medical Physiology 第12版(Saunders, 2010年)

J. G. Nicholls et al., From Neuron to Brain, 5th ed. (Sinauer, 2012年).

ダニエルトリッチ ニューロンの生理学 御子柴監訳 京大出版会 2009

S. Fox, Human Physiology, 12th ed. (McGraw-Hill, 2010年).

他科目との関連

9 月からのモジュールの中の「神経科学」、特にその中の神経生理学に直接関連する。 7 月の「生理学実習」にも直接関連する。

履修上の注意事項

積極的な発言(質問等)を期待する。

参照ホームページ

<http://www.tmd.ac.jp/med/phy1/phy1.html>

時間割番号	011005				
科目名	生理学				
担当教員					
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	3
英文名 : Physiology and Cell Biology					
主な講義場所					
医学科講義室					
授業の目的、概要等					
医学・科学の理解に必要な基礎知識を幅広く身につけるとともに、物事を科学的に議論できる力を養う。					
授業の到達目標					
人体機能の特性とメカニズムを理解する上で必要な以下の能力を身につける。					
①医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる。					
②疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に必要な基礎医学知識を提示できる。					
③世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論でき、臨床的あるいは科学的問題提起ができる。					
④実習実験を実施して結果を得、それを口頭あるいは書面で明確に説明できる。					
⑤本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守し、基礎的および臨床的研究の倫理的事項に配慮して実習を行える。					
⑥文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる。					
⑦記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる。					
⑧科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる。					
⑨他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる。					
⑩時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる。					
⑪自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる。					
文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成 28 年度改訂版)					
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm					
C-1-1)-(2)②⑤					
C-2-1)-(1)①②③④					
C-2-1)-(2)③					
C-2-2)-(1)①②⑤					
C-2-3)-(1)①②③					
C-2-3)-(2)①②					
C-2-3)-(4)①②③④⑤					
C-2-5)①②③④⑤⑥⑧⑩⑬					
C-4-1)①⑥					
C-4-3)①⑥					
C-4-4)④					

授業方法

講義が主体であるが、一部の講義ではアクティブラーニング(討論、ディベートなど)を導入する。

授業内容

講義では、消化・吸収、心臓・循環、呼吸、筋肉、内分泌、腎臓生理、血液生理、代謝生理、動物モデルを中心に扱う。一部に順番が前後したり、重複したりする項目がある。したがって、教育カリキュラムに従うのみではなく、繰り返し自主的に学習して、断片的ではない体系化された基礎医学を各自構築されたい。

成績評価の方法

筆記試験にて評価する。

成績評価の基準

100 点満点で採点をし、60 点以上を合格とする。

準備学習などについての具体的な指示

事前に該当分野の予習をしておくことが望ましい。

教科書

標準生理学／小澤澗司，福田康一郎 監修，本間研一，大森治紀，大橋俊夫，河合康明，黒澤美枝子，鯉淵典之，伊佐正 編集，：医学書院，2014

ギャング生理学／岡田泰伸 監訳，Kim E.Barrett, Susan M.Barman, Scott Boitano, Heddwen L.Brooks [著]，：丸善出版，2014

ガイトン生理学／Arthur C.Guyton, John E.Hall 原著，御手洗玄洋 総監訳，小川徳雄，永坂鉄夫，伊藤嘉房，松井信夫，間野忠明 監訳，：エルゼビア・ジャパン，2010

新生理学：フルカラー新装版／竹内昭博 著，：日本医事新報社，2015

参考書

Ganong's review of medical physiology／Kim E. Barrett, Scott Boitano, Susan M. Barman, Heddwin L. Brooks, Michael Weitz and Brian Kearns, editors，：McGraw Hill Education，2016

Guyton and hall textbook of medical physiology／John E. Hall，：Elsevier，2016

各講義でも参考書を適宜紹介する。

時間割番号	011006		
科目名	生理学		
担当教員			
開講時期	前期	対象年次	2
英文名 : Physiology and Cell Biology			
主な講義場所			
医学科講義室			
授業の目的、概要等			
医学・科学の理解に必要な基礎知識を幅広く身につけるとともに、物事を科学的に議論できる力を養う。			
授業の到達目標			
人体機能の特性とメカニズムを理解する上で必要な以下の能力を身につける。			
①医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる。			
②疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に必要な基礎医学知識を提示できる。			
③世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論でき、臨床的あるいは科学的問題提起ができる。			
④実習実験を実施して結果を得、それを口頭あるいは書面で明確に説明できる。			
⑤本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守し、基礎的および臨床的研究の倫理的事項に配慮して実習を行える。			
⑥文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる。			
⑦記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる。			
⑧科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる。			
⑨他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる。			
⑩時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる。			
⑪自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる。			
文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成 28 年度改訂版)			
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm			
C-1-1)-(2)②⑤			
C-2-1)-(1)①②③④			
C-2-1)-(2)③			
C-2-2)-(1)①②⑤			
C-2-3)-(1)①②③			
C-2-3)-(2)①②			
C-2-3)-(4)①②③④⑤			
C-2-5)①②③④⑤⑥⑧⑩⑬			
C-4-1)①⑥			
C-4-3)①⑥			
C-4-4)④			

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員
1	5/10	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	生理学総論	礒村 宜和
2	5/14	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	内分泌(1)	礒村 宜和
3	5/15	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	内分泌(2)	礒村 宜和
4	5/17	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	循環(1)	吉田 雅幸
5	5/21	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	腎臓生理	蘇原 映誠
6	5/22	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	血液生理	金兼 弘和
7	5/24	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	内分泌(3)	礒村 宜和
8	5/28	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	筋収縮機構(1)	古川 哲史
9	5/29	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	筋収縮機構(2)	古川 哲史
10	5/31	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	循環(2)	吉田 雅幸
11	6/3	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	呼吸生理(1)	角 勇樹
12	6/4	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	呼吸生理(2)	角 勇樹

13	6/5	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	消化と吸収	礒村 宜和
14	6/7	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	消化管運動	古川 哲史
15	6/11	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	心臓(1)	古川 哲史
16	6/12	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	骨代謝	越智 広樹
17	6/14	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	心臓(2)	古川 哲史
18	6/17	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	生殖	礒村 宜和
19	6/19	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	代謝生理	山田 哲也
20	6/21	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	心臓(3)	古川 哲史
21	6/24	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	体温調節	礒村 宜和
22	6/24	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	臓器間ネットワーク	越智 広樹
23	6/25	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	脳と体	礒村 宜和
24	6/26	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	予備日(AL)	礒村 宜和
25	8/23	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	生理学試験	礒村 宜和

授業方法

講義が主体であるが、一部の講義ではアクティブラーニング(討論、ディベートなど)を導入する。

授業内容

講義では、消化・吸収、心臓・循環、呼吸、筋肉、内分泌、腎臓生理、血液生理、代謝生理、動物モデルを中心に扱う。一部に順番が前後したり、重複したりする項目がある。したがって、教育カリキュラムに従うのみではなく、繰り返し自主的に学習して、断片的ではない体系化された基礎医学を各自構築されたい。

成績評価の方法

筆記試験にて評価する。

成績評価の基準

100 点満点で採点をし、60 点以上を合格とする。

準備学習などについての具体的な指示

事前に該当分野の予習しておくことが望ましい。

教科書

標準生理学／小澤澗司, 福田康一郎 監修, 本間研一, 大森治紀, 大橋俊夫, 河合康明, 黒澤美枝子, 鯉淵典之, 伊佐正 編集, : 医学書院, 2014

ギャング生理学／岡田泰伸 監訳, Kim E.Barrett, Susan M.Barman, Scott Boitano, Heddwen L.Brooks [著], : 丸善出版, 2014

ガイトン生理学／Arthur C.Guyton, John E.Hall 原著, 御手洗玄洋 総監訳, 小川徳雄, 永坂鉄夫, 伊藤嘉房, 松井信夫, 間野忠明 監訳, : エルゼビア・ジャパン, 2010

新生理学 : フルカラー新装版／竹内昭博 著, : 日本医事新報社, 2015

参考書

Ganong's review of medical physiology／Kim E. Barrett, Scott Boitano, Susan M. Barman, Heddwin L. Brooks, Michael Weitz and Brian Kearns, editors, : McGraw Hill Education, 2016

Guyton and hall textbook of medical physiology／John E. Hall, : Elsevier, 2016

各講義でも参考書を適宜紹介する。

時間割番号	011007		
科目名	生理学実習		
担当教員			
開講時期	前期	対象年次	2
英文名 : Physiology and Cell Biology			
主な講義場所			
生理学実習室			
授業の目的、概要等			
講義で身につけた基礎知識を実験を通じて再確認するとともに、物事を科学的に議論できる力を養う。			
授業の到達目標			
人体機能の特性とメカニズムを理解する上で必要な以下の能力を身につける。			
①医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる。			
②疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に必要な基礎医学知識を提示できる。			
③世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論でき、臨牀的あるいは科学的問題提起ができる。			
④実習実験を実施して結果を得、それを口頭あるいは書面で明確に説明できる。			
⑤本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守し、基礎的および臨牀的研究の倫理的事項に配慮して実習を行える。			
⑥文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる。			
⑦記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる。			
⑧科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる。			
⑨他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる。			
⑩時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる。			
⑪自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる。			
<p>文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成 28 年度改訂版)</p> <p>http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm</p>			
C-1-1)-(2)②			
C-2-1)-(1)①②③④			
C-2-1)-(2)③			
C-2-2)-(1)①⑤			
C-2-3)-(1)①②③			
C-2-3)-(2)①②③④⑤			
C-2-5)①②⑤			
C-4-3)①⑥			
C-5-1)②			
授業計画			

回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員
1-3	8/23	12:50- 17:10	医学科 講義室 1	実習講義	杉原 泉, 杉 内 友理子, 佐藤 信吾, 伊澤 佳子, 高橋 真有, 磯村 宜和
4-6	8/26	12:50- 17:10	6 階学 生実習 室	実習(1)	杉原 泉, 杉 内 友理子, 佐藤 信吾, 伊澤 佳子, 高橋 真有, 磯村 宜和
7-9	8/27	12:50- 17:10	6 階学 生実習 室	実習(2)	杉原 泉, 杉 内 友理子, 佐藤 信吾, 伊澤 佳子, 高橋 真有, 磯村 宜和
10- 12	8/28	12:50- 17:10	6 階学 生実習 室	実習(3)	杉原 泉, 杉 内 友理子, 佐藤 信吾, 伊澤 佳子, 高橋 真有, 磯村 宜和
13- 15	8/29	12:50- 17:10	6 階学 生実習 室	実習(4)	杉原 泉, 杉 内 友理子, 佐藤 信吾, 伊澤 佳子, 高橋 真有, 磯村 宜和
16- 18	8/30	12:50- 17:10	6 階学 生実習 室	実習(5)	杉原 泉, 杉 内 友理子, 佐藤 信吾, 伊澤 佳子, 高橋 真有, 磯村 宜和
19- 21	9/2	12:50- 17:10	6 階学 生実習 室	実習(6)	杉原 泉, 杉 内 友理子, 佐藤 信吾,

					伊澤 佳子, 高橋 真有, 磯村 宜和
22- 24	9/3	12:50- 17:10	6 階学 生実習 室	実習(7)	杉原 泉, 杉 内 友理子, 佐藤 信吾, 伊澤 佳子, 高橋 真有, 磯村 宜和
25- 27	9/4	12:50- 17:10	医学科 講義室 1	実習のまとめ・小テスト	杉原 泉, 杉 内 友理子, 佐藤 信吾, 伊澤 佳子, 高橋 真有, 磯村 宜和

授業方法

- ・少人数グループ制。
- ・毎回、実習前に予習項目の確認を行う。
- ・実習を行い、得られた結果を理解する。
- ・討論・ディベートを通して、得られた結果を論理的に考察する。

授業内容

学生を7つのグループに分けて実習を行う。

各実習をシステム神経生理学もしくは細胞生理学の教員が担当する。

2017 年度の実習内容は以下の通り(2019 年度は一部変更の可能性あり)

1. 神経幹の活動電位
2. 神経筋接合部
3. a. ヒトにおける筋電図と脊髄反射、b. 眼球運動と前庭反射
4. 脳波および感覚刺激による誘発電位
5. a. ヒトの自律神経機能、b. 発声
6. 骨格筋の Mechanical Properties
7. 腸管における糖・アミノ酸の吸収

成績評価の方法

出席、実習態度、レポートにて評価する。

成績評価の基準

100 点満点で採点をし、60 点以上を合格とする。実習レポートに関しては、捏造や盗用が判明した場合は、即不合格とする。

準備学習などについての具体的な指示

予習項目を含めて十分に予習をしてから実習に参加すること。

教科書

標準生理学／小澤澗司, 福田康一郎 監修, 本間研一, 大森治紀, 大橋俊夫, 河合康明, 黒澤美枝子, 鯉淵典之, 伊佐正
編集, : 医学書院, 2014

ギャング生理学／岡田泰伸 監訳, Kim E.Barrett, Susan M.Barman, Scott Boitano, Heddwen L.Brooks [著], : 丸善出版,
2014

ガイトン生理学／Arthur C.Guyton, John E.Hall 原著, 御手洗玄洋 総監訳, 小川徳雄, 永坂鉄夫, 伊藤嘉房, 松井信夫, 間
野忠明 監訳, : エルゼビア・ジャパン, 2010

新生理学 : フルカラー新装版／竹内昭博 著, : 日本医事新報社, 2015

時間割番号	011012				
科目名	組織学				
担当教員					
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	2.5
英文名 : Histology					
授業の目的、概要等					
<p>組織学では、人体の顕微鏡レベルの構造を学ぶ。医学のプロフェッショナルとして、さらには国際人の基盤として人体の組織の名称を英語も含め正しく習得する。講義では、折に触れて、組織学に関わる科学の発展の歴史や最新の細胞生物学的知見についても紹介する。実習では、全身の組織の標本を観察しスケッチする。先輩から後輩へと連綿と受け継がれてきた組織標本を大切に扱うことで他者への感謝とつながりを学ぶ。実習をやりぬくことで、忍耐とともに、人体の主な構造については全て見たという達成感と自信を得る。実習では、教員が質問に答えるが、学生がお互いに教えあい議論することも歓迎される。実習の最後には実習試験があり、組織学全体を振り返る機会となっている。</p>					
授業の到達目標					
<p>講義、実習、試験を通じての目標は、科学者として、形態学の研究法を知ること、形態の表現のしかたを学ぶ(見たとおりに述べるだけだが、案外難しい)こと、そして、医師、医学生としては、主要な器官、組織について、あるいは標本内の正常組織について、臨床の現場で、教員(あるいは医療チームのだれか)に尋ねられたとき、それについて2-3分、満足のいくコミュニケーションができることが目標である。</p>					
<p>文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成 28 年度改訂版) http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm</p>					
C-1-1)-(1)①②					
C-2-2)-(1)①②③④⑤					
授業方法					
<p>講義とそれに続く実習からなる。講義では、実習する組織について概説し、実習のポイントを解説する。実習では、顕微鏡を用いて標本を観察、スケッチする。</p>					
成績評価の方法					
<p>講義については筆記試験で評価する。 実習は実習試験とスケッチの提出により評価する。 評価のウェイトは、「講義:50%」、「実習:50%」とする。</p>					
準備学習などについての具体的な指示					
<p>講義については、その日のテーマについて組織学の教科書に目を通しておく。 実習については、教科書およびアトラスに目を通し、観察すべき構造を把握しておく。</p>					
教科書					
<p>標準組織学総論／藤田尚男, 藤田恒夫 原著, :医学書院, 2015 標準組織学各論／藤田尚男, 藤田恒夫 原著, :医学書院, 2017 Ross 組織学／Michael H.Ross, Wojciech Pawlina 著,内山安男, 相磯貞和 監訳, :南江堂, 2010 ウィーター図説で学ぶ機能組織学／Barbara Young, Geraldine O'Dowd, Phillip Woodford 著,後藤薫, 和栗聡 監訳,Young, Barbara,O'Dowd, Geraldine,Woodford, Phillip,後藤 薫, 解剖学,和栗 聡, :エルゼビア・ジャパン, 2018</p>					

組織細胞生物学／Abraham L.Kierszenbaum, Laura L.Tres 著,内山安男 監訳,エルゼビア・ジャパン, 2015

参考書

細胞生物学的事項については、Molecular Biology of the Cell 第6版(B. Albertsら著、Garland Science 2014年)、(同翻訳)細胞の分子生物学 第6版(中村桂子ら翻訳、ニュートンプレス 2017年)などを参考にする。

参照ホームページ

www.tmd.ac.jp/cbio/index.html

時間割番号	011013		
科目名	組織学		
担当教員			
開講時期	前期	対象年次	2

英文名: Histology

授業の目的、概要等

組織学では、人体の顕微鏡レベルの構造を学ぶ。医学のプロフェッショナルとして、さらには国際人の基盤として人体の組織の名称を英語も含め正しく習得する。講義では、折に触れて、組織学に関わる科学の発展の歴史や最新の細胞生物学的知見についても紹介する。実習では、全身の組織の標本を観察しスケッチする。先輩から後輩へと連綿と受け継がれてきた組織標本を大切に扱うことで他者への感謝とつながりを学ぶ。実習をやりぬくことで、忍耐とともに、人体の主な構造については全て見たという達成感と自信を得る。実習では、教員が質問に答えるが、学生がお互いに教えあい議論することも歓迎される。実習の最後には実習試験があり、組織学全体を振り返る機会となっている。

授業の到達目標

講義、実習、試験を通じての目標は、科学者として、形態学の研究方法を知ること、形態の表現のしかたを学ぶ(見たとおりに述べるだけだが、案外難しい)こと、そして、医師、医学生としては、主要な器官、組織について、あるいは標本内の正常組織について、臨床の現場で、教員(あるいは医療チームのだれか)に尋ねられたとき、それについて2-3分、満足のいくコミュニケーションができることが目標である。

文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成 28 年度改訂版)

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm

C-1-1)-(1)①②

C-2-2)-(1)①②③④⑤

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/22	12:50- 14:10	医学科 講義室 1	組織学序論	「標準組織学総論」P1-8, P286-311	中田 隆夫	アクティブラーニング(AL)の種類: 双方向授業
2	4/25	12:50- 14:10	アクティ ブラーニ ング教 室	上皮組織	「標準組織学総論」P84-113, 「組織学資料集」P3-11	中田 隆夫	アクティブラーニング(AL)の種類: 双方向授業
3	5/9	12:50- 14:10	医学科 講義室 1	結合組織	「標準組織学総論」P114-P151, 「組織学資料集」P12-17	石井 智浩	アクティブラーニング(AL)の種類: 双方向授業
4	5/13	12:50- 14:10	医学科 講義室	筋組織	「標準組織学総論」P207-P239, 「組織学資料集」P18-24	稲葉 弘哲	アクティブラーニング(AL)の種類:

			1				類: 双方向授業
5	5/16	12:50- 14:10	医学科 講義室 1	神経組織	「標準組織学総論」P240-P285, 「組織学資料集」P25-30	中田 隆夫	アクティブラー ニング(AL)の種 類: 双方向授業
6	5/20	12:50- 14:10	医学科 講義室 1	血管、軟骨	「標準組織学総論」P152-P156, 「標準組織学各論」P3-P38	中田 隆夫	アクティブラー ニング(AL)の種 類: 双方向授業
7	5/23	12:50- 14:10	医学科 講義室 1	骨	「標準組織学総論」P157-P180	石井 智浩	アクティブラー ニング(AL)の種 類: 双方向授業
8	5/27	12:50- 14:10	医学科 講義室 1	血液	「標準組織学総論」P181-P206	石井 智浩	アクティブラー ニング(AL)の種 類: 双方向授業
9	5/30	12:50- 14:10	医学科 講義室 1	リンパ性器官	「標準組織学各論」P39-P78, 「組織学資料集」P31-38	石井 智浩	アクティブラー ニング(AL)の種 類: 双方向授業
10	6/3	12:50- 14:10	医学科 講義室 1	呼吸器	「標準組織学各論」P176-P197	中田 隆夫	アクティブラー ニング(AL)の種 類: 双方向授業
11	6/6	12:50- 14:10	医学科 講義室 1	消化器 I	「標準組織学各論」P113-P126	石井 智浩	アクティブラー ニング(AL)の種 類: 双方向授業
12	6/10	12:50- 14:10	医学科 講義室 1	消化器 II	「標準組織学各論」P126-P148	石井 智浩	アクティブラー ニング(AL)の種 類: 双方向授業
13	6/13	12:50- 14:10	医学科 講義室 1	肝胆膵	「標準組織学各論」P149-P175	石井 智浩	アクティブラー ニング(AL)の種 類: 双方向授業
14	6/17	12:50- 14:10	医学科 講義室 1	内分泌器官	「標準組織学各論」P254-P298	中田 隆夫	アクティブラー ニング(AL)の種 類: 双方向授業
15	6/20	12:50- 14:10	医学科 講義室 1	泌尿器	「標準組織学各論」P198-P227	石井 智浩	アクティブラー ニング(AL)の種 類: 双方向授業
16	6/24	12:50- 14:10	医学科 講義室 1	男性生殖器	「標準組織学各論」P299-P330	中田 隆夫	アクティブラー ニング(AL)の種 類: 双方向授業
17	6/27	12:50- 14:10	医学科 講義室 1	女性生殖器	「標準組織学各論」P331-P365	中田 隆夫	アクティブラー ニング(AL)の種 類: 双方向授業

18	6/28	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	皮膚	「標準組織学各論」P366-P400	中田 隆夫	アクティブラー ニング(AL)の種 類:双方向授業
19	8/22	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	組織学試験		石井 智浩, 稲葉 弘哲	

授業方法

講義とそれに続く実習からなる。講義では、実習する組織について概説し、実習のポイントを解説する。実習では、顕微鏡を用いて標本を観察、スケッチする。

成績評価の方法

講義については筆記試験で評価する。

準備学習などについての具体的な指示

講義については、その日のテーマについて組織学の教科書に目を通しておく。

教科書

標準組織学総論／藤田尚男, 藤田恒夫 原著, :医学書院, 2015

標準組織学各論／藤田尚男, 藤田恒夫 原著, :医学書院, 2017

Ross 組織学／Michael H.Ross, Wojciech Pawlina 著,内山安男, 相磯貞和 監訳, :南江堂, 2010

ウィーター図説で学ぶ機能組織学／Barbara Young, Geraldine O'Dowd, Phillip Woodford 著,後藤薫, 和栗聡 監訳,Young, Barbara,O'Dowd, Geraldine,Woodford, Phillip,後藤, 薫, 解剖学,和栗, 聡, :エルゼビア・ジャパン, 2018

組織細胞生物学／Abraham L.Kierszenbaum, Laura L.Tres 著,内山安男 監訳, :エルゼビア・ジャパン, 2015

参考書

細胞生物学的事項については、Molecular Biology of the Cell 第6版(B. Albertsら著、Garland Science 2014年)、(同翻訳)細胞の分子生物学 第6版(中村桂子ら翻訳、ニュートンプレス 2017年)などを参考にする。

参照ホームページ

www.tmd.ac.jp/cbio/index.html

時間割番号	011014		
科目名	組織学実習		
担当教員			
開講時期	前期	対象年次	2

英文名: Histology

授業の目的、概要等

組織学では、人体の顕微鏡レベルの構造を学ぶ。医学のプロフェッショナルとして、さらには国際人の基盤として人体の組織の名称を英語も含め正しく習得する。講義では、折に触れて、組織学に関わる科学の発展の歴史や最新の細胞生物学的知見についても紹介する。実習では、全身の組織の標本を観察しスケッチする。先輩から後輩へと連綿と受け継がれてきた組織標本を大切に扱うことで他者への感謝とつながりを学ぶ。実習をやりぬくことで、忍耐とともに、人体の主な構造については全て見たという達成感と自信を得る。実習では、教員が質問に答えるが、学生がお互いに教えあい議論することも歓迎される。実習の最後には実習試験があり、組織学全体を振り返る機会となっている。

授業の到達目標

講義、実習、試験を通じての目標は、科学者として、形態学の研究方法を知ること、形態の表現のしかたを学ぶ(見たとおりに述べるだけだが、案外難しい)こと、そして、医師、医学生としては、主要な器官、組織について、あるいは標本内の正常組織について、臨床の現場で、教員(あるいは医療チームのだれか)に尋ねられたとき、それについて2-3分、満足のいくコミュニケーションができることが目標である。

文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成 28 年度改訂版)

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm

C-1-1)-(1)①②

C-2-2)-(1)①②③④⑤

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/22	14:20- 15:40	4 階学 生実習 室	組織学実習導入	「標準組織学総論」P1-8, P286-311	中田 隆夫, 石井 智浩, 稲葉 弘哲	アクティブラー ニング(AL)の種 類:実習
2-3	4/25	14:20- 17:10	4 階学 生実習 室	上皮組織	「標準組織学総論」P84-113, 「組織学資料集」P3-11	中田 隆夫, 石井 智浩	アクティブラー ニング(AL)の種 類:実習
4-5	5/9	14:20- 17:10	4 階学 生実習 室	結合組織	「標準組織学総論」P114-P151, 「組織学資料集」P12-17	石井 智浩	アクティブラー ニング(AL)の種 類:実習
6-7	5/13	14:20- 17:10	4 階学 生実習 室	筋組織	「標準組織学総論」P207-P239, 「組織学資料集」P18-24	石井 智浩, 稲葉 弘哲	アクティブラー ニング(AL)の種 類:実習

8-9	5/16	14:20- 17:10	4 階学 生実習 室	神経組織	「標準組織学総論」P240-P285, 「組織学資料集」P25-30	中田 隆夫, 石井 智浩	アクティブラー ニング(AL)の種 類:実習
10- 11	5/20	14:20- 17:10	4 階学 生実習 室	血管、軟骨	「標準組織学総論」P152-P156, 「標準組織学各論」P3-P38	中田 隆夫, 石井 智浩, 稲葉 弘哲	アクティブラー ニング(AL)の種 類:実習
12- 13	5/23	14:20- 17:10	4 階学 生実習 室	骨	「標準組織学総論」P157-P180	石井 智浩	アクティブラー ニング(AL)の種 類:実習
14- 15	5/27	14:20- 17:10	4 階学 生実習 室	血液	「標準組織学総論」P181-P206	石井 智浩	アクティブラー ニング(AL)の種 類:実習
16- 17	5/30	14:20- 17:10	4 階学 生実習 室	リンパ性器官	「標準組織学各論」P39-P78, 「組織学資料集」P31-38	石井 智浩	アクティブラー ニング(AL)の種 類:実習
18- 19	6/3	14:20- 17:10	4 階学 生実習 室	呼吸器	「標準組織学各論」P176-P197	中田 隆夫, 石井 智浩, 稲葉 弘哲	アクティブラー ニング(AL)の種 類:実習
20- 21	6/6	14:20- 17:10	4 階学 生実習 室	消化器 I	「標準組織学各論」P113-P126	石井 智浩, 稲葉 弘哲	アクティブラー ニング(AL)の種 類:実習
22- 23	6/10	14:20- 17:10	4 階学 生実習 室	消化器 II	「標準組織学各論」P126-P148	石井 智浩, 稲葉 弘哲	アクティブラー ニング(AL)の種 類:実習
24- 25	6/13	14:20- 17:10	4 階学 生実習 室	肝胆臓	「標準組織学各論」P149-P175	石井 智浩	アクティブラー ニング(AL)の種 類:実習
26- 27	6/17	14:20- 17:10	4 階学 生実習 室	内分泌器官	「標準組織学各論」P254-P298	中田 隆夫, 石井 智浩, 稲葉 弘哲	アクティブラー ニング(AL)の種 類:実習
28- 29	6/20	14:20- 17:10	4 階学 生実習 室	泌尿器	「標準組織学各論」P198-P227	石井 智浩	アクティブラー ニング(AL)の種 類:実習
30- 31	6/24	14:20- 17:10	4 階学 生実習 室	男性生殖器	「標準組織学各論」P299-P330	中田 隆夫, 石井 智浩	アクティブラー ニング(AL)の種 類:実習
32- 33	6/27	14:20- 17:10	4 階学 生実習 室	女性生殖器	「標準組織学各論」P331-P365	中田 隆夫, 石井 智浩	アクティブラー ニング(AL)の種 類:実習
34-	7/9	09:00-	4 階学	皮膚	「標準組織学各論」P366-P400	中田 隆夫,	アクティブラー

35		11:50	生実習 室			石井 智浩	ニング(AL)の種 類:実習
36- 37	7/16	09:00- 11:50	4 階学 生実習 室	組織学実習試験		中田 隆夫, 石井 智浩, 稲葉 弘哲	

授業方法

講義で解説された実習する組織についてのポイントを踏まえて、実習では顕微鏡を用いて標本を観察、スケッチする。

成績評価の方法

実習試験とスケッチの提出により評価する。

準備学習などについての具体的な指示

教科書およびアトラスに目を通し、観察すべき構造を把握しておく。講義を良く理解することが実習の最も良い準備となる。

教科書

標準組織学総論／藤田尚男, 藤田恒夫 原著.: 医学書院, 2015

標準組織学各論／藤田尚男, 藤田恒夫 原著.: 医学書院, 2017

Ross 組織学／Michael H.Ross, Wojciech Pawlina 著, 内山安男, 相磯貞和 監訳.: 南江堂, 2010

ウィーター図説で学ぶ機能組織学／Barbara Young, Geraldine O'Dowd, Phillip Woodford 著, 後藤薫, 和栗聡 監訳, Young, Barbara, O'Dowd, Geraldine, Woodford, Phillip, 後藤, 薫, 解剖学, 和栗, 聡.: エルゼビア・ジャパン, 2018

組織細胞生物学／Abraham L.Kierszenbaum, Laura L.Tres 著, 内山安男 監訳.: エルゼビア・ジャパン, 2015

参考書

細胞生物学的事項については、Molecular Biology of the Cell 第6版(B. Albertsら著、Garland Science 2014年)、(同翻訳)細胞の分子生物学 第6版(中村桂子ら翻訳、ニュートンプレス2017年)などを参考にする。

履修上の注意事項

色鉛筆(主として赤・ピンク系色、紫色、青色、茶色などが使用される)、携帯用鉛筆削りおよびA4サイズの白紙のノート(綴じてあるもの)を予め用意する。実習方法の詳細については、最初の時間にガイダンスを行う。

参照ホームページ

www.tmd.ac.jp/cbio/index.html

時間割番号	011015				
科目名	人体解剖学				
担当教員					
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	4.5
英文名: Human Anatomy					
主な講義場所					
講義: 3号館2階 医学科講義室 1、実習: 3号館地下1階 解剖学実習室					
授業の目的、概要等					
人体解剖学では、人体構造の名称を言えるというだけではなく、その周囲の構造との位置関係を理解することを目的とする。					
授業の目的、概要等については、「人体解剖学」ならびに「人体解剖学実習」で詳細に示す。					
授業の到達目標					
授業評価の基準となる授業の到達目標は、「人体解剖学」ならびに「人体解剖学実習」で詳細を示す。					
授業方法					
人体解剖学の講義と人体解剖学実習は密接にリンクするようになっている。実習の予習を行うことで、講義も理解しやすくなるはずであり、実習も早く終わることができる。					
授業内容					
授業スケジュール参照					
成績評価の方法					
「人体解剖学(講義)」と「人体解剖学実習」にそれぞれ合格することが必要である。最終的に、どちらかでも不合格であった場合には、「人体解剖学」を不合格とする。					
「人体解剖学(講義)」と「人体解剖学実習」の両方が合格した上で、「人体解剖学」の成績は、「人体解剖学(講義): 70%」、「人体解剖学実習: 30%」として合算する。					
成績評価の基準					
成績評価の基準については、「人体解剖学(講義)」と「人体解剖学実習」に詳細が書かれているので、十分に読んで理解することが求められる。					
準備学習などについての具体的な指示					
秋田教授作成のワードファイルでは空欄だったが、「大学改革支援・学位授与機構における大学機関別認証評価の評価基準の項目となりますので、必ず入力してください。」とあるので書いたほうが良いのかと思う??					
人体構造総論を十分に学習しておくことが求められる。人体解剖学の講義では、人体構造総論で登場したものについては、既知として扱うものも多い。					
MIC の症候学の授業の資料、学生が作成したパワーポイントファイルなども確認していることを前提として授業を進める。これらの資料の中に、解剖学の中で何が重要であるか、何を理解することで症候や病態を理解することができるかのヒントが十分にある。					
試験の受験資格					
構成ユニット					

教科書

グレイ解剖学／Richard L.Drake, A.Wayne Vogl, Adam W.M.Mitchell 原著,塩田浩平, 秋田恵一 監修・監訳,エルゼビア・ジャパン, 2016

他科目との関連

人体解剖学と人体構造総論(人体発生学)は密接な関係がある。また、組織学や生理学も密接な関係にある。とくに生理学は構造を理解していなければまったく理解できない。 機能や臨床的な事項との関連は、意識しないとなかなか気付かない。様々なところで関連を考えていただきたい。

履修上の注意事項

細かなことが重要なわけではない。解剖学も、発生と同様にストーリーで理解することが必要である。何が重要なのかということについては、他の科目との関連が重要となる。それらについては講義で折に触れて述べているはずなので、とくにそのあたりを意識して理解していただきたい。

備考

講義中にスクリーンの撮影をするのを禁止する。ストリーミングで視聴することができるようにするので参照していただきたい。

講義資料、ストリーミングなどは著作権の問題があるので、受講登録者以外に公開することを禁ずる。

授業最終日(7月2日)から、科目についてのアンケートが webclass で回答できるようになっている。アンケートに回答しない場合は、定期試験の合否を含む成績が webclass に表示されない(統合教育機構で検討中)。

時間割番号	011016		
科目名	人体解剖学		
担当教員			
開講時期	前期	対象年次	2
英文名: Human Anatomy			
授業の目的、概要等			
<p>人体解剖学では、人体構造の名称を言えるというだけでなく、その周囲の構造との位置関係を理解することを目的とする。そのためには、その器官の成り立ちや、組織構造、その機能なども考慮する必要がある。「人体構造総論」で学習した事項ならびに「組織学」、「生理学」で学習する事項と密接な関係があるので、それらの科目との関連を意識しながら学習することが必要である。また、その構造がなぜ重要であるのかというのは、臨床的な意義や重要性を理解することによって初めて十分に理解できる。講義や実習では、そのような観点に注目しながら進めるので、理解することが求められる。</p> <p>解剖学は、ある程度の名称や解剖学的構造を知らなくては、その面白さを理解することはできない。その一方で、解剖学用語の暗記のみでは無味乾燥でつまらないものになるだけでなく、解剖学的構造を理解したことにはならない。人体解剖学実習手順や講義資料には、教科書だけでは学ぶことのできない、形態学的ならびに臨床的な重要性について書かれている。これらの資料を活用しながら、何が重要なのか考えながら学習するように努めていただきたい。</p> <p>人体解剖学は非常に古い学問であり、部位によっては人名のついた用語が多く現れることがある。また、時として、解剖学用語よりも人名のついた用語のほうが、国際通用性が高いこともある。しばしばこのような用語を紹介するので、慣れ親しんでいただきたい。</p>			
授業の到達目標			
<p>ここで示される到達目標は、あくまでも試験に合格するレベルである。重要度については、授業で直接的に示すものばかりではなく、様々なことに応用しうる原理かどうかを考慮して、優先順位をつけることが重要である。</p> <p>講義中に示したすべての症例を説明するための基本的な解剖学的構造について説明できることが求められる。そして、これらの構造の一般的な形態について、発生過程をもとに説明できることが求められる。また、それらに関する診察・診断・治療に必要な解剖学的事項について説明できることが求められる。</p> <p>なお、授業に臨むにあたっては、当該日に行われる人体解剖学実習の人体解剖学実習手順について予習しておくことが求められる。さらに、それらについてわからないところ等があったときには、教科書「グレイ解剖学」等を用いて確認しておくことが望ましい。しばしば参照するものによって記載が異なることが見られるが、このようなことがどうして起こるのかなどについては、授業や実習を通じて確認することが望ましい。</p> <p>人体解剖学実習で学んだ解剖学用語を用いて、基本的な構造を説明できることが求められる。加えて、その領域の骨、筋、臓器、と脈管や神経の相互の基本的な位置関係を説明できることが求められる。さらに、そのような位置関係を作り出す発生過程を説明することも求められる。このような時に重要となる位置関係とは、講義中に示す症例を説明できるようなレベルを指すので、人体解剖学実習の実習班内で十分にディスカッションし、何が重要なのかを列挙し、理解することが求められる。これらのディスカッションは、人体解剖学実習の時間内で終わるはずであり、特別な時間を設けることは求めている。</p> <p>教科書「グレイ解剖学」に示されている太字の解剖学用語については、「人体解剖学実習」で学ぶ解剖学用語に概ね含まれているので、それらがどこにあるものなのか、理解していることが求められる。また、教科書「グレイ解剖学」の臨床的事項について学習することが求められる。これらの臨床的事項は、臨床科目の学習に密接に関わることであるので、わからない用語などがあれば、調べながら学習することが必要である。教科書「グレイ解剖学」の臨床症例についても、何を理解していることが求められているのかを考えながら、学習しておく必要がある。</p> <p>また、エルゼビアの eReview に出ている人体解剖学の問題についても、予習しておくことが求められる。予習は基礎レベ</p>			

ルについて行うので十分であるが、授業後には、発展レベル、症例レベル、応用レベルについても学習することが望ましい。

文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成 28 年度改訂版)

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm

D-4-1)①②③④⑤⑥⑦

D-5-1)①⑤⑥⑦⑧⑨

D-6-1)①②③④

D-7-1)①②③⑥

D-8-1)②

D-9-1)③⑤⑦

D-11-1)①

D-12-1)②

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/23	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	体幹の骨	『人体解剖学実習手順:骨学 1』	秋田 恵一	アクティブラー ニング(AL)の 種類:演習・リア クションペーパ ー
2	4/24	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	上肢の骨	『人体解剖学実習手順:骨学 2』	秋田 恵一	ALの種類:演 習・リアクション ペーパー
3	4/26	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	下肢の骨	『人体解剖学実習手順:骨学 3』	秋田 恵一	ALの種類:演 習・リアクション ペーパー
4	5/10	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	頭蓋の骨	『人体解剖学実習手順:骨学 4』	秋田 恵一	ALの種類:演 習・リアクション ペーパー
5	5/14	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	体表観察(仰臥位)・ 胸腹部(皮下)	『人体解剖学実習手順:1』	秋田 恵一	ALの種類:演 習・リアクション ペーパー
6	5/15	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	頸部(皮下)・下腹部 (皮下)	『人体解剖学実習手順:2』	山口 久美 子	ALの種類:演 習・リアクション ペーパー
7	5/17	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	肩部(皮下)・浅胸筋・ 鎖骨離断・大腿伸側 (皮下・浅層・深層)	『人体解剖学実習手順:3』	秋田 恵一	ALの種類:演 習・リアクション ペーパー
8	5/21	10:30-	医学科	体表観察(腹臥位)・	『人体解剖学実習手順:4』	秋田 恵一	ALの種類:演

		11:50	講義室 1	頭部～腰部(皮下)			習・リアクション ペーパー
9	5/22	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	後頭の筋・浅背筋・殿 部(皮下)・大腿屈側 (皮下)	『人体解剖学実習手順:5』	秋田 恵一	ALの種類:演 習・リアクション ペーパー
10	5/24	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	上肢帯近位部・殿部 (浅層)	『人体解剖学実習手順:6』	秋田 恵一	ALの種類:演 習・リアクション ペーパー
11	5/28	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	固有背筋・脊柱傍筋	『人体解剖学実習手順:7』	秋田 恵一	ALの種類:演 習・リアクション ペーパー
12	5/29	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	頸部(中層)・腋窩・腹 壁・鼠径管	『人体解剖学実習手順:8』	秋田 恵一	ALの種類:演 習・リアクション ペーパー
13	5/31	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	腕神経叢・大腿伸側 (深層)・大腿屈側(深 層)	『人体解剖学実習手順:9』	秋田 恵一	ALの種類:演 習・リアクション ペーパー
14	6/4	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	胸郭・上縦隔・甲状腺	『人体解剖学実習手順:10』	山口 久美 子	ALの種類:演 習・リアクション ペーパー
15	6/5	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	心臓の神経・後縦隔	『人体解剖学実習手順:11』	秋田 恵一	ALの種類:演 習・リアクション ペーパー
16	6/7	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	心臓・肺	『人体解剖学実習手順:12』	山口 久美 子	ALの種類:演 習・リアクション ペーパー
17	6/11	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	内臓総論、腹膜、腸 間膜の脈管・神経、上 腹部浅部(脈管・神 経)	『人体解剖学実習手順:13』	秋田 恵一	ALの種類:演 習・リアクション ペーパー
18	6/12	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	上腹部深部(脈管・神 経)	『人体解剖学実習手順:14』	秋田 恵一	ALの種類:演 習・リアクション ペーパー
19	6/14	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	消化管、肝臓	『人体解剖学実習手順:15』	秋田 恵一	ALの種類:演 習・リアクション ペーパー
20	6/17	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	肝臓、膵臓	『人体解剖学実習手順: 13,14,15』	秋田 恵一	ALの種類:演 習・リアクション ペーパー
21	6/18	09:00-	医学科	上下肢の解剖①	『人体解剖学実習手順:上下	二村 昭元	ALの種類:演

		10:20	講義室 1		肢』		習・リアクション ペーパー
22	6/18	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	腹膜後器官、横隔 膜、後体壁	『人体解剖学実習手順:16』	秋田 恵一	ALの種類:演 習・リアクション ペーパー
23	6/19	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	脊柱管・脊髄、内頭蓋 底、咽頭後壁、椎前 筋・椎側筋	『人体解剖学実習手順:17』	秋田 恵一	ALの種類:演 習・リアクション ペーパー
24	6/21	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	肩甲帯、殿部(深 層)、腰神経叢	『人体解剖学実習手順:18』	秋田 恵一	ALの種類:演 習・リアクション ペーパー
25	6/25	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	会陰部(皮下)・股関 節・会陰部(浅層)	『人体解剖学実習手順:19』	原田 理代	ALの種類:演 習・リアクション ペーパー
26	6/26	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	仙骨神経叢、骨盤出 口筋、内腸骨動脈、 骨盤神経叢、骨盤内 臓	『人体解剖学実習手順:20』	原田 理代	ALの種類:演 習・リアクション ペーパー
27	6/28	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	これまでの頭頸部の 総括	『人体解剖学実習手順:17』	那須 久代	ALの種類:演 習・リアクション ペーパー
28	7/2	09:00- 10:20	アクティ ブラーニ ング教 室	上下肢の解剖②	『人体解剖学実習手順:上下 肢』	二村 昭元	ALの種類:演 習・リアクション ペーパー
29	7/2	10:30- 11:50	アクティ ブラーニ ング教 室	上下肢の解剖③	『人体解剖学実習手順:上下 肢』	二村 昭元	ALの種類:演 習・リアクション ペーパー
30	8/21	10:30- 12:30	医学科 講義室 1	試験		秋田 恵一	

授業方法

授業は以下のように行う。

- 1) 授業には、当該日に行われる人体解剖学実習手順ならびに対応する教科書「グレイ解剖学」等を用いて、予習してから臨む必要がある。
- 2) 授業中の小テスト: 授業明細に示された予習範囲である解剖学実習書の内容についての簡単な選択式の小テストを行う。もちろん、解剖学実習書の内容を理解するためには、解剖学の教科書やアトラスなども参考となる。授業中に、クリックア(ARS: Audience Response System)、スマートフォン、マークシートなど何らかの形で小テストを行う。なお、小テストの範囲は、それまで終了している授業の内容が含まれる。

3) 講義: 講義は、各回の中で重要なこと、発展的なことを中心に行う。基本的なことで、教科書を見れば簡単にわかるようなことは自習に任せる。講義の資料については、講義前に PDF を Webclass にあげておくので活用してほしい。講義内で小テストの解答は示される。講義中に、症例が提示される。その症例を理解するために必要な解剖学的事項の重要な部分について理解のための手がかりを示すので、それらを自分たちで議論し、重要な点を整理しておくことが求められる。講義はすべてビデオ収録するので、大学のサーバーにアクセスすることにより繰り返し視聴できる。

4) リアクションペーパー: 講義開始時に配布する紙に、自由記述してもらい、授業終了後に回収する。講義内容についての質問や疑問、感想、または直接関係ないかもしれないものでもよい。記述内容について、答えられるものについては、次の授業の時に回答する。優れた質問が講義内容を深める助けとなる。また、講義や教科書等の誤りの指摘が授業の質を高めることに繋がるので、できるだけ活用してほしい。

5) 人体解剖学講義と人体解剖実習は、密接に関連付けるようにしている。講義中に、人体解剖実習の作業中の注意や、課題等について説明する。

授業内容

授業スケジュール参照

成績評価の方法

次の3つの項目で評価を行う。なお、学習済みと考えられる領域における重要事項については、英単語が含まれることや、英文による問題もありうる。

1) 授業中の小テスト: 40%: 各コマで行われる小テストの結果の合計による。

2) 記述試験(8月21日): 60%: 授業全般のうち、重要事項について、簡潔に文章にまとめて説明するという、記述式で行われる。ただし、全体の2割ほどの配点で、多肢選択式の問題が含まれる。試験は、授業中に示した症例またはそれと同レベル程度のものを理解し、説明できることが必要となる。eReview の問題についても、学習されているものとして、試験の中に一部含まれる。ただし、そのままの形で出題されるのではない。

成績評価の基準

上記の成績評価の方法に示す各項目の成績の合計により評価を行う。小テスト、試験問題は、授業の到達目標に達しているかを評価し、そのことが確認されたところで合格とする。それを上回る場合には加点される。

なお、リアクションペーパーでの、重要な質問や、誤りの指摘などがあった場合には、最終評価において加点されることがある。

準備学習などについての具体的な指示

人体構造総論を十分に学習しておくことが求められる。人体解剖学の講義では、人体構造総論で登場したものについては、学習済みのものとして扱う。また、組織学や生理学ですでに授業が行われているものについても、学習済みのものとして扱う。

到達目標や授業明細の中に具体的に示されている項目について、準備してから授業にのぞむことが求められる。

人体解剖学実習手順は、単に実習の手順が書かれているだけでなく、臨床的に重要となる点についても触れられている。その日の作業項目、手順の概要を把握してから教科書の関連項目を読むことによって、理解すべき点が明確になるはずである。

エルゼビアの eReview に出ている人体発生学の問題についても、予習しておくことが求められる。予習は基礎レベルについて行うので十分であるが、授業後には、発展レベル、症例レベル、応用レベルについても学習することが望ましい。

教科書

グレイ解剖学/Richard L.Drake, A.Wayne Vogl, Adam W.M.Mitchell 原著,塩田浩平, 秋田恵一 監修・監訳,Drake, Richard Lee, 1950-,Vogl, Wayne,Mitchell, Adam W. M,塩田, 浩平, 1946-,秋田, 恵一, 1962-,:エルゼビア・ジャパン, 2016

グレイ解剖学アトラス/Richard L.Drake, A.Wayne Vogl, Adam W.M.Mitchell, Richard M.Tibbitts, Paul E.Richardson 原著,塩

田浩平, 秋田恵一 監修・監訳, Drake, Richard Lee, 1950-, Vogl, Wayne, Mitchell, Adam W. M, 塩田, 浩平, 1946-, 秋田, 恵一, 1962-, エルゼビア・ジャパン, 2015

Gray's Anatomy for Students Flash Cards / Richard Drake PhD FRCR (著), A. Wayne Vogl PhD FRCR (著), Adam W. M. Mitchell MB BS FRCR FRCR (著): Churchill Livingstone; 3 版, 2014

参考書

: メディカル・サイエンス・インターナショナル

: 丸善出版

他科目との関連

「人体解剖学」は、「人体構造総論」と密接な関係があるだけでなく、「組織学」や「神経解剖学」といった、他の解剖学の科目とも密接な関係にある。また、1 年生の「医学導入 (MIC)」とくにその中の「症候学導入」とも関連が深く、その時には十分理解出来なかった症候のメカニズムを確認する機会とすることが必要である。臨床的な事項との関連は、意識しないとなかなか気付かない。講義中に提示する症例や、教科書「グレイ解剖学」の臨床的事項や臨床症例等を活用し、様々なところで関連を考えながら学んでいただきたい。

履修上の注意事項

講義中にスクリーンの撮影をすることを禁止する。ストリーミングで視聴することができるようにするので参照していただきたい。講義資料、ストリーミングなどは全て著作物であり、著作権の問題があるので、受講登録者以外に公開することを禁ずる。

備考

授業最終日(7月2日)から、科目についてのアンケートが webclass でできるようになっている。アンケートに回答しない場合は、定期試験の可否を含む成績が webclass に表示されない。

参照ホームページ

エルゼビア eReview ID を配布するので、十分に活用してほしい。

時間割番号	011017		
科目名	人体解剖学実習		
担当教員			
開講時期	前期	対象年次	2

英文名: Human Anatomy

授業の目的、概要等

人体解剖学(講義)で学んだ内容を、解剖実習体を自分の手で解剖し、自分の目で観察し、見出した構造を同定して、説明できることを目指すものである。

解剖学は、ある程度の名称や解剖学的構造を知らなくては、その面白さを理解することはできない。解剖学用語の十分な予習を行い、確認テストに合格することが求められる。

人体解剖学実習は、人体に初めて触れる実習である。解剖実習体には十分に敬意を払って接することが必要である。そのことを表現するためにも、十分な予習をした上で参加することが求められる。

授業の到達目標

人体解剖学実習に参加し、解剖実習体を人体解剖実習手順にしたがって自分の手で解剖し、自分の目で観察し、見出した構造を同定する。

人体を理解するためには、構造の名称をある程度知らなくては面白さは理解できないし、構造のもつ意味も理解できない。また、解剖にかかわらず、すべての教科書や論文を読むときには、基本的な解剖学用語を知らずには内容の理解は覚束ない。そのため、人体解剖学実習の中で、基本的な解剖学用語を日本語と英語で覚えることが求められる。よって、人体解剖学用語確認テストにおいて合格することが求められる。

提出課題を、解剖実習の実習班の全員で相談の上で完成させ、提出された課題について、班の誰でもが回答できるようにする。

コアカリの番号:

- D-1-1) ④
- D-2-1) (2)③
- D-2-1) (3)②
- D-4-1) ①②③④⑤⑥⑦⑧
- D-5-1) ①⑤⑥⑦⑨
- D-6-1) ①②③④
- D-7-1) ①②③⑥⑨
- D-7-4) (7)②
- D-8-1) ②
- D-9-1) ③⑤⑦
- D-11-1) ①
- D-12-1) ②

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/23	12:50- 15:40	6 階学 生実習	体幹の骨	『人体解剖学実習手順:骨学 1』	秋田 恵一, 山口 久美	アクティブラー ニング(AL)の

			室			子, 坂本 裕 次郎, 那須 久代, 武智 正樹, 原田 理代, 室生 暁, 二村 昭 元, 藤代 瞳	種類:実習
3-4	4/24	12:50- 15:40	6 階学 生実習 室	上肢の骨	解剖学用語試験 2 114~ 116、134~140、158、164、175 ~178、192~200、212~214、 224、226~232 『人体解剖 学実習手順:骨学 2』	秋田 恵一, 山口 久美 子, 坂本 裕 次郎, 那須 久代, 武智 正樹, 原田 理代, 室生 暁, 二村 昭 元, 藤代 瞳	ALの種類:実 習、演習
5-6	4/26	12:50- 15:40	6 階学 生実習 室	下肢の骨	『人体解剖学実習手順:骨学 3』	秋田 恵一, 山口 久美 子, 坂本 裕 次郎, 那須 久代, 武智 正樹, 原田 理代, 室生 暁, 二村 昭 元	ALの種類:実 習
7-8	5/10	12:50- 15:40	6 階学 生実習 室	頭蓋の骨	『人体解剖学実習手順:骨学 4』	秋田 恵一, 山口 久美 子, 坂本 裕 次郎, 那須 久代, 武智 正樹, 原田 理代, 室生 暁, 藤代 瞳	ALの種類:実 習
9-10	5/14	12:50- 15:40	解剖学 実習室	体表観察(仰臥位)・ 胸腹部(皮下)	『人体解剖学実習手順:1』	秋田 恵一, 二村 昭元, 山口 久美 子, 原田 理 代, 那須 久 代, 室生 暁, 坂本 裕	ALの種類:実 習

						次郎, 武智 正樹, 中澤 正孝, 藤代 瞳	
11- 12	5/15	12:50- 15:40	解剖学 実習室	頸部(皮下)・下腹部 (皮下)	解剖学用語試験 3 75、141～ 145、201～203、259～268、335 ～337、345～346 『人体解 剖学実習手順:2』	秋田 恵一, 二村 昭元, 山口 久美 子, 原田 理 代, 那須 久 代, 室生 暁, 坂本 裕 次郎, 武智 正樹, 中澤 正孝, 藤代 瞳	ALの種類:実 習、演習
13- 14	5/17	12:50- 15:40	解剖学 実習室	肩部(皮下)・浅胸筋・ 鎖骨離断・大腿伸側 (皮下・浅層・深層)	『人体解剖学実習手順:3』	秋田 恵一, 山口 久美 子, 坂本 裕 次郎, 那須 久代, 武智 正樹, 原田 理代, 室生 暁, 二村 昭 元, 中澤正 孝	ALの種類:実 習
15- 16	5/21	12:50- 15:40	解剖学 実習室	体表観察(腹臥位)・ 頭部～腰部(皮下)	『人体解剖学実習手順:4』	秋田 恵一, 二村 昭元, 山口 久美 子, 原田 理 代, 那須 久 代, 室生 暁, 坂本 裕 次郎, 武智 正樹, 中澤 正孝, 藤代 瞳	ALの種類:実 習
17- 18	5/22	12:50- 15:40	解剖学 実習室	後頭の筋・浅背筋・殿 部(皮下)・大腿屈側 (皮下)	解剖学用語試験 4 23～24、 149～150、204～211 『人 体解剖学実習手順:5』	秋田 恵一, 山口 久美 子, 坂本 裕 次郎, 那須	ALの種類:実 習、演習

						久代, 武智 正樹, 原田 理代, 室生 暁, 藤代 瞳, 中澤正 孝	
19- 20	5/24	12:50- 15:40	解剖学 実習室	上肢帯近位部・殿部 (浅層)	『人体解剖学実習手順:6』	秋田 恵一, 山口 久美 子, 坂本 裕 次郎, 那須 久代, 武智 正樹, 原田 理代, 室生 暁, 二村 昭 元, 中澤正 孝	ALの種類:実 習
21- 22	5/28	12:50- 15:40	解剖学 実習室	固有背筋・脊柱傍筋	『人体解剖学実習手順:7』	秋田 恵一, 山口 久美 子, 坂本 裕 次郎, 那須 久代, 武智 正樹, 原田 理代, 室生 暁, 二村 昭 元, 藤代 瞳	ALの種類:実 習
23- 24	5/29	12:50- 15:40	解剖学 実習室	頸部(中層)・腋窩・腹 壁・鼠径管	解剖学用語試験 5 25~28、 76~82、146~148、155~157、 338~342 『人体解剖学実 習手順:8』	秋田 恵一, 山口 久美 子, 坂本 裕 次郎, 那須 久代, 武智 正樹, 原田 理代, 室生 暁, 二村 昭 元, 藤代 瞳	ALの種類:実 習、演習
25- 26	5/31	12:50- 15:40	解剖学 実習室	腕神経叢、上肢の切 離、大腿伸側(深 層)、大腿屈側(深 層)、下肢の切離	『人体解剖学実習手順:9』	秋田 恵一, 山口 久美 子, 坂本 裕 次郎, 那須 久代, 武智 正樹, 原田	ALの種類:実 習

						理代, 室生 暁, 二村 昭 元	
27- 28	6/4	12:50- 15:40	解剖学 実習室	胸郭・上縦隔・甲状腺	『人体解剖学実習手順:10』	山口 久美 子, 坂本 裕 次郎, 那須 久代, 武智 正樹, 原田 理代, 室生 暁, 二村 昭 元, 藤代 瞳, 中澤正 孝	ALの種類:実 習
29- 30	6/5	12:50- 15:40	解剖学 実習室	心臓の神経・後縦隔	解剖学用語試験 6 40~72、 74、343~344、378~380 『人体解剖学実習手順:11』	秋田 恵一, 山口 久美 子, 坂本 裕 次郎, 那須 久代, 原田 理代, 室生 暁, 二村 昭 元, 藤代 瞳, 中澤正 孝	ALの種類:実 習、演習
31- 32	6/7	12:50- 15:40	解剖学 実習室	心臓・肺	『人体解剖学実習手順:12』	秋田 恵一, 山口 久美 子, 坂本 裕 次郎, 那須 久代, 武智 正樹, 原田 理代, 室生 暁, 藤代 瞳, 中澤正 孝	ALの種類:実 習
33- 34	6/11	12:50- 15:40	解剖学 実習室	内臓総論、腹膜、腸 間膜の脈管・神経、上 腹部浅部(脈管・神 経)	『人体解剖学実習手順:13』	秋田 恵一, 山口 久美 子, 坂本 裕 次郎, 那須 久代, 武智 正樹, 原田 理代, 室生	ALの種類:実 習

						暁, 二村 昭 元, 中澤正 孝	
35- 36	6/12	12:50- 15:40	解剖学 実習室	肝臓の切離、上腹部 深部(脈管・神経)	解剖学用語試験 7 73、83~ 113、347~349、381~385 『人体解剖学実習手順:14』	秋田 恵一, 山口 久美 子, 坂本 裕 次郎, 那須 久代, 武智 正樹, 原田 理代, 室生 暁, 二村 昭 元, 中澤正 孝	ALの種類:実 習、演習
37- 38	6/14	12:50- 15:40	解剖学 実習室	消化管、肝臓	『人体解剖学実習手順:15』	秋田 恵一, 山口 久美 子, 坂本 裕 次郎, 那須 久代, 武智 正樹, 原田 理代, 室生 暁, 二村 昭 元, 藤代 瞳, 中澤正 孝	ALの種類:実 習
39- 40	6/18	12:50- 15:40	解剖学 実習室	腹膜後器官、横隔 膜、後体壁	看護学生見学 『人体解剖学 実習手順:16』	秋田 恵一, 山口 久美 子, 坂本 裕 次郎, 那須 久代, 武智 正樹, 原田 理代, 室生 暁, 二村 昭 元, 中澤正 孝	ALの種類:実 習
41- 42	6/19	12:50- 15:40	解剖学 実習室	脊柱管・脊髄、内頭蓋 底、咽頭後壁、椎前 筋・椎側筋	解剖学用語試験 8 29~34、 215~223、225、233~239、245 ~257、269~277、371~374 『人体解剖学実習手順:17』	秋田 恵一, 山口 久美 子, 坂本 裕 次郎, 那須 久代, 武智 正樹, 原田	ALの種類:実 習、演習

						理代, 室生 暁, 二村 昭 元, 中澤正 孝	
43- 44	6/21	12:50- 15:40	解剖学 実習室	肩甲帯、殿部(深 層)、腸腰筋の除去、 腰神経叢、腰部離断	『人体解剖学実習手順:18』	秋田 恵一, 山口 久美 子, 坂本 裕 次郎, 那須 久代, 原田 理代, 室生 暁, 二村 昭 元, 中澤正 孝	ALの種類:実 習
45- 46	6/25	12:50- 15:40	解剖学 実習室	会陰部(皮下・浅層)、 寛骨の除去、股関節	『人体解剖学実習手順:19』	坂本 裕次 郎, 那須 久 代, 武智 正 樹, 原田 理 代, 藤代 瞳, 中澤正 孝	ALの種類:実 習
47- 48	6/26	12:50- 15:40	解剖学 実習室	仙骨神経叢、骨盤出 口筋、内腸骨動脈、 骨盤神経叢、骨盤内 臓	解剖学用語試験 9 117~ 133、151~154、377、386~391 『人体解剖学実習手順:20』	坂本 裕次 郎, 那須 久 代, 武智 正 樹, 原田 理 代, 中澤正 孝	ALの種類:実 習、演習
49- 50	6/28	12:50- 15:40	解剖学 実習室	これまでの頭頸部の 総括	『人体解剖学実習手順:21』	坂本 裕次 郎, 那須 久 代, 武智 正 樹, 原田 理 代, 室生 暁, 中澤正 孝	ALの種類:実 習

授業方法

人体解剖学実習は、実習を行う前に、人体解剖学用語の予習の程度の確認として、人体解剖学用語試験を行う。ここで人体解剖学用語を理解しておくことで、人体解剖学実習手順や教科書等を読みやすい状態にすることを旨とする。

人体解剖学実習では、毎回の実習の進捗と手順を示した人体解剖学実習手順が事前に配布されるので、それにしたがって実習を進める。実習に先立って行われる講義では、確認の小テストなどが行われるので、人体解剖学実習手順、教科書等で十分に予習することが求められる。

人体解剖学実習手順に求められている課題は、解剖が予定通りに行われているかを確認する上での目安となる。また、そ

の情報を班員全員で確認することにより、進捗や手順を、自分の担当しているところ以外についても把握しているかを知ることができる。

手順を直前に読むだけで実習をこなそうとすることは、破壊するだけに等しいので、厳に慎むこと。

授業内容

授業スケジュール参照

成績評価の方法

6月28日までの25回(50コマ)の人体解剖学実習のうち、少なくとも19回に出席することが必要であり、19回以上の出席が認められた場合に評価を行う。

出席は、実習開始時に確認する。また、その他にも作業の中断が長過ぎたり進捗があまりにも遅いと判断された時には出席の確認を行うことがある。

人体解剖学実習の評価は、次の3つの項目により行われる。

1) 人体解剖学用語試験

「GRAY'S ANATOMY FOR STUDENT FLASH CARDS」による。エルゼビア eReview に、図や例題があるので、十分に準備することが求められる。ただし、解剖学用語は[日本解剖学会 解剖学用語委員会編「解剖学用語」(改訂13版)2007年医学書院]に準拠する。FLASH CARDS や本によっては誤りもあるので、注意してほしい。

評価は、日本語:英語=1:3で採点し、各回4割以上、全体で6割以上の得点を必須とする。

試験の範囲はFLASH CARDSの番号である。

人体解剖学用語試験は以下のように12回行われる。人体解剖学用語は、人体解剖学の授業が始まる前の予習として習得しておくことが求められるため、復習テストではなく、予習テストの形で行われる。したがって第1回は、『人体構造総論』の授業開始前、最後の3回は、『頭頸部基礎ブロック』の期間であるが、人体解剖実習の評価に含めることにする。

①2019/4/18 木 12:50~13:20 :1~22,35~39

②2019/4/24 水 12:50~13:20:114~116,134~140,158,164,175~178,192~200,212~214,224,226~232,259~268

③2019/5/15 水 12:50~13:20:75,141~145,201~203,335~337,345~346

④2019/5/22 水 12:50~13:20:23~24,149~150,204~211

⑤2019/5/29 水 12:50~13:20:25~28,76~82,146~148,155~157,338~342

⑥2019/6/5 水 12:50~13:20:40~72,74,343~344,378~380

⑦2019/6/12 水 12:50~13:20:83~101,381~385

⑧2019/6/19 水 12:50~13:20:29~34,73,102~113,151~154,269~277,347~349,372~374

⑨2019/6/26 水 12:50~13:20:117~133,215~223,225,233~258,377,386~391

⑩2019/7/1 月 12:50~13:20:259~268,278~282,299~303,326~334,370

⑪2019/7/10 水 12:50~13:20:159~163,165~174,179~191,283~298

⑫2019/7/17 火 12:50~13:20:304~325,350~369,375~376

2) 実習中の課題

人体解剖実習手順の中にある課題の提出を行う。班ごとの提出となるので、班員全員で確認のうえで提出されたものとする。課題を主として担当した班員以外に内容の説明を求められることがあるので、全員が答えることができるように議論を深めておくことが求められる。

3) 実習終了後の課題

実習終了後、実習中に配布した課題を提出することが求められる。班ごとに提出となる。提出方法は、実習中に提示す

る。

成績評価の基準

成績評価は、次の3つの項目で行う。1, 2, 3の項目の評価は、それぞれ 70%、20%、10%とする。1で十分に評価が確保されていても、合計で6割を越えない場合には、1の再試験を受けることになるので、十分に注意する必要がある。

1)人体解剖学用語試験

評価は、日本語:英語=1:3で採点し、各回4割以上、全体で6割以上の得点を必須とする。

4割以上が得られなかった回については、その回を再試験とする。また、各回の全てを4割以上が得られていたとしても、全体で6割以上の得点が得られなかった場合は、全範囲についての再試験を行う。

2)実習中の課題

課題が実習日のうちに提出され、意味のある回答がなされている場合に、評価を行う。しかしながら、班員のいずれかに説明を求めた時に、その内容について説明できなかった場合には、提出は無効とする。

3)実習終了後の課題

意味のある回答がなされている場合に評価を行う。班ごとの提出となるので、未提出、意味のある回答と認められない場合には、班員全員の評価はない。また、剽窃については、両者とも評価が認められない場合がある。

準備学習などについての具体的な指示

実習に先立って、その範囲についての講義を行う。人体解剖学実習手順、参考資料、教科書、アトラス、補助教材などを用い、十分に予習をして実習に臨むことが求められる。予習が不完全であると、それだけ実習に時間がかかり、終了が遅くなるという悪循環になる。解剖実習作業が遅くなるのは、多くの場合、わけがわからずに手を動かすということによって起こる。構造についてある程度理解をし、手順に十分に従うことにより、理解も深まり、進度も速くなる。

毎回手順に書いてある分量をこなさなくては、次回に持ち越すことになってしまうので、次回にその分だけ遅くなる。

なお、上肢・下肢の一部の実習は頭頸部基礎の実習期間中に並行して行うことになる。

教科書

グレイ解剖学／Richard L.Drake, A.Wayne Vogl, Adam W.M.Mitchell 原著,塩田浩平, 秋田恵一 監修・監訳,Drake, Richard Lee, 1950-,Vogl, Wayne,Mitchell, Adam W. M,塩田, 浩平, 1946-,秋田, 恵一, 1962-,.:エルゼビア・ジャパン, 2016

グレイ解剖学アトラス／Richard L.Drake, A.Wayne Vogl, Adam W.M.Mitchell, Richard M.Tibbitts, Paul E.Richardson 原著,塩田浩平, 秋田恵一 監修・監訳,.:エルゼビア・ジャパン, 2015

Gray's Anatomy for Students Flash Cards／Richard Drake PhD FAAA (著), A. Wayne Vogl PhD FAAA (著), Adam W. M. Mitchell MB BS FRCS FRCR (著):Churchill Livingstone; 3版, 2014

他科目との関連

「人体解剖学」は、「人体構造総論」と密接な関係があるだけでなく、「組織学」や「神経解剖学」といった、他の解剖学の科目とも密接な関係にある。また、1年生の「医学導入(MIC)」とくにその中の「症候学導入」とも関連が深く、その時には十分理解出来なかった症候のメカニズムを確認する機会とすることが必要である。臨床的な事項との関連は、意識しないとなかなか気付かない。講義中に提示する症例や、教科書「グレイ解剖学」の臨床的事項や臨床症例等を活用し、様々なところで関連を考えながら学んでいただきたい。実習中に、講義で提示された症例について班内で議論するなど、関連を考えながら、実習を進めるようにすることが求められる。

履修上の注意事項

解剖学用語を暗記することが重要なわけではない。人体解剖学も、人体発生学と同様にストーリーで理解することが必要である。何が重要なのかということについては、講義で折に触れて述べているはずなので、そこを意識して理解していただき

たい。解剖実習体については、十分に敬意を払って接すること。人体解剖実習手順などに従わず、解剖学的な根拠なしに実習を進めようとするのは、死体損壊となることがあるので、十分に気を付けておこなうこと。人体解剖実習手順、参考資料等、教材は全て著作物であり、著作権の問題があるので、受講登録者以外に公開することを禁ずる。

備考

実習手順、参考資料等、教材は全て著作物であり、著作権の関係上、外部に流出することのないように十分に気を付けること。

*** 実習担当教員等**

秋田恵一、二村昭元、原田雅代、那須久代(臨床解剖学分野)

衣袋健司、奥田逸子、塚田幸行、中澤正孝(非常勤講師)

坂本裕次郎(口腔保健衛生基礎学分野)

山口久美子(統合教育機構)

武智正樹(分子発生学分野)

授業最終日(7月2日)から、科目についてのアンケートが webclass で回答できるようになっている。アンケートに回答しない場合は、定期試験の合否を含む成績が webclass に表示されない(統合教育機構で検討中)。

参照ホームページ

エルゼビア eReview ID を配布するので、十分に活用してほしい。

時間割番号	011018				
科目名	頭頸部・基礎				
担当教員					
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	4

英文名 : Head and Neck Basic Medical Sciences

授業の目的、概要等

高齢化社会となり、疾病の多様性が認められる日本の医療現場では、口腔内疾患、身体的疾患を総合的に治療する必要がある。そのため、歯学を理解した医師、医学を理解した歯科医師の養成は、社会が求めるものである。医療系総合大学である本学が先進的な医歯学融合教育を実践することで、医科・歯科両学科の学生が将来の基盤となる頭頸部に関する基礎的な知識をともに学び、共有することは肝要である。

2年次に行われる本ブロックにおいては、頭頸部領域に関する組織学、解剖学、生理学、発生学の講義・実習の多くを医歯共通授業として行う。本ブロックが基礎・専門科目領域における医歯相互の関連を確認する機会となることで、3年次以降の医歯学融合教育の礎となることを目標とする。

授業の到達目標

頭頸部領域の構造と機能を理解する。具体的な項目については授業内容の項を参照すること。

コアカリ番号

D-7-1) ⑬⑭

D-13-1) ①②③④

D-14-1) ①②③④⑤⑥

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	7/1	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	脳神経概論	『グレイ解剖学 P735-746』『ラングマン人体発生学 P342』	秋田 恵一	アクティブラーニング(AL)の種類:演習、リアクションペーパー
2	7/1	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	中枢神経系神経概論	『ラングマン人体発生学 P315-337』	原田 理代	ALの種類:演習、リアクションペーパー
3	7/1	12:50- 13:20	保存矯正実習室, 情報検索室	解剖学用語試験(医:10、歯:1)	医:情報検索室、240~244、258~268、278~282、299~303、326~334、370 歯:保存矯正実習室 259~268、278~282、299~303、326~334、370	木下 淳博, 原田 理代, 須永 昌代, 那須 久代	ALの種類:演習
4	7/1	13:40- 15:00	医学科 講義室 1	人体解剖学(顔面皮下・浅層)	『人体解剖学実習手順 頭頸部 1』	秋田 恵一	ALの種類:演習、リアクションペーパー

5	7/1	15:10- 17:10	医学科 講義室 1	mini-PBL1	mini-PBL シナリオ 1~7	秋田 恵一, 山口 久美 子	ALの種類:演 習
6-8	7/2	12:50- 17:10	解剖学 実習室	人体解剖学実習(顔 面皮下、浅層)	『人体解剖学実習手順 頭頸 部 1』	秋田 恵一, 柴田 俊一, 山口 久美 子, 坂本 裕 次郎, 那須 久代, 武智 正樹, 原田 理代, 室生 暁, 二村 昭 元, 中澤正 孝	ALの種類:実 習
9	7/3	09:00- 10:20	鈴木章 夫記念 講堂	歯の総論1	『グレイ解剖学 P1056-1057』 『ネッター頭頸部解剖学アトラ ス P355-365』	柴田 俊一	ALの種類:討 論
10	7/3	10:30- 11:50	鈴木章 夫記念 講堂	人体解剖学(咀嚼筋 浅層、顔面中層、側 頭下窩)	『人体解剖学実習手順 頭頸 部 2』	秋田 恵一	ALの種類:演 習、リアクション ペーパー
11- 13	7/3	12:50- 17:10	解剖学 実習室	人体解剖学実習(咀 嚼筋浅層、顔面中 層、側頭下窩)	『人体解剖学実習手順 頭頸 部 2』	秋田 恵一, 柴田 俊一, 山口 久美 子, 坂本 裕 次郎, 那須 久代, 原田 理代, 室生 暁, 二村 昭 元, 藤代 瞳, 中澤正 孝, 武智 正 樹	ALの種類:実 習
14	7/4	12:50- 14:10	医学科 講義室 1	感覚器の生理1(体性 感覚)	『参考書として標準生理学第9 版、シラバス作成時は発行前 のためページ数未定』	杉内 友理 子	ALの種類:リア クションペーパ ー
15- 16	7/4	14:20- 17:10	医学科 講義室 1	組織学(口腔)	『口腔の発生と組織 4 版 pp41-105, 116-129』	田畑 純	ALの種類:双 方向性授業
17	7/5	09:00- 10:20	医学科 講義室	歯の総論2	『グレイ解剖学 P1056-1057』 『ネッター頭頸部解剖学アトラ	柴田 俊一	ALの種類:討 論

			1		ス P355-365』		
18	7/5	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	人体解剖学（顔面 （深層）・舌）	『人体解剖学実習手順 頭頸 部 3』	秋田 恵一	ALの種類:演 習、リアクション ペーパー
19- 21	7/5	12:50- 17:10	解剖学 実習室	人体解剖学実習（顔 面（深層）・舌）	『人体解剖学実習手順 頭頸 部 3』	秋田 恵一, 柴田 俊一, 山口 久美 子, 坂本 裕 次郎, 那須 久代, 武智 正樹, 原田 理代, 室生 暁, 二村 昭 元, 中澤正 孝	ALの種類:実 習
22	7/8	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	運動器の生理	参考にする教科書等のページ を記載	島崎 一夫	アクティブラー ニング(AL)の 種類を記載
23	7/8	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	人体解剖学（眼窩・ 眼球）	『人体解剖学実習手順 頭頸 部 4』	秋田 恵一	ALの種類:演 習、リアクション ペーパー
24- 26	7/8	12:50- 17:10	解剖学 実習室	人体解剖学実習（眼 窩・眼球）	『人体解剖学実習手順 頭頸 部 4』	秋田 恵一, 柴田 俊一, 山口 久美 子, 坂本 裕 次郎, 那須 久代, 原田 理代, 二村 昭元, 室生 暁, 藤代 瞳, 武智 正 樹	ALの種類:実 習
27	7/9	12:50- 14:10	医学科 講義室 1, 歯学 科第 1 講義室	組織学（眼）	医学科『標準組織学各論 P401-P433』 歯学科『最新力 ラー組織学 P436-447』『入門 組織学 P319-335』	石井 智浩, 田畑 純	ALの種類:双 方向性授業
28- 29	7/9	14:20- 17:10	4 階学 生実習 室, 歯	組織学実習（眼）	医学科『標準組織学各論 P401-P433』 歯学科『最新力 ラー組織学 P436-447』『入門	石井 智浩, 田畑 純	ALの種類:実 習

			学科第 1 講義 室		組織学 P319-335』		
30	7/10	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	感覚器の生理2 視 覚1	参考にする教科書等のページ を記載	伊藤 南	ALの種類:討 論
31	7/10	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	感覚器の生理3 視 覚2	参考にする教科書等のページ を記載	伊藤 南	ALの種類:討 論
32	7/10	12:50- 13:20	保存矯 正実習 室, 情 報検索 室	解剖学用語試験(医 11、歯2)	医:情報検索室 159~163、 165~174、179~191、283~ 298 歯:保存矯正実習室 283~298	木下 淳博, 山口 久美 子, 原田 理 代, 須永 昌 代	ALの種類:演 習
33	7/10	13:40- 15:00	医学科 講義室 1	人体解剖学 (外耳・ 中耳・内耳)	『人体解剖学実習手順 頭頸 部5』	秋田 恵一	ALの種類:演 習、リアクシ ョンペーパー
34	7/10	15:10- 17:10	医学科 講義室 1	mini-PBL-2	mini-PBL シナリオ 1~14	秋田 恵一, 山口 久美 子	ALの種類:演 習
35- 37	7/11	12:50- 17:10	解剖学 実習室	人体解剖学実習 (外 耳・中耳・内耳)	『人体解剖学実習手順 頭頸 部5』	秋田 恵一, 柴田 俊一, 山口 久美 子, 坂本 裕 次郎, 那須 久代, 原田 理代, 二村 昭元, 武智 正樹, 室生 暁, 藤代 瞳	ALの種類:実 習
38	7/12	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	感覚器の生理4 聴 覚	『参考書として人体の正常構造 と機能第3版 P718-725』	杉原 泉	ALの種類:双 方向性授業
39	7/12	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	感覚器の生理5 平 衡覚	『参考書として標準生理学第9 版、シラバス作成時は発行前 のためページ数未定』	杉内 友理 子	ALの種類:リア クションペーパ ー
40	7/12	12:50- 14:10	医学科 講義室 1, 歯学 科第1	組織学(耳)	医学科『標準組織学各論 P434-P460』 歯学科『最新力 ラー組織学 P447-455』『入門 組織学 P336-347』	石井 智浩, 田畑 純	ALの種類:双 方向性授業

			講義室				
41-42	7/12	14:20-17:10	4階学生実習室, 歯学科第1講義室	組織学実習(耳)	医学科『標準組織学各論 P434-P460』 歯学科『最新力ラー組織学 P447-455』『入門組織学 P336-347』	石井 智浩, 稲葉 弘哲, 田畑 純	ALの種類:実習
43	7/16	12:50-13:20	保存矯正実習室, 情報検索室	解剖学用語試験(医12、歯3)	医:情報検索室 304~325、350~369、375~376 歯:保存矯正実習室 304~325、369、375~376	木下 淳博, 山口 久美子, 原田 理代, 須永 昌代	ALの種類:演習
44	7/16	13:40-15:00	医学科講義室1	頭頸部の画像解剖学	『グレイ解剖学 P747-753,809-813』	奥田 逸子	ALの種類:双方向性講義
45	7/16	15:10-17:10	医学科講義室1	mini-PBL-3	mini-PBL シナリオ 8~21	秋田 恵一, 山口 久美子	ALの種類:演習
46	7/17	09:00-10:20	医学科講義室1	分子発生生物学1	『ラングマン人体発生学 P351-370』	武智 正樹	ALの種類:双方向性講義
47	7/17	10:30-11:50	医学科講義室1	人体解剖学(鼻腔・副鼻腔・口蓋)	『人体解剖学実習手順 頭頸部 6』	柴田 俊一	ALの種類:討論
48-50	7/17	12:50-17:10	解剖学実習室	人体解剖学実習(鼻腔・副鼻腔・口蓋)	『人体解剖学実習手順 頭頸部 6』	秋田 恵一, 柴田 俊一, 山口 久美子, 坂本 裕次郎, 那須 久代, 鹿野 俊一, 二村 昭元, 武智 正樹, 室生 暁, 藤代 瞳	ALの種類:実習
51	7/18	12:50-14:10	医学科講義室1	感覚器の解剖と生理 嗅細胞・味蕾など	『標準組織学各論 P461-471』	星 治	ALの種類:演習
52	7/18	14:20-15:40	医学科講義室1	人体解剖学(咽頭・喉頭)	『人体解剖学実習手順 頭頸部 7』	柴田 俊一	ALの種類:討論

53	7/18	15:50- 17:10	医学科 講義室 1	mini-PBL4	mini-PBL シナリオ 15~21	秋田 恵一, 山口 久美 子	ALの種類:演 習
54	7/19	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	分子発生生物学2	参考にする教科書等のページ を記載	井関 祥子	アクティブラー ニング(AL)の 種類を記載
55	7/19	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	分子発生生物学3	参考にする教科書等のページ を記載	井関 祥子	アクティブラー ニング(AL)の 種類を記載
56- 58	7/19	12:50- 17:10	解剖学 実習室	人体解剖学実習 (咽 頭・喉頭)	『人体解剖学実習手順 頭頸 部7』	秋田 恵一, 柴田 俊一, 山口 久美 子, 坂本 裕 次郎, 那須 久代, 原田 理代, 二村 昭元, 武智 正樹, 室生 暁, 藤代 瞳	ALの種類:実 習
59	7/22	09:00- 10:30	医学科 講義室 1	TBL (Team Based Learning)による成績 評価	シラバスに記載された学習項 目のすべて	山口 久美 子	ALの種類:演 習
60	7/22	10:50- 11:50	医学科 講義室 1	筆記試験	シラバスに記載された学習項 目のすべて	山口 久美 子	ALの種類:演 習
61- 63	7/22	12:50- 17:10	医学科 講義室 1	解剖(まとめと納棺)	『人体解剖学実習手順 納棺 マニュアル』	秋田 恵一, 柴田 俊一, 山口 久美 子, 坂本 裕 次郎, 那須 久代, 原田 理代, 二村 昭元, 武智 正樹, 室生 暁, 藤代 瞳	ALの種類:実 習

授業方法

講義・実習(解剖学・組織学)

授業内容

以下を目標とした授業内容である。

①骨格・軟骨・関節・靭帯・筋 を理解する。

- ②脳神経と主要な血管・リンパ管走行 を理解する。
- ③口腔内構造:顎骨および歯, 舌, 口蓋, 唾液腺 を理解する。
- ④頭頸部における内分泌腺の位置を理解し、分泌されるホルモンを列挙できる。
- ⑤視覚, 聴覚, 平衡覚, 体性感覚, (嗅覚, 味覚)の感覚刺激受容の概要を理解する。
- ⑥(平衡感覚機構を眼球運動、姿勢制御と関連させて説明できる。)
- ⑦眼球と付属器の構造と機能、眼球運動を理解する。
- ⑧(対光反射、輻輳反射、角膜反射の機能について説明できる。)
- ⑨外耳・中耳・内耳の構造 を理解する。
- ⑩口腔・鼻腔・咽頭・喉頭の構造と神経支配を理解する。
- ⑪咀嚼と嚥下 を理解する。
- ⑫鰓弓・鰓囊の分化と頭・頸部と顔面・口腔の形成過程 を理解する。
- ⑬神経系・感覚器の形成過程を理解する。

成績評価の方法

実習中の提出課題、および、最終日に行われる試験で成績を評価する。

個人ごとに提出する課題/試験は個人ごとの評価とし、班ごとに提出する課題/試験は班ごとに一律の評価とする。

期間中に行われる解剖学用語テストは、各学科の人体解剖学の成績の一部となる。

成績評価の基準

提出された課題・試験の成績の合計が6割を超えている場合を合格とする。

個人で提出した課題・試験の成績は個人で点数が決まるが、人体解剖学実習における班ごとの課題、PBLにおける提出課題、TBLのグループ試験は班ごとに点数が決まる。

準備学習などについての具体的な指示

・講義の前には授業内容を確認し、該当範囲の教科書を読んで参加すること。

各学科の関連講義(人体発生学、人体解剖学、組織学、生理学導入等)の内容は知っていることを前提として講義を行う。

・実習の前には手順に目を通し、予習しておくこと。

解剖学用語試験について解答できるように、十分に自習すること。また、実習に臨むにあたり、必要に応じて参考資料、補助教材を用い実習手順により予習をおこなうこと。予習が不完全であるとそれだけ実習に時間がかかり遅くなるという悪循環になる。

教科書

グレイ解剖学／Richard L.Drake, A.Wayne Vogl, Adam W.M.Mitchell 原著,塩田浩平, 秋田恵一 監修・監訳,Drake, Richard Lee, 1950-,Vogl, Wayne,Mitchell, Adam W. M,塩田, 浩平, 1946-,秋田, 恵一, 1962-,.:エルゼビア・ジャパン, 2016

ラングマン人体発生学／T.W.サドラー 著,安田峯生, 山田重人 訳,Sadler, Thomas W,安田, 峯生, 1937-,山田, 重人,.:メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2016

カandel神経科学／Eric R. Kandel [ほか] 編,Kandel, Eric R.,Schwartz, James H. (James Harris), 1932-,Jessell, Thomas M.,Siegelbaum, Steven,Hudspeth, A. James,Mack, Sarah,金澤, 一郎(1941-),宮下, 保司,岡野, 栄之,和田, 圭司,加藤, 総夫(医学),入来, 篤史(1957-),藤田, 一郎(1956-),伊佐, 正,定藤, 規弘,大隅, 典子(1960-),笠:メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2014-04

標準組織学各論／藤田尚男, 藤田恒夫 原著,藤田, 尚男, 1928-2014,藤田, 恒夫, 1929-2012,岩永, 敏彦, 1954-,石村, 和敬, 1949-,.:医学書院, 2017

入門組織学／牛木辰男 著,牛木, 辰男, 1957-,.:南江堂, 2013

ISBN: 4-89013-308-9

書名: 最新カラー組織学

著者名: L.P.ガートナー, J.L.ハイアット 著, 石村和敬, 井上貴央 監訳, Gartner, Leslie P, 1943-, Hiatt, James L, 1934-, 石村, 和敬, 1949-, 井上, 貴央, 1952-,

出版社: 西村書店

出版年: 2003

ISBN: 4525810238

書名: 口腔の発生と組織 = Oral Embryology and Histology

著者名: 田畑純 編著, 田畑, 純, 1961-,

出版社: 南山堂

出版年: 2015

ISBN: 9784263458266

書名: ネットー頭頸部・口腔顎顔面の臨床解剖学アトラス

著者名: Neil S.Norton 著, 前田健康 監訳, Norton, Neil Scott, 前田, 健康, 1959-,

出版社: エルゼビア・ジャパン

出版年: 2018

ISBN

書名

著者名

出版社

出版年

ISBN

書名

著者名

出版社

出版年

ISBN

書名

著者名

出版社

出版年

参考書

標準生理学 第9版 / 本間 研一 著・文・その他, 本間 研一, : 医学書院, 2019-03-18

カラー図解人体の正常構造と機能 = STRUCTURE, FUNCTION AND MATERIALS OF THE HUMAN BODY / 坂井建雄, 河原克雅 総編集, 坂井, 建雄, 1953-, 河原, 克雅, 1951-, : 日本医事新報社, 2017

履修上の注意事項

遅刻は本人の学習の妨げになるほか、同じグループのメンバーの学習にも大きな迷惑となることから、厳しく取扱う。実習に際しては、あらかじめ配布された手順を十分に予習して臨むこと。

備考

○問い合わせ先(講義担当教員、*ブロックコーディネーター)

(教員名) (診療科・分野) (Eメールアドレス@tmd.ac.jp の前)

秋田恵一 臨床解剖学分野 akita.fana

井関祥子 分子発生学分野 s.iseki.emb

柴田俊一 顎顔面解剖学分野 sshibata.mfa

杉内友理子 システム神経生理学分野 ysugiuchi.phy1

杉原泉 システム神経生理学分野 isugihara.phy1

田畑 純 硬組織構造生物学分野 tabatamj.bss

石井 智浩 細胞生物学分野 ishii.cbio

山口久美子* 統合教育機構 yamaguchi.fana

時間割番号	011022		
科目名	薬理学		
担当教員			
開講時期	通年	対象年次	2
英文名: Pharmacology			
主な講義場所			
3号館2階医学科講義室1			
授業の目的、概要等			
○学習方法			
<p>基本的、代表的な薬物を取り上げて、その薬理作用、作用機序、代謝、臨床応用などについて系統的に解説し、その後の臨床講義や臨床の現場で多数の薬物に遭遇しても応用できるような薬理学的基礎を与えることを目的としています。また生理学、生化学、薬理学等の区別にあまりとらわれずに、広く「物質と生体の相互作用」という立場から教育を行います。また実習を通じた教育を重視しており、動物実験代替法としてコンピュータシミュレーションプログラムを用い、様々な組織標本、動物個体に対する多くの薬物の薬理効果を自分の目で直接確認してもらいます。また、薬物動態に関しても、実際に人を対象として実習を行ったならば膨大な時間や労力を要し、実質的には実施不可能な項目についても、シミュレーション実習により、短時間で行うことが可能になりました。</p>			
題目及び内容: 担当			
薬理学総論: 田邊			
呼吸器薬理: 田邊			
消化器薬理: 田邊			
薬物動態: 永田			
腎臓薬理: 藤川			
泌尿器薬理: 藤川			
生殖器薬理: 藤川			
内分泌薬理: 田邊、藤川			
免疫薬理: 田邊			
循環器薬理: 田邊			
血管系薬理: 藤川			
鎮痛薬: 田邊			
炎症薬理: 田邊			
抗菌薬: 永田			
臨床薬理: 永田			
イオンチャンネル・レセプター・トランスポーター(*): 田邊			
神経筋接合部(*): 田中			
シナプスの分子生物学(*): 田中			
Caと細胞内情報伝達(*): 田邊			
末梢神経薬理(*): 三枝			

中枢神経薬理(*)：三枝

神経精神薬理(*)：田中

(*)は神経科学系統講義

授業の到達目標

評価：GP：(目安)：評価基準

A+：4：(－)：当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した

A：3.5：(－)：当該科目の到達目標を全て達成した

B：3：(本試験合格レベル)：当該科目の到達目標を概ね達成した

C：2：(再試験合格レベル)：当該科目の到達目標のうち最低限を達成した

D：1：(不合格)：当該科目の到達目標を達成していない

F：0：(評価不能)：到達目標の達成度を評価できない

文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成 28 年度改訂版)

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm

C-1-1)-(3)③

C-2-1)-(1)①②③④

C-2-1)-(2)①②③

C-2-2)-(1)①③④⑤

C-2-3)-(1)①②③

C-2-3)-(2)①②③④

C-2-3)-(3)②③

C-2-3)-(4)①②③④⑤

C-2-5)⑭

C-3-1)-(2)①②

C-3-1)-(4)③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪

C-3-2)-(1)①④

C-3-2)-(2)④

C-3-2)-(4)③

C-3-3)-(1)①②③

C-3-3)-(2)①②③

C-3-3)-(3)①

C-4-1)①②⑦

C-4-4)④

C-4-5)①

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員
---	----	----	-----	------	------

1	8/26	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	薬理学総論	田邊 勉
2	8/27	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	呼吸器・消化器作用薬	田邊 勉
3	8/28	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	利尿薬、泌尿器・生殖器作用薬	藤川 誠
4	8/29	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	内分泌系(1):ホルモン・骨粗鬆症治療薬	田邊 勉
5	8/30	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	内分泌系(2):糖尿病治療薬	藤川 誠
6	9/2	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	免疫抑制薬、糖質コルチコイド	田邊 勉
7	9/3	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	薬物動態学(1)	永田 将司
8	9/4	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	薬物動態学(2)	永田 将司
9	9/6	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	非ステロイド性抗炎症薬、抗リウマチ薬と痛風治療薬	田邊 勉
10	9/9	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	鎮痛薬(麻薬性、非麻薬性)	田邊 勉
11	9/10	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	循環器系(1):虚血性心疾患治療薬、心不全治療薬	田邊 勉
12	9/11	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	循環器系(2):抗不整脈薬、高血圧治療薬	田邊 勉
13	9/13	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	血管系薬理:抗血栓薬、高脂血症治療薬循環器系	藤川 誠
14	9/17	10:30-	医学科	抗菌薬(抗生物質、合成抗菌)	永田 将司

		11:50	講義室 1	薬) (1)	
15	9/18	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	抗菌薬(抗生物質、合成抗菌 薬) (2)	永田 将司
16	9/20	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	臨床薬理	永田 将司
17	10/8	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	薬理学試験	田邊 勉, 藤 川 誠

授業方法

パワーポイントを用いた講義形式

授業内容

授業では時間の関係で全てを教えることは不可能なので足りない部分は教科書等で自習し補完することが重要である。

成績評価の方法

講義に関しては、筆答試験でその学習成果を問う。神経系の薬理に関しては神経科学として別に試験を行う。また実習に関しては、出席し実験レポートを提出することが必須で、実習態度も重視する。

成績評価の基準

長年蓄積された過去の成績データおよび当該年度の試験成績を加味し、総合的な評価を行う。講義と実習の weight を 1:1 として最終成績を算出する。

準備学習などについての具体的な指示

授業前には、これまでに講義が終了している、細胞生物学、解剖学、組織学、生理学の関連分野に関し、復習するとともに、薬理学教科書・参考書の関連領域のところに通り目を通しておくことが望ましい。

試験の受験資格

当該授業科目の 3 分の 2 以上(16 コマを予定しているので 11 コマ以上)履修した者。

教科書

薬がみえる vol.1 Pharmacology:An Illustrated Reference Guide/医療情報科学研究所 編集,医療情報科学研究所,:メディアックメディア, 2014

薬がみえる vol.2 Pharmacology:An Illustrated Reference Guide/医療情報科学研究所 編集,医療情報科学研究所,:メディアックメディア, 2015

薬がみえる vol.3 Pharmacology:An Illustrated Reference Guide/医療情報科学研究所 編集,医療情報科学研究所,:メディアックメディア, 2016

臨床薬理学 : ハーバード大学講義テキスト/David E.Golan, Armen H.Tashjian, Jr., Ehrin J.Armstrong, April W.Armstrong [執筆],渡邊裕司 監訳,Golan, David E,Tashjian, Armen H., 1932-2009,Armstrong, Ehrin J,渡邊, 裕司,:丸善出版, 2015

The Pharmacological Basis of Therapeutics 13 版/Brunton L et al.:McGraw-Hill, 2018

・医系薬理学 2 版 2005 ISBN 9784498003194

・イラストレイテッド薬理学 原書 6 版 2016 ISBN 9784621301043

・イオンチャンネルの分子生物学 1998 ISBN 9784897063201

・カラー図解 これならわかる薬理学 2 版 2012 ISBN 9784895927253

- ローレンス臨床薬理学 2006 ISBN 9784890133413
- 標準薬理学 7版 2015 ISBN 9784260017503
- Color Atlas of Pharmacology 5版 2017 ISBN 9783132410657

参考書

薬理学：薬物治療の基礎と臨床(上巻)／グッドマン／[原編],ギルマン／[原編],高折修二／監訳,橋本敬太郎／監訳,赤池昭紀／監訳,石井邦雄／監訳,Goodman, Louis, S,Gilman, Alfred,高折 || 修二,橋本 || 敬太郎,赤池 || 昭紀,石井:廣川書店, 2013

薬理学：薬物治療の基礎と臨床(下巻)／グッドマン／[原編],ギルマン／[原編],高折修二／監訳,橋本敬太郎／監訳,赤池昭紀／監訳,石井邦雄／監訳,Goodman, Louis, S,Gilman, Alfred,高折 || 修二,橋本 || 敬太郎,赤池 || 昭紀,石井:廣川書店, 2013

図解薬理学：病態生理から考える薬の効くメカニズムと治療戦略／越前宏俊 著,越前, 宏俊, 1954-,:医学書院, 2008

NEW 薬理学／田中千賀子, 加藤隆一, 成宮周 編集,田中, 千賀子, 1931-,加藤, 隆一, 1930-,成宮, 周,:南江堂, 2017

•Principles of Neural Science 5th 2013 ISBN 9780071390118

•Molecular Biology of the Cell 6th 2014 ISBN 9780815344322

他科目との関連

神経科学、生理学、生化学と密接に関連している。さらに薬理学は臨床における薬物治療の基礎をなすものであり、全ての臨床科目と関連している。

時間割番号	011023		
科目名	薬理学実習		
担当教員			
開講時期	前期	対象年次	2
英文名 : Pharmacology			
主な講義場所			
実習講義は 3 号館 2 階医学科講義室 1 で、実習は 3 号館 6 階実習室で行う。			
授業の目的、概要等			
○学習方法			
<p>基本的、代表的な薬物を取り上げて、その薬理作用、作用機序、代謝、臨床応用などについて系統的に解説し、その後の臨床講義や臨床の現場で多数の薬物に遭遇しても応用できるような薬理学的基礎を与えることを目的としています。また生理学、生化学、薬理学等の区別にあまりとらわれずに、広く「物質と生体の相互作用」という立場から教育を行います。また実習を通じた教育を重視しており、動物実験代替法としてコンピュータシミュレーションプログラムを用い、様々な組織標本、動物個体に対する多くの薬物の薬理効果を自分の目で直接確認してもらいます。また、薬物動態に関しても、実際に人を対象として実習を行ったならば膨大な時間や労力を要し、実質的には実施不可能な項目についても、シミュレーション実習により、短時間で行うことが可能になりました。</p>			
実習題目			
<ul style="list-style-type: none"> ・実習講義 ・シミュレーション実習 <ol style="list-style-type: none"> 1. ラット横隔神経-横隔膜標本 2. 前頸骨筋-座骨神経標本 3. 心拍数血圧標本 4. カエル腹直筋標本 5. モルモット回腸標本 6. 輸精管標本 7. 動脈および静脈リング 8. 薬物動態シミュレーション 			
<p>本学においては 2009 年まで、犬、ウサギ、モルモット、マウス、カエル等の動物を用いた薬理学学生実習を行ってきました。しかしながら、学部学生を対象とした薬理学実習における実験動物の使用に関してはその必要性和動物愛護の観点から国際的な批判的的となってきました。しかしながら以前はこれに代わる実習法がなかった為、やむを得ず続けられてきました。しかしイギリスを中心としたヨーロッパ各国において薬理学実習をシミュレーションで行おうという流れができ、大きな開発研究費がつき、その結果、非常に有用なシミュレーションソフトが開発されました。そこで本学においても 2010 年より本システムを取り入れ、当初は部分的に、その後は全面的に取り入れて実習を行っています。シミュレーションを用いることにより、動物を用いていた時には不可能であった多様な実習を組むことが可能になりました。実習では 4 種のシミュレーションソフトを用いますがそれ以外にさらに 4 種のソフトがあります。そこで、もし実習で時間が余りましたらそれらソフトも使ってみてください。</p> <p>毎年卒業学生の感想で、「薬理学実習では生の動物を扱ってみたかったができなかったので残念であった」との意見を承る</p>			

ことがよくあります。もしそのような実験を望む場合は、研究実践プログラムやプロジェクトセメスター等で、当教室を含め動物実験を行っている教室で研究を行ってみてください。

授業の到達目標

評価:GP:評価基準

A+:4:当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した

A:3.5:当該科目の到達目標を全て達成した

B:3:当該科目の到達目標を概ね達成した

C:2:当該科目の到達目標のうち最低限を達成した

D:1:当該科目の到達目標を達成していない

F:0:到達目標の達成度を評価できない

文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成 28 年度改訂版)

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm

C-2-1)-(1)①②③④

C-2-2)-(1)⑤

C-2-3)-(1)①②③

C-2-3)-(2)①

C-2-3)-(4)③

C-3-3)-(1)①②③

C-3-3)-(2)①③

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員	備考
1-3	9/6	12:50- 17:10	医学科 講義室 1	実習説明、受容体理論・薬物 動態理論講義	田邊 勉, 田 中 大介, 藤 川 誠, 三枝 弘尚, 永田 将司	
4-6	9/9	12:50- 17:10	6 階学 生実習 室	実習(1-1)	田邊 勉, 田 中 大介, 藤 川 誠, 三枝 弘尚, 永田 将司	アクティブラー ニング(AL)の種 類:実習、演 習、グループワ ーク、討論
7-9	9/10	12:50- 17:10	6 階学 生実習 室	実習(1-2)	田邊 勉, 田 中 大介, 藤 川 誠, 三枝 弘尚, 永田 将司	アクティブラー ニング(AL)の種 類:実習、演 習、グループワ ーク、討論

10-12	9/11	12:50-17:10	6 階学生実習室	実習(1-3)、実習1まとめ	田邊 勉, 田中 大介, 藤川 誠, 三枝弘尚, 永田将司	アクティブラーニング(AL)の種類:実習、演習、グループワーク、討論
13-15	9/12	12:50-17:10	6 階学生実習室	実習(2-1)	田邊 勉, 田中 大介, 藤川 誠, 三枝弘尚, 永田将司	アクティブラーニング(AL)の種類:実習、演習、グループワーク、討論
16-18	9/13	12:50-17:10	6 階学生実習室	実習(2-2)	田邊 勉, 田中 大介, 藤川 誠, 三枝弘尚, 永田将司	アクティブラーニング(AL)の種類:実習、演習、グループワーク、討論
19-21	9/17	12:50-17:10	6 階学生実習室	実習(2-3)、実習2まとめ	田邊 勉, 田中 大介, 藤川 誠, 三枝弘尚, 永田将司	アクティブラーニング(AL)の種類:実習、演習、グループワーク、討論
22-24	9/18	12:50-17:10	6 階学生実習室	実習(3-1)	田邊 勉, 田中 大介, 藤川 誠, 三枝弘尚, 永田将司	アクティブラーニング(AL)の種類:実習、演習、グループワーク、討論
25-27	9/19	12:50-17:10	6 階学生実習室	実習(3-2)	田邊 勉, 田中 大介, 藤川 誠, 三枝弘尚, 永田将司	アクティブラーニング(AL)の種類:実習、演習、グループワーク、討論
28-30	9/20	12:50-17:10	6 階学生実習室	実習(3-3)、実習3まとめ	田邊 勉, 田中 大介, 藤川 誠, 三枝弘尚, 永田将司	アクティブラーニング(AL)の種類:実習、演習、グループワーク、討論

授業方法

・実習講義はパワーポイントを用いた講義形式で行う。

・実習は二人一組のペアで行う。

[注意]データは毎日各人の USB メモリーに保存し、自身のパソコンでデータが見えることを確認してください。

授業内容

・実習講義では、ただ単に実習の説明をするだけではなく、受容体理論、薬物動態理論などの解説も行うので必ず出席すること。

・実習では、種々の動物標本、個体を用いた実験、ヒトを用いた薬物動態に関する実験を、コンピューターシミュレーションを利用して行う。

成績評価の方法

・出席し、実験レポートを提出することが必須で、実習態度も重視する。

・レポートは実習課題の1つに関して提出してもらおうが、各人がどのレポートを担当するかは最終日に実習室に貼り出す。また WebClass 上にも貼り出す。

成績評価の基準

過去のデータおよび当該年度のレポートの内容を加味し、総合的な評価を行う。時々過去のレポートの丸写しとしか思えないものを提出される人がいますが、コピーが判明した場合、単位認定を取り消す場合がありますのでそのような不正は厳に慎んでください。講義と実習の weight を 1 : 1 として最終成績を算出する。

準備学習などについての具体的な指示

受講前に必ず教科書・参考書の関連領域のところに一通り目を通しておくことが必須である。また各実習に関する資料を事前に、WebClass で閲覧できるようにしておきますので、かならず目を通し、実習内容を理解しておくことが重要です。

試験の受験資格

当該授業科目の 4 分の 3 以上(10 日間を予定しているので 8 日以上)履修した者。

履修上の注意事項

実習は二人一組のペアで行いますので、一人が欠席するともう一人に迷惑がかかりますので必ず出席するようにしてください。

時間割番号	011025		
科目名	生化学		
担当教員			
開講時期	後期	対象年次	2

主な講義場所

指定された教室で行います。

授業の目的、概要等

人体を構成する蛋白、糖、脂質、核酸などの合成、分解の過程を理解し、その破たんと各種疾病の病態の関係を理解することが目的です。

授業の到達目標

糖、脂質、アミノ酸、核酸、金属、ビタミン、エネルギー代謝の概要を説明し、その破たんがどのような病気につながるかを説明できるようになることが到達目標です。

文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成 28 年度改訂版)

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm

C-2-5)①②③④⑤⑥⑦⑧⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯

C-4-3)①②③④⑤⑥

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員
1	8/26	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	糖代謝(解糖系)	畑 裕
2	8/28	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	糖代謝(TCA 回路、ペントース リン酸回路)	畑 裕
3	8/30	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	糖代謝(グリコーゲン代謝、 グルコース以外の糖、プロテオ グライカン)	畑 裕
4	9/2	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	脂質代謝(脂質の合成、分解)	畑 裕
5	9/4	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	序論	畑 裕
6	9/9	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	脂質代謝(リポ蛋白、プロスタ グランدين、複合脂質)	畑 裕

7	9/10	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	脂質代謝(ケトン体、コレステロール)	畑 裕
8	9/13	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	アミノ酸代謝(窒素代謝)	畑 裕
9	9/17	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	アミノ酸代謝(炭素骨格の代謝、生理活性物質)	畑 裕
10	9/18	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	プリン代謝	畑 裕
11	9/24	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	酵素学(実習関連)	畑 裕
12	9/25	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	動脈硬化と脂肪代謝	吉田 雅幸
13	9/27	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	電子伝達系	畑 裕
14	9/30	09:00- 10:20	症例検 討室	ポルフィリン代謝、鉄代謝	畑 裕
15	10/1	09:00- 10:20	症例検 討室	ビタミン(水溶性ビタミン)	畑 裕
16	10/2	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	ピリミジン代謝	畑 裕
17	10/4	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	ビタミン(脂溶性ビタミン)	畑 裕
18	10/9	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	生化学試験	

授業方法

パワーポイントによる古典的講義形式をとりますが、active learning を意識し、時折、質問を指しはさみます。なお、パワーポイントのスライドはあくまで参考にすぎません。標準的な教科書を参照し、書き込みなどしながら受講すると効率がよいと思います。受講直後に間を置かず該当箇所を通読すると内容が腑に落ちて理解が深まると思います。

授業内容

時間割を参照してください。標準的な生化学教科書の項目に沿っています。授業の進み具合によっては、時間割とずれが

生じる可能性があります。

成績評価の方法

筆記試験で行います。

評価のウェイトは、「講義:75%」、「実習:25%」とします。

成績評価の基準

100点満点の試験において60点以上をとった場合に合格とします。

準備学習などについての具体的な指示

標準的な生化学の教科書を一冊、所持し、授業の進行に合わせて読了してください。生化学の講義の範囲でなくても医学科学生が知っていて然るべきと思われることは授業中に指摘します。その部分について知識が欠けていると気づいた場合は、自主的に勉強してください。

試験の受験資格

医学科の規定に従います。

教科書

デブリン生化学：臨床の理解のために／Thomas M.Devlin [編],上代淑人, 澁谷正史, 井原康夫 監訳,：丸善出版, 2012

ストライヤー生化学 第8版／Jeremy M.Berg, John L.Tymoczko, Lubert Stryer 著,入村達郎, 岡山博人, 清水孝雄 監訳,：東京化学同人, 2018

イラストレイテッドハーパー・生化学 原書 30 版／清水孝雄 監訳,R.K.Murray, D.A. Bender, K.M. Botham, P.J. Kennelly, V.W. Rodwell, P.A. Weil [著],：丸善出版, 2016

シンプル生化学／林典夫, 廣野治子 監修,野口正人, 五十嵐和彦 編集,：南江堂, 2014

付記)翻訳教科書は残念ながら値段が高価ですので、最新版でなく1版古いものを中古本として購入するのも結構です。

他科目との関連

内科学との関係は深いです。生理学、組織学、薬理学とも重なりがあります。学内では著明な研究者を講師とするセミナーが頻回に開催されます。「大学院特別講義」と表示されている場合が多いですが、学部学生のうちから積極的に聴講し、基礎・臨床を問わず医学の最先端の話題に触れることを強く推奨します。

履修上の注意事項

授業を聴くだけでなく、成書を読んでください。上記のように生理学、組織学、薬理学などの基礎系科目について十分な知識があることを前提として講義します。ですから、その部分に不足があると感じたならば、自学自習して補ってください。

時間割番号	011026		
科目名	生化学実習		
担当教員			
開講時期	後期	対象年次	2

主な講義場所

指定された教室で行います。

授業の目的、概要等

人体を構成する蛋白、糖、脂質、核酸などの合成、分解の過程を理解し、その破たんと各種疾病の病態の関係を理解することが目的です。

授業の到達目標

糖、脂質、アミノ酸、核酸、金属、ビタミン、エネルギー代謝の概要を説明し、その破たんがどのような病気につながるかを説明できるようになることが到達目標です。

文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成 28 年度改訂版)

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm

C-2-5)①

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員
1-3	9/24	12:50- 17:10	5 階学 生実習 室	酵素実習、分子生物学実習	畑 裕, 烏山 —
4-6	9/26	12:50- 17:10	5 階学 生実習 室	酵素実習、分子生物学実習	畑 裕, 烏山 —
7-9	9/27	12:50- 17:10	5 階学 生実習 室	酵素実習、分子生物学実習	畑 裕, 烏山 —
10- 12	9/30	12:50- 17:10	5 階学 生実習 室	酵素実習、分子生物学実習	畑 裕, 烏山 —
13- 15	10/1	12:50- 17:10	5 階学 生実習 室, アク ティブラ ーニン グ教室	酵素実習、分子生物学実習	畑 裕, 烏山 —
16- 18	10/2	12:50- 17:10	5 階学 生実習	酵素実習、分子生物学実習	畑 裕, 烏山 —

			室		
19- 21	10/3	12:50- 17:10	5 階学 生実習 室	酵素実習、分子生物学実習	畑 裕, 烏山 —
22- 24	10/4	12:50- 17:10	5 階学 生実習 室	酵素実習、分子生物学実習	畑 裕, 烏山 —
25- 27	10/7	12:50- 17:10	5 階学 生実習 室	酵素実習、分子生物学実習	畑 裕, 烏山 —

授業方法

パワーポイントによる古典的講義形式をとりますが、active learning を意識し、時折、質問を指しはさみます。なお、パワーポイントのスライドと別に、標準的な教科書を参照しながら書き込みなどしながら受講すると効果的だと思います。受講直後に間を置かずに該当箇所を通読すると効率的に学習できると思います。

授業内容

時間割を参照してください。標準的な生化学教科書の項目に沿っています。授業の進み具合によっては、時間割とずれが生じる可能性があります。

成績評価の方法

筆記試験で行います。

評価のウェイトは、「講義:75%」、「実習:25%」とします。

成績評価の基準

100 点満点の試験において 60 点以上をとった場合に合格とします。

準備学習などについての具体的な指示

標準的な生化学の教科書を一冊、所持し、授業の進行に合わせて読了してください。生化学の講義の範囲でなくても医学科学生が知っていて然るべきと思われることは授業中に指摘します。その部分について知識が欠けていると気づいた場合は、自主的に勉強してください。

試験の受験資格

医学科の規定に従います。

教科書

デブリン生化学：臨床の理解のために／Thomas M.Devlin [編], 上代淑人, 澁谷正史, 井原康夫 監訳, :丸善出版, 2012

ストライヤー生化学 第8版／Jeremy M.Berg, John L.Tymoczko, Lubert Stryer 著, 入村達郎, 岡山博人, 清水孝雄 監訳, :東京化学同人, 2018

イラストレイテッドハーパー・生化学 原書 30 版／清水孝雄 監訳, R.K.Murray, D.A. Bender, K.M. Botham, P.J. Kennelly, V.W. Rodwell, P.A. Weil [著], :丸善出版, 2016

シンプル生化学／林典夫, 廣野治子 監修, 野口正人, 五十嵐和彦 編集, :南江堂, 2014

付記) 翻訳教科書は残念ながら値段が高価ですので、最新版でなく 1 版古いものを中古本として購入するのも結構です。

他科目との関連

内科学との関係は深いです。生理学、組織学、薬理学とも重なりがあります。

履修上の注意事項

授業を聴くだけでなく、成書を読んでください。上記のように生理学、組織学、薬理学などの基礎系科目について十分な知識があることを前提として講義します。ですから、その部分に不足があると感じたならば、自学自習して補ってください。

時間割番号	011027				
科目名	分子遺伝学				
担当教員					
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	1
英文名 : Molecular Genetics					
主な講義場所					
3号館 2階医学科講義室 1					
授業の到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる ・科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる ・医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる ・臨床的あるいは科学的問題提起ができる ・他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる ・個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる ・自立と監督・指導の必要性との適切なバランスを常に保つことができる ・時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる ・文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる ・本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる ・常に、誠実さ、正直さ、確実さをもって行動できる ・他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる ・情報やデータ収集におけるエラーを認識し、学習グループのメンバーや指導・監督者に報告できる ・記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる ・自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる ・自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる ・他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる ・ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる ・疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に必要な基礎医学知識を提示できる 					
<p>文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成 28 年度改訂版)</p> <p>http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm</p>					
C-1-1)-(1)①②					
C-1-1)-(1)③④⑦⑧					
C-1-1)-(2)①②③④⑤⑥					
C-1-1)-(3)③					
C-2-1)-(1)③④					
C-2-1)-(2)③④					
C-2-2)-(1)②					
C-2-2)-(1)⑥					

C-2-3)-(1)①②③

C-2-3)-(2)①③

C-2-5)①②⑤⑥⑧⑩⑬

C-3-1)-(1)③

C-4-1)①②③④⑤⑥⑦

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員	備考
1	8/27	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	オーヴァービュー DNA と RNA を模型で学ぶ 班分け	浅原 弘嗣, 千葉 朋希, 松島 隆英, 片岡 健輔	
2	8/29	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	ヒト遺伝学の基礎	浅原 弘嗣, 千葉 朋希, 松島 隆英, 栗本 遼太	課題発表、討 論、ディベート
3	9/3	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	遺伝子発現の基礎:壊血病と コラーゲン	浅原 弘嗣, 千葉 朋希, 松島 隆英, 片岡 健輔	実習、演習、課 題発表、討論、 ディベート
4	9/6	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	エピジェネティクスと医学	石野 史敏, 千葉 朋希, 松島 隆英, 栗本 遼太, 浅原 弘嗣	
5	9/11	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	代謝と脂質と分泌	浅原 弘嗣, 千葉 朋希, 松島 隆英, 栗本 遼太	実習、演習、課 題発表、討論、 ディベート
6	9/20	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	核酸を操る手法	伊藤 義晃, 千葉 朋希, 松島 隆英, 栗本 遼太, 浅原 弘嗣	実習、演習、課 題発表、討論、 ディベート
7	9/24	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	比較ゲノムとポストゲノム	浅原 弘嗣, 千葉 朋希, 松島 隆英, 片岡 健輔	課題発表、討 論、ディベート
8	9/25	10:30- 11:50	医学科 講義室	遺伝子工学とインシュリン	浅原 弘嗣, 千葉 朋希,	実習、演習、課 題発表、討論、

			1		松島 隆英, 栗本 遼太	ディベート
9	9/27	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	発生と再生医学と幹細胞	浅原 弘嗣, 千葉 朋希, 松島 隆英, 栗本 遼太	実習、演習、課 題発表、討論、 ディベート
10	9/30	10:30- 11:50	症例検 討室	治療薬からみた癌とDNA修復 と細胞周期	浅原 弘嗣, 千葉 朋希, 松島 隆英, 栗本 遼太	実習、演習、課 題発表、討論、 ディベート
11	10/1	10:30- 11:50	症例検 討室	ゲノムと医療	田中 敏博, 千葉 朋希, 松島 隆英, 片岡 健輔, 浅原 弘嗣	課題発表、討 論、ディベート
12	10/2	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	RNA ワールド	浅原 弘嗣, 千葉 朋希, 松島 隆英, 栗本 遼太	課題発表、討 論、ディベート
13	10/4	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	細胞内オルガネラとイメージン グ	浅原 弘嗣, 千葉 朋希, 松島 隆英, 栗本 遼太	課題発表、討 論、ディベート
14	10/7	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	ゲノム編集と遺伝子治療	浅原 弘嗣, 千葉 朋希, 松島 隆英, 栗本 遼太	実習、演習、課 題発表、討論、 ディベート
15	10/7	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	班の再振り分けによる総復習	浅原 弘嗣, 千葉 朋希, 松島 隆英, 栗本 遼太	グループワー ク、ディベート
16	10/1 5	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	分子遺伝学試験	浅原 弘嗣, 千葉 朋希, 松島 隆英, 片岡 健輔	

授業方法

下記の教科書・参考書を用いて予習・復習をする。

成績評価の方法

試験および講義への出席状況で評価を行う。

準備学習などについての具体的な指示

基本的な遺伝子、分子生物学の知識(高校生の生物レベル)は各自、簡単な本を選び自習しておくことが望ましい

教科書

Molecular biology of the cell/Bruce Alberts, Alexander Johnson, Julian Lewis, David Morgan, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter,with problems by John Wilson, Tim Hunt,Johnson, Alexander D,Lewis, Julian, 1946-2014,Morgan, David Owen, 1958-,Wilson, John, 1944-,Hunt, Tim, 1943-: Garland Science, Taylor and Francis Group, 2015

Essential 細胞生物学/中村桂子, 松原謙一 監訳,Bruce Alberts, Dennis Bray, Karen Hopkin, Alexander Johnson, Julian Lewis, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter 著,中村, 桂子, 1936-,松原, 謙一, 1934-,Alberts, Bruce,Bray, Dennis,Hopkin, Karen,: 南江堂, 2016

ヒトの分子遺伝学/トム・ストラッチャン,Strachan, T.,Read, A. P. (Andrew),村松, 正實(1931-),笹月, 健彦,木南, 凌,辻, 省次,:メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2011-11

参考書

よくわかる分子生物学の基本としくみ/井出利憲 著,井出, 利憲, 1943-,: 秀和システム, 2015

参照ホームページ

<http://www.tmdusystemsbiomedicine.com/>

(東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 システム発生・再生医学分野)

時間割番号	011029		
科目名	神経解剖学		
担当教員			
開講時期	後期	対象年次	2
英文名 : Neuroanatomy			
主な講義場所			
3号館 2階 医学科講義室 1			
MDタワー アクティブラーニング室			
授業の目的、概要等			
<p>「神経解剖学」は「神経解剖学実習」と一体の科目です。関連する知識を整理しつつ、ヒト神経系の肉眼標本、組織標本を直接観察し、神経系の構造を深く理解することを目的としています。講義と実習を繰り返しつつ、少しずつその全体像に迫っていきます。用語や三次元的な位置関係の理解に当初は戸惑うことも多いと思いますが、その理解は今後学ぶ様々な科目を学ぶための前提となります。</p>			
授業の到達目標			
<p>科目履修を通じて身に着けることが期待される能力(到達目標)は以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神経系の構造をその機能と関連付けて理解し、適切な専門用語を使用し的確に記述すること。 ・実習を通じて生命倫理と規範の順守を実践し、バランスのとれた良識を形成すること。 ・人体の正常機能と疾患、更には最新の神経科学を理解する基礎を確立すること。 ・実習経験にもとづく思考、教員や同僚との議論、実習経過の記録や報告を通じて、問題の発見、提起からその解決に至る過程に含まれる科学的な方法論を体得すること。 			
<p>文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成 28 年度改訂版)</p> <p>http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm</p>			
C-1-1)-(1)①②			
C-1-1)-(1)③④⑥⑦⑧			
C-1-1)-(2)③⑤⑥			
C-1-1)-(3)①②			
C-2-1)-(1)①②③④			
C-2-1)-(2)①②③④			
C-2-2)-(1)①②			
C-2-2)-(1)③④			
C-2-2)-(1)⑥			
C-2-2)-(2)①			
C-2-3)-(1)①②③			
C-2-3)-(2)①②③④⑤			
C-2-3)-(4)①②③⑤			
C-2-4)②③⑧⑨			
C-2-5)⑩⑭			
C-3-1)-(1)③			

C-3-3)-(2)②

C-4-1)②

C-4-2)①②

C-4-4)②④

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/1 6	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	マクロ(1)	イントロダクション、神経系の発生総論	寺田 純雄	双方向授業
2	10/1 6	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	マクロ(1)	脳の概観, 髄膜と血管, 脳神経の観察	寺田 純雄	双方向授業
3	10/2 3	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	ミクロ(1)	脊髄の組織学(1)	寺田 純雄	双方向授業
4	10/2 3	12:50- 14:10	医学科 講義室 1	ミクロ(1)	脊髄の組織学(2)	寺田 純雄	双方向授業
5	10/3 0	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	マクロ(2)	脳幹・小脳の分離, 菱形高[第四脳室], 脳幹スライス標本の観察	寺田 純雄	双方向授業
6	11/8	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	ミクロ(2)・(3)	延髄, 橋の組織学	寺田 純雄	双方向授業
7	11/8	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	ミクロ(2)・(3)	中脳の組織学	寺田 純雄	双方向授業
8	11/1 1	09:00- 10:20	アクティ ブラーニ ング教 室	特別講義	特別講義1/脳幹網様体・自律神経系	大竹 一嘉	
9	11/1 1	10:30- 11:50	アクティ ブラーニ ング教 室	特別講義	特別講義2/神経系の血流支配	大竹 一嘉	
10	11/1 8	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	マクロ(3)	小脳の皮質区分と小脳核, 線維結合の観察	寺田 純雄	双方向授業
11	11/2	09:00-	共用講	ミクロ(4)	小脳の組織学(1)	寺田 純雄	双方向授業

	6	10:20	義室 2				
12	11/2 6	10:30- 11:50	共用講 義室 2	ミクロ(4)	小脳の組織学(2)	寺田 純雄	双方向授業
13	11/2 7	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	マクロ(4)	大脳の半切, 大脳皮質(区 分), 第三脳室, 視床下部の 観察	寺田 純雄	双方向授業
14	11/2 7	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	特別講義	特別講義3/間脳の構造と機 能(1)	大竹 一嘉	
15	12/1 3	09:00- 10:20	アクティ ブラーニ ング教 室	特別講義	特別講義4/間脳の構造と機 能(2)	大竹 一嘉	
16	12/1 6	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	マクロ(5)	島皮質, 皮質における連合・交 連・投射線維, 視放線, 内 包, 視床, 基底核等の観察(1)	寺田 純雄	双方向授業
17	12/1 6	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	マクロ(5)	島皮質, 皮質における連合・交 連・投射線維, 視放線, 内 包, 視床, 基底核等の観察(2)	寺田 純雄	双方向授業
18	12/1 7	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	ミクロ(5)	大脳皮質の組織学, 代表的な 神経伝導路のまとめ(1)	寺田 純雄	双方向授業
19	12/1 7	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	ミクロ(5)	大脳皮質の組織学, 代表的な 神経伝導路のまとめ(2)	寺田 純雄	双方向授業
20	12/2 0	09:00- 10:20	アクティ ブラーニ ング教 室	特別講義	特別講義5/味覚と嗅覚	大竹 一嘉	
21	12/2 0	10:30- 11:50	アクティ ブラーニ ング教 室	特別講義	特別講義6/脳幹の解剖学の まとめ, 前庭覚と聴覚	八木沼 洋 行	
22	1/17	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	マクロ(6)	側脳室, 海馬と脳弓, 扁桃体, 視床, 基底核等の観察	寺田 純雄	双方向授業
23	1/17	10:30- 11:50	アクティ ブラーニ ング教 室	特別講義	特別講義7/特論(1)マウス 遺伝学概論	武井 陽介	

24	2/3	09:00- 10:20	アクティ ブラーニ ング教 室	ミクロ(6)	辺縁系と海馬の組織学	寺田 純雄	双方向授業
25	2/3	10:30- 11:50	アクティ ブラーニ ング教 室	ミクロ(6)	視覚伝導路	寺田 純雄	双方向授業
26	2/4	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	特別講義	特別講義8／特論(2)形態学 研究概論	寺田 純雄	双方向授業
27	2/4	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	特別講義	特別講義9／特論(3)顕微測 光法	寺田 純雄	双方向授業
28	2/5	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	マクロ(7)	大脳基底核	寺田 純雄	双方向授業
29	2/5	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	マクロ(7)	大脳のスライス標本の観察、ま とめ	寺田 純雄	双方向授業 グループワーク 課題発表
30	2/12	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	試験	神経解剖学試験	寺田 純雄	

授業方法

「神経解剖学」、「神経解剖学実習」は、実習講義・実習と特別講義から構成されます。各回の実習に先立って1時間から1時間30分程度の実習講義を行います。実習では脊髄を除き、まず肉眼解剖学的観察を行い、その直後の時間枠で同じ場所の組織標本を鏡検します。また、実習講義だけでは十分に説明できない話題を取り上げる為、特別講義を行います。講義は、外部講師による特別講義以外は原則としてimakikuを使用した双方向授業形式で行います。最終回にはグループワークと課題発表を予定しています。またマクロ(2)の実習時に粘土を使用した演習を並行して行い、次回以降の実習時に課題発表してもらう予定です。

授業内容

実習講義により説明を加えつつ、肉眼解剖、組織解剖の順で実習を行います。構造の比較的単純な脊髄から観察を開始し、脳幹、小脳、大脳の順で進めます。別途、実習講義の内容を補足したり、実習講義としては説明の難しい話題を取り上げたりするため、特別講義を行います。また形態学関連の研究の最前線を紹介する時間を設けます。

成績評価の方法

実習出席とスケッチ、筆記試験、場合により試問、レポートをあわせて行います。

成績評価の基準

実習スケッチと筆記試験(記述式を主体とする)の評価の割合は3対5として合算し、成績を判定します。実習の出席状況やスケッチの評価が悪く、筆記試験で実習資料の章末に掲載の参考課題に十分答えられる水準にないと判定される場合には不合格となります。

準備学習などについての具体的な指示

実習前に、事前に配布するマニュアルの該当箇所(実習の手順を記載したもの)と講義資料に目を通し、アトラスや参考書を利用して観察すべき構造物の名称と場所(特にマニュアル中、太字で記載されているもの)について下調べを済ませておいて下さい。各回の実習講義の際には必ずマニュアルと講義資料を持参して下さい。実習では必要に応じて肉眼解剖標本と組織標本を比較し、標本のオリエンテーション(周辺部との位置関係)の理解に努めることをすすめます。肉眼解剖用の解剖用具は一般の肉眼解剖用に購入したものを持参し、白衣、前掛け、マスク、ゴム手袋などを適宜使用して下さい。肉眼、組織解剖実習ともに標本のスケッチを課題としますので、A4 版無地ノート(ルーズリーフ等バラバラになるものは不可)を持参して下さい。各回の実習終了後に教員から検印を受け、提出願います。筆記具は特定しませんが、組織解剖の際は特に青色系統の色鉛筆を持参すると便利です。スケッチは実習後の復習に役立つように各自考えながら描くことをすすめます。

教科書

特に指定しません。以下のリストを参考に自分にあうものを選んでください。

(リストに載っているもの以外でも構いません。よい解剖学の教科書は一生もので、かつ教科書にじっくり目を通す時間は学生時代を逃すとなかなか期待できません。高価でも後々の使用に耐える、記述のしっかりした教科書をおすすめします。)

参考書

分冊解剖学アトラス/W.KAHLE, M.Frotscher [著],平田幸男 訳.:文光堂, 2011

神経解剖学 : Core text/カーペンター [著],嶋井和世, 出浦滋之 監訳.:廣川書店, 1996

脳解剖学/万年甫, 原一之 共著.:南江堂, 1994

神経解剖学/岩堀修明 著.:金芳堂, 1998

神経解剖学講義ノート : カラー図解/寺島俊雄 著.:金芳堂, 2011

図説中枢神経系/Rudolf Nieuwenhuys [[ほか]著,水野昇 [[ほか]訳.:医学書院, 1991

ヒトの脳:神経解剖学・組織学アトラス/平田幸男 著.:文光堂, 2006

脳の分子生物学/Zach W.Hall [著],吉本智信, 石崎泰樹 監訳.:メディカル・サイエンス・インターナショナル, 1996

参考書 9. The Human Brain and Spinal Cord, 2nd ed., L. Heimer, Springer-Verlag, 1995

参考書 10. The Human Brain: An Introduction to its Functional Anatomy With STUDENT CONSULT Online Access, 6th ed., John Nolte, Mosby, 2008

参考書 11. The Human Nervous System, 3rd ed., J. K. Mai & G. Paxinos (Ed.), Academic Press, 2010

参考書 12. Neuroscience: Exploring the Brain, 4th ed., M. F. Bear et al., Lippincott Williams & Wilkins, 2012

参考書 13. Neuroscience, 4th ed., D. Purves et al., Sinauer, 2008

参考書 14. Principles of Neural Science, E. R. Kandel et al., 5th ed., McGraw Hill, 2013

参考書 15. Essentials of Neural Science and Behavior, E. R. Kandel et al., Appleton & Lange, 1996

参考書 16. Neuroscience Textbook Set: Fundamental Neuroscience, L. R. Squire et al., 3rd ed., Academic Press, 2008

参考書 17. Histology of the Nervous System of Man and Vertebrates, Two-Volume Set, S. R. Cajal, Oxford, 1994

参考書 18. The Fine Structure of the Nervous System, A. Peters et al., 3rd ed., Oxford U. P., 1991

参考書 19. GRAY'S ANATOMY, L. H. Bannister et al., Churchill Livingstone, 1995

他科目との関連

神経系の関与する基礎、臨床系科目と広く関連します。

履修上の注意事項

科目の上では別れていますが、「神経解剖学」は「神経解剖学実習」と密接不可分であり、評価は両者を総合して行います。特に実習は、知識や解答そのものよりもむしろこれらに至る過程を学ぶ時間として重視します。献体された方々の御厚意をもとに用意された貴重な機会であることを忘れないように。

備考

神経解剖学の特徴のひとつはその階層性と全体性です。つまり、ある回の講義・実習はそれ以前の講義・実習での説明事項の(一定の)理解を前提として進みますが、一通り全体の勉強を終えないと個々の事項の意義が完全には理解できません。我慢して勉強を続けると、最初から積み上げていった知識が最後の実習時に閉じた環となって完結し、最終的に視界の開ける思いがするはずです。

参照ホームページ

最近解剖学関係でも有用な画像やテキストをネット上で公開している例が増えてきましたが、定評ある教科書を越える出来栄のところは数少なく、あくまで教科書の二次的資料として位置付けられるのが現状です。また、神経解剖学習時に3Dモデルの概念図は有用ですが、実習時に参考になる様な詳細なものは十分な普及をみません。幾つか実習講義中に補助的に使用する予定ですが、神経系の三次元的概念は実物をみて理解するのが最も早道です。

(1) 東京都医学研・脳神経病理データベース

<http://pathologycenter.jp/index.html>

(2) 解剖学電子教科書

<http://www.anatomy.med.keio.ac.jp/funatoka/anatomy.html>

(3) Atlas of Microscopic Anatomy: A Functional Approach: Companion to Histology and Neuroanatomy

<http://www.anatomyatlases.org/MicroscopicAnatomy/MicroscopicAnatomy.shtml>

(4) Digital Anatomist Interactive Atlases

<http://www9.biostr.washington.edu/da.html>

(5) Homo sapiens dissectus

<http://www.uni-mainz.de/FB/Medizin/Anatomie/workshop/vishuman/Eready.html>

(6) The Whole Brain Atlas

<http://www.med.harvard.edu/AANLIB/home.html>

(7) The Human Brain

<http://www.thehumanbrain.info/>

(ドイツ語だが関連サイトの <http://teaching.thehumanbrain.info/> も参考になる。)

(8) Brainmaps.org

<http://brainmaps.org/index.php>

(9) Allen Brain Atlas

<http://www.brain-map.org/>

(10) Mouse connectome project

<http://www.mouseconnectome.org/>

(*) 神経機能形態学分野ホームページ

<http://www.tmd.ac.jp/cgi-bin/nana/index.cgi>

時間割番号	011030						
科目名	神経解剖学実習						
担当教員							
開講時期	後期	対象年次	2				
英文名: Neuroanatomy							
主な講義場所							
3号館地下1階 解剖学実習室(肉眼解剖)							
3号館4階 組織学実習室(組織解剖)							
授業の目的、概要等							
<p>「神経解剖学実習」は「神経解剖学」と一体の科目です。関連する知識を整理しつつ、ヒト神経系の肉眼標本、組織標本を直接観察し、神経系の構造を深く理解することを目的としています。講義と実習を繰り返しつつ、少しずつその全体像に迫っていきます。用語や三次元的な位置関係の理解に当初は戸惑うことも多いと思いますが、その理解は今後学ぶ様々な科目を学ぶための前提となります。</p>							
授業の到達目標							
<p>科目履修を通じて身に着けることが期待される能力(到達目標)は以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神経系の構造をその機能と関連付けて理解し、適切な専門用語を使用し的確に記述すること。 ・実習を通じて生命倫理と規範の順守を実践し、バランスのとれた良識を形成すること。 ・人体の正常機能と疾患、更には最新の神経科学を理解する基礎を確立すること。 ・実習経験にもとづく思考、教員や同僚との議論、実習経過の記録や報告を通じて、問題の発見、提起からその解決に至る過程に含まれる科学的な方法論を体得すること。 							
<p>文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成28年度改訂版)</p> <p>http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm</p>							
C-1-1)-(1)①②							
C-1-1)-(1)③④⑥⑦							
C-2-1)-(2)①②③④							
C-2-2)-(1)①②③④							
C-2-2)-(2)①							
C-2-3)-(2)①②③④⑤							
C-2-4)②⑧⑨							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/1 6	12:50- 14:10	解剖学 実習室	マクロ(1)	マクロ実習1 脳の概観, 髄膜 と血管, 脳神経	寺田 純雄, 川岸 将彦, 齊藤 健太, 佐藤 啓介	実習
2	10/2 3	14:20- 15:40	4階学 生実習	ミクロ(1)	ミクロ実習1 脊髄	寺田 純雄, 川岸 将彦,	実習

			室			齊藤 健太, 佐藤 啓介	
3-4	10/3 0	12:50- 15:40	解剖学 実習室	マクロ(2)	マクロ実習2 脳幹・小脳の分離, 菱形窩(第四脳室), 脳幹 スライス標本	寺田 純雄, 川岸 将彦, 齊藤 健太, 佐藤 啓介	実習 演習
5	11/8	12:50- 14:10	4階学 生実習 室	ミクロ(2)	ミクロ実習2 脳幹(1)	寺田 純雄, 川岸 将彦, 齊藤 健太, 佐藤 啓介	実習 課題発 表
6	11/1 1	12:50- 14:10	4階学 生実習 室	ミクロ(3)	ミクロ実習3 脳幹(2)	寺田 純雄, 川岸 将彦, 齊藤 健太, 佐藤 啓介	実習 課題発 表
7-9	11/1 5	12:50- 17:10	4階学 生実習 室	補講	補講(ミクロ実習)	寺田 純雄, 川岸 将彦, 齊藤 健太, 佐藤 啓介	実習
10- 11	11/1 8	12:50- 15:40	解剖学 実習室	マクロ(3)	マクロ実習3 小脳	寺田 純雄, 川岸 将彦, 齊藤 健太, 佐藤 啓介	実習
12	11/2 6	12:50- 14:10	4階学 生実習 室	ミクロ(4)	ミクロ実習4 小脳	寺田 純雄, 川岸 将彦, 齊藤 健太, 佐藤 啓介	実習
13	11/2 7	12:50- 14:10	解剖学 実習室	マクロ(4)	マクロ実習4 大脳の半切, 大 脳皮質(区分)	寺田 純雄, 川岸 将彦, 齊藤 健太, 佐藤 啓介	実習
14	12/1 6	12:50- 14:10	解剖学 実習室	マクロ(5)	マクロ実習5 島皮質, 皮質に おける連合・交連・投射線維, 視放線, 内包, 視床, 基底核等	寺田 純雄, 川岸 将彦, 齊藤 健太, 佐藤 啓介	実習
15	12/1 7	12:50- 14:10	4階学 生実習 室	ミクロ(5)	ミクロ実習5 中心前回と後回	寺田 純雄, 川岸 将彦, 齊藤 健太, 佐藤 啓介	実習
16	1/17	12:50- 14:10	解剖学 実習室	マクロ(6)	マクロ実習6 側脳室, 海馬と 脳弓, 扁桃体, 視床, 基底核	寺田 純雄, 川岸 将彦,	実習

					等	齊藤 健太, 佐藤 啓介	
17	2/3	12:50- 14:10	4 階学 生実習 室	ミクロ(6)	ミクロ実習6 海馬, 視覚野	寺田 純雄, 川岸 将彦, 齊藤 健太, 佐藤 啓介	実習
18	2/5	12:50- 14:10	解剖学 実習室	マクロ(7)	マクロ実習7 大脳のスライス 標本	寺田 純雄, 川岸 将彦, 齊藤 健太, 佐藤 啓介	実習

授業方法

「神経解剖学」、「神経解剖学実習」は、実習講義・実習と特別講義から構成されます。各回の実習に先立って1時間から1時間30分程度の実習講義を行います。実習では脊髄を除き、まず肉眼解剖学的観察を行い、その直後の時間枠で同じ場所の組織標本を鏡検します。また、実習講義だけでは十分に説明できない話題を取り上げる為、特別講義を行います。講義は、外部講師による特別講義以外は原則としてimakikuを使用した双方向授業形式で行います。最終回にはグループワークと課題発表を予定しています。またマクロ(2)の実習時に粘土を使用した演習を並行して行い、次回以降の実習時に課題発表してもらう予定です。

授業内容

実習講義により説明を加えつつ、肉眼解剖、組織解剖の順で実習を行います。構造の比較的単純な脊髄から観察を開始し、脳幹、小脳、大脳の順で進めます。別途、実習講義の内容を補足したり、実習講義としては説明の難しい話題を取り上げたりするため、特別講義を行います。また形態学関連の研究の最前線を紹介する時間を設けます。

成績評価の方法

実習出席とスケッチ、筆記試験、場合により試問、レポートをあわせて行います。

成績評価の基準

実習スケッチと筆記試験(記述式を主体とする)の評価の割合は3対5として合算し、成績を判定します。実習の出席状況やスケッチの評価が悪く、筆記試験で実習資料の章末に掲載の参考課題に十分答えられる水準にないと判定される場合には不合格となります。

準備学習などについての具体的な指示

実習前に、事前に配布するマニュアルの該当箇所(実習の手順を記載したもの)と講義資料に目を通し、アトラスや参考書を利用して観察すべき構造物の名称と場所(特にマニュアル中、太字で記載されているもの)について下調べを済ませておいて下さい。各回の実習講義の際には必ずマニュアルと講義資料を持参して下さい。実習では必要に応じて肉眼解剖標本と組織標本を比較し、標本のオリエンテーション(周辺部との位置関係)の理解に努めることをすすめます。肉眼解剖用の解剖用具は一般の肉眼解剖用に購入したものを持参し、白衣、前掛け、マスク、ゴム手袋などを適宜使用して下さい。肉眼、組織解剖実習ともに標本のスケッチを課題としますので、A4版無地ノート(ルーズリーフ等バラバラになるものは不可)を持参して下さい。各回の実習終了後に教員から検印を受け、提出願います。筆記具は特定しませんが、組織解剖の際は特に青色系統の色鉛筆を持参すると便利です。スケッチは実習後の復習に役立つように各自考えながら描くことをすすめます。

教科書

特に指定しません。以下のリストを参考に自分にあうものを選んでください。

(リストに載っているもの以外でも構いません。よい解剖学の教科書は一生もので、かつ教科書にじっくり目を通す時間は学生時代を逃すとなかなか期待できません。高価でも後々の使用に耐える、記述のしっかりした教科書をおすすめします。)

参考書

- 分冊解剖学アトラス／W.KAHLE, M.Frotscher [著],平田幸男 訳, : 文光堂, 2011
- 神経解剖学 : Core text／カーペンター [著],嶋井和世, 出浦滋之 監訳, : 廣川書店, 1996
- 脳解剖学／万年甫, 原一之 共著, : 南江堂, 1994
- 神経解剖学／岩堀修明 著, : 金芳堂, 1998
- 神経解剖学講義ノート : カラー図解／寺島俊雄 著, : 金芳堂, 2011
- 図説中枢神経系／Rudolf Nieuwenhuys [[ほか]著,水野昇 [[ほか]訳, : 医学書院, 1991
- ヒトの脳:神経解剖学・組織学アトラス／平田幸男 著, : 文光堂, 2006
- 脳の分子生物学／Zach W.Hall [著],吉本智信, 石崎泰樹 監訳, : メディカル・サイエンス・インターナショナル, 1996
- 参考書 9. The Human Brain and Spinal Cord, 2nd ed., L. Heimer, Springer-Verlag, 1995
- 参考書 10. The Human Brain: An Introduction to its Functional Anatomy With STUDENT CONSULT Online Access, 6th ed., John Nolte, Mosby, 2008
- 参考書 11. The Human Nervous System, 3rd ed., J. K. Mai & G. Paxinos (Ed.), Academic Press, 2010
- 参考書 12. Neuroscience: Exploring the Brain, 4th ed., M. F. Bear et al., Lippincott Williams & Wilkins, 2012
- 参考書 13. Neuroscience, 4th ed., D. Purves et al., Sinauer, 2008
- 参考書 14. Principles of Neural Science, E. R. Kandel et al., 5th ed., McGraw Hill, 2013
- 参考書 15. Essentials of Neural Science and Behavior, E. R. Kandel et al., Appleton & Lange, 1996
- 参考書 16. Neuroscience Textbook Set: Fundamental Neuroscience, L. R. Squire et al., 3rd ed., Academic Press, 2008
- 参考書 17. Histology of the Nervous System of Man and Vertebrates, Two-Volume Set, S. R. Cajal, Oxford, 1994
- 参考書 18. The Fine Structure of the Nervous System, A. Peters et al., 3rd ed., Oxford U. P., 1991
- 参考書 19. GRAY'S ANATOMY, L. H. Bannister et al., Churchill Livingstone, 1995

他科目との関連

神経系の関与する基礎、臨床系科目と広く関連します。

履修上の注意事項

科目の上では別れていますが、「神経解剖学実習」は「神経解剖学」と密接不可分であり、評価は両者を総合して行います。特に実習は、知識や解答そのものよりもむしろこれらに至る過程を学ぶ時間として重視します。献体された方々の御厚意をもとに用意された貴重な機会であることを忘れないように。

備考

神経解剖学の特徴のひとつはその階層性と全体性です。つまり、ある回の講義・実習はそれ以前の講義・実習での説明事項の(一定の)理解を前提として進みますが、一通り全体の勉強を終えないと個々の事項の意義が完全には理解できません。我慢して勉強を続けると、最初から積み上げていった知識が最後の実習時に閉じた環となって完結し、最終的に視界の開ける思いがするはずです。

参照ホームページ

最近解剖学関係でも有用な画像やテキストをネット上で公開している例が増えてきましたが、定評ある教科書を越える出来栄えのところは数少なく、あくまで教科書の二次的資料として位置付けられるのが現状です。また、神経解剖学学習時に3Dモデルの概念図は有用ですが、実習時に参考になる様な詳細なものは十分な普及をみません。幾つか実習講義中に補助的に使用する予定ですが、神経系の三次元的概念は実物を見て理解するのが最も早道です。

- (1) 東京都医学研・脳神経病理データベース

<http://pathologycenter.jp/index.html>

- (2) 解剖学電子教科書

<http://www.anatomy.med.keio.ac.jp/funatoka/anatomy.html>

(3) Atlas of Microscopic Anatomy: A Functional Approach: Companion to Histology and Neuroanatomy

<http://www.anatomyatlases.org/MicroscopicAnatomy/MicroscopicAnatomy.shtml>

(4) Digital Anatomist Interactive Atlases

<http://www9.biostr.washington.edu/da.html>

(5) Homo sapiens dissecatus

<http://www.uni-mainz.de/FB/Medizin/Anatomie/workshop/vishuman/Eready.html>

(6) The Whole Brain Atlas

<http://www.med.harvard.edu/AANLIB/home.html>

(7) The Human Brain

<http://www.thehumanbrain.info/>

(ドイツ語だが関連サイトの <http://teaching.thehumanbrain.info/> も参考になる。)

(8) Brainmaps.org

<http://brainmaps.org/index.php>

(9) Allen Brain Atlas

<http://www.brain-map.org/>

(10) Mouse connectome project

<http://www.mouseconnectome.org/>

(*) 神経機能形態学分野ホームページ

<http://www.tmd.ac.jp/cgi-bin/nana/index.cgi>

時間割番号	011032		
科目名	免疫学 I		
担当教員	山西 吉典, 神奈木 真理		
開講時期	後期	対象年次	2

授業の目的、概要等

日常生活の中で、私たちの体は、外からは細菌やウイルスなど病原体の侵入、内においては癌細胞の出現と、絶えず自己免疫の危険にさらされている。しかし実際には、体のなかに免疫システムが備わっているおかげで私たちの生命が守られているのだと実感することはまずない。本科目では、免疫システムがどのような基盤から成り立ち、全体としてどのように制御されて、私たちの身体を守ってくれているのかを理解する。さらにその理解にもとづき、臨床の現場で遭遇する感染症、悪性腫瘍、アレルギー疾患、自己免疫疾患、移植臓器の拒絶反応など免疫関連病態がどのようにして引き起こされるのかを理解する。

授業の到達目標

「免疫学 I」では、まず免疫システムの特徴を把握し、リンパ球をはじめとする免疫担当細胞がどのような相互作用を経て外来異物に対する免疫反応を引き起こすのか、どのような機構によって免疫反応が統御されているのかを分子レベル、細胞レベル、個体レベルで理解することをめざす。ひきつづいておこなわれる「免疫学 II」では、感染症やアレルギー疾患や自己免疫疾患、悪性腫瘍、免疫不全などの医療の現場で問題となる病態における免疫システムの関与と治療上の意義を理解する。一方、医療技術の進歩にともない、臓器(細胞)移植や再生医療、抗体医薬など本来免疫システムが想定していなかったような人為的な新しい治療方法が出現してきており、これらの機序や課題についても理解する必要がある。

文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成 28 年度改訂版)

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm

C-2-2)-(1)③

C-2-3)-(1)①②③

C-2-3)-(3)①②③

C-2-3)-(4)①④

C-3-1)-(2)①②③

C-3-2)-(1)①②③④

C-3-2)-(2)①②③④

C-3-2)-(3)①②③

C-3-2)-(4)①③④⑤

C-4-5)①②③④

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員
1	10/1 7	12:50- 14:10	医学科 講義室 1	1. 序論「免疫系の機能と特徴」	山西 吉典
2	10/1 7	14:20- 15:40	医学科 講義室	2. 免疫系を構築する細胞・器官と役割	山西 吉典

			1		
3	10/1 8	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	3. 抗体の構造と機能	鐺田 武志
4	10/1 8	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	4. B細胞の機能と抗体遺伝子	鐺田 武志
5	10/2 1	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	5. T細胞の種類と機能	神奈木 真理
6	10/2 1	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	6. T細胞の抗原認識	神奈木 真理
7	10/2 3	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	7. T細胞の発生と分化	長谷川 温彦
8	10/2 5	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	8. サイトカン	永野 佳子
9	10/2 5	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	9. NK細胞の機能と自己非自己識別機構	反町 典子
10	10/2 9	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	10. 自然免疫と獲得免疫の相互作用	鐺田 武志
11	10/2 9	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	11. 共受容体による免疫調節、免疫寛容	東 みゆき
12	10/2 9	12:50- 14:10	医学科 講義室 1	12. 樹状細胞・マクロファージによる免疫調節	樗木 俊聡
13	10/2 9	14:20- 15:40	医学科 講義室 1	13. 粘膜免疫	樗木 俊聡
14	1/6	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	免疫学 I 試験	

授業方法

主にスライドを用いた講義

授業内容

授業日程表参照

成績評価の方法

免疫学Ⅰ、免疫学Ⅱに関して、それぞれ筆記試験をおこない評価する。また、各授業中に理解度を把握するため適宜小テストをおこなうことがある。

準備学習などについての具体的な指示

これまでに学習した解剖学・組織学・生理学・薬理学・生化学・分子遺伝学などの基礎知識をきちんと整理しておくこと。

教科書

1. Immunobiology 9th Edition 2016年発刊、Garland Science社(日本語訳が南江堂から「免疫生物学」として出ているが原著第7版に基づくもの):免疫教科書の定番
2. Cellular and Molecular Immunology 9th Edition (with Student Consult Online Access) 2017年発刊、Elsevier社(日本語訳がエルゼビア・ジャパン社から「分子細胞免疫学」として出ているが原著第9版に基づくもの):免疫教科書の定番
3. The Immune System 4th Edition 2014年発刊、Garland Science社(日本語訳がメディカル・サイエンス・インターナショナル社から「エッセンシャル免疫学」として出ている)
4. 医系免疫学 改訂14版 2016年発刊、中外医学社

参考書

1. もっとよくわかる! 免疫学(実験医学別冊、著者:河本宏)羊土社
2. 新・現代免疫物語「抗体医薬」と「自然免疫」の驚異(ブルーバックス、著者:岸本忠三、中嶋彰)講談社

	011033				
科目名	免疫学Ⅱ				
担当教員	神奈木 真理				
開講時期	後期	対象年次	2		
主な講義場所					
3号館 医学科講義室 1					
授業の目的、概要等					
<p>日常生活の中で、私たちの体は、外からは細菌やウイルスなど病原体の侵入、内においては癌細胞の出現と、絶えず自己免疫の危険にさらされている。しかし実際には、体のなかに免疫システムが備わっているおかげで私たちの生命が守られているのだと実感することはまずない。本科目では、免疫システムがどのような基盤から成り立ち、全体としてどのように制御されて、私たちの身体を守ってくれているのかを理解する。さらにその理解にもとづき、臨床の現場で遭遇する感染症、悪性腫瘍、アレルギー疾患、自己免疫疾患、移植臓器の拒絶反応など免疫関連病態がどのようにして引き起こされるのかを理解する。</p>					
授業の到達目標					
<p>「免疫学Ⅰ」では、まず免疫システムの特徴を把握し、リンパ球をはじめとする免疫担当細胞がどのような相互作用を経て外来異物に対する免疫反応を引き起こすのか、どのような機構によって免疫反応が統御されているのかを分子レベル、細胞レベル、個体レベルで理解することをめざす。ひきつづいておこなわれる「免疫学Ⅱ」では、感染症やアレルギー疾患や自己免疫疾患、悪性腫瘍、免疫不全などの医療の現場で問題となる病態における免疫システムの関与と治療上の意義を理解する。一方、医療技術の進歩にともない、臓器(細胞)移植や再生医療、抗体医薬など本来免疫システムが想定していなかったような人為的な新しい治療方法が出現してきており、これらの機序や課題についても理解する必要がある。</p>					
<p>文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成 28 年度改訂版)</p> <p>http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm</p>					
<p>C-2-3)-(3)①②③</p> <p>C-2-3)-(4)④</p> <p>C-3-1)-(1)①②③④⑤⑥⑦</p> <p>C-3-1)-(2)①②③</p> <p>C-3-1)-(3)③</p> <p>C-3-1)-(4)②③⑩</p> <p>C-3-1)-(5)③</p> <p>C-3-2)-(1)①②③④</p> <p>C-3-2)-(2)①②③④</p> <p>C-3-2)-(3)①②③</p> <p>C-3-2)-(4)①②③④⑤</p> <p>C-4-5)①②③④</p>					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員
1	10/3	09:00-	医学科	1. 感染症と免疫	神奈木 真

	0	10:20	講義室 1		理
2	11/1	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	2. 腫瘍と免疫	神奈木 真理
3	11/1	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	3. HLA と疾患	木村 彰方
4	11/5	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	4. 後天性免疫不全症(AIDS を中心に)	神奈木 真理
5	11/5	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	5. 骨と免疫	中島 友紀
6	11/7	12:50- 14:10	医学科 講義室 1	6. 腸管の免疫と炎症	永石 宇司
7	11/1 2	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	7. 予備日	
8	11/1 2	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	8. 先天性免疫不全症	今井 耕輔
9	11/1 5	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	9. アレルギー	横関 博雄
10	11/1 5	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	10. 自己免疫疾患	溝口 史高
11	11/1 9	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	11. 加齢と免疫異常	廣川 勝昱
12	11/1 9	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	12. 妊娠と免疫(生殖免疫): 不育症	己斐 秀樹
13	1/7	12:50- 14:10	医学科 講義室 1	免疫学Ⅱ試験	

授業方法

主にスライドを用いた講義

授業内容

授業日程表参照

成績評価の方法

免疫学Ⅰ、免疫学Ⅱに関して、それぞれ筆記試験をおこない評価する。また、各授業中に理解度を把握するため適宜小テストをおこなうことがある。

準備学習などについての具体的な指示

「免疫学Ⅰ」で学んだ免疫のシステムの基本を復習し、しっかり理解しておくこと。

教科書

1. Immunobiology 9th Edition 2016年発刊、Garland Science社(日本語訳が南江堂から「免疫生物学」として出ているが原著第7版に基づくもの):免疫教科書の定番
2. Cellular and Molecular Immunology 9th Edition (with Student Consult Online Access) 2017年発刊、Elsevier社(日本語訳がエルゼビア・ジャパン社から「分子細胞免疫学」として出ているが原著第9版に基づくもの):免疫教科書の定番
3. The Immune System 4th Edition 2014年発刊、Garland Science社(日本語訳がメディカル・サイエンス・インターナショナル社から「エッセンシャル免疫学」として出ている)
4. 医系免疫学 改訂14版 2016年発刊、中外医学社

参考書

1. もっとよくわかる! 免疫学(実験医学別冊、著者:河本宏)羊土社
2. 新・現代免疫物語「抗体医薬」と「自然免疫」の驚異(ブルーバックス、著者:岸本忠三、中嶋彰)講談社

時間割番号	011034				
科目名	神経科学・基礎				
担当教員					
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	3.5
英文名 : Basic Neuroscience					
主な講義場所					
3号館 2階 医学科講義室 1					
授業の目的、概要等					
<p>ほんのしばらく前までは、夢物語であった脳の働き、たとえば学習、記憶、思考などの機能の解明には、どの辺を攻めれば近づけるかという戦略が、日常の研究の中に現れる時代になってきた。そうすると固定した概念からなる従来の生理学、解剖学、生化学、薬理学という枠組みで物を考えるわけには行かなくなる。世界の趨勢ではこのような分野をまとめて神経科学(Neuroscience)と総称し、上述のような問題、あるいはそれにいたるための種々の基礎的な研究を一堂に論じる場が 30年ほど前に生まれた。幸いこの大学には神経科学分野に身をおく研究者が多いので、授業科目にもこの総合的な考えを持ち込むこととした。もちろん上のような機能の問題に直ちに取り組めないが、最終的な目標をそのあたりに置いていることを授業担当者が自覚して、基礎的な形態、機能、物質、それに薬物の作用などと共に、初歩的な臨床の問題までをできるだけ理解しやすいように配列して講義、実習に臨む予定である。</p> <p>正常状態における神経系の理解は、異常状態における神経系の病態の理解に必要不可欠であるので、知識の羅列としてではなく、科学的な物の見方、考え方にたつて内容を理解できる学生を育成することを考えて授業を進める。臨床医学に基礎医学がどのように繋がっていくかが理解できるようにする努力をこれに加えたい。</p> <p>神経系は部分に分けて、一つずつを独立のものとして考えることが不可能な構造物である。したがってすべての講義に出席してはじめて全体が把握できるということを念頭に置いておいて欲しい。授業時間は限られており、すべての領域を含むことができないだけでなく、授業を聞くだけで充分理解が得られないのは当然である。受動的に学ぶのではなく、自ら学ぶことを学生時代に身につけて欲しい。</p> <p>神経生理学については「神経生理学導入」で扱う神経細胞の機能の理解を基礎として、感覚・運動・高次機能等のシステム別に神経系の機能を論じる。</p> <p>神経薬理学は、神経系の薬物に対する反応が話題の中心となるが、その基礎としてのレセプター、チャネルの構造、機能から説き起こし、個体の反応にまで進む。</p>					
授業の到達目標					
評価: GP: (目安): 評価基準					
A+: 4: (一): 当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した					
A: 3.5: (一): 当該科目の到達目標を全て達成した					
B: 3: (本試験合格レベル): 当該科目の到達目標を概ね達成した					
C: 2: (再試験合格レベル): 当該科目の到達目標のうち最低限を達成した					
D: 1: (不合格): 当該科目の到達目標を達成していない					
F: 0: (評価不能): 到達目標の達成度を評価できない					
<p>文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成 28 年度改訂版)</p> <p>http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm</p>					

C-1-1)-(2)②⑥

C-1-1)-(3)③

C-2-1)-(1)①②③④

C-2-1)-(2)③

C-2-2)-(1)②④⑤

C-2-3)-(1)①②③

C-2-3)-(2)①②③④⑤

C-2-3)-(4)①②③⑤

C-2-4)⑨

C-3-3)-(1)①②③

C-4-1)②④⑦

C-4-2)①②③

C-5-1)①②③

C-5-2)①②③

C-5-3)①②

C-5-8)③

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	11/6	12:50- 14:10	医学科 講義室 1	運動系の中樞神経制 御機構 脊髄 I	運動ニューロンと筋	杉内 友理 子
2	11/6	14:20- 15:40	医学科 講義室 1	運動系の中樞神経制 御機構 脊髄 II	脊髄反射	杉内 友理 子
3	11/1 2	12:50- 14:10	医学科 講義室 1	感覚系の生理学 体 性感覚系 I	末梢受容器の性質	杉内 友理 子
4	11/1 2	14:20- 15:40	医学科 講義室 1	感覚系の生理学 体 性感覚系 II.	中枢機構	杉内 友理 子
5	11/1 3	12:50- 14:10	医学科 講義室 1	感覚系の生理学 体 性感覚系 III.	痛覚	杉内 友理 子
6	11/1 3	14:20- 15:40	医学科 講義室 1	感覚系の生理学 視 覚系 I.	網膜	伊澤 佳子
7	11/1 4	12:50- 14:10	医学科 講義室 1	感覚系の生理学 視 覚系 II.	色覚	伊澤 佳子

8	11/1 4	14:20- 15:40	医学科 講義室 1	感覚系の生理学 聴 覚系 I.	末梢機構	杉原 泉
9	11/1 9	12:50- 14:10	医学科 講義室 1	感覚系の生理学 聴 覚系 II.	中枢機構	佐藤 悠
10	11/1 9	14:20- 15:40	医学科 講義室 1	感覚系の生理学 聴 覚系 III.	中枢機構	伊澤 佳子
11	11/2 0	12:50- 14:10	医学科 講義室 1	運動系の中樞神経制 御機構	大脳運動野の機能	伊澤 佳子
12	11/2 0	14:20- 15:40	医学科 講義室 1	自律神経系 I	自律神経系の生理学-1	杉原 泉
13	11/2 1	12:50- 14:10	医学科 講義室 1	自律神経系 II	自律神経系の生理学-2	杉原 泉
14	11/2 1	14:20- 15:40	医学科 講義室 1	自律神経系 III	自律神経中枢、視床下部 I	杉原 泉
15	11/2 5	12:50- 14:10	共用講 義室 1	運動系の中樞神経制 御機構	錐体路とその障害の病態生理	伊澤 佳子
16	11/2 5	14:20- 15:40	共用講 義室 1	シナプス IV	神経筋接合部の薬理	田中 大介
17	12/2 0	12:50- 14:10	医学科 講義室 1	感覚系の生理学 前 庭系 I.	前庭脊髄系と筋トーンズ	杉内 友理 子
18	1/14	12:50- 14:10	医学科 講義室 1	自律神経系 IV	視床下部 II	杉原 泉
19	1/14	14:20- 15:40	医学科 講義室 1	カルシウムと細胞内 情報伝達系	細胞内カルシウムシグナル	田邊 勉
20	1/15	12:50- 14:10	医学科 講義室 1	感覚系の生理学 前 庭系 II.	前庭眼反射	杉内 友理 子
21	1/15	14:20- 15:40	医学科 講義室 1	自律神経系 V	交感神経系の薬理	三枝 弘尚

22	1/16	12:50- 14:10	医学科 講義室 1	イオンチャネル・レセ プター・トランスポータ ー I	イオンチャンネルの構造と機能	田邊 勉
23	1/16	14:20- 15:40	医学科 講義室 1	イオンチャネル・レセ プター・トランスポータ ー II	レセプター・トランスポーターの 構造と機能	田邊 勉
24	1/20	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	自律神経系 VI	副交感神経系の薬理	三枝 弘尚
25	1/20	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	シナプス V	シナプスの分子生物学的研究	田中 大介
26	1/21	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	運動系の中樞神経制 御機構	小脳の機能 I	杉原 泉
27	1/21	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	運動系の中樞神経制 御機構	小脳の機能 II	杉原 泉
28	1/22	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	運動系の中樞神経制 御機構	眼球運動	高橋 真有
29	1/22	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	脳高次機能と中枢神 経薬理	睡眠とモノアミン系	杉原 泉
30	1/24	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	運動系の中樞神経制 御機構	視床と基底核	杉内 友理 子
31	1/24	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	脳高次機能と中枢神 経薬理	グリア細胞の機能	田中 光一
32	1/27	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	運動系の中樞神経制 御機構	基底核と不随意運動の病態生 理	杉内 友理 子
33	1/27	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	脳高次機能と中枢神 経薬理 脳高次機 能	空間識、失認、前頭葉機能	伊澤 佳子
34	1/28	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	脳高次機能と中枢神 経薬理 脳高次機 能	感覚ー運動変換と失語・失行	高橋 真有
35	1/28	10:30-	医学科	脳高次機能と中枢神	情動と動機付け	磯村 宜和

		11:50	講義室 1	経薬理 脳高次機能		
36	1/29	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	脳高次機能と中枢神経薬理 脳高次機能	学習と記憶	磯村 宜和
37	1/29	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	脳高次機能と中枢神経薬理 中枢神経薬理	中枢神経薬理	三枝 弘尚
38	1/31	09:00- 10:20	アクティ ブラーニ ング教 室	脳高次機能と中枢神経薬理 中枢神経薬理	精神神経薬理	田中 大介
39	1/31	10:30- 11:50	アクティ ブラーニ ング教 室	脳高次機能と中枢神経薬理 脳高次機能	睡眠障害	三島 和夫
40	2/4	12:50- 14:10	医学科 講義室 1	脳高次機能と中枢神経薬理 脳高次機能	神経機能の発達と可塑性	杉原 泉
41	2/13	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	神経科学(生理)試験		杉原 泉
42	2/14	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	神経科学(薬理)試験		三枝 弘尚, 田中 大介

授業方法

パワーポイントを用いた講義形式で行う。

授業内容

授業では時間の関係で全てを教えることは不可能なので足りない部分は教科書等で自習し補完することが重要である。

成績評価の方法

講義担当者が所属する分野毎(システム神経生理学、細胞薬理学)に試験を行い、それぞれに合格しなければならない。詳細については、必要に応じて掲示する。

成績評価の基準

システム神経生理学分野が担当する生理学分野の試験と細胞薬理学分野が担当する薬理学分野の試験の結果の weight を1:1として最終成績を算出する。

準備学習などについての具体的な指示

授業前には、これまでに講義が終了している、細胞生物学、解剖学、組織学、生理学、薬理学、生化学、分子遺伝学の関連分野に関し、復習するとともに、神経科学教科書・参考書の関連領域のところに一通り目を通しておくことが望ましい。神経系は部分に分けて、一つずつを独立のものとして考えることが不可能な構造物である。したがってすべての講義に出席してはじめて全体が把握できるということを念頭に置いておいて欲しい。授業時間は限られており、すべての領域を含むこと

ができないだけでなく、授業を聞くだけで充分理解が得られないのは当然である。受動的に学ぶのではなく、自ら学ぶことを学生時代に身につけて欲しい。

試験の受験資格

当該授業科目の3分の2以上(40コマを予定しているので27コマ以上)履修した者。

教科書

薬がみえる Vol.1 Pharmacology:An Illustrated Reference Guide／医療情報科学研究所 編集.:メディックメディア, 2014

臨床薬理学 : ハーバード大学講義テキスト／David E.Golan, Armen H.Tashjian,Jr., Ehrin J.Armstrong, April W.Armstrong [執筆].渡邊裕司 監訳.:丸善出版, 2015

Goodman & Gilman's the Pharmacological Basis of Therapeutics, 13th ed. / L.L.Brunton, R.Hilal-Dandan & B.C.Knollmann(eds.):MCGRAW-HILL COMPANIES, 2018

Basic Neurochemistry 8th Edition／Scott Brady George Siegel R. Wayne Albers Donald Price:Academic Press, 2011

神経科学

・E.R.Kandel, J.H.Schwartz and T.M.Jessell, Principles of Neural Science (5th ed.) McGraw Hill, 2013. ISBN 9780071390118

・脳神経科学 伊藤正男 他、三輪書店 2003.

神経生理学

・小澤静司 他、標準生理学 第7版 医学書院 2009.

・J. G. Nicholls, From Neuron to Brain 5th ed., Sinauer, 2012

L. Squire, Fundamental Neuroscience, 4th ed., Academic, 2012.

他科目との関連

神経解剖学、生理学、薬理学、生化学と密接に関連している。さらに神経系の臨床科目(神経内科、精神科、神経外科、耳鼻科、眼科、麻酔科など)とも関連している。

時間割番号	011037				
科目名	感染・基礎				
担当教員					
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	2.5
<p>英文名 : Infection</p>					
<p>主な講義場所</p> <p>3号館2階 医学科講義室</p> <p>実習は、3号館5階 医学科実習室</p>					
<p>授業の目的、概要等</p> <p>病原体総論では微生物の概念と歴史、細菌の分類、構造、染色、代謝、培養について学ぶ。さらに微生物がなぜ宿主に感染病態をきたすのかについて学ぶ。</p> <p>1. 細菌学</p> <p>1) 総論的に細菌感染、遺伝学、薬物治療について学び、グラム陽性菌とグラム陰性菌に分けて基礎的事項を学ぶ。2) 比較的稀な微生物(ノカルジア、放線菌、嫌気性菌、梅毒、リケッチア)についても学ぶ。3) 抗酸菌の基礎的事項についての講義を通して結核、非定型抗酸菌の全体像を把握する。4) 真菌に関しても同様に講義で理解する。</p> <p>2. ウイルス学</p> <p>1) ウイルス学総論ではウイルスの一般的性状、ウイルス粒子の構造、増殖、組織培養法および定量法等について学ぶ。2) ウイルスの核酸と遺伝、干渉とインターフェロン、腫瘍発生、ウイルス感染症の治療、防疫、疫学および予防について学ぶ。4) 病原因子、宿主因子、感染防御機構などについて学ぶ。5) 各論では RNA ウイルス、DNA ウイルスに分けて、ヒトの病原ウイルスについて詳しく学ぶ。</p> <p>3. プリオン</p> <p>蛋白性感染因子であるプリオンの性状と病原性プリオンが起こす疾患について学ぶ。</p> <p>講義及び実習には必ず出席すること。特に実習ではウイルスが感染した細胞あるいは細菌の集落等を実際に観察するなど、ほとんどの学生にとっては二度とない大切な機会となるので欠席しないこと。また病原微生物を実際に取り扱うので、教官の注意をよく守り感染しないように努める。</p> <p>感染は医学の多くの科目と深い関係をもっている。特に免疫学、公衆衛生学、病理学、衛生学、医動物学、臨床面では内科学、外科学、小児科学、皮膚科学、泌尿器科学、眼科学、耳鼻咽喉科学等と密接な関係がある。</p>					
<p>授業の到達目標</p> <p>微生物とは肉眼で認めることのできない小さな生物の総称である。微生物は分類的に多種にわたり、その中にはウイルス、細菌および真菌などが含まれるが、このような生物を研究する科学が微生物学であり、それらによって引き起こされる病態が感染症である。医学の進歩により、多くの病原体による疾病の治療は可能になった。しかし近年、エイズ、B 型肝炎、インフルエンザ、結核、エボラ出血熱あるいは薬剤耐性細菌感染症などの新興、再興感染症が新たな問題を提起している。感染基礎の講義では、微生物に関する基礎的知識と感染症の知識を身につけることを目標とする。学生は講義を通して微</p>					

生物の構造、増殖、機能、遺伝に関する原理を理解し、別に行われる実習によって病原体の取り扱い、検査法、測定方法、感染メカニズムについて学び修得する。

文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成 28 年度改訂版)

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm

C-3-1)-(1)①②③④⑤⑥⑦

C-3-1)-(2)①②③

C-3-1)-(3)①②③

C-3-1)-(4)①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪

授業方法

授業では基本的な事項から発展的事項まで幅広く解説する。

授業内容

授業スケジュール参照。

成績評価の方法

講義・実習内容に関しては筆答試験で学習成果を問う。実習に関してはレポートを提出させ、学習成果を問う。

評価のウェイトは、「講義:70%」、「実習:30%」とする。

成績評価の基準

提出物の期限を守らなかった場合、提出されなかった場合は減点対象とする。

準備学習などについての具体的な指示

アップロードされている講義資料および教科書で講義に該当する部分を読み込んで、疑問点等を整理しておくこと。

教科書

書名 / 著者名 (発行所名)

エッセンシャル微生物 / 高木 篤 (医歯薬出版)

戸田新細菌学 / 天児和暢 (南山堂)

標準微生物学 / 横田 健 (医学書院)

微生物学実習提要 / 東京大学医科学研究所 (丸善)

医学ウイルス学 / White, Fenner (近代出版)

一目でわかる微生物学と感染症 / Stephen H. Gillespie & Kathleen B. Bamford (メディカル・サイエンス・インターナショナル)

Medical Microbiology (Eighteenth Ed.) / E.Jawetz (Maruzen Asia Ed.)

Zinsser Microbiology (Nineteenth Ed.) / Joklik, Willett, Amos, Wilfert (Appleton Lange)

Microbiology (Fourth Ed.) / Davis, Dulbecco, Eisen, Ginsberg (Lippincott)

Fields Virology / Kriple, Howley (Lippincott)

履修上の注意事項

実習では白衣着用のこと。

時間割番号	011038		
科目名	感染・基礎		
担当教員			
開講時期	後期	対象年次	2
<p>英文名 : Infection</p>			
<p>主な講義場所</p> <p>3号館2階 医学科講義室</p> <p>実習は、3号館5階 医学科実習室</p>			
<p>授業の目的、概要等</p> <p>病原体総論では微生物の概念と歴史、細菌の分類、構造、染色、代謝、培養について学ぶ。さらに微生物がなぜ宿主に感染病態をきたすのかについて学ぶ。</p> <p>1. 細菌学</p> <p>1) 総論的に細菌感染、遺伝学、薬物治療について学び、グラム陽性菌とグラム陰性菌に分けて基礎的事項を学ぶ。2) 比較的稀な微生物(ノカルジア、放線菌、嫌気性菌、梅毒、リケッチア)についても学ぶ。3) 抗酸菌の基礎的事項についての講義を通して結核、非定型抗酸菌の全体像を把握する。4) 真菌に関しても同様に講義で理解する。</p> <p>2. ウイルス学</p> <p>1) ウイルス学総論ではウイルスの一般的性状、ウイルス粒子の構造、増殖、組織培養法および定量法等について学ぶ。2) ウイルスの核酸と遺伝、干渉とインターフェロン、腫瘍発生、ウイルス感染症の治療、防疫、疫学および予防について学ぶ。4) 病原因子、宿主因子、感染防御機構などについて学ぶ。5) 各論では RNA ウイルス、DNA ウイルスに分けて、ヒトの病原ウイルスについて詳しく学ぶ。</p> <p>3. プリオン</p> <p>蛋白性感染因子であるプリオンの性状と病原性プリオンが起こす疾患について学ぶ。</p> <p>講義及び実習には必ず出席すること。特に実習ではウイルスが感染した細胞あるいは細菌の集落等を実際に観察するなど、ほとんどの学生にとっては二度とない大切な機会となるので欠席しないこと。また病原微生物を実際に取り扱うので、教官の注意をよく守り感染しないように努める。</p> <p>感染は医学の多くの科目と深い関係をもっている。特に免疫学、公衆衛生学、病理学、衛生学、医動物学、臨床面では内科学、外科学、小児科学、皮膚科学、泌尿器科学、眼科学、耳鼻咽喉科学等と密接な関係がある。</p>			
<p>授業の到達目標</p> <p>微生物とは肉眼で認めることのできない小さな生物の総称である。微生物は分類的に多種にわたり、その中にはウイルス、細菌および真菌などが含まれるが、このような生物を研究する科学が微生物学であり、それらによって引き起こされる病態が感染症である。医学の進歩により、多くの病原体による疾病の治療は可能になった。しかし近年、エイズ、B 型肝炎、インフルエンザ、結核、エボラ出血熱あるいは薬剤耐性細菌感染症などの新興、再興感染症が新たな問題を提起している。感染基礎の講義では、微生物に関する基礎的知識と感染症の知識を身につけることを目標とする。学生は講義を通して微</p>			

生物の構造、増殖、機能、遺伝に関する原理を理解し、別に行われる実習によって病原体の取り扱い、検査法、測定方法、感染メカニズムについて学び修得する。

文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成 28 年度改訂版)

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm

C-3-1)-(1)①②③④⑤⑥⑦

C-3-1)-(2)①②③

C-3-1)-(3)①②③

C-3-1)-(4)①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員
1	10/1 8	12:50- 14:10	医学科 講義室 1	病原体総論	山岡 昇司
2	10/1 8	14:20- 15:40	医学科 講義室 1	細菌学総論	鈴木 敏彦
3	10/2 1	12:50- 14:10	医学科 講義室 1	細菌遺伝学	芦田 浩
4	10/2 1	14:20- 15:40	医学科 講義室 1	細菌感染の治療と予防	芦田 浩
5	10/2 5	12:50- 14:10	医学科 講義室 1	グラム陽性菌	鈴木 敏彦
6	10/2 5	14:20- 15:40	医学科 講義室 1	グラム陰性菌	鈴木 敏彦
7	10/2 8	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	その他の細菌および真菌(スピロヘータ、リケッチア)	鈴木 敏彦
8	10/2 8	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	ウイルス学総論	山岡 昇司
9	10/2 8	12:50- 14:10	医学科 講義室 1	ウイルスの複製と遺伝学	山岡 昇司

10	10/2 8	14:20- 15:40	医学科 講義室 1	ヒトレトロウイルス感染症	山岡 昇司
11	11/1	12:50- 14:10	医学科 講義室 1	レンチウイルス感染症	武内 寛明
12	11/1	14:20- 15:40	医学科 講義室 1	腫瘍ウイルス	山岡 昇司
13	11/5	12:50- 14:10	医学科 講義室 1	DNAウイルス各論(1)	芳田 剛
14	11/5	14:20- 15:40	医学科 講義室 1	DNAウイルス各論(2)	芳田 剛
15	11/6	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	RNAウイルス各論(1)	
16	11/6	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	RNAウイルス各論(2)	
17	11/1 8	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	感染免疫とワクチン	武内 寛明
18	1/14	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	人獣共通感染症と新興・再興 ウイルス感染症	武内 寛明
19	1/14	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	ウイルスベクターと研究応用	野阪 哲哉
20	1/15	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	プリオン病	山岡 昇司
21	1/15	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	輸入感染症	貫井 陽子
22	2/10	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	感染・基礎試験	

授業方法

授業では基本的な事項から発展的事項まで幅広く解説する。

授業内容

授業スケジュール参照。

成績評価の方法

講義・実習内容に関しては筆答試験で学習成果を問う。実習に関してはレポートを提出させ、学習成果を問う。

評価のウェイトは、「講義:70%」、「実習:30%」とする。

成績評価の基準

提出物の期限を守らなかった場合、提出されなかった場合は減点対象とする。

準備学習などについての具体的な指示

アップロードされている講義資料および教科書で講義に該当する部分を読み込んで、疑問点等を整理しておくこと。

教科書

書名 / 著者名 (発行所名)

エッセンシャル微生物 / 高木 篤 (医歯薬出版)

戸田新細菌学 / 天児和暢 (南山堂)

標準微生物学 / 横田 健 (医学書院)

微生物学実習提要 / 東京大学医科学研究所 (丸善)

医学ウイルス学 / White, Fenner (近代出版)

一目でわかる微生物学と感染症 / Stephen H. Gillespie & Kathleen B. Bamford (メディカル・サイエンス・インターナショナル)

Medical Microbiology (Eighteenth Ed.) / E.Jawetz (Maruzen Asia Ed.)

Zinsser Microbiology (Nineteenth Ed.) / Joklii,Willett, Amos, Wilfert (Appleton Lange)

Microbiology (Fourth Ed.) / Davis, Dulbecco, Eisen, Ginsberg (Lippincott)

Fields Virology / Kripe, Howley (Lippincott)

履修上の注意事項

実習では白衣着用のこと。

時間割番号	011039				
科目名	感染・基礎実習				
担当教員					
開講時期	後期	対象年次	2		
主な講義場所					
3号館5階 学生実習室					
授業の目的、概要等					
病原体を用いた実習をととして、病原体の正しい取り扱いと各病原体の特徴、鑑別法を学ぶ。					
授業の到達目標					
病原体のリスク分類に応じた適切な取り扱いを修得すること。					
病原体について十分な観察力を養い、その特徴を知り鑑別できること。					
文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成 28 年度改訂版) http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm					
C-3-1)-(1)④⑤⑥					
C-3-1)-(2)①②③					
C-3-1)-(3)①②③					
C-3-1)-(4)①③④⑨					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員
1	1/20	12:40- 17:10	5 階学 生実習 室	感染・基礎実習	山岡 昇司
2	1/21	12:40- 17:10	5 階学 生実習 室	〃	山岡 昇司
3	1/22	12:40- 17:10	5 階学 生実習 室	〃	山岡 昇司
4	1/23	12:40- 17:10	5 階学 生実習 室	〃	山岡 昇司
5	1/24	12:40- 17:10	5 階学 生実習 室	〃	山岡 昇司
6	1/27	12:40- 17:10	5 階学 生実習	〃	山岡 昇司

			室		
7	1/28	12:40- 17:10	5階学 生実習 室	〃	山岡 昇司
8	1/29	12:40- 17:10	5階学 生実習 室	〃	山岡 昇司
9	1/30	12:40- 17:10	医学科 講義室 1	学生発表	山岡 昇司
10	1/31	12:40- 17:10	アクティ ブラーニ ング教 室	学生発表	山岡 昇司

成績評価の方法

提出されたレポートで評価する。

成績評価の基準

実習内容を理解し、実習結果についての正確な記述がなされていること、および実習内容につきじゅうぶんな考察がなされていること。

準備学習などについての具体的な指示

当日の実習内容を実習書で事前確認しておくこと。また、当日の実習に関連する病原体についての講義内容を復習しておくこと。

教科書

本学独自の実習書を配布し、それに沿って実習を行う。

履修上の注意事項

白衣着用。 その他詳細については、実習初日に指示する。

時間割番号	011042				
科目名	病理学				
担当教員	北川 昌伸, 根木 真理子, 新宅 洋				
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	1

主な講義場所

医学科講義室 1、組織実習室

授業の目的、概要等

本科目は、1週間に講義と実習の全てを集中させた「病理総論ブロック」として授業が行われる。学生は数人ごとの小グループに分かれ、各グループには、病理学総論の4つの大テーマに関連して幾つかの課題が与えられる。ブロック週の前半はその課題に対する調査・探究をするための自習時間が多く取られる。授業は各班による課題の発表を主体として、学生同士で知識の共有とより深い理解を求められる。教官は網羅的授業は行わず、発表に対する補足の説明にとどまる。その後、テーマに関連する標本の顕微鏡実習を行う。講義と実習は必要最小限度にとどめてあり、自習時間を利用した、学生自身の十分な自己学習が求められる。

授業の到達目標

病理学とは、ヒトの疾病の理論を扱う学問であり、主に細胞・組織・臓器の形態像に基づき、各種疾患の原因・進行・転帰を追究していく。ヒトの疾患は大きく腫瘍性疾患と非腫瘍性疾患に分類されるが、腫瘍についての学習は「腫瘍学」に譲り、「病理学総論」においては非腫瘍性疾患に焦点を絞って、主に炎症、免疫、循環障害、代謝障害の概念・病態生理について学ぶ。「腫瘍学」および「病理学総論」にて得られる知識は、全ての疾患を理解するための“縦糸”となり、その後予定されている授業で学ぶ各臓器の個々の疾患に関する各論的知識を“横糸”として組み合わせることで、ヒトの“病気”の姿が明確に織り成されるのである。

文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成 28 年度改訂版)

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm

C-2-2)-(1)①②③④⑥

C-3-2)-(1)②③

C-3-2)-(4)③④

C-4-2)①②③

C-4-4)②③④⑤

C-4-5)①②③④

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員
1	12/2	09:00- 09:50	医学科 講義室 1	病理総論概説	北川 昌伸
2	12/3	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	学生発表(炎症)	北川 昌伸, 倉田 盛人

3	12/3	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	解説・講義(炎症)	北川 昌伸, 倉田 盛人
4-5	12/3	12:50- 14:40	4 階学 生実習 室	実習(炎症)	北川 昌伸, 倉田 盛人
6-7	12/3	14:50- 16:40	4 階学 生実習 室	実習(炎症)	北川 昌伸, 倉田 盛人
8	12/4	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	学生発表(免疫)	山本 浩平
9	12/4	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	講義・解説(免疫)	山本 浩平
10- 11	12/4	12:50- 14:40	4 階学 生実習 室	実習(免疫)	山本 浩平
12- 13	12/4	14:50- 16:40	4 階学 生実習 室	実習(免疫)	山本 浩平
14	12/5	12:50- 13:40	医学科 講義室 1	学生発表(細胞障害・代謝障 害)	根木 真理 子, 新宅 洋
15	12/5	13:50- 14:40	医学科 講義室 1	講義・解説(細胞障害・代謝疾 患)	根木 真理 子, 新宅 洋
16- 17	12/5	14:50- 16:40	4 階学 生実習 室	実習(細胞障害・代謝疾患)	根木 真理 子, 新宅 洋
18	12/6	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	学生発表(循環疾患)	小林 大輔
19	12/6	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	講義・解説(循環疾患)	小林 大輔
20	12/6	12:50- 14:10	4 階学 生実習 室	実習(循環疾患)	小林 大輔
21	1/8	10:30-	医学科	病理学試験	根木 真理

		11:50	講義室 1		子	
授業方法						
<p>班に分かれ、事前に与えられた課題を当日発表する。</p> <p>内容を教官が補足・修正する。</p> <p>その後、実習室に移り、関連する病理組織の検鏡実習を行う。</p>						
授業内容						
<p>○授業のキーワード</p> <p>細胞傷害、循環障害、代謝障害、炎症、免疫病理</p>						
成績評価の方法						
<p>筆記試験を行う。試験範囲は、講義・実習およびブロック週的全課題、のすべての内容である。</p> <p>教官によっては、発表内容を採点に加味することがある。</p>						
成績評価の基準						
<p>すべての単元の合計点にて評価する。</p>						
準備学習などについての具体的な指示						
<p>事前に与えられた課題について、班毎に発表ファイルを作成する。</p> <p>質問にも答えられるように、関連する内容も十分理解しておく。</p>						
構成ユニット						
<p>細胞障害、循環障害、炎症、免疫</p>						
参考書						
<p>(1)Robbins & Cotran Pathologic Basis of Disease 9th ed. W B Saunders Co. 携帯ウェブサイトあり。教科書付属のシリアルナンバー登録により、本文・図表の全てをウェブ上で閲覧可能。</p> <p>(2)ロビンス基礎病理学 廣川書店 1)の簡約版(Robbins Basic Pathology)の旧版の翻訳。</p> <p>(3)標準病理学 第5版 医学書院 編集協力:北川昌伸。</p> <p>(4)組織病理学アトラス 第6版 文光堂</p> <p>(5)外科病理学 文光堂</p> <p>(6)現代の病理学(総論、各論)金原出版</p> <p>(7)病理学(総論、各論)文光堂</p>						
他科目との関連						
<p>病理学はヒトの正常形態・機能を基盤として病的状態を学ぶ学問であるから、あらゆる基礎医学・臨床医学と強く関連している。すなわち病理学は、基礎と臨床を結ぶ学際的分野である。</p>						
履修上の注意事項						
<p>病理学はこれから臨床医学を学ぶ道程の一里塚であり、病理学講義では病気に関する数多くの医学用語に初めて接するところでもある。以後に続く臨床医学の講義に際しては、病理学総論に登場する医学用語の概念や各種病態を正しく把握しているか否かが、その理解度を大きく左右する。一方、病理学はヒトの病的なことの理論であるから、その基盤は当然、正常状態にある。従って病理学を学習する際には、常に正常状態との対比を忘れてはならない。☆具体的な日程および内容に関しては、事前に行う説明会にて説明します。</p>						

時間割番号	011044					
科目名	医動物学					
担当教員						
開講時期	後期	対象年次	2			
英文名: Medical Zoology						
主な講義場所						
講義: 3号館 2階医学部講義室1						
授業の目的、概要等						
<p>病原体としての寄生虫はヒト宿主と同様に真核生物であり、寄生虫症は感染症の中でもユニークな疾患である。講義で対象疾患に関するアウトライン(病原体の形態学、生理・生化学、遺伝学、疫学、生活史、臨床所見、病理、診断、治療、予防など)を教授するので、寄生虫及び寄生虫感染症の医学・生物学的知識と臨床に必要な知識や識別能力を学習した上で、平行して実施する実習において実際の病原体と宿主の病理を観察し、医師として必要な総合的な能力を修得することをめざす。講義用の資料を配布するので、それにより講義内容を理解し、単なる知識の獲得だけではなく、疾病流行の背景にある社会文化、人々の行動/生活習慣なども考察し、流行成立に関わる様々な問題、疑問などについて教員と討議を行う。</p>						
授業の到達目標						
(A) 病原体としての寄生虫および宿主との相互作用の生物学的理解と研究能力の修得						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 寄生虫の形態、代謝、生殖などの知識が得られる ・ 寄生虫に特有の感染防御免疫、免疫回避機構および免疫病因論の理解ができる 						
(B) 臨床寄生虫病学の基本的知識の修得						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 寄生虫病の診断、治療、予防についての基本的な臨床的知識が備わる ・ 診断法、治療法、ワクチンを含む予防法開発など今日の医療イノベーションに関する知識が備わる ・ 渡航者の安全を向上するための感染予防に関する指導能力が備わる 						
(C) 寄生虫感染症の社会医学的意義の修得						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 寄生虫病ワクチンが実現できないことから、感染症予防の基本である病気の知識と行動変容の重要性を理解する ・ 生活環境中の寄生虫汚染の実態を学習し、感染のリスク評価を考察する能力が備わる ・ 国際感染症としての寄生虫病の理解を通じて国際的視野が備わり、検疫行政や渡航医学等の専門性が獲得できる ・ 熱帯感染症としての寄生虫病を理解し、国際医療協力に必要な知識が備わる ・ 途上国医療に関係する国際機関や NGO の業務のために必要な基礎知識が修得できる 						
<p>文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成 28 年度改訂版)</p> <p>http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm</p>						
C-1-1)-(1)⑧						
C-3-1)-(4)⑩						
C-3-1)-(5)①②③④⑤						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	11/2	09:00-	医学科	医動物学総論	医動物学講義の目的、講義の	岩永 史朗

	0	10:20	講義室 1		進め方等に関するイントロダクションと医動物学総論	
2	11/2 0	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	線虫病1	腸管寄生線虫症(回虫症、鉤虫症、鞭虫症、東洋毛様線虫症など)	岩永 史朗
3	11/2 5	09:00- 10:20	共用講 義室 1	線虫病2	組織寄生線虫症(糞線虫症、フィラリア症、旋毛虫症など)	岩永 史朗
4	11/2 5	10:30- 11:50	共用講 義室 1	線虫病3	幼線虫移行症(トキソカラ症、アニサキス症、旋尾線虫症、イヌ糸状虫症など)	岩永 史朗
5	11/2 9	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	吸虫病1	肺吸虫症、肝蛭症、隣蛭症など	熊谷 貴
6	11/2 9	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	吸虫病2	肝吸虫症、横川吸虫症、有害異型吸虫症、棘口吸虫症など	熊谷 貴
7	11/2 9	12:50- 14:10	医学科 講義室 1	吸虫病3	住血吸虫病、および中間宿主貝	熊谷 貴
8	11/2 9	14:20- 15:40	医学科 講義室 1	条虫病1	腸管寄生条虫症(日本海裂頭条虫、大複殖門条虫、無鉤条虫、有鉤条虫、小形条虫など)	塩谷 天
9	12/9	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	条虫病2	エキノкокクス症、囊虫症、孤虫症など	塩谷 天
10	12/9	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	有害動物1	有害昆虫(カ、ハエ、ハチ、ガ、ノミ、シラミなど)	新澤 直明
11	12/1 0	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	有害動物2	ダニ、クモ、有害軟体動物、有毒動物(ヘビ、トカゲなど)および有害哺乳類	新澤 直明
12	12/1 0	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	原虫病1	消化管寄生原虫(赤痢アメーバ症、ジアルジア症、クリプトスポリジウム症、サイクロスポーラ症など)	塩谷 天
13	12/1 1	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	原虫病2	トキソプラズマ症、陰トリコモナス症など	熊谷 貴
14	12/1 1	10:30- 11:50	医学科 講義室	原虫病3	自由生活アメーバ感染症、トリパノソーマ症	新澤 直明

			1			
15	12/1 3	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	原虫病4	リーシュマニア症・マラリア1	新澤 直明
16	12/1 8	09:00- 10:20	医学科 講義室 1	原虫病5	マラリア2	岩永 史朗
17	12/1 8	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	特別講義	「症例から学ぶ熱帯医学」	中村 ふくみ
18	1/10	10:30- 11:50	医学科 講義室 1	医動物学試験	筆答試験	熊谷 貴, 岩 永 史朗, 新 澤 直明, 塩 谷 天

授業方法

パワーポイントを用いて、事前に配布した資料を参照しながら理解すべき事項の説明をする。

授業内容

各回の講義では取り上げる寄生虫をあらかじめ提示しておくので、その寄生虫に関する生物学、臨床的側面、社会医学的側面などについて総合的に解説する。また、教員より授業内容に応じた討論、グループディスカッションの時間を取り、アクティブラーニングを行う。

成績評価の方法

医動物学講義に関する筆答試験および出席状況に基づいて評価する。

成績評価の基準

講義内容の理解度をもとに判定する。必ずしも知識の修得度のみではなく、講義で得た知識の応用能力も評価する。

- (1) 寄生虫に関する生物学(形態学、生理、生化学などに関する理解の達成度
- (2) 寄生虫病の症候論、診断、治療・予防、疫学などに関する理解の達成度
- (3) 寄生虫病の持つ社会医学的意義に関する理解の達成度
- (4) 講義で得た知識をもとに、寄生虫病対策などへの応用能力 など

準備学習などについての具体的な指示

講義資料は事前に閲覧できるので、講義予定に沿って、事前に内容を把握する事前学習に努め、講義時間中には質問など積極的に発言するように準備すること。特に提示された講義内容のキーワードについては参考図書等で確認してから講義に臨むことが必要である。

試験の受験資格

本学の試験内規に準じる。病気などで欠席する場合は事前あるいは事後に医師の診断書などを教務係に提出すること。

参考書

- 図説人体寄生虫学 吉田幸雄、有菌直樹 著、南山堂 (2016)
- 標準微生物学 中込 治、神谷 茂 編集 医学書院 (2015)
- 標準医動物学 石井 明、鎮西康雄、太田伸生 編、医学書院 (1998)
- 寄生虫学テキスト 上村清 ほか編集、文光堂 (2008)
- 人獣共通感染症 木村 哲、喜田 宏 編集、医薬ジャーナル社 (2004)

新版 日本の有害節足動物 加納 六郎、篠永 哲 著 東海大学出版会 (2003)

Medical Parasitology, E.K. Markel (ed), Saunders (2006)

Diagnostic Medical Parasitology, L. S. Gracia, ASN Press (2001)

Manson's Tropical Diseases, P. E. C. Manson-Bahr & D. R. Bell, Bailliere Tindall

Entomology in Human and Animal Health, Harwood & James

Cases in Human Parasitology, Judith S. Heelan, Am Soc Microbiol, (2004)

他科目との関連

医学科2年生の「感染」、医学科3年生の「社会医学」と相互に補完するので、総合的に学習、理解に努めること。

時間割番号	011045					
科目名	医動物学実習					
担当教員						
開講時期	後期	対象年次	2			
英文名: Medical Zoology						
主な講義場所						
3号館5階実習室						
授業の目的、概要等						
<p>講義で対象疾患に関するアウトライン(病原体の形態学、生理・生化学、遺伝学、疫学、生活史、臨床所見、病理、診断、治療、予防など)を教授するので、実習により実際の病原体と宿主の病理を観察することを通じて、寄生虫疾患の理解を深めることが目的である。</p> <p>実習は講義の内容を補完するものであり、講義で得た知識を実習で確認することが重要である。実習では永久標本だけでなく、生標本の供覧にも努めるので、“知識”と“実際”を統合して理解するように努める。</p>						
授業の到達目標						
<p>(A) 病原寄生虫およびベクター生物を肉眼または顕微鏡で観察し、診断と鑑別の能力を修得する</p> <p>(B) 寄生虫感染における宿主病変を観察し、その臨床像と発症機序に関する考察ができるようになる</p> <p>(C) 寄生虫の保存標本や生鮮標本に接し、診断のために必要な標本取り扱いや試料処理の実際を経験する</p> <p>(D) 顕微鏡の取扱、観察方法を修得する</p>						
<p>文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成 28 年度改訂版)</p> <p>http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm</p>						
C-1-1)-(1)①②						
C-3-1)-(4)①						
C-3-1)-(5)①②③④⑤						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	11/2 8	12:50- 17:10	5 階学 生実習 室	線虫類 1	消化管寄生線虫類	岩永 史朗, 新澤 直明, 熊谷 貴
4-6	12/9	12:50- 17:10	5 階学 生実習 室	線虫類 2	組織寄生線虫類	岩永 史朗, 新澤 直明, 熊谷 貴
7-9	12/1 0	12:50- 17:10	5 階学 生実習 室	吸虫類	住血吸虫、肺吸虫、肝吸虫、横 川吸虫など	岩永 史朗, 新澤 直明, 熊谷 貴
10-	12/1	12:50-	5 階学	条虫類、衛生動物学	条虫類(日本海裂頭条虫、有	岩永 史朗,

12	1	17:10	生実習室		鉤条虫、無鉤条虫、エキノコックスなど)およびノミ、カ、ダニなど	新澤 直明, 熊谷 貴
13-15	12/1 2	12:50- 17:10	5 階学 生実習 室	消化器寄生原虫・糞便検査	消化管寄生原虫(赤痢アメーバ、ジアルジア、クリプトスポリジウムなど)および糞便検査	岩永 史朗, 新澤 直明, 熊谷 貴
16-18	12/1 3	12:50- 17:10	5 階学 生実習 室	マラリア原虫・組織寄生原虫	マラリア原虫、組織寄生原虫(トキソプラズマ、トリパノソーマ、リーシュマニアなど)	岩永 史朗, 新澤 直明, 熊谷 貴
19-21	12/1 8	12:50- 17:10	5 階学 生実習 室	症例検討発表会	学生によるアクティブラーニング	岩永 史朗, 新澤 直明, 熊谷 貴
22-24	12/1 9	12:50- 17:10	5 階学 生実習 室	実習試験		岩永 史朗, 新澤 直明, 熊谷 貴

授業方法

事前に実習手引き書を配布する。実習に際しては、最初に実習内容と観察の要点を教員が解説し、その後、指示された標本を観察してスケッチする。

授業内容

様々な寄生虫疾患に関する、寄生虫標本・病理標本の観察やスケッチを通し、病態を理解する。また、実際に糞便検査等を行うことで、実技を習得する。症例についてのグループディスカッションを通じた発表会を用いたアクティブラーニングを行う。

成績評価の方法

実習で観察した病原寄生虫、ベクター、宿主病変などに関する識別能力を以下の方法により評価する。

- (1) 毎回提出するレポートによる評価
- (2) 各回の実習時に観察した寄生虫を対象にした実習試験による評価
- (3) 症例発表会での評価

成績評価の基準

- (1) 指示された寄生虫あるいは病変をもれなく観察したか。
- (2) 寄生虫の形態的特徴を理解して観察したか。
- (3) 講義をふまえ、寄生虫感染による宿主の病態を理解したか。
- (4) 積極的に症例発表会に参加し討論できたか。

準備学習などについての具体的な指示

実習項目は必ず講義が先行するので、各回の実習項目について講義資料などで事前に知識を整理しておくこと。実習ではただ単に標本をスケッチするのではなく、病原寄生虫の生活史や感染経路を意識し、病理標本については発症機序を念頭に置きながら、自らの知識を”確認する”ことに努める。

試験の受験資格

正当な理由なく、実習を2回以上欠席した場合は実習試験の受験資格を与えない。

病気などでやむを得ず欠席するときは事前あるいは事後に医師の診断書などを事務に提出すること。

教科書

特に指定しない。WebClass 上に実習書を配付しているので、実習内容を適宜参考書にあたって確認しながら進めること。

参考書

図説人体寄生虫学 改訂第 8 版／吉田幸雄, 有菌直樹 著.: 南山堂, 2011

図説人体寄生虫学 吉田幸雄、有菌直樹 著、南山堂 (2016)

標準医動物学 石井 明、鎮西康雄、太田伸生 編、医学書院 (1998)

寄生虫学テキスト 上村清 ほか編集、文光堂 (2008)

Medical Parasitology, E.K. Markel (ed), Saunders (2006)

Diagnostic Medical Parasitology, L. S. Gracia, ASN Press (2001)

Manson's Tropical Diseases, P. E. C. Manson-Bahr & D. R. Bell, Baillierre Tindall

Entomology in Human and Animal Health, Harwood & James

履修上の注意事項

(1) 実習では必ず白衣を着用すること (2) 実習室では飲食・喫煙は厳禁とする (3) レポートは B5 サイズのケント紙を準備し、毎回スケッチした用紙だけを提出する (4) スケッチは1本の線で輪郭を描き、彩色または点描すること

時間割番号	011085		
科目名	医歯学基盤教育(生命倫理 I)		
担当教員			
開講時期	2年通年	対象年次	2～3

授業の目的、概要等

なぜ人は後で倫理的問題になるとは気付かずに、行為をおこなってしまうのか、あるいは、すべき事に気付かず(あるいは気付いても)おこなわないままにしてしまうのか。

医学生、歯学生、医師、歯科医師をはじめとした医療者には、医療を担うにふさわしい倫理感覚を持つことが期待される。医療現場では、倫理的問題に対して組織的に対処するシステムがある程度構築されており、個人の資質による倫理的問題が生じる余地は減っている。しかし、わが国の医療関連法は基本的には性善説で成り立っており、個人の資質による倫理的問題が生じる余地は大きく残されている。また、システム自体が暴走した場合には、最後の砦になるのは個人の倫理感覚のみである。したがって、生命倫理においてはシステムについて学ぶだけでなく、これまでに培った自らの個別的倫理感覚をシステムとの関係の中で、どのように生かすのか、あるいは抑えるのかを考察・構築する必要がある。

第2学年においては、医療者としての視点および倫理観について導入と総論的事項について学習する。第3学年および第4学年において、医療および研究における具体的事例とともにその倫理的問題点とシステムの対応について学習し、医療チームの一員たるプロフェッショナルとして持つべき視点とそれにふさわしい倫理的思考を構築する。

授業の到達目標

医学生、歯学生、医師あるいは歯科医師として求められる実践的倫理判断の養成を図る。これまでに培った個別的文献型倫理学から発展させ、医療チームの一員たるプロフェッショナルとして持つべき視点を構築する。すなわち、将来実際に経験することになる医療や研究の現場の具体的事例について、単に批評するだけでは済まされず、実際に判断し、指示を出し、さらにその責任を取らなければならない立場にある医師および歯科医師の持つべき倫理的思考過程について学習し、応用し自ら考えることでそれを構築・実践する。

文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成 28 年度改訂版)

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm

A-1-1)①②③

A-1-2)①②③④

A-1-3)①②③④⑤

A-3-1)⑥⑦⑧

A-4-1)③

A-4-2)①③④⑥⑦

A-5-1)①②③

A-6-1)①③④⑤

A-6-2)③

A-8-1)①②③④

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/19	11:10-	医学科	生命倫理 I-1	総論「生命倫理総論(導入)」	吉田 雅幸

		12:00	講義室 1				
2	9/26	11:10- 12:00	医学科 講義室 1	生命倫理 I-2	総論「倫理問題の考え方」	江花 有亮	

授業方法

講義・グループワーク

自分が実際に考えることが重要であるため、グループワーク、討論、発表といった、単なる座学ではなく、参加型の講義形式も予定している。諸君の積極的な参加を期待している。

授業内容

詳細は別授業日程表のとおり

臨床の課題はより現実的に考えることが重要であるため、できる限り当該臨床科目の履修時期にあわせて講義予定を組んでいる。

担当講師は、医療のさまざまな領域で活動する専門医、専門職の講師をはじめとして、医療以外の分野で活動している実務者にもそれぞれの立場からみた医療や研究について、すなわち他職種や医療者以外の倫理観を含めて問題提起あるいは情報提供を得て、医療者・研究者の倫理について実践的な講義を展開する。

成績評価の方法

講義への出席を単位取得の必要条件とし、第3学年前期と第4学年前期の2回実施する到達度評価甲・乙(50～60%)、適宜実施する小テストおよび小レポート、プレゼンテーションおよびディスカッションへの参加、素行等(50～60%)をもとにあわせて総合的に評価する。

成績評価の基準

第3学年前期と第4学年前期の2回実施する到達度評価甲・乙の点数、適宜実施する小テストおよび小レポートの点数(医師および歯科医師の持つべき視点と倫理的思考過程について習得し、応用し自ら考えることができているかどうか)、プレゼンテーションおよびディスカッションへの参加の教員評価(積極的に参加しているか、適切な関与をおこなっているか)等を合計し、60点未満を不合格とする。尚、反プロフェッショナル行為(不正なコピペ、試験の不正、出席の不正)がみられた場合は成績に関わらず不合格とする。

準備学習などについての具体的な指示

あらかじめ講義のトピックスについて少しインターネット等で調べて、そのトピックスに関連する倫理的問題に対して自分なりの見解をもって講義に臨むことが好ましい。

試験の受験資格

講義への出席が、講義時間数の3分の2以上であること。(第3学年前期の到達度評価甲については、第2学年から第3学年前期の到達度評価甲前までの全9回の講義のうち、6回以上の出席であること。第4学年前期の到達度評価乙については、第3学年前期の到達度評価甲後から第4学年前期の到達度評価乙までの全12回(予定)(同一日の連続する時限についてはそれぞれ1時限で1回とみなす)のうち、8回以上の出席であること。各回の講義についての出席の要件は、下記の履修上の注意を参照のこと)

教科書

教科書は使用せず、レジュメ・資料等をそのつど配布する。

履修上の注意事項

授業責任者からの連絡は、WebClassで行うので確認すること。「到達度評価甲」「到達度評価乙」の回では、到達度を

測る。 定期試験は実施しないが、進級のためには全授業回数(2限連続は2回)の2/3以上の出席が必要。 医師、
歯科医師といった医療者に期待される倫理観を培うために、それぞれの講義時に自ら系統的に考えることが最も重要であ
る。各回の講義について遅刻、早退は系統的に問題に対処する趣旨に反するため、原則的に認めない。また、出席等の手
続きについての不正に対しては、医療者に期待される倫理観から著しく外れることから、厳正に対処する。

備考

○問い合わせ先(講義担当教員)

(教員名) (診療科・分野)

江花有亮 生命倫理研究センター ebnyk.bip@mri.tmd.ac.jp

時間割番号	011010		
科目名	医歯学基盤教育(臨床統計Ⅰ)		
担当教員	能登 洋		
開講時期	通年	対象年次	2

主な講義場所

3号館2階医学科講義室1

授業の目的、概要等

医療・研究において必要とされる統計学の基礎と臨床的意義を学ぶ。基本的な概念や手法や臨床での活用を習得するほか統計学の思想や数学的原理の理解にも触れる。さらに、問題解決において必須となる情報収集を適切に効果的に行う能力を習得するほか、情報セキュリティと著作権にも触れる。

授業の到達目標

エビデンスを正しく読解できる統計学的知識と臨床的技能を習得する。具体的には、医療論文の批判的吟味・検定の選択と実践・適正な情報管理ができることを最低限の到達目標とする。

文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成 28 年度改訂版)

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm

B-1-1)①②③④

B-1-2)①②③④⑤⑥

B-1-3)①②③⑤

B-1-4)②④⑤

B-1-5)①②

B-2-2)①

B-3-1)③

B-4-1)⑬⑭

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/18	11:10- 12:00	医学科 講義室 1	臨床統計Ⅰ-1	統計学と医療	能登 洋
2	5/16	11:10- 12:00	医学科 講義室 1	臨床統計Ⅰ-2	統計学と医療	能登 洋
3	5/30	11:10- 12:00	医学科 講義室 1	臨床統計Ⅰ-3	統計学と医療	能登 洋
4	6/6	11:10- 12:00	医学科 講義室	臨床統計Ⅰ-4	統計学と医療	能登 洋

			1			
5	6/13	11:10- 12:00	医学科 講義室 1	臨床統計 I - 5	統計学と医療	能登 洋
6	6/27	11:10- 12:00	医学科 講義室 1	臨床統計 I - 6	統計学と医療	能登 洋
7	7/4	11:10- 12:00	医学科 講義室 1	臨床統計 I - 7	統計学と医療	能登 洋
8	7/18	11:10- 12:00	医学科 講義室 1	臨床統計 I - 8 (試験 日)	応用演習(能登担当分)	能登 洋
9	9/19	10:05- 10:55	医学科 講義室 1	臨床統計 I - 9	統計学と医療	徳永 伸一
10	10/3	10:05- 10:55	医学科 講義室 1	臨床統計 I - 10	統計学と医療	徳永 伸一
11	10/3	11:10- 12:00	医学科 講義室 1	臨床統計 I - 11	統計学と医療	徳永 伸一
12	10/1 0	11:10- 12:00	医学科 講義室 1	臨床統計 I - 12	統計学と医療	徳永 伸一
13	10/1 7	10:05- 10:55	医学科 講義室 1	臨床統計 I - 13	統計学と医療	徳永 伸一
14	10/1 7	11:10- 12:00	医学科 講義室 1	臨床統計 I - 14	統計学と医療	徳永 伸一
15	10/3 1	11:10- 12:00	医学科 講義室 1	臨床統計 I - 15	統計学と医療	徳永 伸一
16	11/7	11:10- 12:00	医学科 講義室 1	臨床統計 I - 16	統計学と医療	徳永 伸一
17	11/1 4	10:05- 10:55	医学科 講義室 1	臨床統計 I - 17	情報セキュリティと著作権	木下 淳博

18	11/1 4	11:10- 12:00	医学科 講義室 1	臨床統計 I - 18	情報セキュリティと著作権	木下 淳博
19	11/2 1	11:10- 12:00	医学科 講義室 1	臨床統計 I - 19 (試 験日)	応用演習(徳永担当分)	徳永 伸一
20	11/2 8	10:05- 10:55	医学科 講義室 2	臨床統計 I - 20	統計学と医療	能登 洋
21	12/5	10:05- 10:55	医学科 講義室 2	臨床統計 I - 21	統計学と医療	能登 洋
22	12/5	11:10- 12:00	医学科 講義室 2	臨床統計 I - 22	統計学と医療	能登 洋
23	12/1 2	10:05- 10:55	医学科 講義室 1	臨床統計 I - 23	統計学と医療	能登 洋
24	12/1 9	10:05- 10:55	医学科 講義室 1	臨床統計 I - 24	統計学と医療	能登 洋
25	1/16	11:10- 12:00	医学科 講義室 1	臨床統計 I - 25 (試 験日)	応用演習(能登担当分)	能登 洋

授業方法

講義・演習による

授業内容

- ・EBM/EBD
- ・統計の種類と研究の種類
- ・相関・検査特性・治療/予防に関する統計学の基礎と応用法
- ・統計学の思想や数学的原理
- ・情報セキュリティと著作権

成績評価の方法

科目責任者が応用演習を主として判定する。

成績評価の基準

科目責任者が応用演習中に行う試験を主として判定する。追試・再試については原則として東京医科歯科大学試験規則に従う。

準備学習などについての具体的な指示

教科書および Web Class 上にアップロードされる資料等を活用して予習・復習に役立てること。

試験の受験資格

医学部・歯学部第2学年（履修上の注意事項参照）

教科書

スッキリわかる!臨床統計はじめの一歩：統計のイロハからエビデンスの読み解き方・活かし方まで／能登洋 著,能登, 洋.:羊土社, 2018

参考書

EBMの正しい理解と実践 Q&A：一問一答で疑問解消,ケーススタディで即実践!／能登洋 著.:羊土社, 2003

日常診療にすぐに使える臨床統計学：ベストな診断と治療ができる!／能登洋 著.:羊土社, 2011

2週間でマスターするエビデンスの読み方使い方のキホン = 2 WEEKS TO MASTER THE BASICS OF EVIDENCE APPRAISAL AND APPLICATION：すぐにできるEBM実践法／能登洋 著.: 南江堂, 2013

数学/統計学／井川俊彦, 清田正夫, 徳永伸一, 山館周恒, 熊坂一成 著.:医歯薬出版, 2005

やさしい医療系の統計学／佐藤敏雄, 村松幸 著.: 医歯薬出版, 2002

入門統計解析／松原望 著.: 東京図書, 2007

誰でも分かる著作権：情報化・コンテンツ・教育関係者のために：この1冊で／岡本薫:全日本社会教育連合会, 2005

他科目との関連

グローバルコミュニケーション・生命倫理と相互関連した講義内容である。

履修上の注意事項

・予習課題や試験について事前連絡することがあるため、Web Classを受講前に確認すること ・「応用演習」の回では到達度を測る目的で試験を実施する。 ・進級のためには全授業回数(2限連続は2回)の2/3以上の出席が必要 ・各講義の遅刻・早退は原則的に認めない。また、出席手続きなどの不正に対しては厳正に対処する。

備考

成績評価法:教員ごとに試験を行い、最終的に両者の成績を総合的に評価する

連絡先

能登 洋:noto-ky@umin.net

時間割番号	011011		
科目名	医歯学基盤教育(グローバル・コミュニケーション I)		
担当教員	高田 和生, JANELLE RENEE MOROSS		
開講時期	通年	対象年次	2
<p>主な講義場所</p> <p>Class A: 医学科講義室 1: 3号館, 2階</p> <p>Class B: 医学科講義室 2: 3号館, 3階</p> <p>Class C: 共用セミナー室 5:M&D タワー15階</p> <p>Class D: 共用セミナー室 6:M&D タワー15階</p> <p>Class E: 共用セミナー室 1:M&D タワー24階 注目:(後期: 共用セミナー室 10:M&D タワー8階)</p> <p>Class F: 共用セミナー室 2:M&D タワー23階</p> <p>Class G: 共用セミナー室 3:M&D タワー23階 注目:(後期: 共用セミナー室 7:M&D タワー14階)</p> <p>Class H: 共用セミナー室 4:M&D タワー22階</p>			
<p>主な講義場所</p> <p>教室について WebClass のファイルを確認してください。</p> <p>Please check the Class Division file on WebClass.</p>			
<p>授業の目的、概要等</p> <p>本学は、基本理念の一つに「国際性と指導力を備えた人材の育成」を掲げている。グローバル化が進む昨今、世界の共通言語である英語は、医学・歯学研究の最先端におけるコミュニケーションおよび情報発信ツールにとどまらず、国家・地域レベルでの健康向上のために医療をリードし、そして世界標準に沿った質の高い医療・歯科医療を提供するための情報収集・意見交換ツールとして、必要不可欠である。したがって、本学の基本理念達成には、世界規模で注目されている医療・健康問題に精通し、論理的な思考のもとに意見を持ち、国際舞台で世界共通言語である英語で議論を行うのに必要な「適切な基準や根拠に基づく、論理的で、偏りのない思考」、いわゆる「クリティカルシンキング」ができなくてはならない。そこで、本科目においては、到達目標を以下のように設定する。そして、並行して進む医歯学専門教育、生命倫理教育、臨床統計教育と本科目での学習内容を可能な範囲でリンクさせることにより、双方に対しての更なる学習動機づけおよび学習効果向上を図り、21世紀の医療を担い、リードする医師、歯科医師に共通して必要とされる基盤資質の修得のための学習機会を提供する。</p> <p>General Course Information: This University has set "Training human resources with an excellent international sense and an awareness of international competitiveness" as their educational philosophy. With the recent progress of globalization, English proficiency is essential as a common world language; not limited to communication and information dissemination in state-of-the-art medicine and dentistry research, or to lead medical health improvement at the national and regional levels, but also important for information collection and exchange of opinions in order to provide high-quality medical and dental care along the lines of world standards.</p> <p>In order to achieve this goal, this course aims to use English not as a mere language, but for students to become familiar with the medical and health issues that have been attracting attention on a global scale. Also, through these topics students will learn to state an opinion on the basis of logical thinking, which is necessary to carry out discussions in the international arena. This so-called "critical thinking" method is based on the use of appropriate criteria and rationale for logical, bias-free thinking.</p>			

In order for professional education to advance in medical and dental faculties and with an aim to further the learning motivation and learning effect, the content has been linked to clinical statistics and bioethics education. This course provides a learning opportunity for acquisition of the common basic skills required in the 21 Century for medical and dental leaders.

授業の到達目標

- 1) 適切な基準や根拠に基づく、論理的で、偏りのない思考(クリティカルシンキング)ができる
- 2) 世界共通言語である英語により発信される医学関連情報に対して、1)にもとづく吟味・口頭または文書での効果的な情報発信・議論ができる
- 3) 世界の医療・健康事情の把握とそれによる広い視野を持つ

Course Learning Objectives:

At the end of the course, students will have:

- 1) Logical, unbalanced thinking (critical thinking) based on appropriate standards and grounds
- 2) Scrutiny based on 1) on medically relevant information transmitted in English, which is a universal language in the world
· Efficient dissemination and discussion of information on verbal or written documents
- 3) Grasp the medical and health circumstances of the world and have a broad perspective based on it

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/11	11:10- 12:00		Introduction to Critical Thinking and Group Dynamics	Vocabulary and reading comprehension quiz, group discussion.	JANELLE RENEE M OROSS	教室について WebClass を確 認してください。
2	4/25	11:10- 12:00		Skimming Methods	Vocabulary and reading comprehension quiz, group discussion.	JANELLE RENEE M OROSS	教室について WebClass を確 認してください。
3	5/9	11:10- 12:00		Hand Washing/ Gloves	Vocabulary and reading comprehension quiz, group discussion.	JANELLE RENEE M OROSS	教室について WebClass を確 認してください。
4	5/23	11:10- 12:00		Healthcare Associated Infections	Vocabulary and reading comprehension quiz, group discussion.	JANELLE RENEE M OROSS	教室について WebClass を確 認してください。
5	6/20	11:10- 12:00		Oral Health	Vocabulary and reading comprehension quiz, group discussion.	JANELLE RENEE M OROSS	教室について WebClass を確 認してください。
6	7/11	11:10- 12:00		Obesity	Vocabulary and reading comprehension quiz, group discussion.	JANELLE RENEE M OROSS	教室について WebClass を確 認してください。
7	9/12	10:05- 10:55		Patient Compliance	Vocabulary and reading comprehension quiz, group discussion.	JANELLE RENEE M OROSS	教室について WebClass を確 認してください。
8	9/26	10:05-		Cadaver	Vocabulary and reading	JANELLE	教室について

		10:55			comprehension quiz, group discussion.	RENEE M OROSS	WebClass を確認してください。
9	10/10	10:05-10:55		Masks	Vocabulary and reading comprehension quiz, group discussion.	JANELLE RENEE M OROSS	教室について WebClass を確認してください。
10	10/31	10:05-10:55		Orthodontia	Vocabulary and reading comprehension quiz, group discussion.	JANELLE RENEE M OROSS	教室について WebClass を確認してください。
11	11/7	10:05-10:55		In Vitro Fertilization	Vocabulary and reading comprehension quiz, group discussion.	JANELLE RENEE M OROSS	教室について WebClass を確認してください。
12	11/21	10:05-10:55		Health Supplements	Vocabulary and reading comprehension quiz, group discussion.	JANELLE RENEE M OROSS	教室について WebClass を確認してください。
13	11/28	11:10-12:00		Bacteria	Vocabulary and reading comprehension quiz, group discussion.	JANELLE RENEE M OROSS	教室について WebClass を確認してください。
14	12/12	11:10-12:00		Genetics	Vocabulary and reading comprehension quiz, group discussion.	JANELLE RENEE M OROSS	教室について WebClass を確認してください。
15	12/19	11:10-12:00		Ageing Society	Vocabulary and reading comprehension quiz, group discussion.	JANELLE RENEE M OROSS	教室について WebClass を確認してください。
16	1/16	10:05-10:55		8020 Promotion	Vocabulary and reading comprehension quiz, group discussion.	JANELLE RENEE M OROSS	教室について WebClass を確認してください。
17	1/23	10:05-10:55		Medical Tourism	Vocabulary and reading comprehension quiz, group discussion.	JANELLE RENEE M OROSS	教室について WebClass を確認してください。

授業方法

授業における全ての学習活動は英語で行われる。

1. Small group discussion

医歯学専門知識修得ステージ／生命倫理および臨床統計学習内容に合わせたトピック・論点を選定し、2 から 4 人ずつの小グループにて議論を行う。毎回 Native level speaker(s)を講師兼 Moderator/facilitator として配する。議論のプロダクトを、文書または口頭にて発表する機会も用意する。クリティカルシンキングのための導入および振り返り機会を適宜用意する。※注：生徒は TOEFL スコアと学習意欲の証明に基づいてクラス分けされる。学生が授業のレベルを上下に変えたいという希望がある場合は、その理由を明記したメッセージをこのコースのディレクターに送ることで調整される場合もある。

2. 医学関連英語語彙・フレーズの習得

医歯学専門知識習得ステージに合わせたスケジュールを組み、発音も重視した学習を行う。毎回あらかじめ学習内容を指定し、授業において Vocabulary quiz という形で学習度の確認を行う。

Learning Methods:

All learning activities in class are conducted in English.

1. Small group discussion

Discussion on the selected topic, relevant to the acquisition of medical and dental expertise in bioethics and clinical statistics, learning is carried out in small groups of 2 to 4 students. Native level English speakers are employed in the role of lecturer, moderator/ facilitator. Opportunities to present outcomes of discussion are made available in either written or verbal form. Appropriate introduction to topic and opportunities for reflection of critical thinking are given. ※Note: Students are divided into classes based on TOEFL scores and proof of willingness to learn. If students have a desire to change class levels, either up or down, they should send a message to the directors of this course stating their reasons and positive action will be taken.

2. Medically Relevant English Vocabulary and Phrases

Selected specialized medical and dental vocabulary is given based on students' learning stage, the learning of correct pronunciation is also emphasized. The content is specified in advance and level of achievement is confirmed in the form of a vocabulary quiz in class.

授業内容

詳細は別表のとおり

Course Content: See course outline.

成績評価の方法

最終成績は以下にもとづき判定される。Final grade is determined based on the following:

- ・ Vocabulary quiz performance
- ・ Class participation (discussion/presentation/homework)
- ・ Optional essays

成績評価の基準

最終成績は下記比重による。Final grade is calculated as follows:

- ・ Vocabulary quiz performance (30%)
- ・ Class participation (discussion/presentation/ homework) (70%) ※ Grades are given for each session based on preparation for class and activity in group discussion. 注: グループディスカッションの準備と参加に基づいて、各セッションの成績が与えられる。
- ・ Optional essays (bonus)

準備学習などについての具体的な指示

指示に従い Vocabulary quiz のための学習およびグループ議論、ディベート、口頭プレゼンテーションの準備をしてくること。その際、科目担当者からの指示(文書・口頭)に従うと共に、指定される資料だけでなく、インターネットなどを用いて議論を深めるために役立つ他資料や情報を主体的に収集し、準備に努めること。

Session Preparation: Prelearning and preparation, as per instructions, are necessary for vocabulary quizzes, group discussions, debates, and oral presentations. Also, following the verbal or written instruction of the course planner, students should strive to prepare information in addition to the assigned materials to assist in deepening class discussion, either through the Internet or other sources.

試験の受験資格

本科目においては最終試験は行わないが、進級のためには「欠席」が全セッションの 3 分の 1 以下であることを必要条件とする(十分条件ではない)。なお、本科目における出欠確認方法および出欠ルールを以下の通りとする。病気等による欠席は、診断書が提出されたとしても欠席として扱われる。

【出欠確認方法】

本科目ではカードリーダーによる出欠管理は行わず、授業を通して担当講師が出欠を確認する。出欠状況は毎セッション終了後にデータ整理後 WebClass に掲示する。出欠状況について授業責任者側から個別に連絡・注意することはしないため、各自で確認し適切に行動すること。確固たる証拠にもとづく事実相違がある場合は、授業責任者に相談すること。

【出欠ルール】

- ・ 授業開始時より授業終了時まで在室した場合を「出席」とする
- ・ 授業開始時に在室していなかったが授業開始後 10 分以内に来室し、授業終了時まで在室した場合を「遅刻」とし、「遅刻」3 回を「欠席」1 回とカウントする
- ・ 授業開始後 10 分経過時以降の来室(または授業終了時まで来室なし)、または、来室時間に限らず授業終了の前に退室した場合は、「欠席」とする

Final Exam: Although there is no final exam in this course, absence of less than one third of all sessions is required in order to pass.

Attendance: Absences due to illness, etc. are not excused, but treated as an absence. (Even if you have a medical certificate from the doctor.) Attendance will be taken by the instructor, and posted on WebClass after the end of each session for students to keep track. If a discrepancy occurs, please provide evidence of attendance and talk with the instructor in charge of the class.

Rules: Tardiness is taken seriously in this course as it hinders the learning of the entire group as well as the person who is late. Attendance means present from the start of the lesson until the end. If students arrive after the start of class up until 10 minutes after, they will be marked tardy. If students arrive after 10 minutes, they will be marked absent. (3 tardys = 1 absence)

教科書

最新医学用語演習 : 医学英語演習 / 岡田聚, 名木田恵理子 著, : 南雲堂, 1993

WebClass にアップロードしています。

参考書

最強のクリティカルシンキング・マップ : あなたに合った考え方を見つけよう : critical thinking map / 道田泰司 著, : 日本経

済新聞出版社, 2012

クリティカルシンキング入門篇: あなたの思考をガイドする40の原則/E. B. ゼックミスタ 著,宮元 博章 訳,:北大路書房, 1996

クリティカルシンキング実践篇: あなたの思考をガイドする40の原則/Zechmeister, Eugene B.,Johnson, James E.,宮元, 博章,道田, 泰司,谷口, 高士,菊池, 聡,:北大路書房, 1997

履修上の注意事項

遅刻は本人の学習の妨げになるほか、同じグループのメンバーの学習にも大きな迷惑となることから、厳しく取扱う。

Caution: Tardiness causes a major nuisance to other members of your group and is handled in a strict manner. Please come to class on time.

連絡先

高田 和生:takada.rheu@tmd.ac.jp

JANELLE RENEE MOROSS:jmoross.isc@tmd.ac.jp

オフィスアワー

高田 和生:オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡してから訪問すること。

JANELLE RENEE MOROSS:毎週月曜日 PM 4:00-5:00 1号館-4階 教授室

第3学年

時間割番号	011046				
科目名	腫瘍学				
担当教員					
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1

主な講義場所

3号館医学科講義室 2、3号館 4階学生実習室

授業の目的、概要等

この科目は1週間の間に講義と実習全てを集中して、「腫瘍学ブロック」として授業が行われる。この科目は、腫瘍とは何かという問題に始まり、腫瘍の特徴を病理学、分子生物学、疫学など様々な視点から概観することを目的とする。診断や治療などの臨床的側面についてはこの授業科目では扱わず、後に臨床各科やクリニカルクラークシップなどにおいて扱われる。

授業の到達目標

腫瘍学ブロックを通して以下のキーワードを基礎医学的および臨床医学的な面から理解することを目標とする。

【キーワード】

良性腫瘍、悪性腫瘍、上皮性腫瘍、非上皮性腫瘍、癌腫、肉腫、浸潤、転移、遺伝子変化、癌組織発生

文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成 28 年度改訂版)

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm

C-4-1)②③⑤⑥

C-4-6)①②③④⑤⑥

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員	備考
1	4/1	09:00- 10:00	医学科 講義室 2	腫瘍の形態と良悪性	北川 昌伸	
2	4/1	10:10- 12:20	医学科 講義室 2	大教室 PBL	秋田 恵一, 伊藤 崇, 大 西 威一郎, 木脇 祐子	
3	4/1	13:30- 14:30	医学科 講義室 2	腫瘍の発育, 進展	山本 浩平	
4	4/1	14:40- 15:40	医学科 講義室 2	がん宿主相互作用	田中 真二	
5	4/2	09:00- 10:00	医学科 講義室 2	発癌原因(放射線と癌)	吉村 亮一	
6	4/2	10:10-	4階学	実習:腫瘍の組織形態	山本 浩平	

		12:20	生実習室			
7	4/2	13:30- 14:30	医学科 講義室 2	腫瘍マーカー	東田 修二	
8	4/2	14:40- 15:40	医学科 講義室 2	発癌原因<ウイルスと癌>	倉田 盛人	
9	4/3	09:00- 10:00	医学科 講義室 2	癌の疫学	藤原 武男	大阪医科大学 伊藤先生講義
10	4/3	10:10- 12:20	医学科 講義室 2	大教室 PBL	竹本 暁, 桐 村 進, 富井 翔平	
11	4/3	13:30- 14:30	医学科 講義室 2	遺伝子変化と癌①	秋山 好光	
12	4/3	14:40- 15:40	医学科 講義室 2	腫瘍の組織発生	小林 大輔	
13	4/4	13:30- 14:30	医学科 講義室 2	遺伝性疾患と腫瘍	島田 周	
14	4/4	14:40- 15:40	医学科 講義室 2	遺伝子変化と癌②	秋山 好光	
15- 16	4/5	09:00- 12:20	医学科 講義室 2, 4 階 学生実 習室	大教室 PBL まとめ	大西 威一 郎	
17- 18	4/5	13:30- 15:40	4 階学 生実習 室	実習:悪性腫瘍の進展	大西 威一 郎, 根木 真 理子	
19	5/14	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	本試験	大西 威一 郎	

授業方法

ブロック期間中3回のPBLを軸とし、講義によって腫瘍全般に関わる基礎知識を、また顕微鏡自習によって代表的な腫瘍の観察を補完する。

授業内容

授業スケジュール参照のこと。

成績評価の方法

PBL および講義の出席、ブロック最終日のまとめテスト、およびブロック終了後に行われる筆記テストによって総合的に評価を行う。

成績評価の基準

大学の評価要綱に基づいて行う。

準備学習などについての具体的な指示

腫瘍学は正常の組織。器官から生じる腫瘍性変化について深く知る学問であり、これを習得するためにはこれまでに学習した解剖学、組織学、生理学等の基礎系分野の知識が必要不可欠である。そのため、これらの知識を再確認したうえで腫瘍学ブロックに取り組むことが望まれる。

教科書

腫瘍の基礎的な解説はワインバーグの教科書が詳しいが、通読は負担が大きい。仲野徹の教科書は読み物、入門として読み進めてほしい。その他は病理学総論と臨床各科の教科書の腫瘍部分も参考にされたい。

参考書

がんの生物学／ワインバーグ [著],武藤誠, 青木正博 訳,Weinberg, Robert Allan, 1942-,武藤, 誠,青木, 正博, 1962-,:南江堂, 2017

こわいもの知らずの病理学講義／仲野徹 著,仲野, 徹, 1957-,:晶文社, 2017

他科目との関連

病理学、内科学、外科学など腫瘍を扱う基礎・臨床学全般。

時間割番号	011048						
科目名	法医学						
担当教員							
開講時期	前期	対象年次	3				
主な講義場所 3号館 医学科講義室 2							
授業の目的、概要等 法医学の基礎							
授業の到達目標 基本的な法医学・死因究明の知識 異状死についての理解と判断 死亡診断書・死体検案書を作成できる 文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成 28 年度改訂版) http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm B-1-8)⑥ B-2-1)①②③④⑤ B-2-2)③ B-3-1)④							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/9	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	法医学総論 死体現象	法医学の歴史、意義 早期・ 晩期・特殊死体現象	上村 公一	
2	4/9	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	損傷(1)	損傷総論、生活反応	上村 公一	
3	4/9	15:50- 17:10	医学科 講義室 2	損傷(2)	鋭器、鈍器、銃器損傷	上村 公一	
4	4/10	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	損傷(3)	交通外傷、頭部外傷	上村 公一	
5	4/10	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	中毒学(1)	中毒学総論(中毒学一般と乱 用薬物)	秋 利彦	
6	4/10	15:50-	医学科	個人識別(1)	骨からの物体検査	宇都野 創	

		17:10	講義室 2				
7	4/11	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	法医学画像診断	死後 CT,レントゲン	鵜沼 香奈	
8	4/11	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	環境異常、虐待、性 犯罪	焼死、凍死、虐待、胎児・嬰 児、性犯罪	鵜沼 香奈	
9	4/17	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	法歯学(1)	法歯学(歯科法医学)の研究領 域および身元確認のための基 礎的な歯の解剖学的知識・治 療所見	櫻田 宏一	
10	4/17	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	個人識別(2)	血液型、DNA 型とその応用	竹下 治男	
11	4/17	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	中毒学(2)	各論(薬物、分析法)	船越 丈司, 則竹 香菜 子	
12	4/17	15:50- 17:10	医学科 講義室 2	中毒学(3)	トピック	秋 利彦, 船 越 丈司	
13	4/22	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	窒息	窒息総論・各論(縊頸、絞頸、 扼頸、溺死、他)	鵜沼 香奈	
14	4/22	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	法歯学(2)	歯科法医学	小室 歳信	
15	4/23	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	中毒(4)	アルコール医学	上村 公一	
16	4/23	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	死亡診断書・死体検 案書	死亡診断書・死体検案書の作 成法。講義と演習。	上村 公一	演習。死亡診断 書・死体検案書 の作成。
17	5/15	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	法医学試験		上村 公一	

授業方法

評価のウェイトは、「講義：70%」、「実習：30」とする。

授業内容

系統的な講義

成績評価の方法

試験成績、出席率、受講態度

成績評価の基準

総合評価

準備学習などについての具体的な指示

基本的な人体の解剖学用語を理解しておく。

症例の写真については秘密を保持すること。

試験の受験資格

講義の出席率 70%以上

参考書

現代の法医学／永野耐造, 若杉長英 編集, 永野, 耐造, 1931-2016, 若杉, 長英, 1938-1996.: 金原出版, 1998

NEW エッセンシャル法医学 = New Essentials of Forensic Medicine／高取健彦 監修, 長尾正崇, 中園一郎, 山内春夫 編, 高取, 健彦, 1938-, 長尾, 正崇, 中園, 一郎, 山内, 春夫.: 医歯薬出版, 2012

New 法医学・医事法／勝又義直, 鈴木修 編, カツマタヨシオ, ススキオサム.: 南江堂, 2008-04-05

標準法医学 第7版／石津日出雄, 高津光洋 監, 池田典昭 他編, イシヅヒテオ, タツアキヒロ, イケダノリアキ.: 医学書院, 2013-01-01

時間割番号	011049						
科目名	法医学実習						
担当教員							
開講時期	前期	対象年次	3				
主な講義場所							
実習室、学外施設							
授業の目的、概要等							
死体検案書の作成							
法医学実務の理解							
DNA 多型の理解							
授業の到達目標							
文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成 28 年度改訂版)							
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm							
B-2-1)②③							
B-2-2)③							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	5/8	12:50- 17:10	5 階学 生実習 室	法医学実習(1)	症例検討(1)死体検案書作成 DNA 多型(1)ALDH2 多型	上村 公一, 秋 利彦, 鷗 沼 香奈, 船 越 丈司, 則 竹 香菜子	実習
4-6	5/9	12:50- 17:10	5 階学 生実習 室	法医学実習(2)	DNA 多型(2) 薬物分析	上村 公一, 秋 利彦, 鷗 沼 香奈, 船 越 丈司, 則 竹 香菜子	実習
7-9	5/13	12:50- 17:10	5 階学 生実習 室	法医学実習(3)	症例検討(2)プレゼン	上村 公一, 秋 利彦, 鷗 沼 香奈, 船 越 丈司, 則 竹 香菜子	実習
成績評価の基準							
出席を重視する。							
準備学習などについての具体的な指示							

時間割番号	011053						
科目名	社会医学						
担当教員							
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1.5		
英文名 : Social Medicine							
主な講義場所 3号館3階医学科講義室2							
授業の目的、概要等 医療にまつわる社会的問題について取り上げ、社会システムの中での医療について考察・対応できる能力を獲得する。							
授業の到達目標 文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成 28 年度改訂版) http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm B-1-1)①④ B-1-3)①②③④⑤⑦ B-1-4)①②③④⑤ B-1-5)①②③④⑤⑥ B-1-6)①②④ B-1-7)①③④⑤⑥ B-1-8)①②③⑤⑥⑧⑨ B-1-9)①② B-2-1)①②④⑤ B-4-1)①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑬⑭							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/9	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	ブロック説明	Case study;「社会医学」上下 巻	藤原 武男	アクティブラー ニング(AL)の 種類:グループ ディスカッション
2	4/9	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	疫学I	「社会医学」上下巻	藤原 武男	アクティブラー ニング(AL)の 種類:グループ ディスカッション
3	4/10	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	医事法	医療事故の法的責任:「社会医 学」上下巻	奥津 康祐	
4	4/10	14:20- 15:40	医学科 講義室	健康危機管理	医療提供者の視点と医療消費 者の視点から見た健康危機管	高瀬 浩造	

			2		理;「社会医学」上下巻		
5	4/15	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	医療保険制度	「社会医学」上下巻	藍 真澄	
6	4/15	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	民間企業による IT を 用いた健康社会実装	「社会医学」上下巻	坂野 哲平	
7	4/16	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	プラネタリーヘルス	「社会医学」上下巻	中村 桂子	
8	4/16	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	グローバルヘルス I	「社会医学」上下巻	中村 桂子	
9	4/18	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	グローバルヘルス II	「社会医学」上下巻	沢田 貴志	
10	4/18	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	自殺対策	「社会医学」上下巻	金子 善博	
11	4/19	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	法と医療制度 II	保健・福祉・介護分野の関連法 規;「社会医学」上下巻	河原 和夫	
12	4/19	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	犯罪精神医学	「社会医学」上下巻	岡田 幸之	
13	4/24	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	児童虐待 I	「社会医学」上下巻	藤原 武男	アクティブラー ニング(AL)の 種類:グループ ディスカッション
14	4/24	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	疫学 II	循環器疫学;「社会医学」上下 巻	小久保 喜 弘	
15	5/13	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	死因究明制度	「社会医学」上下巻	上村 公一	
16	5/13	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	母子保健	「社会医学」上下巻	藤原 武男	アクティブラー ニング(AL)の 種類:グループ ディスカッション
17	5/17	10:30-	医学科	社会医学試験	<科目別アンケート※>	藤原 武男	

		11:50	講義室 2				
授業方法							
講義を行う。随時、アクティブラーニングを取り入れる。							
成績評価の方法							
試験による。							
準備学習などについての具体的な指示							
事前に Webclass にアップした資料(論文、著作、教科書のチャプター等)がある場合、しっかり読んでおくこと。							
教科書							
社会疫学 上／リサ・F・バークマン, イチロー・カワチ, M・マリア・グリモール 編,高尾総司, 藤原武男, 近藤尚己 監訳.:大修館書店, 2017							
社会疫学 下／リサ・F・バークマン, イチロー・カワチ, M・マリア・グリモール 編,高尾総司, 藤原武男, 近藤尚己 監訳.:大修館書店, 2017							
参考書							
ロスマンの疫学 : 科学的思考への誘い／KENNETH J.ROTHMAN [著],矢野栄二, 橋本英樹, 大脇和浩 監訳.:篠原出版新社, 2013							
事例に学ぶ法医学・医事法／吉田謙一 著,.:有斐閣, 2010							
Rothman KJ, Greenland S, Lash TL. Modern epidemiology. 3rd ed. Philadelphia: Lippincott Williams & Wilkins; 2008.							
Aschengrau A, Seage GR. Essentials of Epidemiology in Public Health. 3rd ed. Burlington: Jones & Bartlett Learning; 2014.							
他科目との関連							
他の社会医学系の科目(公衆衛生学、衛生学、法医学、医動物学、等)と密接に関連している。							

時間割番号	011051		
科目名	衛生学		
担当教員			
開講時期	前期	対象年次	3
主な講義場所			
3号館3階医学科講義室2			
授業の目的、概要等			
<p>衛生学は、医学を基礎医学、臨床医学、社会医学に大別すると社会医学に入り、臨床医学を治療医学と考えれば、衛生学は予防医学と考えることができる。すなわち、衛生学は 人間をとりまく自然的、社会的環境要因と健康との関連を考究し、疾病の予防、早期発見および健康の維持推進に役立てようとする学問である。衛生学では単に疾病を治療するだけでなく、疾病の背後にある種々の自然的・社会的要因をも考察して対応できる能力を養成することを目標とする。</p>			
授業の到達目標			
<ol style="list-style-type: none"> 1) 衛生学の基礎的知識を習得できる。 2) がんの原因になりやすい生活習慣要因について説明できる 3) 環境要因とがんの関係および職業がんについて説明できる 4) 環境要因が健康に及ぼす影響を説明できる。 5) 感染症、生活習慣病、食品衛生、スポーツ医学、医療行政など多岐に渡って最新の知見を習得できる。 6) 実習を通じて実験技術の習得ができ、得られた結果の解釈および口頭説明ができる。 			
<p>文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成 28 年度改訂版)</p> <p>http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm</p>			
B-1-4)③⑤			
B-1-5)①②③⑤⑥			
B-1-6)③⑤			
B-1-7)②			
B-1-8)⑪⑫			
B-1-9)①			
授業方法			
<p>講義と実習からなる。講義にはテーマ研究の課題に基づくグループ学習、発表、討論も含まれる。</p> <p>衛生学実習は2つのグループに別れて行う。</p> <p>授業のキーワード: 悪性腫瘍、環境発がん、職業がん、生活習慣要因、環境リスク、ヒ素、感染症、日和見感染、食品衛生、化学物質、循環器病、予防医学、スポーツ医学、医療行政、変異原性試験、遺伝子診断</p>			
授業内容			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 衛生学の授業内容は総論的講義と、学内外の第一人者による講義からなる。講義期間中に環境とがんを対象としたテーマ研究の課題を与える。学生は少人数のグループに別れて、各課題について調査・研究を行い、発表する。 2. 衛生学実習は、グループ選択として変異原性試験または遺伝子多型解析を行う。 3. 担当者(講義内容) <p>教授: 田中真二(生活習慣とがん、職業がん、衛生学実習)</p>			

講師:秋山好光(テーマ研究:環境とがん、衛生学実習)

助教:島田周(テーマ研究:環境とがん、衛生学実習)

非常勤講師:一色賢司(食品衛生)、大石和徳(感染症)、大石由美子(生活習慣と動脈硬化)、小野恭子(化学物質の環境リスク評価)、迫井正深(医療行政)、平野靖史郎(ヒ素の環境汚染と毒性)、森 千里(化学物質の健康影響)、柳下和慶(スポーツ医学と予防)

成績評価の方法

講義に関しては、筆答試験で学習成果を問う。

実習については、レポート・口頭発表・出席などで判定する。

評価のウェイトは、「講義:80%(テーマ研究の発表内容も採点に加味される)」、「実習:20%」とする。

成績評価の基準

筆答試験、実習、レポート、テーマ研究発表などを総合して評価する。

準備学習などについての具体的な指示

指定した教科書、参考書を読んでおく。次回の講義の担当者の専門とその関連するキーワードをもとに、基本的な事項を理解しておく。

教科書

NEW 予防医学・公衆衛生学(改訂第4版) / 岸 玲子 監修, 小泉 昭夫 編集, 馬場 園明 編集, 今中 雄一 編集, 武林 亨 編集, 岸 玲子, 小泉 昭夫, 馬場 園明, 今中 雄一, 武林 亨, : 南江堂, 2018-11-22

参考書

国民衛生の動向 2018/2019 厚生労働統計協会 出版社: 厚生労働統計協会, 2018

「がん生物学イラストレイテッド」 渋谷正史、湯浅保仁編集、羊土社、2011

他科目との関連

「公衆衛生学」および「社会医学」と最も強く関連するが、その他の基礎・社会医学科目とも関連する。

履修上の注意事項

衛生学では常に新たな内容が付加され、また最新のデータを常に把握する必要があるので必ず講義に出席すること。実習は2つの選択項目から選び、グループで行う。本実習では積極的に課題に取り組む姿勢を培ってほしい。

参照ホームページ

厚生労働省: <http://www.mhlw.go.jp/>

国立感染症研究所: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/>

時間割番号	011050				
科目名	衛生学				
担当教員	田中 真二, 秋山 好光, 島田 周				
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1.5

主な講義場所

3号館3階医学科講義室2

授業の目的、概要等

衛生学は、医学を基礎医学、臨床医学、社会医学に大別すると社会医学に入り、臨床医学を治療医学と考えれば、衛生学は予防医学と考えることができる。すなわち、衛生学は 人間をとりまく自然的、社会的環境要因と健康との関連を考究し、疾病の予防、早期発見および健康の維持推進に役立てようとする学問である。衛生学では単に疾病を治療するだけでなく、疾病の背後にある種々の自然的・社会的要因をも考察して対応できる能力を養成することを目標とする。

授業の到達目標

- 1) 衛生学の基礎的知識を習得できる。
- 2) がんの原因になりやすい生活習慣要因について説明できる
- 3) 環境要因とがんの関係および職業がんについて説明できる
- 4) 環境要因が健康に及ぼす影響を説明できる。
- 5) 感染症、生活習慣病、食品衛生、スポーツ医学、医療行政など多岐に渡って最新の知見を習得できる。
- 6) 実習を通じて実験技術の習得ができ、得られた結果の解釈および口頭説明ができる。

文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成 28 年度改訂版)

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm

B-1-4)③⑤

B-1-5)①②③⑤⑥

B-1-6)③⑤

B-1-7)②

B-1-8)⑪⑫

B-1-9)①

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/8	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	衛生学序論、生活習慣とがん	田中 真二
2	4/8	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	食品衛生	一色 賢司
3	4/12	12:50- 14:10	アクティ ブラーニ ング教	ヒ素の環境汚染	平野 靖史 郎

			室		
4	4/12	14:20- 15:40	アクティ ブラーニ ング教 室	感染症	砂川 富正
5	4/15	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	医療行政	迫井 正深
6	4/15	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	化学物質の環境リス ク	小野 恭子
7	4/16	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	化学物質の健康影響	森 千里
8	4/16	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	生活習慣と動脈硬化	大石 由美 子
9	5/7	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	スポーツ医学と予防	柳下 和慶
10	5/7	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	職業がん	田中 真二
11	5/10	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	テーマ研究—環境と がん 1	田中 真二, 秋山 好光, 島田 周
12	5/10	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	テーマ研究—環境と がん 2	田中 真二, 秋山 好光, 島田 周
13	5/17	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	試験	田中 真二

授業方法

講義と実習からなる。講義にはテーマ研究の課題に基づくグループ学習、発表、討論も含まれる。

衛生学実習は2つのグループに別れて行う。

授業のキーワード: 悪性腫瘍、環境発がん、職業がん、生活習慣要因、環境リスク、ヒ素、感染症、日和見感染、食品衛生、化学物質、循環器病、予防医学、スポーツ医学、医療行政、変異原性試験、遺伝子診断

授業内容

教授: 田中真二(生活習慣とがん、職業がん、衛生学実習)

講師:秋山好光(テーマ研究:環境とがん、衛生学実習)

助教:島田周(テーマ研究:環境とがん、衛生学実習)

非常勤講師:一色賢司(食品衛生)、砂川富正(感染症)、大石由美子(生活習慣と動脈硬化)、小野恭子(化学物質の環境リスク評価)、迫井正深(医療行政)、平野靖史郎(ヒ素の環境汚染と毒性)、森 千里(化学物質の健康影響)、柳下和慶(スポーツ医学と予防)

成績評価の方法

講義に関しては、筆答試験で学習成果を問う。

実習については、レポート・口頭発表・出席などで判定する。

評価のウェイトは、「講義:80%(テーマ研究の発表内容も採点に加味される)」、「実習:20%」とする。

成績評価の基準

筆答試験、実習、レポート、テーマ研究発表などを総合して評価する。

準備学習などについての具体的な指示

指定した教科書、参考書を読んでおく。次回の講義の担当者の専門とその関連するキーワードをもとに、基本的な事項を理解しておく。

教科書

NEW 予防医学・公衆衛生学(改訂第4版) / 岸 玲子 監修, 小泉 昭夫 編集, 馬場 園明 編集, 今中 雄一 編集, 武林 亨 編集, 岸 玲子, 小泉 昭夫, 馬場 園明, 今中 雄一, 武林 亨, : 南江堂, 2018-11-22

参考書

国民衛生の動向 2018/2019 厚生労働統計協会 出版社: 厚生労働統計協会, 2018

「がん生物学イラストレイテッド」 渋谷正史、湯浅保仁編集、羊土社、2011

他科目との関連

「公衆衛生学」および「社会医学」と最も強く関連するが、その他の基礎・社会医学科目とも関連する。

履修上の注意事項

衛生学では常に新たな内容が付加され、また最新のデータを常に把握する必要があるので必ず講義に出席すること。実習は2つの選択項目から選び、グループで行う。本実習では積極的に課題に取り組む姿勢を培ってほしい。

参照ホームページ

厚生労働省: <http://www.mhlw.go.jp/>

国立感染症研究所: <http://www.niid.go.jp/niid/ja/>

時間割番号	011052		
科目名	衛生学実習		
担当教員	田中 真二, 秋山 好光, 島田 周		
開講時期	前期	対象年次	3

主な講義場所

3号館5階学生実習室

授業の目的、概要等

衛生学は、医学を基礎医学、臨床医学、社会医学に大別すると社会医学に入り、臨床医学を治療医学と考えれば、衛生学は予防医学と考えることができる。すなわち、衛生学は 人間をとりまく自然的、社会的環境要因と健康との関連を考究し、疾病の予防、早期発見および健康の維持推進に役立てようとする学問である。衛生学では単に疾病を治療するだけでなく、疾病の背後にある種々の自然的・社会的要因をも考察して対応できる能力を養成することを目標とする。

授業の到達目標

- 1) 衛生学の基礎的知識を習得できる。
- 2) がんの原因になりやすい生活習慣要因について説明できる
- 3) 環境要因とがんの関係および職業がんについて説明できる
- 4) 環境要因が健康に及ぼす影響を説明できる。
- 5) 感染症、生活習慣病、食品衛生、スポーツ医学、医療行政など多岐に渡って最新の知見を習得できる。
- 6) 実習を通じて実験技術の習得ができ、得られた結果の解釈および口頭説明ができる。

文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成 28 年度改訂版)

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm

B-1-1)①③

B-1-2)①②③

B-1-4)⑤

B-1-5)⑤⑥

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員
1-3	4/22	12:50- 17:10	5 階学 生実習 室, 医 学科講 義室 2	①変異原性試験、②遺伝子多 型解析	田中 真二, 秋山 好光, 島田 周
4-6	4/23	12:50- 17:10	5 階学 生実習 室	①変異原性試験、②遺伝子多 型解析	田中 真二, 秋山 好光, 島田 周
7-9	4/24	12:50- 17:10	5 階学 生実習	①変異原性試験、②遺伝子多 型解析	田中 真二, 秋山 好光,

			室		島田 周
10-12	4/25	12:50-17:10	5 階学生実習室	①変異原性試験、②遺伝子多型解析	田中 真二, 秋山 好光, 島田 周
13-15	4/26	12:50-17:10	5 階学生実習室, 医学科講義室 2	①変異原性試験、②遺伝子多型解析 ③全体発表	田中 真二, 秋山 好光, 島田 周

授業方法

衛生学実習は数人のグループに別れて行う。

授業のキーワード: 悪性腫瘍、環境発がん、変異原性試験、遺伝子診断

授業内容

1. 衛生学実習は、グループ選択として変異原性試験または遺伝子多型解析を行う。最終日には全体発表を行う。

2. 担当者

教授: 田中真二

講師: 秋山好光

助教: 島田周

成績評価の方法

実習については、レポート・口頭発表・出席などで判定する。

成績評価の基準

筆答試験、実習、レポート、テーマ研究発表などを総合して評価する。

準備学習などについての具体的な指示

指定した教科書、参考書および実習初日に配布される実習書を読み、基本的事項を理解しておく。

教科書

NEW 予防医学・公衆衛生学(改訂第4版) / 岸 玲子 監修, 小泉 昭夫 編集, 馬場 園明 編集, 今中 雄一 編集, 武林 亨 編集, 岸 玲子, 小泉 昭夫, 馬場 園明, 今中 雄一, 武林 亨, : 南江堂, 2018-11-22

参考書

国民衛生の動向 2018/2019 厚生労働統計協会 出版社: 厚生労働統計協会, 2018

「がん生物学イラストレイテッド」渋谷正史、湯浅保仁編集、羊土社、2011

他科目との関連

「公衆衛生学」および「社会医学」と最も強く関連するが、その他の基礎・社会医学科目とも関連する。

履修上の注意事項

衛生学では常に新たな内容が付加され、また最新のデータを常に把握する必要があるので必ず講義に出席すること。実習は2つの選択項目から選び、グループで行う。本実習では積極的に課題に取り組む姿勢を培ってほしい。

参照ホームページ

厚生労働省: <http://www.mhlw.go.jp/>

国立感染症研究所 : <http://www.nih.go.jp/niid/ja/>

時間割番号	011054				
科目名	公衆衛生学				
担当教員	藤原 武男				
開講時期	1.5 通年	対象年次	3~4	単位数	2
英文名 : Public Health					
主な講義場所					
3号館 3階 医学科講義室 2					
授業の目的、概要等					
疾病の環境要因について学び、その予防について考察できる能力を獲得することを目的とする。					
授業方法					
講義及び課題研究を行う					
【課題研究】					
設定された課題について、5-6名のグループで1つのレポートを作成する。課題およびグループ割については別途連絡する。					
○レポート提出(締切:5月20日(金)、期限を過ぎた提出は認めない)					
本文は Word 等で作成し、電子ファイルを Webclass より*提出する。					
Webclass での提出箱の開設は5月始めを予定している。					
* Webclass 上での提出操作がわからない場合は、次のメールアドレスに添付ファイルとして提出することも可(木津喜:kizuki.hlth@tmd.ac.jp)。					
過去レポートの閲覧およびレポート提出用の Webclass は、「FMS16005 M3 公衆衛生学 2016」とする。					
成績評価の方法					
筆記試験の結果および課題研究の成果、その他授業中に示す。					
準備学習などについての具体的な指示					
事前に Webclass にアップした資料(論文、著作、教科書のチャプター等)がある場合、しっかり読んでおくこと。					
試験の受験資格					
講義への8回以上の出席 満たさない場合は受験できない。 (東京医科歯科大学試験規則第5条に基づく)					
教科書					
社会疫学ノリサ・F・バークマン, イチロー・カワチ, M・マリア・グリモール 編, 高尾総司, 藤原武男, 近藤尚己 監訳, :大修館書店, 2017					
社会疫学ノリサ・F・バークマン, イチロー・カワチ, M・マリア・グリモール 編, 高尾総司, 藤原武男, 近藤尚己 監訳, :大修館書店, 2017					
参考書					
Oxford Textbook of Public Health (5 ed.) / Roger Detels, Robert Beaglehole, Mary Ann Lansang, and Martin Gulliford : Oxford					

University Press, 2011

Maxey-Rosenau-Last Public Health and Preventive Medicine (15 ed.)／Robert Wallace: McGraw-Hill Medical, 2007

A Dictionary of Epidemiology. 6th ed.／International Epidemiological Association: Oxford University Press, 2014

厚生指標 増刊 国民衛生の動向／厚生労働統計協会: 厚生労働統計協会, 毎年

厚生労働白書／厚生労働省: 日経印刷, 毎年

ロスマンの疫学 : 科学的思考への誘い／KENNETH J.ROTHMAN [著], 矢野栄二, 橋本英樹, 大脇和浩 監訳.: 篠原出版新社, 2013

Rothman KJ, Greenland S, Lash TL. Modern epidemiology. 3rd ed. Philadelphia: Lippincott Williams & Wilkins; 2008.

Aschengrau A, Seage GR. Essentials of Epidemiology in Public Health. 3rd ed. Burlington: Jones & Bartlett Learning; 2014.

他科目との関連

公衆衛生学は典型的な社会医学であるから、基礎医学、臨床医学の各科目と深く関係する。系別講義「社会医学」の他、系統講義「衛生学」、「医動物学」、「法医学」とは特に密接に関連する。

時間割番号	011055						
科目名	公衆衛生学(M3)						
担当教員							
開講時期	前期	対象年次	3				
主な講義場所							
3号館3階 医学科講義室2							
授業の目的、概要等							
疾病の環境要因について学び、その予防について考察できる能力を獲得することを目的とする。							
授業の到達目標							
文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成28年度改訂版) http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm							
B-1-3)①②③④⑤⑦							
B-1-4)①②③④⑤							
B-1-5)①②③④⑤⑥							
B-1-6)①②③④							
B-1-7)①②③④⑤⑥⑦							
B-1-8)①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬							
B-1-9)①②							
B-4-1)①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/12	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	社会的健康決定要因	「社会医学」上下巻	藤原 武男	アクティブラーニング(AL)の種類:グループディスカッション
2	4/12	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	システマティックレビュー	Critical appraisal;「社会医学」上下巻	藤原 武男	ALの種類:グループディスカッション
3	4/19	09:00- 10:20	アクティ ブラーニ ング教 室	臨床疫学	DPC;「社会医学」上下巻	伏見 清秀	ALの種類:未定
4	4/19	10:30- 11:50	アクティ ブラーニ ング教 室	法と医療制度Ⅰ	医療制度に関する基本法規; 「社会医学」上下巻	河原 和夫	ALの種類:未定
5	4/26	09:00- 10:20	医学科 講義室	栄養疫学	「社会医学」上下巻	吉池 信男	ALの種類:未定

			2				
6	4/26	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	たばこ・がん対策	「社会医学」上下巻	片野田 耕 太	ALの種類:未 定
7	5/7	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	児童虐待 II	「社会医学」上下巻	山田 不二 子	ALの種類:未 定
8	5/7	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	産業保健	「社会医学」上下巻	宮本 俊明	ALの種類:未 定
9	5/8	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	ゲノム疫学	「社会医学」上下巻	田中 敏博	ALの種類:未 定
10	5/8	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	歯科疫学	「社会医学」上下巻	相田 潤	ALの種類:未 定
11	5/10	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	老人保健	「社会医学」上下巻	森田 彩子	ALの種類: imakiku
12	5/10	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	ライフコース疫学	「社会医学」上下巻	藤原 武男	ALの種類:グ ループディスカ ッション
13	5/16	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	公衆衛生学試験	<科目別アンケート※>	藤原 武男	

授業方法

講義及び課題研究を行う

【課題研究】

設定された課題について、5-6名のグループで1つのレポートを作成する。課題およびグループ割については別途連絡する。

○レポート提出(締切:5月17日(金)、期限を過ぎた提出は認めない)

本文はWord等で作成し、電子ファイルをWebclassより*提出する。

Webclassでの提出箱の開設は5月始めを予定している。

* Webclass 上での提出操作がわからない場合は、次のメールアドレスに添付ファイルとして提出することも可(森田: morita.hlth@tmd.ac.jp)。

過去レポートの閲覧およびレポート提出用のWebclassは、「M3 公衆衛生学 2017」とする。

成績評価の方法

筆記試験の結果および課題研究の成果、その他授業中に示す。

準備学習などについての具体的な指示

事前に Webclass にアップした資料(論文、著作、教科書のチャプター等)がある場合、しっかり読んでおくこと。

試験の受験資格

講義への8回以上の出席 満たさない場合は受験できない。

(東京医科歯科大学試験規則第5条に基づく)

教科書

社会疫学 上/リサ・F.バークマン,Berkman, Lisa F.,河内, 一郎,Glymour, M. Maria,高尾, 総司,藤原, 武男,近藤, 尚己,:大修館書店, 2017-09

社会疫学 下/リサ・F.バークマン,Berkman, Lisa F.,河内, 一郎,Glymour, M. Maria,高尾, 総司,藤原, 武男,近藤, 尚己,:大修館書店, 2017-09

参考書

Oxford Textbook of Public Health (5 ed.)/Roger Detels, Robert Beaglehole, Mary Ann Lansang, and Martin Gulliford: Oxford University Press, 2011

Maxey-Rosenau-Last Public Health and Preventive Medicine (15 ed.)/Robert Wallace: McGraw-Hill Medical, 2007

A Dictionary of Epidemiology. 6th ed./International Epidemiological Association: Oxford University Press, 2014

厚生指標 増刊 国民衛生の動向/厚生労働統計協会:厚生労働統計協会

厚生労働白書/厚生労働省:日経印刷, 毎年

他科目との関連

公衆衛生学は典型的な社会医学であるから、基礎医学、臨床医学の各科目と深く関係する。系別講義「社会医学」の他、系統講義「衛生学」、「医動物学」、「法医学」とは特に密接に関連する。

時間割番号	011057				
科目名	臨床医学導入				
担当教員					
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1

授業の目的、概要等

臨床検査医学に関する授業については、「臨床医学導入(臨床検査医学)」のページを参照(授業の概要、成績評価、参考書などを記載してある)

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員
1	5/20	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	9:00-9:40 検査医学総論 9:40-10:20 ミニケース(腹部エコー)	伊藤 真以、 村川 美也 子
2	5/20	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	血液学的検査	東田 修二
3	5/20	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	輸血総論	梶原 道子
4	5/20	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	画像診断入門	立石 宇貴 秀
5	5/21	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	インターベンショナル・ラジオロジー	岸野 充浩
6	5/21	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	生理検査	叶内 匡
7	5/21	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	中枢神経	菊池 陽一
8	5/21	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	生化学検査	東田 修二
9	5/22	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	免疫学的検査・尿検査・遺伝子検査	東田 修二
10	5/22	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	胸部	米山 智啓

11	5/22	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	乳腺	町田 洋一
12	5/22	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	核医学	立石 宇貴 秀
13	5/23	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	虫垂	磯貝 純
14	5/23	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	感染症検査	東田 修二
15	5/24	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	ミニケース(放射線診断)	藤岡 友之
16	5/24	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	RCPC (Reversed clinico- pathological conference)	東田 修二
17	5/24	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	評価(筆記試験) 臨床検査医 学	伊藤 真以
18	5/24	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	評価(筆記試験) 放射線診断 学	藤岡 友之

準備学習などについての具体的な指示

時間割番号	011058				
科目名	循環器				
担当教員					
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	3
Cardiovascular Medicine					
主な講義場所					
3号館2階、医学科講義室2					
授業の目的、概要等					
このコースは広く循環器疾患の基礎的事項、検査法、疾患について学び、さらに代表的な症候を呈した循環器疾患の臨床例から、その臨床症状の成り立ち、背景、病態、診断への道筋、治療法の考え方など様々な側面を学習することを目的としている。					
授業の到達目標					
循環器疾患は下記4分野に分かれ、それぞれの専門科の教員が講義を行う。					
<ul style="list-style-type: none"> ・循環器内科 ・心臓血管外科 ・小児循環器 ・末梢血管外科 					
基礎分野の講義においては、これまで学んだ基礎医学の知識が、臨床医学においてどのように使われているのかを意識して学ぶ必要がある。					
臨床分野の講義においては、まず総論として、症候学、身体診察の基本について学ぶ。					
また各論においては、各疾患の病態、検査や治療の具体的な方法について学ぶ。					
最終的にミニケースを用いることによって、臨床分野において身に着けた知識が、どのように応用されるのかを自主的に学習することによって、知識の定着をはかるとともに、臨床的思考の方法について学ぶ必要がある。					
文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成28年度改訂版)					
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm					
D-5-1)①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭					
D-5-2)①②③④⑤⑥					
D-5-3)①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳					
D-5-4) (8)⑥					
D-5-4)-(1)①②③④⑤					
D-5-4)-(10)①②					
D-5-4)-(11)①					
D-5-4)-(2)①②③④⑤⑥					
D-5-4)-(3)①②③④⑤⑥					
D-5-4)-(4)①					
D-5-4)-(5)①②③④⑤⑥⑦					
D-5-4)-(6)①					
D-5-4)-(7)①②③④⑤					

D-5-4)-(8)①②③④

D-5-4)-(9)①②③④⑤

E-3-5)⑤

F-1-11)①②③

F-1-15)①②③

F-1-16)①②③

F-1-17)①②③

F-1-18)①②③

F-1-5)①②③

F-1-6)①②③

F-1-7)①②③

F-2-1)①②③④⑤⑥⑦⑧

F-2-2)⑤⑥⑦

F-2-3)①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮

F-2-5)①②③④⑤

F-2-7)①②③④⑤⑥

F-2-8)①②③④⑤⑦⑧⑨⑩⑪

F-3-1)①②③④

F-3-2)①②③④⑤

F-3-3)①②③④

F-3-4)①②

F-3-5)-(1)①②③④⑤⑥

F-3-5)-(2)①②③④⑤⑥⑦

F-3-5)-(4)①②③

F-3-6)-(1)①②③

F-3-6)-(2)①②③④⑤

F-3-6)-(3)①②③

F-3-6)-(4)①②

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	5/27	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	循環器総論 症候学	合屋 雅彦
2	5/27	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	循環器疾患の病理	田中 道雄
3	5/27	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	心筋シンチ、CT、 MRI、PET	田尾 進

4	5/27	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	心エコー検査	有馬 秀紀
5	5/28	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	身体診察	前嶋 康浩
6	5/28	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	心電図	高橋 良英
7	5/28	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	循環器領域の遺伝子 疾患	江花 有亮
8	5/28	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	循環生理学/薬理学	笹野 哲郎
9	5/29	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	心臓カテーテル検査、 電気生理検査	滝川 正晃
10	5/29	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	不整脈Ⅰ(基礎)	古川 哲史
11	5/29	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	心筋疾患Ⅰ(基礎)	木村 彰方
12	5/29	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	心不全	磯部 光章
13	5/31	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	不整脈Ⅱ(徐脈)	関川 雅裕
14	5/31	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	虚血性心疾患Ⅰ(内 科)	秦野 雄
15	5/31	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	虚血性心疾患Ⅱ(内 科)	米津 太志
16	6/3	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	循環器外科総論/病 態生理と外科治療総 論	荒井 裕国
17	6/3	10:30-	医学科	不整脈Ⅲ(頻脈)	合屋 雅彦

		11:50	講義室 2		
18	6/3	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	先天性心疾患 I	土井 庄三 郎
19	6/3	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	先天性心疾患 II	土井 庄三 郎
20	6/4	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	虚血性心疾患 III (外 科)	水野 友裕
21	6/4	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	心筋疾患 II (臨床)	前嶋 康浩
22	6/4	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	動脈疾患 I	工藤 敏文
23	6/4	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	動脈疾患 II	工藤 敏文
24	6/5	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	先天性心疾患 III	土井 庄三 郎
25	6/5	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	先天性心疾患 IV (心 エコー、カテーテル治 療)	土井 庄三 郎
26	6/5	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	大動脈疾患	梅本 朋幸
27	6/5	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	弁膜症 (内科)	李 哲民
28	6/6	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	小児循環器外科治療	八島 正文
29	6/6	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	感染性心内膜炎、心 膜疾患	有馬 秀紀
30	6/7	09:00- 10:20	医学科 講義室	弁膜症 外科治療	水野 友裕

			2		
31	6/7	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	肺循環	篠岡 太郎
32	6/10	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	静脈疾患・リンパ疾患	猪狩 公宏
33	6/10	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	ミニケース1 息切れ	林 達哉
34	6/10	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	ミニケース2 めまい、 動悸	田尾 進
35	6/11	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	体外循環、補助循 環、人工心臓、心臓 移植	荒井 裕国
36	6/11	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	ミニケース3 間欠性 跛行	工藤 敏文
37	6/11	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	ミニケース4 腹痛	工藤 敏文
38	6/12	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	ミニケース5 胸痛	米津 太志
39	6/12	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	ミニケース6 背部痛	大井 啓司
40	6/13	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	ミニケース7 失神	高橋 良英
41	6/13	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	ミニケース8 チアノー ゼ	泉田 直己
42	6/14	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	評価 試験	合屋 雅彦

授業方法

このコースは循環器疾患の具体的な症例を通じて、情報収集、検査、治療計画立案などの臨床的思考方を学び、もって問題探求、問題解決力を養うことを目的としている。臨床的な観点から循環器疾患の成り立ち、病態、診断法、治療法を講義

する。後半は臨床講義として症例を通じて臨床的な考え方も含めて学ぶ。

授業内容

授業スケジュール参照

成績評価の方法

コース終了後に筆記試験を行う。

成績評価の基準

筆記試験の成績により可否を評価する。

準備学習などについての具体的な指示

循環器疾患に関連した解剖学、病理学、生理学、生化学、薬理学等に関する基礎的知識を再確認しておくこと。学生の積極的な参加が求められるコースである。ミニケースは、学生が参加する授業形態である。循環器ブロック開始時に、各講義の担当者3-4名を決定し、代表者が教員の連絡先を循環器内科田尾(PhS:61590)に照会する。担当者は教員に連絡をとり、講義内容の指示を受けること。

教科書

Braunwald's Heart Disease: A Textbook of Cardiovascular Medicine/Robert O. Bonow, Douglas L. Mann, Douglas P. Zipes, et al.: Saunders, 2014

Harrison's Principles of Internal Medicine.18th Edition/Dan Longo et al.: McGraw-Hill Professional Pub, 2011

参考書

心臓病の病態生理 : ハーバード大学テキスト/レオナルド・S.リリー 著,川名正敏, 川名陽子 訳,:メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2012

ハリソン内科学/ダン L. ロンゴ ほか 編,福井次矢, 黒川清 日本語版監修,:メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2013

内科学 = ASAKURA Internal Medicine/矢崎義雄 総編集,伊藤貞嘉, 伊藤裕, 岩本愛吉, 岡芳知, 金倉謙, 工藤正俊, 島本和明, 菅野健太郎, 須永眞司, 永井良三, 長谷川好規, 永澤英洋, 山本一彦 編集,:朝倉書店, 2013

Pathophysiology of Heart Disease/Leonard S. Lilly: Wolters Kluwer, 2010

Hurst's the Heart, 13th Edition/Valentin Fuster et al: McGraw-Hill, 2011

循環器病学 : 基礎と臨床 : カラー版/川名正敏, 北風政史, 小室一成, 室原豊明, 山崎力, 山下武志 編,:西村書店, 2010

Beyond Heart Sounds 日本語版/John Michael Criley: 南江堂, 2001

Bates' Guide to Physical Examination and History Taking/Lynn Bickley: Lippincott Williams & Wilkins, 2012

Heart sounds 動画と心音による循環器疾患診断へのアプローチ : 日本語版/John Michael Criley, David Gerard Criley, Stuart Ross Criley 著,森経春 訳,:南江堂, 2006

時間割番号	011059				
科目名	呼吸器				
担当教員					
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	2
Respirology					
主な講義場所					
3号館 医学科講義室 2					
授業の目的、概要等					
<p>総論的な知識として構造、機能、症候、画像、気管支鏡、外科総論を学習し、各論として主要な成人呼吸器疾患および小児呼吸器疾患、肺移植を含む外科治療を学習する。また病理学的理解を深めるために腫瘍と非腫瘍について病理実習を行う。</p>					
授業の到達目標					
<p>①頻度の高い疾患について疫学/病因/病理/病態/症候/予後を説明できる。</p> <p>②頻度の高い疾患/問題の原因評価において、評価法についての知識(適応/合併症/限界)を応用できる。</p> <p>③頻度の高い疾患に対する治療法(薬物療法、非薬物療法の双方を含む)に関する知識を提示できる。</p> <p>上記のうち、①を最低限の到達目標とする。</p>					
<p>文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成 28 年度改訂版)</p> <p>http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm</p>					
D-1-1)⑤⑦					
D-1-2)①③					
D-1-3)①⑥					
D-1-4)-(2)④					
D-2-1)-(1)①					
D-2-1)-(3)③					
D-2-2)①					
D-2-4)-(1)②					
D-3-2)②					
D-5-3)⑩⑪⑫⑭⑯					
D-5-4)-(1)②					
D-6-1)①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩					
D-6-2)①②③					
D-6-3)-(1)①					
D-6-3)-(2)①					
D-6-3)-(2)②③④⑤					

D-6-4)-(1)①②

D-6-4)-(2)①②③④⑤⑦

D-6-4)-(3)①②③④⑤⑥⑦

D-6-4)-(4)①②③④

D-6-4)-(5)①②③④

D-6-4)-(6)①②③

D-6-4)-(7)①②④⑤

D-6-4)-(8)①②③④

D-6-4)-(9)①②③④

D-7-2)②⑤

D-8-1)⑦

D-8-3)-(1)①②③

D-8-3)-(2)①②

D-8-3)-(3)①②

D-14-3)-(2②

E-2-1)②

E-2-2)①③④⑤⑥

E-2-3)②⑩⑫⑬⑭⑮

E-2-4)-(1)①⑧

E-2-4)-(2)③⑤⑧⑨⑩

E-2-4)-(3)①②

E-2-4)-(5)①②③

E-3-1)①②③

E-3-2)①②③

E-3-3)①②③④⑤⑥⑦

E-3-4)①②③

E-3-5)⑥

E-4-1)①

E-4-2)①②⑥⑦⑧⑨

E-4-3)-(1)①

E-4-3)-(4)①②

E-5-2)⑧

E-8-1)⑤

F-1-1)①②

F-1-11)①②③

F-1-13)①②③

F-1-14)①②③

F-1-15)①②③

F-1-16)①②③

F-1-18)①②③

F-2-1)①②③④⑦⑧

F-2-2)⑥⑦

F-2-3)⑬⑭

F-2-5)②

F-2-6)②③

F-2-8)⑥⑦⑧⑫

F-3-5)-(4)①

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	7/8	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	呼吸器系の構造		秋田 恵一	
2	7/8	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	胸部画像検査	講義・演習	角 勇樹	
3	7/8	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	外科(総論・肺癌)		大久保 憲 一	
4	7/8	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	小児科領域の呼吸器 疾患		土井 庄三 郎	
5	7/9	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	気管支鏡検査	講義・演習	岡本 師	
6	7/9	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	呼吸機能検査・動脈 血ガス分析	講義・演習	岡本 師	
7	7/9	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	COPD・DPB・LAM	講義・演習	石塚聖洋	
8	7/9	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	市中肺炎	講義・演習	白井 剛	
9	7/10	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	肺癌	講義・演習	本多 隆行	
10	7/10	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	呼吸障害	講義・演習	玉岡 明洋	

11-12	7/10	12:50-15:40	4階学生実習室	病理実習(腫瘍)	実習	明石 巧	
13	7/11	12:50-14:10	医学科講義室2	肺循環障害	講義・演習	立石 知也	
14	7/11	14:20-15:40	医学科講義室2	外科(縦隔腫瘍・胸膜疾患)		石橋 洋則	
15	7/12	09:00-10:20	医学科講義室2	外科(肺疾患・周術期)		小林 正嗣	
16	7/12	10:30-11:50	医学科講義室2	自習			出席は確認しない。
17-18	7/12	12:50-15:40	医学科講義室2	TBL1(前半の評価)	TBL形式	宮崎 泰成	
19	7/16	09:00-10:20	医学科講義室2	特発性間質性肺炎・膠原病肺	講義・演習	宮崎 泰成	
20	7/16	10:30-11:50	医学科講義室2	抗酸菌症	講義・演習	石塚聖洋	
21	7/16	12:50-14:10	医学科講義室2	サルコイドーシス・過敏性肺炎	講義・演習	白井 剛	
22	7/16	14:20-15:40	医学科講義室2	日和見感染	講義・演習	三ツ村 隆弘	
23	7/17	09:00-10:20	医学科講義室2	気管支拡張症・無気肺・肺胞蛋白症	講義・演習	玉岡 明洋	
24	7/17	10:30-11:50	医学科講義室2	ミニケース(咳・胸痛)	討論	本多 隆行	
25-26	7/17	12:50-15:40	4階学生実習室	病理実習(非腫瘍)	実習	明石 巧	
27	7/18	12:50-	医学科	二次性間質性肺炎・	講義・演習	立石 知也	

		14:10	講義室 2	好酸性肺炎			
28	7/18	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	肺移植		板東 徹	
29	7/19	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	気管支喘息	講義・演習	小松崎 恵 子	
30	7/19	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	自習			出席は確認しない。
31- 32	7/19	12:50- 15:40	医学科 講義室 2	TBL2(後半の評価)	TBL 形式	宮崎 泰成	

授業方法

講義、ミニケース、病理実習、TBL(評価を兼ねる)

授業内容

(別表を参照)

成績評価の方法

出席を前提に、2回のTBL結果を合計して成績評価を行う。

成績評価の基準

東京医科歯科大学試験規則に則り、100点満点で採点し60点以上を合格とする。成績評価はGPA制度による評価基準に準拠して行う。

準備学習などについての具体的な指示

第1学年で履修した医学導入、第2学年で履修した人体解剖学、生理学、組織学、薬理学、感染・基礎について、呼吸器を理解するという観点で見直し、関連すると思われる内容を復習すること。

試験の受験資格

試験は毎週最後(金曜午後)のTBLで行う。東京医科歯科大学試験規則に則り、各週においてTBLに先立つ講義の2/3以上および実習の3/4以上を履修した者が受験資格を有する。試験終了後に受験資格がないことが判明した場合、さかのぼって試験は無効(不合格)となる。

教科書

シンプル呼吸器学／興沼博次 編集、:南江堂, 2015

内科学：カラー版／門脇孝, 永井良三 総編集、:西村書店, 2012

全部見える呼吸器疾患／玉置淳 監修、:成美堂出版, 2013

図解呼吸器内科学テキスト／長瀬隆英, 永田泰自 編著、:中外医学社, 2006

呼吸器病学／金澤實, 永田真, 前野敏孝 編集、:丸善出版, 2012

参考書

1. 日本肺癌学会編 EBMの手法による肺癌診療ガイドライン 2016年版 金原出版 2016年

2. 日本呼吸器学会編 COPD診断と治療のためのガイドライン第4版 メディカルレビュー社 2013年

3. 日本アレルギー学会編 喘息予防・管理ガイドライン 2015 協和企画 2015年

4. 別冊医学のあゆみ 呼吸器疾患-state of the art Ver.6 医歯薬出版 2013年

他科目との関連

皮膚・アレルギー・膠原病ブロックにおいて、アレルギー疾患としての気管支喘息を学習する。

履修上の注意事項

私語を慎み、講義の妨げとなる行為は行わないこと。試験に関する質問等がある場合は授業中に質問すること。試験に関して個別の質問には答えられない。

時間割番号	011060				
科目名	消化器				
担当教員	渡邊 守, 絹笠 祐介, 田邊 稔, 植竹 宏之				
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	3
主な講義場所					
授業スケジュール参照					
授業の目的、概要等					
<p>消化器疾患を中心とした、医学的問題解決の実際を学ぶことを通じて、Clinical Clerkship に対応しうる総合的な能力を磨き、信頼される医師となるための基礎を形成することを目標とする。</p> <p>PBL は3週間に3セットの PBL が行われる。ここでは、一つのシナリオから、学生自ら問題点を抽出し、それをお互いに議論しあい、科学的・理論的にその問題点を理解することによって、消化器系疾患の病因・病態生理を学習することを目的とする。また、理解した病因・病態生理を、シナリオの患者のケア・治療にいかに応用するかを学ぶこととなる。小グループ討論を中心に進行するため、各人の積極的な参加によって、学習効率はより高くなるものと期待する。PBL の効率を高めるため、及び PBL では扱わない疾患を学習するために、各論の講義や討論型学習を組み合わせ、内容を補完しあうようにした。また、実際の患者のシナリオを用いるため、そのなかで、倫理的側面や社会医学的な問題点についても学ぶ機会が与えられる。</p> <p>各週の最後に成績評価と学習内容の整理のために TBL(試験)を行う。</p> <p>扱う疾患としては消化器系疾患の全てを網羅する。その上で、関連した病理学、解剖学、生理学、生化学、薬理学、微生物学、画像診断学などにも含まれている。尚、疾患の診断・治療の実際については、後年の PCC、Clinical Clerkship でさらに詳しく学習し習得することになる。</p>					
授業の到達目標					
<p>消化器系疾患の病態生理を理解する。</p> <p>病態生理に基づいて、疾患の症候、経過、治療法について理解する。</p> <p>各疾患について、討論主体のアクティブラーニング及び各授業で強調された部分を中心として、病態生理の基礎知識、及び各種の全国共通試験でも問われるような、疾病の基礎的知識について理解し、説明できることを到達目標とする。</p> <p>D-7-1)①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮</p> <p>D-7-2)①②③④⑤</p> <p>D-7-3)-(1)①</p> <p>D-7-3)-(2)①②③④⑤⑥⑦</p> <p>D-7-4)-(1)①②③</p> <p>D-7-4)-(2)①②③④⑤</p> <p>D-7-4)-(3)②③⑤⑥⑦⑧⑫⑬⑯⑰</p> <p>D-7-4)-(4)①②③④</p> <p>D-7-4)-(5)①②③④⑤⑥⑦</p>					

D-7-4)-(6)①②③

D-7-4)-(8)①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪

D-12-1⑥

E-1-1)②③

E-2-2)②

E-2-3)⑦⑩

E-3-1)①②③

E-3-2)①②③

E-3-3)①②③④

E-3-4)③

E-3-5)⑦

E-5-2)⑤⑩⑫⑬

F-1-20)①②③

F-1-21)①②③

F-1-22)①②③

F-1-23)①②③

F-1-24)①

F-1-25)①

F-2-2)③④⑥

F-2-8)⑥⑫

F-2-9)-(1)①②③④⑤⑥

F-2-9)-(2)①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩

F-3-6)-(3)①②③

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員
1-2	6/17	09:00- 10:50	医学科 講義室 2	PBL(肝胆膵)1	伴 大輔
3	6/17	11:00- 11:50	医学科 講義室 2	講義(解剖学)	秋田 恵一
4-5	6/17	12:50- 14:40	医学科 講義室 2	講義(胆膵良性疾患)	中川 美奈
6	6/18	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	講義(ウイルス性肝炎)	朝比奈 靖 浩
7	6/18	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	講義(肝悪性腫瘍と低侵襲治 療)	田邊 稔

8	6/18	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	講義(肝硬変)	北畑 富貴 子, 柿沼 晴
9	6/18	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	講義(肝胆膵悪性腫瘍の研究)	田中 真二
10- 11	6/19	09:00- 11:50	医学科 講義室 2	PBL(肝胆膵)2	東 正新, 井 津井 康浩
12- 13	6/19	12:50- 15:40	4 階学 生実習 室	病理実習(肝胆膵)	大西 威一 郎
14- 15	6/20	12:50- 14:40	医学科 講義室 2	ミニケース(肝炎)	柿沼 晴, 新 田 沙由梨
16	6/20	14:50- 15:40	医学科 講義室 2	講義(薬物性肝障害)	村川 美也 子
17	6/21	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	集中討論(肝臓の生理学)	工藤 篤
18- 19	6/21	12:50- 15:40	医学科 講義室 2	TBL(肝胆膵)成績評価	中川 美奈, 新田 沙由 梨, 小野 宏 晃
20- 21	6/24	09:00- 10:50	医学科 講義室 2	PBL(下部消化管)1	竹中 健人
22	6/24	11:00- 11:50	医学科 講義室 2	講義(解剖学)	那須 久代
23	6/24	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	講義(下部消化管腫瘍)1	山内 慎一
24	6/24	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	講義(下部消化管腫瘍)2	岡崎 聡
25	6/25	09:00- 09:50	医学科 講義室 2	講義(大腸癌の発生機序)	植竹 宏之

26	6/25	10:00- 10:50	医学科 講義室 2	講義(遺伝性大腸癌)	石川 敏昭
27	6/25	11:00- 11:50	医学科 講義室 2	講義(炎症性腸疾患の病態)	土屋 輝一 郎
28	6/25	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	講義(下部消化管の生理学)	岡本 隆一
29	6/25	14:20- 15:10	医学科 講義室 2	講義(小腸疾患)	大塚 和朗
30- 31	6/26	09:00- 11:50	医学科 講義室 2	PBL(下部消化管)2	菊池 章史
32- 33	6/26	12:50- 15:40	4 階学 生実習 室	病理実習(下部消化管)	伊藤 崇
34	6/27	12:50- 13:40	医学科 講義室 2	講義(多彩な腸疾患)	大島 茂
35	6/27	13:50- 14:40	医学科 講義室 2	講義(炎症性腸疾患の臨床)	藤井 俊光
36	6/27	14:50- 15:40	医学科 講義室 2	講義(下部消化管の機能障害)	長堀 正和
37- 38	6/28	09:00- 11:50	医学科 講義室 2	ミニケース(下部消化管疾患)	根本 泰宏
39- 40	6/28	12:50- 15:40	医学科 講義室 2	TBL(下部消化管)成績評価	岡田 英理 子, 馬場 裕 信
41- 42	7/1	09:00- 10:50	医学科 講義室 2	PBL(上部消化管)1	東海林 裕
43	7/1	11:00- 11:50	医学科 講義室 2	講義(解剖学)	秋田 恵一
44	7/1	12:50-	医学科	講義(胃癌の分子生物学)	田中 真二

		14:10	講義室 2		
45	7/1	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	講義(上部消化管疾患の検査 法と食道癌の内視鏡治療)	川田 研郎
46	7/2	09:00- 09:50	共用講 義室 2	講義(上部消化管の救急)	森下 幸治
47	7/2	10:00- 10:50	共用講 義室 2	講義(食道・胃術後の栄養療 法)	鳥越 純子
48	7/2	11:00- 11:50	共用講 義室 2	講義(上部消化管疾患と薬理)	田邊 勉
49	7/2	12:50- 14:10	共用講 義室 2	講義(胃良性疾患)	岡田 英理 子
50	7/2	14:20- 15:40	共用講 義室 2	講義(胃癌の病態生理)	中川 正敏
51- 52	7/3	09:00- 10:50	共用講 義室 2	PBL(上部消化管)2	岡田 卓也
53	7/3	11:00- 11:50	共用講 義室 2	講義(胃癌の内視鏡治療)	福田 将義
54- 55	7/3	12:50- 15:40	4 階学 生実習 室	病理実習(上部消化管)	伊藤 崇
56	7/4	12:50- 13:40	医学科 講義室 2	講義(食道癌のクリニカルシー クエンスとビックデータ駆動型 医療)	稲澤 譲治
57	7/4	13:50- 14:40	医学科 講義室 2	講義(食道疾患の病態生理)	岡田 卓也
58	7/4	14:50- 15:40	医学科 講義室 2	講義(胃癌の集学的治療)	佐藤 雄哉
59- 60	7/5	09:00- 10:50	医学科 講義室 2	PBL 総括 ミニケース(上部消 化管疾患)	星野 明弘
61	7/5	11:00- 11:50	医学科 講義室 2	講義(食道癌の治療)	中島 康晃
62- 63	7/5	12:50- 15:40	医学科 講義室	TBL(上部消化管)成績評価	中島 康晃, 齊藤 詠子

授業方法

各週ごとに、これらにより構成される

1. PBL (Problem Based Learning)
2. TBL (Team Based Learning)
3. Pathology Laboratory
4. Lecture
5. その他の discussion 型学習(ミニケースなど)

授業内容

授業スケジュール参照。

PBL(Problem Based Learning)、TBL(Team Based Learning)、ミニケース、病理実習では討論主体のアクティブラーニングが実施される。また、各講義の各人の積極的な参加によって、学習効率はより高くなるものと期待する。

成績評価の方法

TBL(試験)を除いて各週で3分の2以上の出席がない者は試験の受験資格を欠く。

試験は TBL 試験でその成果・理解度を問う。

出席の有無を確認し、これを総合評価の際に参考とする。

文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成 28 年度改訂版)

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm

D-7-1)①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑭⑮

D-7-2)①②③④⑤

D-7-3)-(1)①

D-7-3)-(2)①②③④⑤⑥⑦

D-7-4)-(1)①②③

D-7-4)-(2)①②③④⑤

D-7-4)-(3)②③⑤⑥⑦⑧⑫⑬⑯⑰

D-7-4)-(4)①②③④

D-7-4)-(5)①②③④⑤⑥⑦

D-7-4)-(6)①②③

D-7-4)-(8)①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪

D-12-1⑥

E-1-1)②③

E-2-2)②

E-2-3)⑦⑩

E-3-1)①②③

E-3-2)①②③

E-3-3)①②③④

E-3-4)③

E-3-5)⑦

E-5-2)⑤⑩⑫⑬

F-1-20①②③

F-1-21①②③

F-1-22①②③

F-1-23①②③

F-1-24①

F-1-25①

F-2-2)③④⑥

F-2-8)⑥⑫

F-2-9)-(1)①②③④⑤⑥

F-2-9)-(2)①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩

F-3-6)-(3)①②③

成績評価の基準

TBL 試験の成績、及び出席の有無等により総合的に評価する。

単位判定は3週間全体で行う。

準備学習などについての具体的な指示

消化器領域の解剖学・生理学について復習しておくこと。

PBL と TBL が本ブロックの中心となるので、学生各々が積極的に参加し、討論で決まった課題について自己学習をすること。各々の自己学習の程度によってグループ全体の達成度が左右されるので、各グループで積極的・効率的な学習が達成できるよう期待します。

教科書・参考書は内科学・外科学の一般的なものを下記に示しますが、授業で直接用いるのではなく、これらは自己学習のために利用して下さい。

試験の受験資格

1週目：肝胆膵

2週目：下部消化管

3週目：上部消化管

として実施する。

各週間ごとに、TBL(試験)を除いて3分の2以上の出席がないものは試験の受験資格を欠く

構成ユニット

教科書

Harrison's principles of internal medicine 20th ed./J. Larry Jameson: McGraw Hill Education, 2018

内科学 = ASAKURA Internal Medicine/矢崎義雄 総編集,赤司浩一, 小室一成, 渥美達也, 須永真司, 伊藤裕, 南学正臣, 稲垣暢也, 長谷川好規, 神田隆, 松本哲哉, 木下芳一, 楽木宏実, 工藤正俊 編集,矢崎, 義雄, 1938-,赤司, 浩一,小室, 一成, 1957-,渥美, 達也,:朝倉書店, 2017

NEW 外科学 = NEW Surgery/出月康夫, 古瀬彰, 杉町圭蔵 編,出月, 康夫, 1934-,古瀬, 彰, 1936-,杉町, 圭蔵, 1938-,: 南江堂, 2012

臨床外科学/森岡恭彦 編集,川島康生 編集,森昌造 編集,水戸廸郎 編集,森岡恭彦,川島康生,森昌造,水戸廸郎,:朝倉書店, 2006

ハリソン内科学 第5版 Vol.2/デニス L.カスパー ほか 編,福井次矢,黒川清 日本語版監,デニス.L.カスパー,フクイツグヤ,クロワキヨシ,:
メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2017

注:教科書と下記に示す参考書の区別は特にしていない

参考書

Sleisenger and Fordtran's gastrointestinal and liver disease : pathophysiology/diagnosis/management / Mark Feldman,
Lawrence S. Friedman, Lawrence J. Brandt, : Saunders/Elsevier, 2016

標準外科学/畠山勝義 監修,北野正剛, 田邊稔, 池田徳彦 編集,畠山, 勝義, 1947-,北野, 正剛,田邊, 稔,池田, 徳彦,:医学書院, 2016

新臨床外科学/武藤徹一郎, 幕内雅敏 監修,川崎誠治, 佐野俊二, 名川弘一, 野口眞三郎, 平田公一 編,:医学書院,
2006

Schiff's Diseases of the Liver 12th ed./Eugene R. Schiff:Wiley, 2017

SCHWARTZ'S PRINCIPLES OF SURGERY 11TH edition / F. Charles Brunicaardi : McGraw-Hill Education, 2019

Sabiston Textbook of Surgery: The Biological Basis of Modern Surgical Practice, 20th ed. / Courtney M. Townsend Jr :
Saunders, 2016

TNM 悪性腫瘍分類カラーアトラス / Philip Rubin, John T.Hansen [著],杉原健一, 秋田恵一 監訳,Rubin, Philip,
1927-,Hansen, John T,杉原, 健一, 1938-,秋田, 恵一, 1962-,:丸善出版, 2014

食道アカシア取扱い規約 日本食道学会 編 ISBN 978-4307203005

胃食道逆流症(GERD)診療ガイドライン 2015(改訂第2版) 日本消化器病学会 編 ISBN 978-4524267781

食道癌診断・治療ガイドライン 日本食道学会編 金原出版 ISBN 978-4307202954

臨床・病理食道癌取扱い規約 日本食道学会編 金原出版 ISBN 978-4307203494

H.pylori 感染の診断と治療のガイドライン 2016 改訂版 先端医学社 ISBN 978-4865501964

胃癌取扱い規約(第15版)日本胃癌学会編 ISBN 978-4307203753

胃癌治療ガイドライン 医師用 (2018年1月改訂 第5版)日本胃癌学会編 ISBN 978-4307203814

炎症性腸疾患(IBD)診療ガイドライン 2016 日本消化器病学会編 ISBN 978-4524267828

大腸癌治療ガイドライン:医師用 2016年版 大腸癌研究会 編 ISBN 978-4307203616

遺伝性大腸癌診療ガイドライン 2016年版 大腸癌研究会 編 ISBN 978-4307203623

肝硬変診療ガイドライン 2015 日本消化器病学会編 ISBN 978-4524267811

科学的根拠に基づく肝癌診療ガイドライン 日本肝臓学会 編 ISBN 978-4307203180

エビデンスに基づいた胆道癌診療ガイドライン【改訂第2版】日本肝胆膵外科学会胆道癌診療ガイドライン作成委員会 編
ISBN 978-4865170832

科学的根拠に基づく膵癌診療ガイドライン 日本膵臓学会膵癌診療ガイドライン改訂委員会 編 ISBN 978-4307203197

大腸癌取扱い規約【第9版】. 大腸癌研究会(編) 金原出版、2018年

原発性肝癌取扱い規約【第6版】. 日本肝癌研究会(編) 金原出版、2015年

膵癌取扱い規約【第7版】. 日本膵臓学会(編) 金原出版、2016年

胆道癌取扱い規約【第6版】. 日本肝胆膵外科学会(編) 金原出版、2013年

その他、関連した解剖学、生理学、生化学、病理学、薬理学で用いられている教科書

他科目との関連

解剖学、生理学、生化学、病理学、薬理学、画像診断学

履修上の注意事項

PBL、TBL、病理実習等の Discussion が本ブロックの中心となるので、学生各々が積極的に参加し、討論で決まった課題の自己学習をすること。各々の自己学習の程度によってグループ全体の達成度が左右されるので、各グループで積極的・効率的な学習が達成できるよう期待します。

参照ホームページ

難治性疾患等政策研究事業 難治性炎症性腸管障害に関する調査研究班

<http://www.ibdjapan.org>

時間割番号	011064				
科目名	内分泌・代謝				
担当教員	辻本 和峰				
開講時期	通年	対象年次	3	単位数	2

授業の目的、概要等

「内分泌器官」と「ホルモン」に関する総論を踏まえて、生体の恒常性維持機構とその破綻により発症する内分泌疾患および代謝疾患に関する各論を学習します。「内分泌器官」の形態学(解剖学、病理学)や画像診断学(放射線科)あるいは「ホルモン」の生化学、生理学、薬理学、分子生物学の基礎を理解し、各臓器別疾患としては視床下部・下垂体、甲状腺、副甲状腺、副腎、性腺などに関連する内分泌疾患と糖尿病を中心とする代謝疾患(生活習慣病)を統合的に理解します。学内外の第一人者による講義により、未来志向型の内分泌・代謝学に関する最先端の知識を習得します。

授業の到達目標

文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成 28 年度改訂版)

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm

D-2-1)-(1)①②③④

D-2-1)-(2)①②③

D-2-1)-(3)①②③

D-2-1)-(4)①②③

D-2-1)-(5)①②③

D-2-1)-(6)①②

D-2-1)-(7)①

D-2-2)①②

D-2-3)①②③④⑤

D-2-3)-(1)①②③

D-2-3)-(2)①

D-2-3)-(3)①

D-2-4)-(1)①②

D-2-4)-(2)①②③④⑤

D-2-4)-(3)①②

D-2-4)-(5)②④

D-2-4)-(6)①②③

D-2-4)-(8)①

D-4-1)④

D-4-2)①

D-4-3)①

D-5-3)⑥

D-15-1①②③④⑤

D-15-2①②③

D-15-3①③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫

E-1-1)②③

E-2-3)③④⑫

E-2-4)-(1)⑩

E-4-3)-(4)②

E-5-2)③⑨

E-5-3)-(1)⑤

E-7-4)②

E-8-1)⑤

F-1-2)①②③

F-1-3)①②③

F-1-4)①②③

F-1-7)①②③

F-1-8)①②③

F-1-31)①②③

F-1-33)①②③

F-1-34)①②③

F-2-3)⑮

F-2-4)③

F-2-5)①②

F-2-9)-(1)①②③④⑤⑥

F-2-9)-(2)①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩

F-3-2)①②③④⑤

F-3-3)①②③④

F-3-4)①②

F-3-5)-(1)①②③④⑤⑥

F-3-5)-(2)①②③④⑤⑥⑦

F-3-5)-(3)①

F-3-5)-(6)①②③④⑤⑥

F-3-5)-(7)③

F-3-5)-(8)①②③④

F-3-6)-(1)③

F-3-6)-(2)⑤

F-3-6)-(3)①②③

F-3-6)-(4)①②

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
---	----	----	-----	------	------	------

1	11/1 1	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	自習		
2	11/1 1	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	内分泌学総論		池田 賢司
3	11/1 1	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	視床下部・下垂体疾患1（土井内科 胃腸科・糖尿病・内分泌内科）		土井 賢
4	11/1 1	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	視床下部・下垂体疾患2（土井内科 胃腸科・糖尿病・内分泌内科）		土井 賢
5	11/1 2	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	甲状腺疾患1		橋本 貢士
6	11/1 2	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	甲状腺疾患2		橋本 貢士
7	11/1 2	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	糖尿病・代謝疾患総論：病態と増加の背景		山田 哲也
8	11/1 2	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	糖尿病の成因・診断・病態解析・検査		山田 哲也
9	11/1 3	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	自習		
10	11/1 3	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	自習		
11	11/1 3	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	糖尿病の慢性合併症（細小血管障害）		山田 哲也
12	11/1 3	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	糖尿病の治療法		山田 哲也
13	11/1 4	12:50- 14:10	医学科 講義室	骨カルシウム代謝		辻本 和峰

			2			
14	11/1 4	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	糖尿病治療薬総論		山田 哲也
15	11/1 5	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	副腎疾患1		吉本 貴宣
16	11/1 5	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	副腎疾患2		吉本 貴宣
17	11/1 5	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	肥満とやせ		菅波 孝祥
18	11/1 5	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	ホルモン受容体異常 症		杉山 徹
19	11/1 8	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	骨代謝からみた内分 泌代謝学 竹内靖博 (虎の門病院)		竹内 靖博
20	11/1 8	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	多発性内分泌腫瘍と ホルモン産生腫瘍		泉山 肇
21	11/1 8	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	臨床栄養学		南 勲
22	11/1 8	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	脂質代謝異常		小宮 力
23	11/1 9	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	自習		
24	11/1 9	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	自習		
25	11/1 9	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	高血圧		柴 久美子
26	11/1 9	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	自習		

27	11/2 0	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	自習		
28	11/2 0	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	自習		
29	11/2 0	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	TBL		池田 賢司
30	11/2 0	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	特論講義 山田正三 (虎の門病院)		山田 正三
31	11/2 1	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	自習		
32	11/2 1	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	自習		
33	11/2 2	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	糖尿病の治療法:最 先端研究と医師の両 立		山田 哲也
34	11/2 2	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	自習		
35	11/2 2	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	筆記試験		山田 哲也

授業内容

別表(講義予定表)を参照

成績評価の方法

TBL、筆記試験(コアカリキュラムの内容に準じ、医師国家試験に準拠した出題形式)の結果により可否判定します。

準備学習などについての具体的な指示

講義の前に、少なくともひとつの下記参考書の該当する項を読んでおくこと。

教科書

特に指定はないが、下記参考図書のうち少なくとも一つを所持してほしい。

参考書

病気がみえる vol3 糖尿病・代謝・内分泌／橋詰直孝、他/監修:メディックメディア, 2014

講義録内分泌・代謝学／寺本 民生/編集,片山 茂裕/編集,:メジカルビュー社, 2005

新臨床内科学／貫和敏博 [ほか]編,高久史磨, 尾形悦郎, 黒川清, 矢崎義雄 監修,:医学書院, 2009

内科学書 = Standard Textbook of Internal Medicine／小川聡 総編集,:中山書店, 2013

履修上の注意事項

内分泌・代謝学は基礎と臨床の距離が最も近い学問であり、生体情報伝達分子である「ホルモン」に関する生化学、生理学あるいは薬理学を意識して受講してほしい。講義では受け身ではなく、担当講師に積極的に疑問をぶつけて自らで解決してほしい。

参照ホームページ

<http://www.tmd.ac.jp/grad/cme/index.html>

時間割番号	011065				
科目名	血液・腫瘍				
担当教員					
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	2
主な講義場所					
3号館3階 医科講義室2					
授業の目的、概要等					
血液疾患(成人血液疾患・小児血液疾患)に関する知識を得る。					
悪性腫瘍に関わる病理学の知識を得る。					
悪性腫瘍に対する放射線治療学の知識を得る。					
緩和ケアに関する知識を得る。					
悪性腫瘍患者における心身医療の知識を得る。					
授業の到達目標					
全ての専門(血液内科・放射線治療学・小児血液・病理学・緩和ケア心身医療学)において、臨床現場で活動するに十分な知識レベルを得ること。					
文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成28年度改訂版)					
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm					
D-1-1)①②③④⑤⑥⑦⑧					
D-1-2)①②③					
D-1-3)①②③④⑤⑥⑦					
D-1-4)-(1)①②③④⑤					
D-1-4)-(2)①②③④⑤⑥⑦					
D-1-4)-(3)①					
D-1-4)-(4)①②③④⑤⑥⑦⑧⑨					
D-5-3)①②③④⑤					
D-6-1)⑨					
D-12-4)-(9)①②					
E-2-3)①②⑥⑧⑨					
E-2-4)-(1)⑦⑧⑨					
E-3-1)①②③①②③①②③④⑤⑥⑦					
E-3-4)①②③					
E-3-5)①					
E-4-2)②③④⑤⑥					
E-5-2)①②⑥⑦⑧					
E-7-3)⑦					
E-9-1)⑤⑥⑦⑧⑨⑩					
F-1-26)①②③					
F-1-27)①②③					

F-2-3)⑧⑨⑩

F-2-5)③④

F-2-8)①⑥⑦⑫

F-2-13)⑤⑧

F-2-16)①②③④⑤⑥

F-3-5)-(2)⑦

F-3-5)-(3)⑥⑩

F-3-5)-(4)①②

F-3-5)-(5)①②③⑤

F-3-5)-(8)①②③

F-3-6)-(2)②

F-3-6)-(4)①

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/2 8	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	造血		川又 紀彦
2	10/2 8	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	白血球系疾患-1		川又 紀彦
3	10/2 8	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	白血球系疾患-2		川又 紀彦
4	10/2 8	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	造血器疾患の造血幹 細胞移植による治療		垣花 和彦
5	10/2 9	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	骨髄(白血球)系疾患 -小児		高木 正稔
6	10/2 9	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	赤血球系疾患-1		三浦 修
7	10/2 9	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	赤血球系疾患-2		三浦 修
8	10/2 9	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	凝固・止血異常(小 児)		柳町 昌克
9	10/3	09:00-	医学科	赤血球系疾患-小児		金兼 弘和

	0	10:20	講義室 2	血液		
10	10/3 0	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	放射線治療総論		戸田 一真
11	10/3 0	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	リンパ系疾患-1 悪性 リンパ腫		川又 紀彦
12	10/3 0	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	放射線治療各論-1		中川 恵子
13	10/3 1	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	緩和ケア・心身医療 科		三宅 智
14	10/3 1	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	放射線生物学		三浦 雅彦
15	11/1	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	放射線治療各論-2		戸田 一真
16	11/1	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	リンパ系疾患-2 多 発性骨髄腫と 類縁 疾患等		川又 紀彦
17- 18	11/1	12:50- 15:40	医学科 講義室 2	ケーススタディー（血 液内科）	Large classroom PBL	川又 紀彦
19	11/5	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	緩和ケア・心身医療 科		三宅 智
20	11/5	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	評価-1(40分 11:10 終了)	試験(放射線治療、緩和ケア・ 心身医療科)	
21	11/5	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	病理講義		北川 昌伸
22	11/5	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	自習		
23	11/6	09:00- 10:20	医学科 講義室	凝固異常(成人)		川又 紀彦

			2			
24	11/6	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	血液細胞の見方と血液疾患の特殊検査		東田 修二
25- 26	11/6	12:50- 15:40	医学科 講義室 2	ケーススタディー (小児科)	Large classroom PBL	今井 耕輔
27- 28	11/7	12:50- 15:40	4 階学 生実習 室	病理実習	病理実習	倉田 盛人
29- 30	11/8	09:00- 11:50	医学科 講義室 2	自習		
31	11/8	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	評価-2(80分)	試験(血液内科、小児血液、病理)	

授業方法

講義 および Large Class Problem Based Learning

授業内容

血液内科:成人の良性血液疾患(再生不良性貧血、溶血性貧血、鉄欠乏性貧血、特発性血小板減少性紫斑病)
成人の悪性血液疾患(慢性白血病、急性白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、骨髄異形成症候群)
成人の止血・血栓に関わる疾患(先天性凝固異常、DIC)

成績評価の方法

血液内科:マルチ・チョイス問題
放射線治療学:マルチ・チョイス問題
小児血液:記述式問題
病理学:記述式問題
緩和ケア・心身医療学:記述式問題

成績評価の基準

全ての専門(血液内科・放射線治療学・小児血液・病理学・緩和ケア心身医療学)の合計得点率により下記の通り判定する。

得点率 評価 GP 評価基準

99%以上 A+ 4 当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した

90%以上 A 3.5 当該科目の到達目標を全て達成した

80%以上 B 3.0 当該科目の到達目標を概ね達成した

70%以上 C 2.0 当該科目の達成目標のうち最低限を達成した

60%以上 D 1.0 当該科目の到達目標を達成していない

60%未満 F 0 到達目標の達成度を評価できない

準備学習などについての具体的な指示

各専門の教科書を読み予習する。授業に出席し、講義を聞き、知識を深める。教科書に立ち返り学んだことを復習し、知識を更に深める。

試験の受験資格

全授業の3分の2以上に出席した者

履修上の注意事項

授業中に、急な頭痛・激しい吐き気・めまい・強い睡魔などに襲われた場合は、速やかに教室を出て、的確な治療・休養・睡眠などを取り、改善し、体調が十分に回復したと判断した場合は、再び授業に参加すること。授業中に、上記のような医療上の問題があると授業担当者が推察した場合は、教室外での治療・休養・睡眠など適切な処置を取ることを助言する場合もあるので、各学生は、その助言に速やかに従うこと。

参照ホームページ

配布される Study Materials などを参考とすること。

時間割番号	011066				
科目名	一般外科				
担当教員					
開講時期	後期	対象年次	3	単位数	1

授業の目的、概要等

外科的諸疾患についての考え方と、診断と外科的治療の基本原則の理解をはかる。

- 病因・病態論、診断法、手術適応、手術術式、周術期管理を主として学ぶ。
- 外科学の歴史のほか、医の倫理、インフォームド・コンセント、生活の質(Quality of life: QOL)についても、外科の立場でふれる。

授業の到達目標

外科系の臨床実習(clinical clerkship)に必要な知識を習得する。

- 腹部所見の記載法など、外科診断学の基本的事項を説明できる
- 周術期の生体反応(侵襲、代謝・栄養、創傷治癒など)について説明できる
- 主な消化器・一般外科の疾患の外科的治療について説明できる
- 主な消化器・一般外科の疾患の周術期管理について説明できる
- 外科におけるインフォームド・コンセントの意義について説明できる

文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成 28 年度改訂版)

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm

D-1-1)⑧

D-5-3)③④⑫⑮⑯⑱

D-5-4)-(7)③④

D-5-4)-(8)③

D-6-4)-(9)②

D-7-1)①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩

D-7-2)②③④⑤

D-7-3)-(2)①②③④⑤⑥⑦

D-7-4)-(1)②

D-7-4)-(2)②⑥⑧

D-7-4)-(3)①②③④⑤⑥⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑯

D-7-4)-(4)①②③④

D-7-4)-(7)①②③

D-7-4)-(8)①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪

D-8-1)①

D-8-3)-(3)①
 D-8-3)-(3)②
 D-9-1)⑨
 D-9-4)-(1)③
 D-11-1①②③
 D-11-2①②
 D-11-3 乳
 D-11-4)-(1①②
 D-11-4)-(2①
 D-12-4)-(8①
 E-1-1)⑤⑥⑦⑧
 E-2-1)③
 E-2-3)①②⑦
 E-2-3)⑨⑩⑪⑰⑱⑲⑳
 E-3-1)①②③
 E-3-2)①②③
 E-3-3)①②③④⑤⑥⑦
 E-3-4)①③
 E-3-5)②⑥⑦⑩⑭
 E-5-2)⑩
 E-7-1)②⑦
 F-1-3)①②③
 F-1-18①②③
 F-1-20①②③
 F-1-21①②③
 F-1-22①②③
 F-1-23①②③
 F-1-27①②③
 F-2-2)③④⑤
 F-2-3)⑥
 F-2-7)②③⑤
 F-2-8)⑥⑧⑨⑫⑬
 F-2-9)-(1)①②③④⑤⑥
 F-2-9)-(2)①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩
 F-2-11①②③④⑤
 F-3-5)-(2)①
 F-3-6)-(3)①②③

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員
---	----	----	-----	------	------

1	10/1 5	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	固形がんに対する化学療法	植竹 宏之
2	10/1 6	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	肝・脾の外科(移植)	田邊 稔
3	10/1 6	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	乳腺の外科	中川 剛士
4	10/1 6	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	食道・横隔膜の外科	中島 康晃
5	10/1 8	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	小腸・大腸の外科(2) 大腸癌 の外科治療	網笠 祐介
6	10/2 1	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	小腸・大腸の外科(1) 炎症性 腸疾患の外科治療	松山 貴俊
7	10/2 1	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	ヘルニア	東海林 裕
8	10/2 1	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	血管の外科(止血・凝固、創傷 治癒)	猪狩 公宏
9	10/2 1	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	インフォームドコンセント	三宅 智
10	10/2 1	15:50- 17:10	医学科 講義室 2	外科診断学・症候学	田邊 稔
11	10/2 3	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	小児の外科	岡本 健太 郎
12	10/2 3	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	膵・胆道の外科	伴 大輔
13	10/2 3	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	胃・十二指腸の外科(手術合併 症・術後障害)	徳永 正則
14	10/2	12:50-	医学科	急性腹症	岡崎 聡

	4	14:10	講義室 2		
15	10/2 4	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	侵襲・代謝・栄養	岡田 卓也
16	10/2 5	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	評価(筆記試験)	

授業方法

- 各テーマごとに講義 and/or ミニケース方式にて行う。
- 各テーマの冒頭に基礎医学の復習を行う。

授業内容

(別表参照)

成績評価の方法

最終日に全受講範囲を対象とした試験を行う。

成績評価の基準

試験の成績に出席状況を加味して総合評価とする。

準備学習などについての具体的な指示

基礎医学の復習は各テーマ毎にその冒頭で行われるが、基礎医学カリキュラム及び消化器・循環器ブロックで履修した基礎医学部分を通読してから本ブロックを受講すること。

また、受講後には同日中に教科書・参考書の関連領域を通読し、復習・理解しておくことが望ましい。

教科書

標準外科学 第15版／北野正剛 監修 坂井義治、田邊稔、池田徳彦 編集：医学書院，2019

新臨床外科学 第4版／武藤徹一郎、幕内雅敏 監修、川崎誠治、佐野俊二、名川弘一、野口眞三郎、平田公一 編：医学書院，2006

NEW 外科学 = NEW Surgery 第3版／出月康夫、古瀬彰、杉町圭蔵 編：南江堂，2012

臨床外科学1・2・3／森岡 恭彦／編集、川島 康生／編集、森 昌造／編集、水戸 迪郎／編集：朝倉書店，2006

TNM 悪性腫瘍分類カラーアトラス／Philip Rubin, John T.Hansen [著]、杉原健一、秋田恵一 監訳：丸善出版，2014

- 標準小児外科学【第6版】伊藤泰雄(監修)、医学書院、2012
- スタンダード小児外科手術 田口智章、岩中督(監修)、メジカルビュー社、2013
- ブラッシュアップ急性腹症 窪田忠夫(著)、中外医学社、2014
- Sabiston Textbook of Surgery: The Biological Basis of Modern Surgical Practice 20th ed. Saunders, USA 2016
- Schwartz's Principles of Surgery 9th ed. McGraw-Hill Professional, USA 2009
- Clinical Oncology : A Multi- Disciplinary Approach for Physicians & Students 10th ed. Saunders, USA 2014

参考書

食道癌診療ガイドライン 2017年版 第4版／日本食道学会 編：金原出版，2017

胃癌治療ガイドライン：医師用 2018年1月改訂【第5版】／日本胃癌学会 編：金原出版，2018

大腸癌治療ガイドライン 医師用 2019年版／大腸癌研究会 編：金原出版，2019

遺伝性大腸癌診療ガイドライン 2016年版／大腸癌研究会 編：金原出版，2016

科学的根拠に基づく乳癌診療ガイドライン ①治療編 ②疫学・診断編／日本乳癌学会 編：金原出版，2015

肝癌診療ガイドライン 2017年版 第4版／日本肝臓学会編:金原出版, 2017

エビデンスに基づいた胆道癌診療ガイドライン【改訂第2版】／日本肝胆膵外科学会胆道癌診療ガイドライン作成委員会編.:医学図書出版, 2014

科学的根拠に基づく膵癌診療ガイドライン 2016年版／日本膵臓学会膵癌診療ガイドライン改訂委員会 編.:金原出版, 2016

IPMN 国際診療ガイドライン 2017年版 日本語版／国際膵臓学会ワーキンググループ [代表:田中雅夫]:医学書院, 2018
TNM 悪性腫瘍の分類 第8版 日本語版／L.H.Sobin, M.K.Gospodarowicz, Ch.Wittekind 編,UICC 日本委員会 TNM 委員会 訳,Sobin, L. H.Gospodarowicz, Mary K,Wittekind, Christian,国際対がん連合日本委員会.:金原出版, 2017

- 食道癌取扱い規約【第11版】. 日本食道学会(編) 金原出版、2015年
- 胃癌取扱い規約【第15版】. 日本胃癌学会(編) 金原出版、2017年
- 大腸癌取扱い規約【第8版】. 大腸癌研究会(編) 金原出版、2013年
- 乳癌取扱い規約【第17版】. 日本乳癌学会(編) 金原出版、2012年
- 原発性肝癌取扱い規約【第6版】. 日本肝癌研究会(編) 金原出版、2015年
- 膵癌取扱い規約【第7版】. 日本膵臓学会(編) 金原出版、2016年
- 胆道癌取扱い規約【第6版】. 日本肝胆膵外科学会(編) 金原出版、2013年

履修上の注意事項

各授業では出席をとる。各授業の講義担当者は以下の通り。 ・田邊 稔 胆膵外科学分野 教授(肝胆膵外科) tana.msrg@tmd.ac.jp ・植竹 宏之 総合外科学分野 教授(消化器化学療法外科)h-uetake.srg2@tmd.ac.jp ・絹笠 祐介 消化管外科学分野 教授(大腸・肛門外科)kinugasa.srg1@tmd.ac.jp ・三宅 智 臨床腫瘍学分野 教授(腫瘍センター)sm.conc@tmd.ac.jp ・中島 康晃 消化管外科学分野(食道外科)yasu.nakajima.srg1@tmd.ac.jp ・徳永 正則 消化管外科学分野(胃外科) ・中川 剛士 総合外科学分野(乳線外科)nakagawa.srg2@tmd.ac.jp ・伴 大輔 肝胆膵外科学分野(肝胆膵外科)d-ban.msrg@tmd.ac.jp ・東海林 裕 消化管外科学分野(食道外科) tokairin.srg1@tmd.ac.jp ・松山 貴俊 消化管外科学分野(大腸・肛門外科) matsuyama.srg1@tmd.ac.jp ・岡本健太郎 総合外科学分野(小児外科) okasrg2@tmd.ac.jp ・岡崎 聡 応用腫瘍学講座(消化器化学療法外科) okazaki.srg2@tmd.ac.jp ・猪狩 公宏 総合外科学分野(末梢血管外科) ・岡田 卓也 消化管外科学分野(食道外科)t-okada.srg1@tmd.ac.jp

参照ホームページ

- Minds(マインズ)医療情報サービス <http://minds.jcqh.or.jp/n/top.php>
- がん情報サービス <http://ganjoho.jp/public/index.html>
- REICIST ガイドライン改訂版 ver.1.1 <http://www.jcog.jp/doctor/tool/recistv11.html>
- Common Terminology Criteria for Adverse Events (CTCAE) ver. 4.0 <http://www.jcog>
- 世界医師会の主な宣言等 http://www.med.or.jp/jma/jma_infoactivity/jma_activity/000503.html
- 膵・消化管神経内分泌腫瘍(NET)診療ガイドライン <http://jnets.umin.jp/pdf/guideline001s.pdf>

時間割番号	011067				
科目名	神経科学・臨床				
担当教員					
開講時期	後期	対象年次	3	単位数	4

授業の目的、概要等

授業は、神経解剖学、神経化学、神経生理学などの基礎的知識の復習に引き続き、教員による講義を行う。その他にもTBL や学生が数名でグループを作り実際の症例を担当し自ら授業を行う臨床講義の形式もある。いずれにしても、学生自身の自主的・積極的な参加が前提となっている。本授業は単独で存在しているわけではなく、すでに学習した基礎神経科学からこれから学ぶクリニカル・クラークシップにいたる一連の授業の一つであり、修了時には主な神経疾患に対する基本的臨床能力を修得できていることを目指している。

授業の到達目標

神経系と神経疾患の特徴について説明できる

診断と検査の基本(神経症状の診察方法を説明できる)

文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成 28 年度改訂版)

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm

D-2-1)-(1)①②③④

D-2-1)-(2)①②③

D-2-1)-(3)①②③

D-2-1)-(4)①②③

D-2-1)-(5)①②③

D-2-1)-(6)①②

D-2-1)-(7)①

D-2-2)①②

D-2-3)①②③④⑤

D-2-3)-(1)①②③

D-2-3)-(2)①

D-2-3)-(3)①

D-2-4)-(1)①②

D-2-4)-(2)①②③④⑤

D-2-4)-(3)①②

D-2-4)-(5)②④

D-2-4)-(6)①②③

D-2-4)-(8)①

D-4-1)④

D-4-2)①

D-4-3)①

D-5-3)⑥

D-15-1①②③④⑤

D-15-2①②③

D-15-3①③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫

E-1-1)②③

E-2-3)③④⑫

E-2-4)-(1)⑩

E-4-3)-(4)②

E-5-2)③⑨

E-5-3)-(1)⑤

E-7-4)②

E-8-1)⑤

F-1-2)①②③

F-1-3)①②③

F-1-4)①②③

F-1-7)①②③

F-1-8)①②③

F-1-31)①②③

F-1-33)①②③

F-1-34)①②③

F-2-3)⑮

F-2-4)③

F-2-5)①②

F-2-9)-(1)①②③④⑤⑥

F-2-9)-(2)①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩

F-3-2)①②③④⑤

F-3-3)①②③④

F-3-4)①②

F-3-5)-(1)①②③④⑤⑥

F-3-5)-(2)①②③④⑤⑥⑦

F-3-5)-(3)①

F-3-5)-(6)①②③④⑤⑥

F-3-5)-(7)③

F-3-5)-(8)①②③④

F-3-6)-(1)③

F-3-6)-(2)⑤

F-3-6)-(3)①②③

F-3-6)-(4)①②

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
---	----	----	-----	------	------

1	8/26	09:00- 09:50	医学科 講義室 2	ブロックガイダンス	前原 健寿, 三條 伸夫, 車地 暁生
2-3	8/26	10:00- 11:50	医学科 講義室 2	基礎ミニテスト、復習 (神経解剖)	前原 健寿
4	8/26	12:50- 13:40	医学科 講義室 2	精神科 精神科概説	西川 徹
5	8/26	13:50- 14:40	医学科 講義室 2	検査(2)画像検査-1 (CT,MRI,SPECT,PET)	田中 洋次
6	8/26	14:50- 15:40	医学科 講義室 2	神経内科 神経内科 概説	横田 隆徳
7	8/27	09:00- 09:50	医学科 講義室 2	基礎ミニテスト、復習 (生理)	石川 欽也
8	8/27	10:00- 10:50	医学科 講義室 2	自習	
9	8/27	11:00- 11:50	医学科 講義室 2	検査(2)画像検査-2 (CT,MRI,SPECT,PET)	田中 洋次
10	8/27	12:50- 13:40	医学科 講義室 2	脳外科 脳外科概説	前原 健寿
11	8/27	13:50- 14:40	医学科 講義室 2	検査(1)機能 (脳 波、てんかん)	前原 健寿
12	8/27	14:50- 15:40	医学科 講義室 2	感染症	服部 高明
13- 14	8/28	09:00- 10:50	医学科 講義室 2	基礎ミニテスト、復習 (神経生化)	車地 暁生
15	8/28	11:00- 11:50	医学科 講義室 2	血管内治療科概説	根本 繁
16-	8/28	12:50-	医学科	神経内科 診察と症	石橋 哲

18		15:40	講義室 2	候学	
19- 20	8/29	12:50- 14:40	医学科 講義室 2	神経内科 臨床講義 3	三條 伸夫
21	8/29	14:50- 15:40	医学科 講義室 2	神経内科 認知症 (AD)	西田 陽一 郎
22- 24	8/30	09:00- 11:50	医学科 講義室 2	脳血管解剖 虚血性 脳血管障害	三木 一徳, 石橋 哲
25	8/30	12:50- 13:40	医学科 講義室 2	くも膜下出血	清水 一秀
26	8/30	13:50- 14:40	医学科 講義室 2	脳出血	清水 一秀
27	8/30	14:50- 15:40	医学科 講義室 2	脳外科 小児奇形	根本 繁
28	9/2	09:00- 09:50	医学科 講義室 2	脳梗塞の外科	成相 直
29- 30	9/2	10:00- 11:50	医学科 講義室 2	頭部外傷	稲次 基希
31- 32	9/2	12:50- 14:40	医学科 講義室 2	神経内科 臨床講義 2	横田 隆徳
33	9/2	14:50- 15:40	医学科 講義室 2	神経内科 脱髄性疾 患	横手 裕明
34- 35	9/3	09:00- 10:50	医学科 講義室 2	精神科 統合失調症	西川 徹
36	9/3	11:00- 11:50	医学科 講義室 2	脳外科 意識障害	菅原 貴志
37	9/3	12:50- 13:40	医学科 講義室	精神科 症状精神病 リエゾン	竹内 崇

			2		
38- 39	9/3	13:50- 15:40	医学科 講義室 2	気分障害	車地 暁生
40- 42	9/4	09:00- 11:50	医学科 講義室 2	脳外科 脳腫瘍	成相 直, 田 村 郁
43- 45	9/4	12:50- 15:40	4 階学 生実習 室	病理実習(脳腫瘍・血 管障害)	小林 大輔
46- 47	9/5	12:50- 14:40	医学科 講義室 2	神経内科 臨床講義 4	西田 陽一 郎
48	9/5	14:50- 15:40	医学科 講義室 2	脳外科 定位	工藤 琢巳
49- 51	9/6	09:00- 11:50	医学科 講義室 2	TBL(脳外科)	工藤 琢巳
52- 53	9/6	12:50- 14:40	医学科 講義室 2	神経内科 臨床講義 1	横田 隆徳
54	9/6	14:50- 15:40	医学科 講義室 2	神経内科 ALS	横田 隆徳
55	9/10	09:00- 09:50	医学科 講義室 2	精神科 神経症性障 害	大島 一成
56	9/10	10:00- 10:50	医学科 講義室 2	精神科 パーソナリテ ィー障害	仲谷 誠
57	9/10	11:00- 11:50	医学科 講義室 2	精神科 心身症と摂 食障害	山岡 昌之
58	9/10	12:50- 13:40	医学科 講義室 2	未破裂脳動脈瘤と動 静脈シャントの脳血管 内治療	壽美田 一 貴
59- 60	9/10	13:50- 15:40	医学科 講義室 2	精神科 医療と法律	岡田 幸之

61	9/11	09:00- 09:50	医学科 講義室 2	神経内科 認知症 (AD 以外)	西田 陽一 郎
62	9/11	10:00- 10:50	医学科 講義室 2	脳外科 老年脳外科	菅原 貴志
63	9/11	11:10- 12:00	医学科 講義室 2	精神科 ストレス関連 障害	安藤 久美 子
64- 66	9/11	12:50- 15:40	4 階学 生実習 室	病理実習 (感染症、 脱髄性疾患、神経変 性疾患)	竹本 暁
67	9/12	12:50- 13:40	医学科 講義室 2	神経内科 MG	三浦 義治
68	9/12	13:50- 14:40	医学科 講義室 2	神経内科 末梢神経 障害	八木 洋輔
69	9/12	14:50- 15:40	医学科 講義室 2	神経内科 機能①(頭 痛、めまい)	町田 明
70	9/13	09:00- 09:50	医学科 講義室 2	検査(2)生理検査 (伝 導検査、他)	赤座 実穂
71	9/13	10:00- 10:50	医学科 講義室 2	神経内科 炎症性筋 疾患・傍腫瘍性症候 群	融 衆太
72	9/13	11:00- 11:50	医学科 講義室 2	神経内科 Guillain- Barre 症候群	叶内 匡
73- 74	9/13	12:50- 14:40	医学科 講義室 2	神経内科 臨床講義 5	石川 欽也
75	9/13	14:50- 15:40	医学科 講義室 2	神経内科 筋疾患	石川 欽也
76	9/17	09:00- 09:50	医学科 講義室 2	精神科 認知症 (BPSD)	古田 光
77-	9/17	10:00-	医学科	CBL(精神科) 統合失	治徳 大介,

78		11:50	講義室 2	調症 気分障害	中野谷 貴 子
79- 80	9/17	12:50- 14:40	医学科 講義室 2	精神科 児童精神科	大倉 勇史
81	9/17	14:50- 15:40	医学科 講義室 2	精神科 睡眠障害	平井 伸英
82	9/18	09:00- 09:50	医学科 講義室 2	精神科 アルコール・ 薬物関連障害	尾崎 茂
83- 84	9/18	10:00- 11:50	医学科 講義室 2	CBL(精神科) ストレ ス関連障害 アルコー ル依存症	平井 伸英, 後藤 恵
85- 87	9/18	12:50- 15:40	医学科 講義室 2	TBL(精神科)	上里 彰仁
88- 90	9/19	12:50- 15:40	医学科 講義室 2	TBL(神経内科)	三條 伸夫
91- 93	9/20	09:00- 11:50	医学科 講義室 2	自習	
94- 96	9/20	12:50- 15:40	医学科 講義室 2	試験	石橋 哲, 車 地 暁生, 工 藤 琢巳

授業方法

講義、実習

授業内容

(別表を参照)

成績評価の方法

- ◆精神科は、基礎復習テスト 10 点、CBL(4 授業)10 点、TBL30 点、バリア試験 50 点の合計 100 点満点。
- ◆脳神経外科は、基礎復習テスト 10 点、TBL30 点、バリア試験 60 点の合計 100 点満点。
- ◆神経内科は、復習テスト 5 点(10 点満点を換算)、TBL20 点(40 点満点を換算)、バリア試験 50 点(25 点を換算)、臨床講義出席 5 点 x5 回、臨床講義発表 + α の 100 点満点。

3 科合計 300 点の 60%以上の計 180 点を合格とする。

成績評価の基準

最終試験、ミニテスト、TBL, CBL の確認テスト、出席など

準備学習などについての具体的な指示

受講前に各科のシラバスを熟読し、内容を理解しておくこと。ふめいな点があったら、オフィス時間内に各科の担当者に質問をして、確認しておくこと。

教科書

シラバス・テキストを配布します。

参考書

医学生・研修医のための神経内科学／神田隆 著,神田, 隆, 1956-,: 中外医学社, 2014

ベッドサイドの神経の診かた／田崎 義昭／著,斎藤 佳雄／著,田崎 || 義昭,斎藤:南山堂, 2016

脳神経外科学／太田富雄, 松谷雅生 編,太田, 富雄, 1931-,松谷, 雅生, 1942-,: 金芳堂, 2016

標準精神医学／野村総一郎, 樋口輝彦, 尾崎紀夫, 朝田隆 編,野村総一郎 [ほか] 執筆,野村, 総一郎, 1949-,樋口, 輝彦, 1945-,尾崎, 紀夫,: 医学書院, 2018

カプラン臨床精神医学テキスト : DSM5 診断基準の臨床への展開／ベンジャミン・J.サドック, バージニア・A.サドック 編,井上令一, 四宮滋子 監訳,Sadock, Benjamin J, 1933-,Sadock, Virginia A,井上, 令一, 1932-,四宮, 滋子,: メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2016

DSM-5 精神疾患の診断・統計マニュアル／American Psychiatric Association [編],日本精神神経学会 日本語版用語監修, 高橋三郎, 大野裕 監訳,染矢俊幸, 神庭重信, 尾崎紀夫, 三村將, 村井俊哉 訳,高橋, 三郎, 1930-,大野, 裕, 1950-,染矢, 俊幸, 1958-,神庭, 重信, 1954-,尾崎, 紀夫,米国精神医学会,日本精神神経学会,: 医学書院, 2014

Youmans Neurological Surgery, Vol.1-4 Winn H.R. 編 Saunders、2011

履修上の注意事項

授業を効率よく、効果的に受けるためには、基礎知識を復習し、予定の部分を予習したうえで授業に臨むことが必要である。また成績評価には TBL や CBL などの active learning の成績も重要視している。学生自ら積極的に授業に参加することが必要である。

参照ホームページ

神経内科:専用のシラバスを作成し、ホームページに随時アップデートする予定

脳神経外科疾患情報ページ <http://square.umin.ac.jp/neuroinf/index.html>

精神科情報ページ 日本うつ病学会 <http://www.secretariat.ne.jp/jsmd/>

日本臨床精神神経薬理学会 <http://www.jscnp.org/>

時間割番号	011068					
科目名	骨・関節・脊椎					
担当教員						
開講時期	後期	対象年次	3	単位数	2	
主な講義場所						
医学科講義室 2						
授業の目的、概要等						
<p>高齢社会を迎えて、健康寿命の重要性が知られるようになった。整形外科は身体の運動機能維持を目標とする診療科であり、高齢者の健康寿命延伸は総合診療的側面を持つことから、すべての医師が整形外科的素養を身に着ける必要がある。同時に、外傷・スポーツ医学は加齢性疾患を扱う上での基礎である。整形外科の扱う範囲は広く、手術治療だけでなく保存治療も重要な手段であり、すべてを知るうえで積極的な講義への参加が望まれる。</p> <p>また、整形外科領域では、すでに再生医療やバイオマテリアルの臨床応用が積極的に行われている。こうした最先端医療の紹介も講義に含む。</p>						
授業の到達目標						
骨関節脊椎の機能と障害を理解し、外傷や加齢性疾患の病態と、それに対する整形外科的診断・治療法の概略を把握することを目的とする。嚙下を含めた運動機能維持を目的とするリハビリテーション医学の基本的考え方を学ぶ。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	12/9	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	整形外科 総論		大川 淳
2	12/9	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	骨・関節・脊椎 解剖		二村 昭元
3	12/9	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	脊椎Ⅰ（頸椎疾患・ 脊髄腫瘍）		平井 高志
4	12/9	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	脊椎Ⅱ（腰椎疾患・脊 柱変形）		吉井 俊貴
5	12/1 0	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	末梢神経障害		藤田 浩二
6	12/1 0	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	骨系統疾患・代謝性 骨疾患		江面 陽一、 麻生 義則

7-8	12/1 0	12:50- 15:40	医学科 講義室 2	TBL 脊椎脊髄・神経 疾患		湯浅 将人, 瀬川 裕子
9	12/1 1	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	骨折治療の原則と骨 盤・下肢外傷		王 耀東
10	12/1 1	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	自習		
11	12/1 1	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	骨軟部腫瘍		小柳 広高
12	12/1 1	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	転移性骨腫瘍		佐藤 信吾
13	12/1 2	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	感染症・炎症性疾患		大原 敏之
14	12/1 2	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	脊椎外傷		猪瀬 弘之
15	12/1 3	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	人工骨と生体材料		埴 隆夫, 早 乙女 進一
16	12/1 3	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	自習		
17- 18	12/1 3	12:50- 15:40	医学科 講義室 2	TBL		瀬川 裕子
19	12/1 6	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	軟骨代謝・再生医学		関矢 一郎
20	12/1 6	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	成人股関節疾患		宮武 和正
21	12/1 6	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	膝関節加齢性疾患		小田邊 浩 二
22	12/1	14:20-	医学科	膝関節外傷性疾患		古賀 英之

	6	15:40	講義室 2			
23	12/1 7	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	肩・肘関節疾患とスポ ーツ整形		二村 昭元
24	12/1 7	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	手外科・上肢外傷		鈴木志郎
25- 26	12/1 7	12:50- 15:40	医学科 講義室 2	TBL 関節疾患		片桐 洋樹, 中川 裕介
27	12/1 8	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	リハビリテーション I		酒井 朋子
28	12/1 8	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	リハビリテーション II		星野 ちさと
29	12/1 8	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	リハビリテーション III		請川 大
30	12/1 8	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	自習		
31	12/1 9	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	高気圧酸素医学		柳下 和慶
32	12/1 9	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	小児整形		瀬川 裕子
33- 34	12/2 0	09:00- 11:50	医学科 講義室 2	TBL 関節疾患		酒井 朋子, 瀬川 裕子
35	12/2 0	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	自習		
36	12/2 0	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	評価(試験)		大川 淳

授業方法

講義および TBL で行う。臨床解剖学分野の協力を得て、解剖についても講義を行う。

授業内容

別紙を参照

成績評価の方法

TBL の個人テスト(4 回分)と最終日に行う試験、および出席状況で判断する。出題は講義の範囲を超えることがあるので注意すること。

成績評価の基準

4 回の TBL 個人テストおよび最終日に行う試験を同じ比重で合計し、60%以上の正答率がある場合を合格とする。

準備学習などについての具体的な指示

骨および筋骨格系と神経系の解剖の復習が必要である。

試験の受験資格

全授業時間数の 2/3 上の出席

教科書

標準整形外科学／中村利孝, 松野丈夫 監修,井樋栄二, 吉川秀樹, 津村弘 編集,中村, 利孝, 1948-,松野, 丈夫, 1947-,井樋, 栄二, 1956-,吉川, 秀樹, 1954-,津村, 弘.:医学書院, 2017

リハビリテーション医学・医療コアテキスト／日本リハビリテーション医学会 監修,久保俊一 総編集,加藤真介, 角田亘 編集,安保雅博, 海老原覚, 佐浦隆一, 千田益生, 田島文博, 津田英一, 芳賀信彦 section editor,久保, 俊一, 1953-,加藤, 真介,角田, 亘,安保, 雅博,海老原, 覚,佐浦, 隆一,日本リハビリテーション医学会.:医学書院, 2018

時間割番号	011069				
科目名	皮膚・アレルギー・膠原病				
担当教員	小池 竜司, 横関 博雄, 木村 直樹				
開講時期	後期	対象年次	3	単位数	2
主な講義場所 医学科講義室					
授業の目的、概要等					
第一週(皮膚・アレルギー)					
解剖学、病理組織学、生理学、生化学、そして免疫・アレルギー学などの基礎医学の知識を応用し、皮膚疾患・アレルギー疾患の病態生理の理解を目指す。前半は、非免疫学的機序による皮膚疾患を扱う。後半は皮膚アレルギー疾患を中心に、呼吸器・鼻・眼など他臓器のアレルギー疾患を併せて扱い、アレルギー疾患を包括的に学習する。特に重要な疾患については、臨床例を通じて、学生主体の討論を行い、疾患についての基本的知識や、患者を診察するための考え方を習得することを目的とした授業を行う。					
第二週(膠原病・リウマチ内科)					
学生が膠原病・リウマチ性疾患の臨床を学ぶにおいて、特に重要な膠原病・リウマチ性疾患または疾患群について、それらの病態生理／臨床免疫学的側面の理解、そしてプレクリニカルクラークシップにおける頻度の高い症候へのアプローチの学習の基盤となる考え方の習得を支援し、各膠原病・リウマチ性疾患または疾患群に関する概念・病因・症候・治療について概説し、学生が将来臨床に応用できる知識と考え方を自己主導的に習得するのを支援する。					
授業の到達目標					
文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成 28 年度改訂版) http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm					
D-1-4)-(2)⑥					
D-3-1)①②③					
D-3-2)①②③					
D-3-3)①					
D-3-4)-(1)①②					
D-3-4)-(1)②					
D-3-4)-(2)①②					
D-3-4)-(2)③					
D-3-4)-(3)①					
D-3-4)-(4)①②					
D-3-4)-(5)①③					
D-3-4)-(6)①②					
D-3-4)-(7)①②③④⑤					

D-3-4)-(8)①②③④⑤⑥

D-4-2)①②

D-4-3)①②③

D-4-4)-(1)⑥⑦

D-5-4)-(7)⑤

D-6-3)-(1)①

D-6-4)-(3)③

D-8-4)-(6)②④⑤

D-14-4)-(1)⑦

E-2-4)-(1)②③④⑦

E-2-4)-(4)①②

E-4-1)①

E-4-2)①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪

E-4-3)-(1)①②③

E-4-3)-(2)①②③④

E-4-3)-(3)①②③

E-4-3)-(4)①②③④

E-4-3)-(5)①②③

E-4-3)-(6)①②③

F-1-5)①②③

F-1-6)①

F-1-12)①②③

F-1-34)①②③

F-1-35)①②③

F-1-36)①②③

F-1-37)①②③

F-3-5)-(2)⑦

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	11/2 5	09:00- 09:50	医学科 講義室 2	皮膚の構造・機能・役 割	横関 博雄	
2	11/2 5	10:00- 10:50	医学科 講義室 2	皮膚科診断学	横関 博雄	
3	11/2 5	11:00- 11:50	医学科 講義室 2	角化のメカニズムと角 化異常症	樋口 哲也	ご所属:(東邦 大学佐倉病院 皮膚科)
4	11/2	12:50-	医学科	色素性疾患	西田 真紀	

	5	13:40	講義室 2		子	
5	11/2 5	13:50- 14:40	医学科 講義室 2	皮膚血管障害	野老 翔雲	
6	11/2 5	14:50- 15:40	医学科 講義室 2	物理化学的障害	野老 翔雲	
7	11/2 6	09:00- 09:50	医学科 講義室 2	皮膚悪性腫瘍	並木 剛	
8	11/2 6	10:00- 10:50	医学科 講義室 2	皮膚感染症Ⅰ	横関 博雄	
9	11/2 6	11:00- 11:50	医学科 講義室 2	皮膚感染症Ⅱ	横関 博雄	
10	11/2 6	12:50- 13:40	医学科 講義室 2	母斑と母斑症	勝俣 道夫	ご所属:(NTT 東日本伊豆病 院 特別顧問)
11	11/2 6	13:50- 14:40	医学科 講義室 2	皮膚良性腫瘍	勝俣 道夫	ご所属:(NTT 東日本伊豆病 院 特別顧問)
12	11/2 6	14:50- 15:40	医学科 講義室 2	肉芽腫症・代謝性疾 患	吉岡 勇輔	
13	11/2 7	09:00- 09:50	医学科 講義室 2	ダーモスコピーの診 方	並木 剛	
14	11/2 7	10:00- 10:50	医学科 講義室 2	自習	横関 博雄	
15	11/2 7	11:00- 11:50	医学科 講義室 2	皮膚感染症Ⅲ	加藤 卓朗	ご所属:(まるや ま皮膚科クリニ ック)
16	11/2 7	12:50- 13:40	医学科 講義室 2	免疫学復習	長谷川 温 彦	
17	11/2 7	13:50- 14:40	医学科 講義室	皮膚アレルギー疾患Ⅰ	横関 博雄	

			2			
18	11/2 7	14:50- 15:40	医学科 講義室 2	薬疹・薬物障害	横関 博雄	
19	11/2 8	12:50- 13:40	医学科 講義室 2	皮膚アレルギー疾患 II	宇賀神 つ かさ	
20	11/2 8	13:50- 14:40	医学科 講義室 2	食物・薬物アレルギー (アナフィラキシー) case-based	宇賀神 つ かさ	
21	11/2 8	14:50- 15:40	医学科 講義室 2	皮膚自己免疫疾患 (水疱症)	佐藤 貴浩	ご所属:(防衛 医科大学校皮 膚科)
22	11/2 9	09:00- 09:50	医学科 講義室 2	鼻眼アレルギー	鈴木 康弘	
23	11/2 9	10:00- 10:50	医学科 講義室 2	気管支喘息	玉岡 明洋	
24	11/2 9	11:00- 11:50	医学科 講義室 2	自習	横関 博雄	
25- 27	11/2 9	12:50- 15:40	医学科 講義室 2	TBL(非免疫学的疾 患・アレルギー疾患)	横関 博雄, 吉岡 勇輔	
28	12/2	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	膠原病総論	木村 直樹	
29	12/2	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	関節リウマチ①	川畑 仁人	
30- 31	12/2	12:50- 15:40	4階学 生実習 室	膠原病・皮膚 病理実 習	木脇 祐子	
32	12/3	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	多発性筋炎・皮膚筋 炎	梅澤 夏佳	
33	12/3	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	強皮症・混合性結合 組織病	杉原 毅彦	

34	12/3	12:50- 13:40	医学科 講義室 2	成人発症 Still 病・不 明熱	今井 香織	
35	12/3	13:50- 14:40	医学科 講義室 2	Sjogren 症候群・ Behcet 病	長坂 憲治	
36	12/3	14:50- 15:40	医学科 講義室 2	膠原病の研究	細矢 匡	
37	12/4	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	全身性エリテマトーデ ス①	高村 聡人	
38	12/4	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	全身性エリテマトーデ ス②)演習	長谷川 久 紀	
39	12/4	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	血管炎	松尾 祐介	
40	12/4	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	血清反応陰性脊椎関 節炎	副島 誠	
41	12/5	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	膠原病の皮膚症状	高河 慎介	
42	12/5	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	関節リウマチ②)演習	萩山 裕之	
43	12/6	09:00- 09:50	医学科 講義室 2	膠原病の治療薬	溝口 史高	
44	12/6	10:00- 10:50	医学科 講義室 2	結晶性関節炎	鈴木 文仁	
45	12/6	11:00- 11:50	医学科 講義室 2	難病対策について	遠藤 明史	
46- 47	12/6	12:50- 15:40	医学科 講義室 2	TBL	高田 和生, 佐々木 広 和	

授業方法

スライドを使った講義

授業内容

(別表を参照)

成績評価の方法

学習到達度評価は 3 回の TBL(非免疫学皮膚疾患、アレルギー疾患、膠原病・リウマチ内科疾患)を用いて行う。それぞれが合格基準を満たすことを要求する。

準備学習などについての具体的な指示

MIC 免疫学にて学習した内容を確認しておくこと。

教科書

第一週(皮膚・アレルギー)

上野賢一著「皮膚科学」金芳堂出版

池田重雄他監修「標準皮膚科学」医学書院

西山茂夫著「皮膚病アトラス」文光堂

清水宏著「あたらしい皮膚科学」中山書店

第二週(膠原病・リウマチ内科)

ハリソン内科学第4版(原著第18版);メディカル・サイエンス・インターナショナル 発行年 2013 年

参考書

第一週(皮膚・アレルギー)

「現代皮膚科学体系」中山書店

「皮膚科 Mook」(疾患毎に別冊になっている)金原書店

「Rook/Wilkinson/Ebling: Textbook of Dermatology」 Blackwell Scientific Publication.

Fitzpatrick et al.: Dermatology in General Medicine」 McGraw-Hill Book Co.

「Lever/Schaunburg-Lever: Histopathology of the Skin」 JB Lippincott Co.

第二週(膠原病・リウマチ内科)

リウマチ病学テキスト、診断と治療社 発行年 2010 年

ワシントンマニュアル(WM)リウマチ科コンサルト;メディカル・サイエンス・インターナショナル 発行年 2006 年

時間割番号	011070				
科目名	感染・臨床				
担当教員					
開講時期	後期	対象年次	3	単位数	1
<p>主な講義場所</p> <p>3号館3階講義室2</p> <p>授業の目的、概要等</p> <p>臨床感染症学として、臓器横断的に考えた感染症の特徴、診断、治療および感染制御の概要を学ぶ。</p> <p>授業の到達目標</p> <p>感染症学の基本的な考え方を身に付け、自ら考え、調べて対処するプロセスを経験する。医療従事者として必要な感染制御学の基本を習得する。あらゆる診療部門において感染対策が必要であることを認識し、実践できることを最低限の達成目標とする。</p> <p>文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成28年度改訂版) http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm</p> <p>D-1-3)① D-5-3)① D-6-4)-(2)①③④ D-7-4)-(3)⑫ E-2-1)①②③④⑤⑥⑦ E-2-2)①②③④⑤⑥⑦⑧ E-2-3)② E-2-4)-(1)⑥ E-2-4)-(2)①②③⑤⑥⑦⑧⑩ E-2-4)-(3)①② E-2-4)-(4)①③④ E-2-4)-(5)①②③ E-4-2)② E-5-2)② E-7-3)④ F-1-1)①②③ F-1-5)①②③ F-2-3)⑬ F-2-9)-(1)①②③</p>					

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	8/19	09:00- 09:50	医学科 講義室 2	感染症総論	貫井 陽子
2	8/19	10:00- 10:50	医学科 講義室 2	渡航後感染症 PBL	貫井 陽子
3	8/19	11:00- 11:50	医学科 講義室 2	抗菌薬総論(PK/PD)	永田 将司
4	8/19	12:50- 13:40	医学科 講義室 2	女性診療科における 性感染症	中筋 貴史
5	8/19	13:50- 14:40	医学科 講義室 2	泌尿器科における性 感染症	上原 翔
6	8/19	14:50- 15:40	医学科 講義室 2	感染症診断の臨床検 査	齋藤 良一
7	8/20	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	日和見感染症	原田 壮平
8	8/20	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	臨床的に問題となる 耐性菌	原田 壮平
9	8/20	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	感染症の考え方	龍野 桂太
10	8/20	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	抗菌薬の正しい使い 方	龍野 桂太
11	8/21	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	風邪の診かた	羽田野 義 郎
12	8/21	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	医療関連感染症	羽田野 義 郎

13	8/21	12:50- 13:40	医学科 講義室 2	小児の感染症(1)	長澤 正之
14	8/21	13:50- 14:40	医学科 講義室 2	小児の感染症(2)	長澤 正之
15	8/21	14:50- 15:40	医学科 講義室 2	小児の感染症(3)	長澤 正之
16	8/22	12:50- 13:40	医学科 講義室 2	救急医療における感 染症	関谷 宏祐
17	8/22	13:50- 14:40	医学科 講義室 2	敗血症のアプローチ	岡本 耕
18	8/22	14:50- 15:40	医学科 講義室 2	プライマリケアにおけ る感染症	岡本 耕
19	8/23	09:00- 09:50	医学科 講義室 2	外科感染症	小野 宏晃
20	8/23	10:00- 10:50	医学科 講義室 2	PBL 発表会	貫井 陽子
21	8/23	11:00- 11:50	医学科 講義室 2	テスト	貫井 陽子

授業方法

講義・PBL・テスト

授業内容

(別表を参照)変更の可能性があるため、最新版を必ず確認すること

成績評価の方法

テスト(60%)、PBL レポート(30%)、PBL 発表(10%)

PBL では全員が自分の担当内容をレポート(A4 1枚)として提出する。グループごとの発表も行い、その内容も採点に加味される。(抽出した項目の妥当性、結論の妥当性、発表が過不足なく行えたか、全員参加の姿勢の有無など)

成績評価の基準

上記評価で合計で60%以上を目安とする。

準備学習などについての具体的な指示

講義の前に下記に示した教科書の該当する項目を読んでおくことが望ましい。

教科書

ハリソン内科学／デニス L.カスパー ほか 編,福井次矢, 黒川清 日本語版監修,,:メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2017

内科学 = ASAKURA Internal Medicine／矢崎義雄 総編集,赤司浩一, 小室一成, 渥美達也, 須永眞司, 伊藤裕, 南学正臣, 稲垣暢也, 長谷川好規, 神田隆, 松本哲哉, 木下芳一, 楽木宏実, 工藤正俊 編集,,:朝倉書店, 2017

参考書

レジデントのための感染症診療マニュアル第3版／青木眞 著,,:医学書院, 2015

感染制御標準ガイド／小林寛伊 総監修,大久保憲, 林純, 松本哲哉 監修,尾家重治 編集,,:じほう, 2014

抗菌薬の考え方、使い方／岩田健太郎, 宮入烈 著,岩田, 健太郎, 1971-,宮入, 烈,,:中外医学社, 2012

感染症診療のロジック：患者さんのモンダイを解決するキホンとアプローチ法／大曲貴夫 著,大曲, 貴夫,,:南山堂, 2010

感染予防,そしてコントロールのマニュアル：すべてのICTのために／ニザーム ダマーニ 著,岩田健太郎 監修,岡秀昭 監訳,,:メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2013

他科目との関連

内科系外科系を問わず、すべての臨床系科目と関連がある。疾患について理解を深めるためには病原体の知識が必要であり、細菌学、ウイルス学、寄生虫学の知識は随時遡って復習や再学習する必要がある。

履修上の注意事項

PBL、レポートはそれぞれが自分で取り組み、自分なりの回答を記載したものを評価する。グループ単位での発表会も行い、その結果も評価に含める。

時間割番号	011071						
科目名	頭頸部・臨床						
担当教員							
開講時期	後期	対象年次	3	単位数	4		
授業科目名英訳: Head and Neck Clinical Medicine							
主な講義場所							
3号館3階 医学科講義室2							
授業の目的、概要等							
<p>頭頸部にはいわゆる五感と総称される視覚、嗅覚、聴平衡覚、味覚、触覚や、呼吸、構音、咀嚼、嚥下、発声などの重要な機能を持つ臓器が多数存在している。これらの機能は複雑に絡み合っており、ひとつが障害をきたすとその他の機能も影響を受け、日常生活の質に重大な影響を及ぼす。そういった複雑な頭頸部領域に生ずる疾患について理解するためには、ブロック形式で一括して当該領域について集中的に学ぶ事が非常に効率的で、かつその理解や習得の程度も深まると考えられる。3年次に行われる当ブロックにおいては、医歯学両学部を有する東京医科歯科大学の特徴を生かし、医学部と歯学部の学生が共に学習し、議論し、隣接領域の理解を深める事を目的とする。</p>							
授業の到達目標							
<p>①頭頸部領域の構造と機能の理解 ②頭頸部領域の疾患の基本的な知識の理解 ③頭頸部領域の疾患の診断と治療の理解 ④これらを利用した臨床推論が可能となること</p>							
<p>文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成 28 年度改訂版) http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm</p>							
D-2-3)③							
D-7-1)⑭							
D-14-1)①②③④⑤⑥							
D-14-2)①②							
D-14-3)-(1)①							
D-14-3)-(2)①②							
D-14-4)-(1)①②③④⑤⑥⑦⑧⑩⑪⑫							
D-14-4)-(2)①②							
E-2-4)-(1)⑤							
E-3-5)⑬							
F-1-9)①②③							
F-1-19)①②③							
F-1-27)①②③							
F-3-5)-(3)①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考

1-2	1/6	10:00- 11:50	医学科 講義室 2	オリエンテーション 基礎医学復習テスト		堤 剛, 山口 久美子	
3	1/6	12:50- 13:40	医学科 講義室 2	耳鼻咽喉科学総論 手術解剖		堤 剛	
4	1/6	13:50- 14:40	医学科 講義室 2	耳科学 1(解剖・生理)		堤 剛	
5	1/6	14:50- 15:40	医学科 講義室 2	Prep.Time(めまい・平 衡障害)	翌日の AL 耳科学 2 へむけて の自習	堤 剛	項目集を参照
6	1/7	09:00- 09:50	医学科 講義室 2	AL 耳科学 2(めまい・ 平衡障害)		堤 剛	Active Learning (TBL 班に分か れてのケースス タディ)
7	1/7	10:00- 10:50	医学科 講義室 2	耳科学 3(外耳・中耳・ 顔面神経)		伊藤 卓	
8	1/7	11:00- 11:50	医学科 講義室 2	耳科学 4(聴覚障害)		藤川 太郎	
9	1/7	12:50- 13:40	医学科 講義室 2	鼻科学 1(解剖生理・ 検査)		鈴木 康弘	
10	1/7	13:50- 14:40	医学科 講義室 2	鼻科学 2(疾患)		鈴木 康弘	
11	1/7	14:50- 15:40	医学科 講義室 2	Prep.Time(嚔下・救 急・気道管理)	翌日の AL 嚔下・救急・気道管 理へむけての自習	堤 剛	項目集を参照
12	1/8	09:00- 09:50	医学科 講義室 2	AL 嚔下・救急・気道 管理		堤 剛	Active Learning (TBL 班に分か れてのケースス タディ)
13	1/8	10:00- 10:50	医学科 講義室 2	喉頭 1(総論)		川島 慶之	
14	1/8	11:00- 11:50	医学科 講義室	喉頭 2(疾患)		川島 慶之	

			2				
15	1/8	12:50- 13:40	医学科 講義室 2	口腔・咽頭・唾液腺		本田 圭司	
16	1/8	13:50- 14:40	医学科 講義室 2	耳鼻咽喉科ミニケー ス		本田 圭司	
17	1/8	14:50- 15:40	医学科 講義室 2	耳鼻咽喉科ミニケー ス		伊藤 卓	
18- 20	1/9	12:50- 15:40	医学科 講義室 2	耳鼻咽喉科 TBL		堤 剛, 中川 美奈, 川島 慶之, 鈴木 康弘, 藤川 太郎, 伊藤 卓	
21	1/10	09:00- 09:50	医学科 講義室 2	予備枠			
22	1/10	10:00- 10:50	医学科 講義室 2	頭頸部領域の臨床解 剖1(頭部)		秋田 恵一	
23	1/10	11:00- 11:50	医学科 講義室 2	頭頸部領域の臨床解 剖2(頭蓋底)		秋田 恵一	
24	1/10	12:50- 13:40	医学科 講義室 2	頭頸部外科学総論		朝蔭 孝宏	
25	1/10	13:50- 14:40	医学科 講義室 2	鼻副鼻腔・頭蓋底の 腫瘍		朝蔭 孝宏	
26	1/10	14:50- 15:40	医学科 講義室 2	唾液腺の腫瘍		清川 佑介	
27	1/14	09:00- 09:50	医学科 講義室 2	頭蓋底腫瘍・脳神経		菅原 貴志	
28	1/14	10:00- 10:50	医学科 講義室 2	下咽頭・喉頭の腫瘍		大野 十央	

29	1/14	11:00- 11:50	医学科 講義室 2	甲状腺腫瘍		有泉 陽介	
30	1/14	12:50- 13:40	医学科 講義室 2	形成外科総論		森 弘樹	
31	1/14	13:50- 14:40	医学科 講義室 2	顔面領域の構造と外傷		井上 牧子	
32	1/14	14:50- 15:40	医学科 講義室 2	組織再建の考え方と臨床例		森 弘樹	
33	1/15	09:00- 09:50	医学科 講義室 2	頭頸部・頭蓋底再建の現状と課題		田中 顕太郎	
34	1/15	10:00- 10:50	医学科 講義室 2	口腔の腫瘍		朝蔭 孝宏	
35	1/15	11:00- 11:50	医学科 講義室 2	上・中咽頭の腫瘍		野村 文敬	
36	1/15	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	頭頸部外科ミニケース1		有泉 陽介	
37	1/15	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	頭頸部癌の放射線治療		吉村 亮一	
38- 40	1/16	12:50- 17:10	医学科 講義室 2, 4階 学生実習室	頭頸部病理実習		竹本 暁, 栢森 高, 山本 浩平	
41- 42	1/17	12:50- 15:40	医学科 講義室 2	頭頸部外科TBL		朝蔭 孝宏, 有泉 陽介, 大野 十央, 沼沢 益行	
43	1/20	09:00- 09:50	医学科 講義室 2	口腔外科総論		依田 哲也	
44	1/20	10:00-	医学科	顎口腔の外傷		依田 哲也	

		10:50	講義室 2				
45	1/20	11:00- 11:50	医学科 講義室 2	顎口腔の悪性腫瘍		原田 浩之	
46	1/20	12:50- 13:40	医学科 講義室 2	皮膚・軟部腫瘍の診 断と治療		田中 顕太 郎	
47	1/20	13:50- 14:40	医学科 講義室 2	難治性潰瘍		田中 顕太 郎	
48	1/20	14:50- 15:40	医学科 講義室 2	美容外科		森 弘樹	
49	1/21	09:00- 09:50	医学科 講義室 2	熱傷の局所治療と瘢 痕ケロイド		植村 法子	
50	1/21	10:00- 10:50	医学科 講義室 2	顔面・頭部領域の先 天異常		植村 法子	
51	1/21	11:00- 11:50	医学科 講義室 2	手足・体幹の先天異 常と外傷		井上 牧子	
52	1/21	12:50- 13:40	医学科 講義室 2	歯科矯正治療		小川 卓也	
53	1/21	13:50- 14:40	医学科 講義室 2	口腔顎顔面の先天性 疾患と顎顔面変形症		森田 圭一	
54	1/21	14:50- 15:40	医学科 講義室 2	顎口腔の良性腫瘍お よび嚢胞		黒嶋 雄志	
55	1/22	09:00- 09:50	医学科 講義室 2	顎関節疾患		儀武 啓幸	
56	1/22	11:00- 11:50	医学科 講義室 2	歯・歯周疾患と炎症性 疾患		荒木 孝二	
57	1/22	11:00- 11:50	医学科 講義室	口腔外科ミニケース		島本 裕彰	

			2				
58	1/22	11:00- 11:50	医学科 講義室 2	口腔粘膜疾患		津島 文彦	
59	1/22	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	患者参加型講義		島本 裕彰	
60- 61	1/23	12:50- 15:40	医学科 講義室 2	形成外科ミニケース		森 弘樹	
62- 64	1/24	09:00- 11:50	医学科 講義室 2	形成外科 TBL		植村 法子, 山口 久美 子	
65	1/24	11:00- 11:50	医学科 講義室 2	形成外科ミニケース		井上 牧子	
66- 67	1/24	12:50- 15:40	医学科 講義室 2	口腔外科・歯科 TBL		原田 浩之, 津島 文彦, 那波 伸敏	
68	1/27	09:00- 09:50	医学科 講義室 2	予備枠			
69	1/27	10:00- 10:50	医学科 講義室 2	予備枠			
70	1/27	11:00- 11:50	医学科 講義室 2	眼科序論		大野 京子	
71	1/27	12:50- 13:40	医学科 講義室 2	眼症候学		堀江 真太 郎	
72	1/27	13:50- 14:40	医学科 講義室 2	網膜剥離・糖尿病網 膜症		堀江 真太 郎	
73	1/27	14:50- 15:40	医学科 講義室 2	予備枠			
74	1/28	09:00- 09:50	医学科 講義室 2	予備枠			

75	1/28	10:00- 10:50	医学科 講義室 2	ぶどう膜炎		鴨居 功樹	
76	1/28	11:00- 11:50	医学科 講義室 2	白内障		高瀬 博	
77	1/28	12:50- 13:40	医学科 講義室 2	眼科検査方法・色覚		横井 多恵	
78	1/28	13:50- 14:40	医学科 講義室 2	屈折異常・調節障害		岩崎 優子	
79	1/28	14:50- 15:40	医学科 講義室 2	小児眼科・未熟児眼		東 範行	
80	1/29	09:00- 09:50	医学科 講義室 2	救急疾患		高瀬 博	
81	1/29	10:00- 10:50	医学科 講義室 2	斜視・弱視		大野 明子	
82	1/29	11:00- 11:50	医学科 講義室 2	神経眼科		清澤 源弘	
83	1/29	12:50- 13:40	医学科 講義室 2	角膜		佐野 研二	
84	1/29	13:50- 14:40	医学科 講義室 2	緑内障		吉田 武史	
85	1/29	14:50- 15:40	医学科 講義室 2	網膜疾患		吉田 武史	
86	1/30	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	眼科ミニケース		大野 京子	
87	1/30	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	眼科ミニケース		鴨居 功樹	
88-	1/31	09:00-	医学科	眼科 TBL		高瀬 博, 鶴	

90		11:50	講義室 2		田 潤	
授業方法						
<p>講義 68 回(基礎医学復習テスト、ミニケース、患者参加型講義含む)</p> <p>病理実習 1 回</p> <p>試験 5 回(TBL)</p> <p>耳鼻咽喉科の AL(active learning)とある講義については、あらかじめ提示した query を予習し、講義はすべて TBL 班ごとの case study と discussion 形式で行う。</p>						
授業内容						
<p>ブロック開始時に頭頸部領域全般についての基礎医学の復習テストを行い、これまで学んできた基礎的事項の理解度を再評価する。当ブロックの講義を行う主たる診療科は、耳鼻咽喉科(第 1 週)、頭頸部外科(第 2 週)、形成外科(第 2~3 週)、口腔外科・歯科(第 3 週)、眼科(第 4 週)であるが、適宜関連する他科、即ち、臨床解剖(第 1・2 週)、放射線科(第 2 週)、脳外科(第 2 週)といった他科の協力も得てこれらの領域の講義も複合的に取り入れ、理解を深める手助けとする。なお、形成外科については、その診療範囲は全身であるため、講義、試験とも、頭頸部領域のみでなく全身を対象としたものになる。また、第 2 週には医科歯科合同の病理実習を行い、各週の後半には主たる診療科のミニケースや患者参加型講義を行い、臨床推論の基礎と実際を学んで行く。第 2~4 週の最終日(金曜日)には医歯学融合教育支援センターの協力を得て TBL を行って学習内容の理解の確認を行うと共に、知識の統合的な理解を深める。</p>						
成績評価の方法						
<p>講義や実習の出席状況及び態度、5 回の TBL による総合成績で評価する。講義と実習の出席は原則としてカードリーダーによるチェックによって個々に判定するが、その他に各教員の裁量で講義の際中に出席を取りその代わりとする場合もある。</p> <p>なお、本人でない者によるカードリーダーのタッチ、講義開始と終了のみカードリーダーでタッチして講義そのものに出ないなどの不正行為があった場合はすべての科を不合格とする。</p> <p>耳鼻咽喉科の AL 講義については、レポート提出は任意だが成績判定に加味する場合がある。</p>						
成績評価の基準						
<p>5 回の TBL の配点は均等とし、個々の TBL において合格基準を満たす事がブロック合格の条件となる。不合格の科に関して再試験を行う。不合格の場合の再試験は、当ブロック終了翌月の 3 月に行われる「頭頸部・臨床」再試験によって行う。「基礎医学復習テスト」についても成績判定に利用することがある。</p>						
準備学習などについての具体的な指示						
<ul style="list-style-type: none"> ・頭頸部基礎の知識がある前提で講義を行う。頭頸部臨床ブロックの開始前には必ず頭頸部基礎の復習をすること。 ・直前に講義に関する情報を追加することがあるので、教務課からのメールおよび WebClass 上の連絡事項を確認すること。 ・時間割表で授業内容を確認し、教科書の関連項目に目を通して授業に出席すること 						
試験の受験資格						
<p>講義と実習の合計3分の2以上の出席を要する。</p>						
教科書						
<p>新耳鼻咽喉科学／切替一郎 原著,野村恭也 監修,加我君孝 編集,切替, 一郎, 1909-1989,野村, 恭也, 1932-,加我, 君孝, 1944-.,: 南山堂, 2013</p> <p>標準形成外科学 第 7 版／平林 慎一 著・文・その他,平林 慎一.,: 医学書院, 2019-01-28</p> <p>最新口腔外科学 = Oral and Maxillofacial Surgery／榎本昭二, 道健一, 天笠光雄, 小村健 監修,榎本, 昭二, 1936-,道, 健</p>						

一, 1936-, 天竺, 光雄, 1946-, : 医歯薬出版, 2017

現代の眼科学 / 吉田晃敏, 谷原秀信 編, 所敬 監修, : 金原出版, 2012

参考書

イラスト手術手技のコツ耳鼻咽喉科・頭頸部外科 / 村上泰, 久育男 監修, 小川郁, 河田了, 岸本誠司, 春名眞一 編集, 村上泰, 1935-, 久育男, 1949-, 小川, 郁, 1955-, 河田, 了, 岸本, 誠司, 1948-, : 東京医学社, 2017

がんを見逃さない : 頭頸部癌診療の最前線 / 岸本誠司 専門編集, : 中山書店, 2013

Essentials of Plastic Surgery, Second Edition / Jeffrey E. Janis: CRC Press, 2014

Operative Oral and Maxillofacial Surgery / John D. Langdon, Peter A. Brennan: Hodder Education, 2011

動画でみるみるわかる眼科検査テクニック : 基本手順から疾患の捉え方まで、検査のすべてが、みえる、わかる、できる / 松本長太 監修, 前田裕子 編著, : メディカ出版, 2013

Clinical ophthalmology / Jack J. Kanski, Bradley Bowling: Elsevier Saunders, 2011

ENG アトラス = Atlas of Electronystagmography : めまい・平衡機能障害診断のために / 小松崎篤 著, 小松崎, 篤, 1933-, : 医学書院, 2017

履修上の注意事項

講義、実習、試験の集合場所はすべて3号館3階の医学科講義室2とする。大人数での講義・実習となるので、これらを円滑に進めるため、時間厳守とし、カードリーダーによる出席チェックは迅速に行い、担当教員の業務遂行にも協力していただきたい。特に患者参加型講義においては遅刻、私語、写真撮影や音声の記録は厳禁とする。

備考

【科目責任者】堤 剛(耳鼻咽喉科学)

○問い合わせ先(担当教員)を以下に記載します。

耳鼻咽喉科: 川島 慶之: kawashima.oto@tmd.ac.jp

頭頸部外科: 大野 十央: ohno.hns@tmd.ac.jp

形成外科: 森 弘樹: moriplas@tmd.ac.jp

口腔外科: 島本裕彰: hiroaki.osur@tmd.ac.jp

眼科: 高瀬 博: h.takase.oph@tmd.ac.jp

人体病理: 伊藤 崇: t.ito.pth1@tmd.ac.jp

口腔病理: 坂本 啓: s-kei.mpa@tmd.ac.jp

○運営補助: 医歯学融合教育支援センター教員

参照ホームページ

日本耳鼻咽喉科学会ホームページ <http://www.jibika.or.jp/>

日本頭頸部癌学会ホームページ <http://www.jshnc.umin.ne.jp/>

日本形成外科学会ホームページ <http://www.jsprs.or.jp/>

日本口腔外科学会ホームページ <http://www.jsoms.or.jp/>

日本眼科学会ホームページ <http://www.nichigan.or.jp/index.jsp>

<http://lib.tmd.ac.jp/e-service/e-books.html>

時間割番号	011072A				
科目名	総合診療・地域医療				
担当教員					
開講時期	後期	対象年次	3	単位数	2
正しい科目名は以下です。					
総合診療・地域医療					
Family Medicine and Community Medicine					
授業の目的、概要等					
実際に地域で展開されている医療などを知り、地域住民のニーズに合致した医療や多職種連携を理解し、全人的医療を実現させる総合診療、地域包括ケア、そして地域共生社会の重要性を認識できるようにする。					
授業の到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・日本の医療の問題とその対策について説明できる。 ・総合診療やプライマリ・ケアの機能とその重要性を説明できる。 ・よく遭遇する医科疾患、歯科疾患について説明できる。 ・高齢者へのケア、終末期ケアについて説明できる。 ・患者中心の医療を説明できる。 ・地域医療を実施するのに必要とされる態度を身に着ける。 ・家族志向のアプローチを説明できる。 ・地域志向のプライマリ・ケアを説明できる。 ・効果的な患者教育を説明できる。 ・地域共生社会など、予防や健康増進について説明できる。 ・在宅医療について説明できる。 ・地域包括ケアについて説明できる。 ・多職種連携の重要性と備えるべき技能を説明できる。 ・地域住民が求めている医療を認識できる。 					
<p>文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成 28 年度改訂版)</p> <p>http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm</p>					
E-8-1)①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫					
E-9-1)⑨					
F-1-1)②					
F-1-2)①②③					
F-1-3)①②③					
F-1-4)①②③					
F-1-7)①②③					
F-1-9)①②③					
F-1-10)①②③					
F-1-11)①②③					

F-1-13①②③

F-1-15①②③

F-1-19①②③

F-1-23①②③

F-1-26①②③

F-1-28①②③

F-1-31①②③

F-1-32①②③

F-1-34①②③

F-1-35①②③

F-2-1)①②③④⑤⑥⑦⑧

F-2-2)⑥⑦

F-2-3)⑥⑫

F-2-4)①

F-2-8)⑨⑬⑭

F-2-11)①②④

F-2-14)③⑤

F-2-15)①②③④⑤⑥⑦

授業方法

大教室における講義形式で知識を伝える。適宜、ブレインストーミング的に学生と対話する。一部、シネメディケーションを使う。また、実習によってその知識を技能として具備させる。さらに学外実習によってそれらの知識や技能を態度面にまで昇華させる。

授業内容

I. 講義

- (1) 日本の医療の問題とその対策
- (2) プライマリ・ケアの機能とその重要性
- (3) よく遭遇する医科疾患
- (4) よく遭遇する歯科疾患
- (5) 高齢者へのケア、終末期ケア
- (6) 患者中心の医療
- (7) 地域医療を行うにあたっての態度(シネメディケーションによる)
- (8) 家族志向のアプローチ
- (9) 地域志向のプライマリ・ケア
- (10) 効果的な患者教育方法
- (11) 地域共生社会など、予防や健康増進
- (12) 在宅医療
- (13) 地域包括ケア

(14) 多職種連携の重要性、および多職種連携を実施するために必要な技術

(15) その他

II. 実 習

(1) 口腔ケア実習

(2) 高齢者体験実習

(3) 多職種連携実習

(4) 学外実習

学外実習によってそれらの知識や技能を態度面にまで昇華させる。

成績評価の方法

知識の確かめるための筆記試験を実施する。また議論の内容をポートフォリオとしてまとめて、提出させる。A4 で 1 枚。

準備学習などについての具体的な指示

Web Class(授業までには掲載予定)に収録されている動画を必ず視聴し、また資料を理解してくること。

参考書

臨床医になるための必修アイテム：医療面接から臨床判断学まで／竹村洋典 著、竹村、洋典、1961-、.: 南江堂、2002

履修上の注意事項

原則として、試験を受けるためには授業や実習への参加が前提となる。

時間割番号	011056																																												
科目名	東洋医学(M3)																																												
担当教員																																													
開講時期	前期	対象年次	3																																										
<p>講義の分離について:今年度は5月の連休が10連休になる関係で、講義が春と秋に分離しています。春は基礎的な内容、秋は臨床的な内容となりますが連続した内容となります。試験は一回ですので、春に学んだ内容を忘れないようにしっかり復習しておいてください。</p>																																													
<p>授業の目的、概要等</p> <p>本講義は、東洋医学の本質的な理解をめざします。東洋医学は西洋医学とは根本的に異なる医学体系を持っています。正しく運用するためには東洋医学の基礎をなしている概念を理解しなければなりません。</p> <p>そこで、陰陽・五行といった古代中国の哲学から解説を行います。</p> <p>子の講義を修了しても東洋医学による診療ができるようになるわけではありません。まずは東洋医学というものが存在し、それらが保険にも認められている診療で、実際に有効であるということを理解してください。</p> <p>さらなる学習を希望する人には、有志による勉強会を開催していますのでそちらにもご参加ください。</p>																																													
<p>授業の到達目標</p> <p>東洋医学の基礎的な概念(陰陽論、五行論、気血津液、八綱弁証、臓腑概念、病態観、証)を理解し、説明できる。</p> <p>東洋医学の診断、治療の概念、薬学・方剤学の基礎について理解し、説明できる。</p> <p>主な和漢薬(漢方薬)の適応、薬理作用を概説できる。</p> <p>文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成28年度改訂版) http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm</p> <p>F-2-8)⑬</p>																																													
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/8</td> <td>12:50- 14:10</td> <td>医学科 講義室 2</td> <td>中医基礎理論1</td> <td>東洋医学の基礎概念: 陰陽論と八綱弁証</td> <td>仙頭 正四郎</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/8</td> <td>14:20- 15:40</td> <td>医学科 講義室 2</td> <td>中医基礎理論2</td> <td>葛根湯でなぜ風邪が治るのか —煎じ薬の体験—</td> <td>仙頭 正四郎</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/8</td> <td>15:50- 17:10</td> <td>医学科 講義室 2</td> <td>中医基礎理論3</td> <td>五行説と臓腑概念</td> <td>別府 正志</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/11</td> <td>15:50- 17:10</td> <td>医学科 講義室 2</td> <td>中医基礎理論4</td> <td>気血津液(機能・生成・運行)</td> <td>別府 正志</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>4/15</td> <td>15:50-</td> <td>医学科</td> <td>中医基礎理論5</td> <td>病態観(病因病機・素因誘因・</td> <td>別府 正志</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/8	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	中医基礎理論1	東洋医学の基礎概念: 陰陽論と八綱弁証	仙頭 正四郎	2	4/8	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	中医基礎理論2	葛根湯でなぜ風邪が治るのか —煎じ薬の体験—	仙頭 正四郎	3	4/8	15:50- 17:10	医学科 講義室 2	中医基礎理論3	五行説と臓腑概念	別府 正志	4	4/11	15:50- 17:10	医学科 講義室 2	中医基礎理論4	気血津液(機能・生成・運行)	別府 正志	5	4/15	15:50-	医学科	中医基礎理論5	病態観(病因病機・素因誘因・	別府 正志
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																							
1	4/8	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	中医基礎理論1	東洋医学の基礎概念: 陰陽論と八綱弁証	仙頭 正四郎																																							
2	4/8	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	中医基礎理論2	葛根湯でなぜ風邪が治るのか —煎じ薬の体験—	仙頭 正四郎																																							
3	4/8	15:50- 17:10	医学科 講義室 2	中医基礎理論3	五行説と臓腑概念	別府 正志																																							
4	4/11	15:50- 17:10	医学科 講義室 2	中医基礎理論4	気血津液(機能・生成・運行)	別府 正志																																							
5	4/15	15:50-	医学科	中医基礎理論5	病態観(病因病機・素因誘因・	別府 正志																																							

		17:10	講義室 2		内因外因)と証の概念	
6	4/16	15:50- 17:10	医学科 講義室 2	中医基礎理論6	東洋医学的診断(四診と弁証)	仙頭 正四郎
7	4/17	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	中医基礎理論7	治療概念(予防と治療の原則・ 標治本治)	仙頭 正四郎
8	4/18	15:50- 17:10	医学科 講義室 2	中薬学総論	中薬学・方剤学総論(四氣五 味・君臣佐使)	別府 正志
9	10/1 5	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	東洋医学における医 史学		別府 正志
10	10/1 5	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	臨床各論1		室賀 一宏
11	10/1 7	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	現代医療と中医学		別府 正志
12	10/1 7	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	臨床各論2		頼 建守
13	10/1 8	09:00- 10:20	医学科 講義室 2	東洋医学試験		別府 正志

授業方法

講義形式

準備学習などについての具体的な指示

時間割番号	011009		
科目名	医歯学基盤教育(生命倫理 I)		
担当教員	吉田 雅幸, 水口 俊介, 江花 有亮		
開講時期	2年通年	対象年次	2~3

授業の目的、概要等

なぜ人は後で倫理的問題になるとは気付かずに、行動をおこなってしまうのか、あるいはするべき事に気付かず(あるいは気付いても)おこなわないままにしまうのか。

医学生、歯学生、医師、歯科医師をはじめとした医療者には、医療を担うにふさわしい倫理感覚を持つことが期待される。医療現場では、倫理的問題に対して組織的に対処するシステムがある程度構築されており、個人の資質による倫理的問題が生じる余地は減っている。しかし、わが国の医療関連法は基本的には性善説で成り立っており、個人の資質による倫理的問題が生じる余地は大きく残されている。また、システム自体が暴走した場合には、最後の砦になるのは個人の倫理感覚のみである。したがって、生命倫理においてはシステムについて学ぶだけでなく、これまでに培った自らの個別的倫理感覚をシステムとの関係の中で、どのように生かすのか、あるいは抑えるのかを考察・構築する必要がある。

第2学年においては、医療者としての視点および倫理観について導入と総論的事項について学習する。第3学年および第4学年において、医療および研究における具体的事例とともにその倫理的問題点とシステムの対応について学習し、医療チームの一員たるプロフェッショナルとして持つべき視点とそれにふさわしい倫理的思考を構築する。

授業の到達目標

医学生、歯学生、医師あるいは歯科医師として求められる実践的倫理判断の養成を図る。これまでに培った個別的文献型倫理学から発展させ、医療チームの一員たるプロフェッショナルとして持つべき視点を構築する。すなわち、将来実際に経験することになる医療や研究の現場の具体的事例について、単に批評するだけでは済まされず、実際に判断し、指示を出し、さらにその責任を取らなければならない立場にある医師および歯科医師の持つべき倫理的思考過程について学習し、応用し自ら考えることでそれを構築・実践する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/5	09:00- 09:50	医学科 講義室 2	生命倫理 I - 3	医の倫理「医科診療に潜む倫理的課題」	石井 秀人
2	4/12	09:00- 09:50	医学科 講義室 2	生命倫理 I - 4	医の倫理「歯科診療に関わる倫理的課題」	水口 俊介
3	4/19	09:00- 09:50	医学科 講義室 2	生命倫理 I - 5	医の倫理「医療事故と法的課題」	高瀬 浩造
4	4/26	09:00- 09:50	医学科 講義室 2	生命倫理 I - 6	医の倫理「保険診療・診療報酬と倫理的課題」	藍 真澄
5	5/10	09:00- 09:50	医学科 講義室 2	生命倫理 I - 7	医の倫理「輸血に関連した倫理的課題」	梶原 道子

6	5/24	09:00- 09:50	医学科 講義室 2	生命倫理 I - 8	医の倫理「生殖医療に関わる倫理的問題」	甲畑 宏子
7	6/7	09:00- 09:50	医学科 講義室 2	生命倫理 I - 9	医療経済を考える	井伊 雅子
8	6/14	09:00- 09:50	医学科 講義室 2	生命倫理 I - 10	到達度評価・甲	江花 有亮
9	1/17	10:05- 10:55	医学科 講義室 2	生命倫理 I - 11	医療倫理「救命救急と倫理的問題(トリアージなど)」	大友 康裕
10	1/24	10:05- 10:55	医学科 講義室 2	生命倫理 I - 12	医の倫理「終末期医療と倫理(亜急性型の終末期、がん等)」	三宅 智
11	1/31	10:05- 10:55	医学科 講義室 2	生命倫理 I - 13	医の倫理「終末期医療と倫理(慢性型の終末期)」	阿部 庸子
12	2/7	10:05- 10:55	医学科 講義室 2	生命倫理 I - 14	医の倫理「脳死判定と臓器移植」	坂下 千瑞子
13	2/7	11:10- 12:00	医学科 講義室 2	生命倫理 I - 15	研究倫理「医学系研究デザイン」	江花 有亮
14	2/14	10:05- 10:55	医学科 講義室 2	生命倫理 I - 16	宗教と倫理	小川 有閑
15	2/14	11:10- 12:00	医学科 講義室 2	生命倫理 I - 17	宗教と倫理	小川 有閑

授業方法

講義・グループワーク

自分が実際に考えることが重要であるため、グループワーク、討論、発表といった、単なる座学ではなく、参加型の講義形式も予定している。諸君の積極的な参加を期待している。

授業内容

詳細は別授業日程表のとおり

臨床の課題はより現実的に考えることが重要であるため、できる限り当該臨床科目の履修時期にあわせて講義予定を組んでいる。

担当講師は、医療のさまざまな領域で活動する専門医、専門職の講師をはじめとして、医療以外の分野で活動している実

務者にもそれぞれの立場からみた医療や研究について、すなわち他職種や医療者以外の倫理観を含めて問題提起あるいは情報提供を得て、医療者・研究者の倫理について実践的な講義を展開する。

成績評価の方法

講義への出席を単位取得の必要条件とし、第3学年前期と第4学年前期の2回実施する到達度評価甲・乙(50～60%)、適宜実施する小テストおよび小レポート、プレゼンテーションおよびディスカッションへの参加、素行等(50～60%)をもとにあわせて総合的に評価する。

成績評価の基準

第3学年前期と第4学年前期の2回実施する到達度評価甲・乙の点数、適宜実施する小テストおよび小レポートの点数(医師および歯科医師の持つべき視点と倫理的思考過程について習得し、応用し自ら考えることができているかどうか)、プレゼンテーションおよびディスカッションへの参加の教員評価(積極的に参加しているか、適切な関与をおこなっているか)等を合計し、60点未満を不合格とする。尚、反プロフェッショナル行為(不正なコピー、試験の不正、出席の不正)がみられた場合は成績に関わらず不合格とする。

準備学習などについての具体的な指示

あらかじめ講義のトピックスについて少しインターネット等で調べて、そのトピックスに関連する倫理的問題に対して自分なりの見解をもって講義に臨むことが好ましい。

試験の受験資格

講義への出席が、講義時間数の3分の2以上であること。(第3学年前期の到達度評価甲については、第2学年から第3学年前期の到達度評価甲前までの全9回の講義のうち、6回以上の出席であること。第4学年前期の到達度評価乙については、第3学年前期の到達度評価甲後から第4学年前期の到達度評価乙までの全12回(予定)(同一日の連続する時限についてはそれぞれ1時限で1回とみなす)のうち、8回以上の出席であること。各回の講義についての出席の要件は、下記の履修上の注意を参照のこと)

教科書

教科書は使用せず、レジュメ・資料等をそのつど配布する。

履修上の注意事項

授業責任者からの連絡は、WebClassで行うので確認すること。「到達度評価甲」「到達度評価乙」の回では、到達度を測る。定期試験は実施しないが、進級のためには全授業回数(2限連続は2回)の2/3以上の出席が必要。医師、歯科医師といった医療者に期待される倫理観を培うために、それぞれの講義時に自ら系統的に考えることが最も重要である。各回の講義について遅刻、早退は系統的に問題に対処する趣旨に反するため、原則的に認めない。また、出席等の手続きについての不正に対しては、医療者に期待される倫理観から著しく外れることから、厳正に対処する。

備考

○問い合わせ先(講義担当教員)

(教員名)(診療科・分野)

江花有亮 生命倫理研究センター ebnyksk.bip@mri.tmd.ac.jp

参照ホームページ

吉田 雅幸: オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡してから訪問すること。

水口 俊介: 随時

時間割番号	011073					
科目名	医歯学基盤教育(臨床統計Ⅱ)					
担当教員						
開講時期	通年	対象年次	3			
主な講義場所 3号館3階講義室2						
授業の目的、概要等 医療・研究において必要とされる統計学の臨床的意義と応用法を学ぶ						
授業の到達目標 エビデンスを正しく読解・活用できる実践技能を習得する.具体的には,実際の英文論文の批判的吟味ができ,具体的な臨床研究の作り方の理解ができることを最低限の到達目標とする. 文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成 28 年度改訂版) http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm B-1-1)①②③④ B-1-2)①②③ B-1-3)①②③⑤ B-1-4)①②④⑤ B-1-5)②⑤ B-3-1)②③ B-4-1)⑬⑭						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/12	10:05- 10:55	医学科 講義室 2	臨床統計Ⅱ-1	EBM/EBD 実践	能登 洋
2	9/12	11:10- 12:00	医学科 講義室 2	臨床統計Ⅱ-2	EBM/EBD 実践	能登 洋
3	9/19	10:05- 10:55	医学科 講義室 2	臨床統計Ⅱ-3	EBM/EBD 実践	能登 洋
4	9/19	11:10- 12:00	医学科 講義室 2	臨床統計Ⅱ-4	EBM/EBD 実践	能登 洋
5	9/26	10:05- 10:55	医学科 講義室	臨床統計Ⅱ-5	EBM/EBD 実践	能登 洋

			2			
6	10/3	10:05- 10:55	医学科 講義室 2	臨床統計Ⅱ-6	EBM/EBD 実践	能登 洋
7	10/1 0	10:05- 10:55	医学科 講義室 2	臨床統計Ⅱ-7	EBM/EBD 実践	能登 洋
8	10/1 7	10:05- 10:55	医学科 講義室 2	臨床統計Ⅱ-8	EBM/EBD 実践	濱 洋平
9	10/1 7	11:10- 12:00	医学科 講義室 2	臨床統計Ⅱ-9	EBM/EBD 実践	金澤 学
10	10/3 1	10:05- 10:55	医学科 講義室 2	臨床統計Ⅱ-10	EBM/EBD 実践	能登 洋
11	11/7	10:05- 10:55	医学科 講義室 2	臨床統計Ⅱ-11	EBM/EBD 実践	能登 洋
12	11/2 1	10:05- 10:55	医学科 講義室 2	臨床統計Ⅱ-12(試 験日)	応用演習	能登 洋

授業方法

講義・演習による

授業内容

・相関・診断・治療/予防に関する EBM/EBD(論文実践)

成績評価の方法

科目責任者が,応用演習を主として判定する.

成績評価の基準

科目責任者が,応用演習中に行う試験を主として判定する. 追試・再試については原則として東京医科歯科大学試験規則に従う.

準備学習などについての具体的な指示

教科書を活用して予習・復習に役立てること. また, e ラーニングシステムに事前掲載された資料に目を通し,指示がある場合は事前準備(Web Class へのログイン,資料のダウンロード,リンクサイトからの情報収集等)を行うこと.

試験の受験資格

臨床統計Ⅰ単位取得済みであること.(履修上の注意事項参照)

教科書

スッキリわかる!臨床統計はじめの一步 : 統計のイロハからエビデンスの読み解き方・活かし方まで/能登洋 著,能登,洋.:羊土社, 2018

参考書

EBM の正しい理解と実践 Q&A : 一問一答で疑問解消,ケーススタディで即実践! / 能登洋 著, : 羊土社, 2003

日常診療にすぐに使える臨床統計学 : ベストな診断と治療ができる! / 能登洋 著, : 羊土社, 2011

2 週間でマスターするエビデンスの読み方使い方のキホン = 2 WEEKS TO MASTER THE BASICS OF EVIDENCE APPRAISAL AND APPLICATION : すぐにできる EBM 実践法 / 能登洋 著, : 南江堂, 2013

他科目との関連

グローバルコミュニケーション・生命倫理と相互関連した講義内容である。

履修上の注意事項

・予習課題や試験について事前連絡することがあるため, Web Class を受講前に確認すること ・「応用演習」の回では到達度を測る目的で試験を実施する。 ・進級のためには全授業回数(2限連続は2回)の2/3以上の出席が必要 ・各講義の遅刻・早退は原則的に認めない。また, 出席手続きなどの不正に対しては厳正に対処する。

備考

担当教員: 能登 洋, 水口 俊介

時間割番号	011074		
科目名	医歯学基盤教育(グローバル・コミュニケーションⅡ)		
担当教員	高田 和生, JANELLE RENEE MOROSS		
開講時期	通年	対象年次	3
<p>主な講義場所</p> <p>Class A: 医学科講義室 2:3 号館 3 階</p> <p>Class B: 共用セミナー室 11:M&D タワー6 階</p> <p>Class C: 共用セミナー室 5:M&D タワー15 階</p> <p>Class D: 共用セミナー室 6:M&D タワー15 階</p> <p>Class E: 共用セミナー室 10:M&D タワー8 階</p> <p>Class F: 共用セミナー室 12:M&D タワー6 階</p> <p>Class G: 共用セミナー室 7:M&D タワー14 階</p> <p>Class H: 共用セミナー室 4:M&D タワー22 階</p>			
<p>主な講義場所</p> <p>教室について WebClass のファイルを確認してください。</p> <p>Please check the Class Division file on WebClass.</p>			
<p>授業の目的、概要等</p> <p>本学は、基本理念の一つに「国際性と指導力を備えた人材の育成」を掲げている。グローバル化が進む昨今、世界の共通言語である英語は、医学・歯学研究の最先端におけるコミュニケーションおよび情報発信ツールにとどまらず、国家・地域レベルでの健康向上のために医療をリードし、そして世界標準に沿った質の高い医療・歯科医療を提供するための情報収集・意見交換ツールとして、必要不可欠である。したがって、本学の基本理念達成には、世界規模で注目されている医療・健康問題に精通し、論理的な思考のもとに意見を持ち、国際舞台で世界共通限度である英語で議論を行うのに必要な「適切な基準や根拠に基づく、論理的で、偏りのない思考」、いわゆる「クリティカルシンキング」ができなくてはならない。そこで、本科目においては、到達目標を以下のように設定する。そして、並行して進む医歯学専門教育、生命倫理教育、臨床統計教育と本科目での学習内容を可能な範囲でリンクさせることにより、双方に対しての更なる学習動機づけおよび学習効果向上を図り、21 世紀の医療を担い、リードする医師、歯科医師に共通して必要とされる基盤資質の修得のための学習機会を提供する。</p> <p>General Course Information: This University has set "Training human resources with an excellent international sense and an awareness of international competitiveness" as their educational philosophy. With the recent progress of globalization, English proficiency is essential as a common world language; not limited to communication and information dissemination in state-of-the-art medicine and dentistry research, or to lead medical health improvement at the national and regional levels, but also important for information collection and exchange of opinions in order to provide high-quality medical and dental care along the lines of world standards.</p> <p>In order to achieve this goal, this course aims to use English not as a mere language, but for students to become familiar with the medical and health issues that have been attracting attention on a global scale. Also, through these topics students will learn to state an opinion on the basis of logical thinking, which is necessary to carry out discussions in the international arena. This so-called "critical thinking" method is based on the use of appropriate criteria and rationale for logical, bias-free thinking.</p>			

In order for professional education to advance in medical and dental faculties and with an aim to further the learning motivation and learning effect, the content has been linked to clinical statistics and bioethics education. This course provides a learning opportunity for acquisition of the common basic skills required in the 21 Century for medical and dental leaders.

授業の到達目標

- 1) 適切な基準や根拠に基づく、論理的で、偏りのない思考(クリティカルシンキング)ができる
- 2) 世界共通言語である英語により発信される医学関連情報に対して、1)にもとづく吟味・口頭または文書での効果的な情報発信・議論ができる
- 3) 世界の医療・健康事情の把握とそれによる広い視野を持つ

Course Learning Objectives:

At the end of the course, students will have:

- 1) Logical, unbalanced thinking (critical thinking) based on appropriate standards and grounds
- 2) Scrutiny based on 1) on medically relevant information transmitted in English, which is a universal language in the world
· Efficient dissemination and discussion of information on verbal or written documents
- 3) Grasp the medical and health circumstances of the world and have a broad perspective based on it

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	5/16	09:00- 09:50		Debate Basics	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE M OROSS	教室について WebClassを確認してください。
2	5/30	09:00- 09:50		Free Dental Care	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE M OROSS	教室について WebClassを確認してください。
3	6/20	09:00- 09:50		Upper GI vs. Endoscopy	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE M OROSS	教室について WebClassを確認してください。
4	6/27	09:00- 09:50		Percutaneous Endoscopic Gastrostomy	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE M OROSS	教室について WebClassを確認してください。
5	7/4	09:00- 09:50		Chewing and Cognitive Function	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE M OROSS	教室について WebClassを確認してください。
6	7/11	09:00- 09:50		Electronic Cigarettes	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary	JANELLE RENEE M	教室について WebClassを確認

					and Comprehension quiz at beginning of sessions.	OROSS	認してください。
7	7/18	09:00- 09:50		Chronic Obstructive Pulmonary Disease	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE M OROSS	教室について WebClass を確認してください。
8	9/12	09:00- 09:50		Autonomy	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE M OROSS	教室について WebClass を確認してください。
9	9/19	09:00- 09:50		Oral Cancer	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE M OROSS	教室について WebClass を確認してください。
10	9/26	09:00- 09:50		Alternative Therapy	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE M OROSS	教室について WebClass を確認してください。
11	10/3	09:00- 09:50		Gender Identity Dysphoria	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE M OROSS	教室について WebClass を確認してください。
12	10/1 0	09:00- 09:50		Baby Farming	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE M OROSS	教室について WebClass を確認してください。
13	10/1 7	09:00- 09:50		Prostate Cancer	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE M OROSS	教室について WebClass を確認してください。
14	10/2 4	09:00- 09:50		Diabetes	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE M OROSS	教室について WebClass を確認してください。
15	10/2 4	10:05- 10:55		Presentations by Group 1	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE M OROSS	教室について WebClass を確認してください。
16	10/3 1	09:00- 09:50		Thyroid Diseases	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary	JANELLE RENEE M	教室について WebClass を確認

					and Comprehension quiz at beginning of sessions.	OROSS	認してください。
17	11/7	09:00- 09:50		Genetic testing and abortion	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE M OROSS	教室について WebClass を確認してください。
18	11/1 4	09:00- 09:50		Cosmetic Surgery	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE M OROSS	教室について WebClass を確認してください。
19	11/1 4	10:05- 10:55		Presentations by Group 2	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE M OROSS	教室について WebClass を確認してください。
20	11/2 1	09:00- 09:50		Atopic Dermatitis	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE M OROSS	教室について WebClass を確認してください。
21	11/2 8	09:00- 09:50		Hay Fever	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE M OROSS	教室について WebClass を確認してください。
22	11/2 8	10:05- 10:55		Presentations by Group 3	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE M OROSS	教室について WebClass を確認してください。
23	12/5	09:00- 09:50		Influenza Vaccine	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE M OROSS	教室について WebClass を確認してください。
24	12/5	10:05- 10:55		Presentations by Group 4	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE M OROSS	教室について WebClass を確認してください。
25	12/1 2	09:00- 09:50		Human Immunodeficiency Virus	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE M OROSS	教室について WebClass を確認してください。
26	12/1 2	10:05- 10:55		Presentations by Group 5	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary	JANELLE RENEE M	教室について WebClass を確認

					and Comprehension quiz at beginning of sessions.	OROSS	認してください。
27	12/1 9	09:00- 09:50		Fluorosis	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE M OROSS	教室について WebClass を確認してください。
28	12/1 9	10:05- 10:55		Presentations by Group 6	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE M OROSS	教室について WebClass を確認してください。
29	1/9	09:00- 09:50		LGBT Patients	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE M OROSS	教室について WebClass を確認してください。
30	1/9	10:05- 10:55		LGBT Patients	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE M OROSS	教室について WebClass を確認してください。
31	1/16	09:00- 09:50		Bedridden Patient Care	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE M OROSS	教室について WebClass を確認してください。
32	1/23	09:00- 09:50		Physician Assisted Suicide	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE M OROSS	教室について WebClass を確認してください。
33	1/30	09:00- 09:50		Foreign Medical Professionals	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE M OROSS	教室について WebClass を確認してください。
34	2/6	09:00- 09:50		Routine Testing	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE M OROSS	教室について WebClass を確認してください。
35	2/13	09:00- 09:50		Giving Bad News	Discussion and Debate on medical topics. Vocabulary and Comprehension quiz at beginning of sessions.	JANELLE RENEE M OROSS	教室について WebClass を確認してください。

授業方法

授業における全ての学習活動は英語で行われる。

1. Small group discussion

医歯学専門知識修得ステージ／生命倫理および臨床統計学習内容に合わせたトピック・論点を選定し、2 から 4 人ずつの小グループにて議論を行う。毎回 Native level speaker(s)を講師兼 Moderator/facilitator として配する。議論のプロダクトを、文書または口頭にて発表する機会も用意する。クリティカルシンキングのための導入および振り返り機会を適宜用意する。※注：生徒は TOEFL スコアと学習意欲の証明に基づいてクラス分けされる。学生が授業のレベルを上下に変えたいという希望がある場合は、その理由を明記したメッセージをこのコースのディレクターに送ることで調整される場合もある。

2. 医学関連英語語彙・フレーズの習得

医歯学専門知識習得ステージに合わせたスケジュールを組み、発音も重視した学習を行う。毎回あらかじめ学習内容を指定し、授業において Vocabulary quiz という形で学習度の確認を行う。

Learning Methods:

All learning activities in class are conducted in English.

1. Small group discussion

Discussion on the selected topic, relevant to the acquisition of medical and dental expertise in bioethics and clinical statistics, learning is carried out in small groups of 2 to 4 students. Native level English speakers are employed in the role of lecturer, moderator/ facilitator. Opportunities to present outcomes of discussion are made available in either written or verbal form. Appropriate introduction to topic and opportunities for reflection of critical thinking are given. ※Note: Students are divided into classes based on TOEFL scores and proof of willingness to learn. If students have a desire to change class levels, either up or down, they should send a message to the directors of this course stating their reasons and positive action will be taken.

2. Medically Relevant English Vocabulary and Phrases

Selected specialized medical and dental vocabulary is given based on students' learning stage, the learning of correct pronunciation is also emphasized. The content is specified in advance and level of achievement is confirmed in the form of a vocabulary quiz in class.

授業内容

詳細は別表のとおり

Course Content: See course outline.

成績評価の方法

最終成績は以下にもとづき判定される。Final grade is determined based on the following:

- ・ Vocabulary quiz performance
- ・ Class participation (discussion/presentation/homework)
- ・ Optional essays

成績評価の基準

最終成績は下記比重による。Final grade is calculated as follows:

- ・ Vocabulary quiz performance (30%)
- ・ Class participation (discussion/ presentation/ homework) (70%) ※ Grades are given for each session based on preparation for class and activity in group discussion. 注: グループディスカッションの準備と参加に基づいて、各セッションの成績が与えられる。
- ・ Optional essays (bonus)

準備学習などについての具体的な指示

指示に従い Vocabulary quiz のための学習およびグループ議論、ディベート、口頭プレゼンテーションの準備をしてくること。その際、科目担当者からの指示(文書・口頭)に従うと共に、指定される資料だけでなく、インターネットなどを用いて議論を深めるために役立つ他資料や情報を主体的に収集し、準備に努めること。

Session Preparation: Prelearning and preparation, as per instructions, are necessary for vocabulary quizzes, group discussions, debates, and oral presentations. Also, following the verbal or written instruction of the course planner, students should strive to prepare information in addition to the assigned materials to assist in deepening class discussion, either through the Internet or other sources.

試験の受験資格

本科目においては最終試験は行わないが、進級のためには「欠席」が全セッションの 3 分の 1 以下であることを必要条件とする(十分条件ではない)。なお、本科目における出欠確認方法および出欠ルールを以下の通りとする。病気等による欠席は、診断書が提出されたとしても欠席として扱われる。

【出欠確認方法】

本科目ではカードリーダーによる出欠管理は行わず、授業を通して担当講師が出欠を確認する。出欠状況は毎セッション終了後にデータ整理後 WebClass に掲示する。出欠状況について授業責任者側から個別に連絡・注意することはしないため、各自で確認し適切に行動すること。確固たる証拠にもとづく事実相違がある場合は、授業責任者に相談すること。

【出欠ルール】

- ・ 授業開始時より授業終了時まで在室した場合を「出席」とする
- ・ 授業開始時に在室していなかったが授業開始後 10 分以内に来室し、授業終了時まで在室した場合を「遅刻」とし、「遅刻」3 回を「欠席」1 回とカウントする。
- ・ 授業開始後 10 分経過時以降の来室(または授業終了時まで来室なし)、または、来室時間に限らず授業終了の前に退室した場合は、「欠席」とする。

Final Exam: Although there is no final exam in this course, absence of less than one third of all sessions is required in order to pass.

Attendance: Absences due to illness, etc. are not excused, but treated as an absence. (Even if you have a medical certificate from the doctor.) Attendance will be taken by the instructor, and posted on WebClass after the end of each session for students to keep track. If a discrepancy occurs, please provide evidence of attendance and talk with the instructor in charge of the class.

Rules: Tardiness is taken seriously in this course as it hinders the learning of the entire group as well as the person who is

late. Attendance means present from the start of the lesson until the end. If students arrive after the start of class up until 10 minutes after, they will be marked tardy. If students arrive after 10 minutes, they will be marked absent. (3 tardys = 1 absence)

教科書

最新医学用語演習 : 医学英語演習 / 岡田聚, 名木田恵理子 著, : 南雲堂, 1993

Please check WebClass

参考書

最強のクリティカルシンキング・マップ : あなたに合った考え方を見つけよう : critical thinking map / 道田泰司 著, : 日本経済新聞出版社, 2012

クリティカルシンキング : あなたの思考をガイドする40の原則入門編 / E. B. ゼックミスタ 著, 宮元 博章 訳, : 北大路書房

クリティカルシンキング : あなたの思考をガイドする 40 の原則 / Zechmeister, Eugene B., Johnson, James E., 宮元, 博章, 道田, 泰司, 谷口, 高士, 菊池, 聡, : 北大路書房, 1996

履修上の注意事項

遅刻は本人の学習の妨げになるほか、同じグループのメンバーの学習にも大きな迷惑となることから、厳しく取扱う。

Caution: Tardiness causes a major nuisance to other members of your group and is handled in a strict manner. Please come to class on time.

連絡先

高田 和生: takada.rheu@tmd.ac.jp

JANELLE RENEE MOROSS: jmoross.isc@tmd.ac.jp

オフィスアワー

高田 和生: オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡してから訪問すること。

JANELLE RENEE MOROSS: 毎週月曜日 PM 4:00-5:00 1号館-4階 教授室

第4学年

時間割番号	011054				
科目名	公衆衛生学				
担当教員	藤原 武男				
開講時期	1.5 通年	対象年次	3~4	単位数	2
英文名 : Public Health					
主な講義場所					
3号館3階 医学科講義室2					
授業の目的、概要等					
疾病の環境要因について学び、その予防について考察できる能力を獲得することを目的とする。					
授業方法					
講義及び課題研究を行う					
【課題研究】					
設定された課題について、5-6名のグループで1つのレポートを作成する。課題およびグループ割については別途連絡する。					
○レポート提出(締切:5月20日(金)、期限を過ぎた提出は認めない)					
本文はWord等で作成し、電子ファイルをWebclassより*提出する。					
Webclassでの提出箱の開設は5月始めを予定している。					
* Webclass 上での提出操作がわからない場合は、次のメールアドレスに添付ファイルとして提出することも可(木津喜:kizuki.hlth@tmd.ac.jp)。					
過去レポートの閲覧およびレポート提出用のWebclassは、「FMS16005 M3 公衆衛生学 2016」とする。					
成績評価の方法					
筆記試験の結果および課題研究の成果、その他授業中に示す。					
準備学習などについての具体的な指示					
事前にWebclassにアップした資料(論文、著作、教科書のチャプター等)がある場合、しっかり読んでおくこと。					
試験の受験資格					
講義への8回以上の出席 満たさない場合は受験できない。 (東京医科歯科大学試験規則第5条に基づく)					
教科書					
社会疫学ノリサ・F・バークマン, イチロー・カワチ, M・マリア・グリモール 編, 高尾総司, 藤原武男, 近藤尚己 監訳, :大修館書店, 2017					
社会疫学ノリサ・F・バークマン, イチロー・カワチ, M・マリア・グリモール 編, 高尾総司, 藤原武男, 近藤尚己 監訳, :大修館書店, 2017					
参考書					
Oxford Textbook of Public Health (5 ed.) / Roger Detels, Robert Beaglehole, Mary Ann Lansang, and Martin Gulliford : Oxford					

University Press, 2011

Maxey-Rosenau-Last Public Health and Preventive Medicine (15 ed.)／Robert Wallace: McGraw-Hill Medical, 2007

A Dictionary of Epidemiology. 6th ed.／International Epidemiological Association: Oxford University Press, 2014

厚生指標 増刊 国民衛生の動向／厚生労働統計協会: 厚生労働統計協会, 毎年

厚生労働白書／厚生労働省: 日経印刷, 毎年

ロスマンの疫学 : 科学的思考への誘い／KENNETH J.ROTHMAN [著], 矢野栄二, 橋本英樹, 大脇和浩 監訳.: 篠原出版新社, 2013

Rothman KJ, Greenland S, Lash TL. Modern epidemiology. 3rd ed. Philadelphia: Lippincott Williams & Wilkins; 2008.

Aschengrau A, Seage GR. Essentials of Epidemiology in Public Health. 3rd ed. Burlington: Jones & Bartlett Learning; 2014.

他科目との関連

公衆衛生学は典型的な社会医学であるから、基礎医学、臨床医学の各科目と深く関係する。系別講義「社会医学」の他、系統講義「衛生学」、「医動物学」、「法医学」とは特に密接に関連する。

時間割番号	011083						
科目名	公衆衛生学(M4)						
担当教員	森田 彩子, 藤原 武男						
開講時期	前期	対象年次	4				
英文名 : Public Health in Practice							
授業の目的、概要等							
公衆衛生学の現場に学び、実際に役立つスキルを獲得する。							
授業の到達目標							
文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成 28 年度改訂版) http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm							
B-1-1)①②③④							
B-1-2)①②③④⑤⑥							
B-1-3)①②③④⑤⑦							
B-1-4)①②③④⑤							
B-1-5)①②③④⑤⑥							
B-1-6)①②③④							
B-1-7)①②③④⑤⑥⑦							
B-1-8)①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬							
B-1-9)①②							
B-4-1)①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-5	5/20	09:00- 17:10	6 階学 生実習 室, 共 用講義 室 1, 情 報検索 室, アク ティブラ ーニン グ教室	公衆衛生学実習	RCT、サンプルサイズ講義; 「社会医学」上下巻	藤原 武男, 森田 彩子, 那波 伸敏, 土井 理美, 伊角 彩, 松 山 祐輔, 谷 友香子	アクティブ・ラー ニング(AL)の 手法:実習+グ ループワーク
6-10	5/21	09:00- 17:10	6 階学 生実習 室, アク ティブラ ーニン グ教室	公衆衛生学実習	「社会医学」上下巻	藤原 武男, 森田 彩子, 那波 伸敏, 土井 理美, 伊角 彩, 松 山 祐輔, 谷	AL の手法:実 習+グループワ ーク

						友香子	
11-15	5/22	09:00-17:10	6階学生実習室, アクティブラーニング教室	公衆衛生学実習	「社会医学」上下巻	藤原 武男, 森田 彩子, 那波 伸敏, 土井 理美, 伊角 彩, 松山 祐輔, 谷友香子	ALの手法:実習+グループワーク
16-20	5/23	09:00-17:10	6階学生実習室, アクティブラーニング教室	公衆衛生学実習	「社会医学」上下巻	藤原 武男, 森田 彩子, 那波 伸敏, 土井 理美, 伊角 彩, 松山 祐輔, 谷友香子	ALの手法:実習+グループワーク
21-25	5/24	09:00-17:10	6階学生実習室, アクティブラーニング教室, 情報検索室, アクティブラーニング教室	公衆衛生学実習	発表会(プレゼンテーション)	藤原 武男, 森田 彩子, 那波 伸敏, 土井 理美, 伊角 彩, 松山 祐輔, 谷友香子	ALの手法:実習+グループワーク

成績評価の方法

グループプレゼンテーションおよびレポートによる。

準備学習などについての具体的な指示

事前に Webclass にアップした資料(論文、著作、教科書のチャプター等)がある場合、しっかり読んでおくこと。

教科書

社会疫学 上/リサ・F・パークマン, Berkman, Lisa F., 河内, 一郎, Glymour, M. Maria, 高尾, 総司, 藤原, 武男, 近藤, 尚己, : 大修館書店, 2017-09

社会疫学 下/リサ・F・パークマン, イチロー・カワチ, M・マリア・グリモール 編, 高尾総司, 藤原武男, 近藤尚己 監訳, Berkman, Lisa F., Kawachi, Ichirō, Glymour, M. Maria, 高尾, 総司, 藤原, 武男, 近藤, 尚己, : 大修館書店, 2017

他科目との関連

公衆衛生学は典型的な社会医学であるから、基礎医学、臨床医学の各科目と深く関係する。系別講義「社会医学」の他、系統講義「衛生学」、「医動物学」、「法医学」とは特に密接に関連する。

時間割番号	011076				
科目名	生殖・発達				
担当教員					
開講時期	前期	対象年次	4	単位数	4
Obstetrics Pediatrics					
授業の目的、概要等					
<p>第1・2週は「小児疾患」を講義形式、アクティブラーニング、ミニケース形式で学ぶとともに、TBLにて小児の縦断・横断的疾患について総合討議をしながら学んでゆく。</p> <p>第3週では性周期から妊娠・出産(正常・異常)および不妊症・産婦人科領域の疾患を講義形式で学び、ミニケース形式で不妊症を、TBLにて周産期の疾患を総合討議をしながら学んでゆく。</p> <p>第4週では婦人科悪性腫瘍を講義形式、ミニケース形式で学ぶとともに、婦人科悪性腫瘍について病理実習を組み込む。</p>					
授業の到達目標					
<p>小児の発達を理解できる。</p> <p>小児科における主要な病気、病態を理解できる。</p> <p>小児科を取り巻く社会的背景、小児科にかかわる先端医療の知識に触れる。</p> <p>女性の生殖・内分泌機能、妊娠の成立過程についての基礎を確認・理解する。</p> <p>月経異常・不妊症の原因について、原因検索のためのアプローチ・治療法を学び・理解する。</p> <p>妊娠から分娩に至るまでの正常・異常な経過について理解・説明することができる。</p> <p>女性生殖器における症性腫瘍・感染性疾患・女性特有の加齢性変化について病態を理解し、説明できる。</p> <p>女性生殖器の悪性腫瘍について病態・検査方法・治療を理解し、説明できる。</p> <p>文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成28年度改訂版) http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm</p> <p>D-1-1)②③④⑥⑦⑧ D-1-2)①② D-1-3)①②③④⑤⑥⑦ D-1-4)-(1)①②④⑤ D-1-4)-(2)①②③④⑤⑥⑦ D-1-4)-(4)①②③④⑥⑧ D-2-4)-(3)① D-2-4)-(6)② D-2-4)-(7)① D-2-4)-(9)①</p>					

D-5-3)⑦

D-8-1)③④⑤⑥⑦

D-8-2)①③

D-8-3)-(1)①

D-8-3)-(3)①②③④

D-8-4)-(1)①②③④⑤⑥

D-8-4)-(2)①②③④⑤

D-8-4)-(5)①

D-8-4)-(6)④⑤

D-8-4)-(7)①

D-9-1)①②③④⑤⑥⑦⑧⑨

D-9-2)-(2)①②③④

D-9-3)-(2)①②③④

D-9-3)-(3)①

D-9-3)-(4)①②③④⑤

D-9-4)-(1)①③

D-9-4)-(2)①②③④⑤⑥

D-9-4)-(3)③④⑤

D-10-1)①②③④

D-10-2)①②③

D-10-3)①②③④⑤⑥⑦⑧

D-10-4)①②③④⑤

D-10-5)②

E-2-3)①②③⑤⑥⑧⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓

E-2-4)-(1)①②③④⑤⑦⑧

E-2-4)-(2)①②③④⑤⑥⑧⑨⑩⑫⑬

E-2-4)-(3)①②③

E-2-4)-(4)①②③④

E-3-1)①②③

E-3-2)①②③

E-3-3)①②③④⑦

E-3-5)⑨

E-4-1)①

E-4-2)①②③⑤⑥⑦⑩

E-4-3)-(3)③

E-5-2)①②④⑦⑩⑪⑫

E-7-1)①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩

E-7-4)①②③

F-1-1)①②③

F-1-4)①②③

F-1-5)①②③

F-1-10①②③

F-1-11①②③

F-1-20①②③

F-1-25①②③

F-1-30①②③

F-2-3)⑥⑦⑧

F-2-9)-(1)②⑥

F-2-9)-(2)①②③④⑤

F-3-1)①②③④

F-3-2)⑤

F-3-3)①②③

F-3-5)-(5)①②③

F-3-6)-(3)②③

F-3-6)-(4)①

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/1	09:00- 10:20	アクティ ブラーニ ング教 室	総論1:小児医療の現 状と課題(小児保健・ 成長発達・栄養)	アクティブラーニング	森尾 友宏
2	4/1	10:30- 11:50	アクティ ブラーニ ング教 室	総論2:小児の診察・ 診断学・検査総論	アクティブラーニング	森尾 友宏
3	4/1	12:50- 14:10	アクティ ブラーニ ング教 室	総論4:感染症総論 (歴史・伝播予防・予 防接種・診断)	アクティブラーニング	森尾 友宏
4	4/1	14:20- 15:40	アクティ ブラーニ ング教 室	小児感染症(ウイルス 感染症)	アクティブラーニング	森尾 友宏
5	4/2	10:30- 11:50	アクティ ブラーニ ング教 室	免疫不全	アクティブラーニング	今井 耕輔
6	4/2	12:50- 14:10	アクティ ブラーニ	内分泌・代謝 ①	アクティブラーニング	鹿島田 健 —

			ング教室			
7	4/2	14:20- 15:40	アクティ ブラーニ ング教室	神経①	講義形式	水野 朋子
8	4/2	15:50- 17:10	アクティ ブラーニ ング教室	神経②	アクティブラーニング	水野 朋子
9	4/3	09:00- 10:20	アクティ ブラーニ ング教室	小児疾患の病態探 索・治療法探索	アクティブラーニング	森尾 友宏
10	4/3	10:30- 11:50	アクティ ブラーニ ング教室	総論3: 遺伝疾患と先 天異常	アクティブラーニング	森尾 友宏
11	4/3	12:50- 14:10	アクティ ブラーニ ング教室	細菌感染症	アクティブラーニング	金兼 弘和
12	4/3	14:20- 15:40	アクティ ブラーニ ング教室	新生児①	アクティブラーニング	滝 敦子
13	4/3	15:50- 17:10	アクティ ブラーニ ング教室	新生児②	アクティブラーニング	滝 敦子
14	4/4	12:50- 14:10	アクティ ブラーニ ング教室	移行期医療	講義形式	丸 光恵
15	4/4	14:20- 15:40	アクティ ブラーニ ング教室	小児外科	講義形式	岡本 健太 郎
16	4/4	15:50- 17:10	アクティ ブラーニ	胎児医療・DOHad	講義形式	滝 敦子

			ング教室			
17	4/5	09:00- 10:20	アクティ ブラーニ ング教 室	内分泌・代謝②	講義形式	高澤 啓
18	4/5	10:30- 11:50	アクティ ブラーニ ング教 室	腎臓①	講義形式	宇田川 智 宏
19	4/5	12:50- 14:10	アクティ ブラーニ ング教 室	消化器・栄養	講義形式	清水 俊明
20	4/5	14:20- 15:40	アクティ ブラーニ ング教 室	内分泌・代謝③	講義形式	高澤 啓
21	4/8	09:00- 10:20	アクティ ブラーニ ング教 室	血液腫瘍	アクティブラーニング	高木 正稔
22	4/8	10:30- 11:50	アクティ ブラーニ ング教 室	小児がん・終末期医 療・AYA	アクティブラーニング	高木 正稔
23	4/8	12:50- 14:10	アクティ ブラーニ ング教 室	腎臓②	アクティブラーニング	宇田川 智 宏
24	4/8	14:20- 15:40	アクティ ブラーニ ング教 室	小児精神	講義形式	野村 芳子
25	4/9	10:30- 11:50	アクティ ブラーニ ング教 室	膠原病	講義形式	森 雅亮
26	4/9	12:50- 14:10	アクティ ブラーニ	アレルギー	講義形式	大柴 晃洋

			ング教室			
27	4/9	14:20- 15:40	アクティ ブラーニ ング教 室	虐待	講義形式	大森 多恵
28	4/10	09:00- 10:20	アクティ ブラーニ ング教 室	小児歯科	講義形式	宮新 美智 世
29	4/10	10:30- 11:50	アクティ ブラーニ ング教 室	呼吸器・救急	講義形式	細川 奨
30	4/10	12:50- 14:10	アクティ ブラーニ ング教 室	在宅医療	講義形式	前田 浩利
31	4/10	14:20- 15:40	アクティ ブラーニ ング教 室	循環器①	アクティブラーニング	土井 庄三 郎
32	4/10	15:50- 17:10	アクティ ブラーニ ング教 室	循環器②	アクティブラーニング	土井 庄三 郎
33	4/11	12:50- 14:10	アクティ ブラーニ ング教 室	TBL	TBL	高木 正稔
34	4/11	14:20- 15:40	アクティ ブラーニ ング教 室	TBL	TBL	高木 正稔
35	4/12	09:00- 10:20	アクティ ブラーニ ング教 室	自習	自習	森尾 友宏
36	4/12	10:30- 11:50	アクティ ブラーニ	自習	自習	森尾 友宏

			ング教 室			
37	4/12	12:50- 14:10	医学科 講義室 2	テスト	テスト	高木 正稔
38	4/12	14:20- 15:40	医学科 講義室 2	テスト	テスト	高木 正稔
39	5/7	09:00- 10:20	アクティ ブラーニ ング教 室	妊娠の生理と検査1		関口 将軌
40	5/7	10:30- 11:50	アクティ ブラーニ ング教 室	妊娠の生理と検査2		関口 将軌
41	5/7	12:50- 14:10	アクティ ブラーニ ング教 室	妊娠の異常1		廣瀬 明日 香
42	5/7	14:20- 15:40	アクティ ブラーニ ング教 室	妊娠の異常2		廣瀬 明日 香
43	5/8	09:00- 10:20	アクティ ブラーニ ング教 室	性周期と月経異常		齊藤 和毅
44	5/8	10:30- 11:50	アクティ ブラーニ ング教 室	受精と着床		中筋 貴史
45	5/8	12:50- 14:10	アクティ ブラーニ ング教 室	不妊1		平光 史朗
46	5/8	14:20- 15:40	アクティ ブラーニ ング教 室	不妊2		平光 史朗

47	5/9	12:50- 14:10	アクティ ブラーニ ング教 室	正常分娩・産褥・新生 児1		宮坂 尚幸
48	5/9	14:20- 15:40	アクティ ブラーニ ング教 室	妊孕性		石川 智則
49	5/10	09:00- 10:20	アクティ ブラーニ ング教 室	婦人科診断(症候・検 査)		寺内 公一
50	5/10	10:30- 11:50	アクティ ブラーニ ング教 室	婦人科感染症		寺内 公一
51- 52	5/10	12:50- 15:40	アクティ ブラーニ ング教 室	TBL(生殖)		岩原 由樹
53	5/13	09:00- 10:20	アクティ ブラーニ ング教 室	婦人科良性腫瘍		吉木 尚之
54	5/13	10:30- 11:50	アクティ ブラーニ ング教 室	症例(婦人科良性腫 瘍)		吉木 尚之
55	5/13	12:50- 14:10	アクティ ブラーニ ング教 室	婦人科悪性腫瘍 1		大島 乃里 子
56	5/13	14:20- 15:40	アクティ ブラーニ ング教 室	婦人科悪性腫瘍 2		若菜 公雄
57	5/14	09:00- 10:20	アクティ ブラーニ ング教 室	正常分娩・産褥・新生 児2		宮坂 尚幸

58	5/14	10:30- 11:50	アクティ ブラーニ ング教 室	分娩の異常1		辰巳 嵩征
59	5/14	12:50- 14:10	アクティ ブラーニ ング教 室	分娩の異常2		辰巳 嵩征
60	5/14	14:20- 15:40	アクティ ブラーニ ング教 室	婦人科悪性腫瘍 3		高橋 健太
61	5/15	09:00- 10:20	アクティ ブラーニ ング教 室	症例(婦人科悪性腫 瘍)		中村 玲子
62	5/15	10:30- 11:50	アクティ ブラーニ ング教 室	遺伝性腫瘍		三木 義男
63- 64	5/15	12:50- 15:40	4 階学 生実習 室	病理実習(婦人科悪 性腫瘍)		桐村 進
65- 66	5/16	12:50- 15:40	アクティ ブラーニ ング教 室	周産期ハイブリッド		滝 敦子, 関 口 将軌
67	5/17	09:00- 10:20	アクティ ブラーニ ング教 室	婦人科治療(薬物・手 術)		尾林 聡
68	5/17	10:30- 11:50	アクティ ブラーニ ング教 室	女性医学		尾林 聡
69	5/17	12:50- 14:10	医学科 講義室 1	試験準備		尾林 聡
70	5/17	14:20- 15:40	医学科 講義室	試験		尾林 聡

			1				
授業方法							
小児科 講義、アクティブラーニング、TBL							
授業内容							
(別表を参照)							
成績評価の方法							
小児科 小テスト、TBL、ブロック定期試験							
講義受講態度、ミニケース・TBL 授業における積極性を加味して、筆記試験の成績を総合して評価する。							
成績評価の基準							
小児科 小テスト(30%)、TBL(20%)、ブロック定期試験(50%)の成績で評価する。							
TBL での評価及び筆記試験の点数							
準備学習などについての具体的な指示							
講義開始前に、これまで学習した基礎医学の分野で「生殖・発達」と特に関連の深い「生命と遺伝」について復習をしておくこと。また、「解剖学」「生理学」等の各分野についても、「生殖・発達」と関連する部分の復習をしておくことが望ましい。							
小児科 小児は「小さい大人」ではない。内科疾患と対比してその相違につき予習しておくこと。また、講義を受けるにあたり、教科書に出てくる疾患名だけでも目を通し、内科学では学習しない小児特有の疾患があることを理解し、当日の講義に臨むこと。 講義では数多くある小児のすべての疾患については触れない。自主学習によって卒業までに習得しておくべきすべての知識を学ぶ必要がある。ブロック定期試験は卒業までに習得しておくべきすべての知識を対象とするので、自習時間を活用し、アクティブラーニングで行われる小テスト、ブロック定期試験のための学習を行うこと。自習に必要な資料の一部はウェブクラスで提供される。							
教科書							
小児科学／五十嵐隆 編、:文光堂, 2011 標準小児科学／森川昭廣 監修,内山聖, 原寿郎, 高橋孝雄 編、:医学書院, 2009 「標準産科婦人科学」丸尾猛・岡井崇 編 医学書院 2007 年 「プリンシパル産科婦人科学」メジカルビュー社 2008 年							
参考書							
ネルソン小児科学／衛藤義勝 監修、:エルゼビア・ジャパン, 2015 標準小児科学／森川昭廣 監修,内山聖, 原寿郎, 高橋孝雄 編、:医学書院, 2009 小児科学：講義録／佐地勉, 有阪治, 大澤真木子, 近藤直実, 竹村司 編、:メジカルビュー社, 2008 小児救急医療の理論と実践 = Pediatric emergency medicine: theory and practice／日本小児科学会, 日本小児救急医学							

会 監修,日本小児科学会小児医療委員会救急テキスト WG, 日本小児救急医学会教育・研修委員会 編著, :編集室なるにあ, 2013

「産婦人科研修の必修知識 2011」 日本産科婦人科学会 編 2011 年

「臨床研修イラストレイテッド 3. 基本手技[診察と検査]」 奈良信雄 編 羊土社 2011 年

「女性診療科 最新超音波診断」 関谷隆夫・石原楷輔 著 永井書店

「婦人科疾患の MRI 診断」 富樫かおり 著 医学書院

「産科婦人科用語集・用語解説集」 日本産科婦人科学会 編 金原出版 2008 年

「産婦人科診療ガイドライン 産科編 2011」 日本産科婦人科学会 編

「産婦人科診療ガイドライン 婦人科外来編 2011」 日本産科婦人科学会 編

「新生児蘇生法テキスト 改訂第 2 版」 田村正徳 著 メジカルビュー社

「MFICU マニュアル」 メディカ出版

「生殖医療ガイドブック 2010 (第 1 版)」 金原出版

「子宮頸癌治療ガイドライン」 日本婦人科腫瘍学会 編 金原出版

「子宮頸癌取り扱い規約」 日本産科婦人科学会 編 金原出版

「子宮体癌治療ガイドライン」 日本婦人科腫瘍学会 編 金原出版

「子宮体癌取り扱い規約」 日本産科婦人科学会 編 金原出版

「卵巣癌治療ガイドライン」 日本婦人科腫瘍学会 編 金原出版

「卵巣腫瘍取り扱い規約」 日本産科婦人科学会 編 金原出版

「婦人科がん標準化学療法の実際」 金原出版

“WHO Classification Tumors of the Breast and Female Genital Organs” A. Tavassoli & Peter Devilee

“Clinical Gynecologic Oncology” Di Saia

“Principles and Practice of Gynecologic Oncology, 5th ed.” Richard R. Baraket, Maurie Markman, Marcus E. Randall

履修上の注意事項

教科書などの成書に書かれていることは自学自習可能である。従って当ブロックでは誕生(出生)からの発達過程の生理的病的過程を成長という視点で捉え、性的成熟過程および妊娠出産という生命の一連の流れのダイナミズムを理解するうえでの見方・考え方を修得するよう心がけ、教科書では把握できないことがらに対して問題意識をもって学習に当たってほしい。 アクティブラーニングの時行われる小テストの成績が、成績の判定に使われるので留意すること。

参照ホームページ

<http://www.jsog.or.jp/activity/guideline.html>

<http://www.jsgo.gr.jp/>

<http://www.cancer.gov/>

<http://www.nccn.org/index.asp>

<http://www.uptodate.com/home/clinicians/specialties/pediatrics.html>

時間割番号	011077				
科目名	救急・麻酔				
担当教員	遠藤 彰				
開講時期	前期	対象年次	4	単位数	2
主な講義場所 医学科講義室 1					
授業の目的、概要等 救急医学の講義と実習を通じて、全ての臨床医に必要な緊急対応、総合診療、災害医療の基礎を習得する。					
授業の到達目標 文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成 28 年度改訂版) http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm D-1-3)①②③④⑤⑥⑦ D-2-3)①②③④⑤ D-2-4)-(8)① D-3-1)① D-4-3)① D-4-4)-(1)④ D-5-1)⑪⑫⑬⑭ D-5-3)①②③⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑳ D-5-4)-(1)①② D-5-4)-(3)⑥ D-5-4)-(5)⑥ D-6-3)-(2)①②③④⑤ D-6-4)-(3)③ D-7-3)-(2)①②③④⑤⑥⑦ D-7-4)-(1)① D-7-4)-(3)①② D-7-4)-(6)① D-8-1)①⑥ D-8-3)-(1)①② D-8-3)-(2)①② D-8-3)-(3)①② D-8-4)-(1)① D-8-4)-(7)② D-9-3)-(2)① D-9-3)-(4)①② D-10-2)①②③ D-13-3)-(2)①②③ D-14-3)-(2)①②					

D-14-4)-(1③④⑩)

E-2-1)①②③④⑤⑥⑦

E-2-2)①②③④⑤⑥⑦⑧

E-2-3)①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓

E-2-4)-(1)①②③④⑤

E-2-4)-(2)①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩

E-2-4)-(3)①

E-2-4)-(5)①②③

E-4-2)①②③④⑤⑥⑦⑧⑨

E-5-1)①

E-5-2)①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭

E-5-3)-(1)①②③④⑤⑥

E-5-3)-(2)①②③④

E-5-3)-(3)①②

E-9-1)①②③④⑤⑦⑨

F-1-1)①②③

F-1-2)①②③

F-1-3)①②③

F-1-4)①②③

F-1-5)①②③

F-1-6)①②③

F-1-7)①②③

F-1-8)①②③

F-1-9)①②③

F-1-10)①②③

F-1-11)①②③

F-1-12)①②③

F-1-13)①②③

F-1-14)①②③

F-1-15)①②③

F-1-16)①②③

F-1-17)①②③

F-1-18)①②③

F-1-19)①②③

F-1-20)①②③

F-1-21)①②③

F-1-22)①②③

F-1-23)①②③

F-1-24)①②③

F-1-25)①②③

F-1-26①②③

F-1-27①②③

F-1-28①②③

F-1-29①②③

F-1-33①②③

F-1-34①②③

F-1-35①②③

F-1-36①②③

F-1-37①②③

F-2-1)①②③④⑤⑥⑦⑧

F-2-2)①②③④⑤⑥⑦

F-2-3)①②③④⑤⑥⑦⑧⑩⑬⑭⑮

F-2-5)①②③④⑤

F-2-6)①②③

F-2-7)①②③④⑤⑥

F-2-8)①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭

F-2-9)-(2)①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩

F-2-10)①②③④⑤⑥⑦⑧

F-2-11)①②③④⑤

F-2-12)①

F-2-13)①②③④

F-2-14)①②③④⑤⑥⑦

F-2-15)①②③④⑤⑥⑦

F-2-16)①②③④⑤⑥

F-3-1)①②③④

F-3-2)①②③④⑤

F-3-3)①②③④

F-3-4)①②

F-3-5)-(1)①②③④⑤⑥

F-3-5)-(2)①②③④⑤⑥⑦

F-3-5)-(3)①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩

F-3-5)-(4)①②③④

F-3-5)-(5)①②③④⑤⑥

F-3-5)-(6)①②③④⑤⑥

F-3-5)-(7)①②③

F-3-6)-(1)①②③

F-3-6)-(2)①②③④⑤

F-3-6)-(3)①②③

F-3-6)-(4)①②

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/15	09:00- 10:20	アクティ ブラーニ ング教 室	麻酔総論	1. 麻酔学の概要 2. 周術期 管理の概要 3. コースにおけ る到達目標の概説	内田 篤治 郎
2	4/15	10:30- 11:50	アクティ ブラーニ ング教 室	吸入麻酔薬	1. 吸入麻酔の進化 2. 理想 の吸入麻酔の条件 3. どのよ うな物理的特性を持つ吸入麻 酔薬が導入及び覚醒が早いのか 4. 吸入麻酔薬の力価を高 めたり弱めたりする因子 5. 吸入麻酔の導入速度を高める 因子 6. 吸入麻酔薬の副作 用	山本 寛人
3	4/15	12:50- 14:10	アクティ ブラーニ ング教 室	静脈麻酔薬	臨床薬理学的な考え方を解説 するとともに、よく用いられる鎮 痛薬や鎮静薬について紹介す る	山本 寛人
4	4/15	14:20- 15:40	アクティ ブラーニ ング教 室	筋弛緩薬と拮抗薬	1. 筋弛緩薬とは 2. 脱分極性 筋弛緩薬 3. 非脱分極性筋弛 緩薬 4. 代謝と排泄 5. 効果 のモニタリング 6. 拮抗薬 7.Recurarization 8.実戦での使 用法とピットフォール	内田 篤治 郎
5	4/16	09:00- 10:20	アクティ ブラーニ ング教 室	気道確保と呼吸管理	1. 気道確保のリスク評価 2. 用手的気道確保とマスク換気 3. 気管挿管 4. 気道確保困難 とその対応 5. 気道確保の合 併症 6. 人工呼吸の基礎	金森 眸
6	4/16	10:30- 11:50	アクティ ブラーニ ング教 室	循環生理・輸血・血液 凝固	循環を構成する心臓・血液・血 管などの周術期における生理 学的特徴や術中管理における 考え方について学習する。	内田 篤治 郎
7	4/16	12:50- 14:10	アクティ ブラーニ ング教 室	脊髄くも膜下麻酔、硬 膜外麻酔、末梢神経 ブロック	1. 脊柱管ブロックに関連する 解剖 2. 脊髄くも膜下麻酔と硬 膜外麻酔の違い 3. 脊髄くも 膜下麻酔の原理、適応、生理 学的変化、副作用 4. 硬膜外 麻酔の原理、適応、生理学的	北條 亜樹 子

					変化、副作用 5. 末梢神経ブロック	
8	4/16	14:20- 15:40	アクティ ブラーニ ング教 室	周術期管理	合併症のコントロール、術前休 薬の考え方、疼痛コントロー ル、早期回復	北條 亜樹 子
9	4/17	09:00- 10:20	アクティ ブラーニ ング教 室	小児麻酔・産科麻酔	小児および妊婦を対象とした 麻酔管理において考慮すべき 重要なポイントを解説する。	竹本 彩
10	4/17	10:30- 11:50	アクティ ブラーニ ング教 室	成人における麻酔各 論	心臓手術、呼吸器外科手術、 脳外科手術	山本 雄大
11	4/17	12:50- 14:10	アクティ ブラーニ ング教 室	手術の安全とモニタリ ング	安全な手術の施行において知 っておくべきこと、および術中モ ニタリングについて学習する	塚田 さよみ
12	4/17	14:20- 15:40	アクティ ブラーニ ング教 室	術中緊急事態への対 応	術中の緊急事態についての考 え方をまとめ、対処の基本を学 習する。	内田 篤治 郎
13	4/18	12:50- 14:10	アクティ ブラーニ ング教 室	局所麻酔と局所麻酔 法	1. 局所麻酔薬の化学構造 2. 局所麻酔薬の作用機序とその 作用に影響を与える因子 3. 局所麻酔薬中毒の予防と中毒 発生時の対応 4. 代表的な 局所麻酔薬 5. 局所麻酔薬 を使用する神経ブロックの種類	舩田 昭夫
14	4/18	14:20- 15:40	アクティ ブラーニ ング教 室	疼痛生理とペインクリ ニック	1. 感覚を伝える神経線維の種 類とその機能 2. 感覚神経の 中枢への伝達経路 3. 侵害 受容性疼痛、神経障害性疼 痛、心因性疼痛の概念 4. ペ インクリニックにおける神経ブ ロックをはじめとする鎮痛方法 5. 癌性疼痛に対するペインク リニックの役割	舩田 昭夫
15	4/19	09:00- 10:20	医学科 講義室	人工呼吸と急性肺傷 害	人工呼吸: 1. 人工呼吸の適 応 2. 陽圧呼吸の分類 3. 人	若林 健二

			2		工呼吸の合併症 ARDS: 1. ARDS の原因と発症機序 2. ARDS 診断基準 3. ARDS の治療戦略	
16	4/19	10:30- 11:50	医学科 講義室 2	試験(麻酔、集中治療)	試験は記述式で行なう。	内田 篤治 郎
17	4/22	09:00- 10:20	アクティ ブラーニ ング教 室	導入と救急初期診療 1	救急医学を概説する。救急初期診療における、研修目標(Core competencies)安全管理とスタンダードプリコーションなど基本的な手順を学習する。	白石 淳, 関 谷 宏祐
18	4/22	10:30- 11:50	アクティ ブラーニ ング教 室	救急初期診療 2	救急初期診療における、バイタルサインの把握、初期介入(ABCDE アプローチ)と臨床推論について学習する。	白石 淳, 関 谷 宏祐
19	4/22	12:50- 14:10	アクティ ブラーニ ング教 室	ショック	生理学的な緊急事態であるショックの原因と分類と、輸液療法を含む初期対応を学習する。	相星 淳一
20	4/22	14:20- 15:40	アクティ ブラーニ ング教 室	心肺蘇生	心肺蘇生の解剖生理学的な理論的背景と、実践について学習する。	大友 康裕
21	4/23	09:00- 10:20	アクティ ブラーニ ング教 室	敗血症		遠藤 彰
22	4/23	10:30- 11:50	アクティ ブラーニ ング教 室	TBL(初期診療)		遠藤 彰, 関 谷 宏祐, 白 石 淳
23	4/23	12:50- 14:10	アクティ ブラーニ ング教 室	中毒	中毒について、安全に配慮した初期対応と、トキシドロームから特異的治療に至るまでの診療の流れを学習する。	落合香苗
24	4/23	14:20- 15:40	アクティ ブラーニ ング教	災害医療	全ての医療者に必要な災害医療の基本的知識を学ぶ。	大友 康裕

			室			
25	4/24	09:00- 10:20	アクティ ブラーニ ング教 室	環境障害・溺水		森下 幸治
26	4/24	10:30- 11:50	アクティ ブラーニ ング教 室	熱傷	緊急を要する感染症と体温異常を学習する。	森 周介
27	4/24	12:50- 14:10	アクティ ブラーニ ング教 室	外傷総論	外傷初期診療について、特に primary survey である生理学的外傷重症度の把握と初期介入について学習する。	大友 康裕
28	4/24	14:20- 15:40	アクティ ブラーニ ング教 室	外傷各論	外傷初期診療について、特に secondary survey である解剖学的外傷重症度の把握と治療について学習する。	加地 正人
29	4/25	12:50- 14:10	医学科 講義室 1	災害トリアージ		植木 穰, 大友 康裕, 本藤 憲一
30	4/25	14:20- 15:40	アクティ ブラーニ ング教 室	TBL 心肺蘇生・外傷		高山 渉, 本藤 憲一, 植木 穰
31	4/26	09:00- 10:20	アクティ ブラーニ ング教 室	輸液		
32	4/26	10:30- 11:50	アクティ ブラーニ ング教 室	多臓器不全		江頭 隆一郎
33	4/26	12:50- 14:10	医学科 講義室 1	筆記試験		

授業方法

講義と一部 TBL、実習

授業内容

授業明細を参照

成績評価の方法

出席、筆記試験と一部の TBL、実習の成績で評価する。

準備学習などについての具体的な指示

指定した教科書の基本的な内容について理解しておくこと

教科書

標準救急医学／日本救急医学会 監修,有賀徹, 坂本哲也, 嶋津岳士, 山口芳裕, 横田裕行 編集, : 医学書院, 2014

ミラー麻酔科学／ロナルド・D.ミラー 編,武田純三 監修, :メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2007

Miller's anesthesia／edited by Ronald D. Miller, associate editors, Neal H. Cohen, Lars I. Eriksson, Lee A. Fleisher, Jeanine P. Wiener-Kronish, William L. Young, : Elsevier/Saunders, 2015

参考書

外傷初期診療ガイドライン JATEC／日本外傷学会, 日本救急医学会 監修,日本外傷学会外傷初期診療ガイドライン改訂第 5 版編集委員会 編集, :へるす出版, 2016

救急診療指針／日本救急医学会専門医認定委員会 編,日本救急医学会 監修, :へるす出版, 2011

JRC 蘇生ガイドライン／日本蘇生協議会 監修, : 医学書院, 2016

Evidence-Based Physical Diagnosis 3Ed／Steven McGee: Saunders, 2012

内科救急診療指針 2016, 2016

MGH 麻酔の手引／ピーター・F.ダン ほかに編,稲田英一 監訳, :メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2010

ビジュアル麻酔の手引／アーサー アチャバヒアン, ルチル グプタ 編,大畑めぐみ, 本田完 監訳, :メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2015

小児の麻酔／ロバート・ホルツマン, トーマス・マンキュー, デイビッド・ポラナー 編,蔵谷紀文 監訳,蔵谷紀文 [ほか]訳, :メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2011

麻酔科医として必ず知っておきたい周術期の循環管理 : 循環モニタリングの原理、各種測定法から手術別循環管理の実際とトラブルシューティングまで／国沢卓之 編, : 羊土社, 2016

麻酔科医として必ず知っておきたい周術期の呼吸管理 : 解剖生理から気道評価・管理、抜管トラブル、呼吸器系合併症の対策まで／磯野史朗 編, : 羊土社, 2017

ISBN 978-4880039077

書名 ペインクリニック治療指針 改訂第 5 版

著者 日本ペインクリニック学会治療指針検討委員会 (編集)

出版社 真興交易医書出版部

出版年 2016

時間割番号	011080		
科目名	医歯学基盤教育(生命倫理Ⅱ)		
担当教員			
開講時期	前期	対象年次	4

授業の目的、概要等

なぜ人は目につくことを過大評価してしまうのか、あるいは、先々のことを考えるのが難しく、現状維持をしてしまうのか。

医学生、歯学生、医師、歯科医師をはじめとした医療者には、医療を担うにふさわしい倫理感覚を持つことが期待される。医療現場では、倫理的問題に対して組織的に対処するシステムがある程度構築されており、個人の資質による倫理的問題が生じる余地は減っている。しかし、わが国の医療関連法は基本的には性善説で成り立っており、個人の資質による倫理的問題が生じる余地は大きく残されている。また、システム自体が暴走した場合には、最後の砦になるのは個人の倫理感覚のみである。したがって、生命倫理においてはシステムについて学ぶだけでなく、これまでに培った自らの個別的倫理感覚をシステムとの関係の中で、どのように生かすのか、あるいは抑えるのかを考察・構築する必要がある。

第4学年においては、医療および研究における具体的事例とともにその倫理的問題点とシステムの対応について学習し、プロジェクトセメスターやクリニカルクラークシップなどの際に医療チームの一員たるプロフェッショナルとして持つべき視点とそれにふさわしい倫理的思考を構築する。

授業の到達目標

医学生、歯学生、医師あるいは歯科医師として求められる実践的倫理判断の養成を図る。プロジェクトセメスターやクリニカルクラークシップなどの際に医療チームの一員たるプロフェッショナルとして持つべき視点を構築する。すなわち、将来実際に経験することになる医療や研究の現場の具体的事例について、単に批評するだけでは済まされず、実際に判断し、指示を出し、さらにその責任を取らなければならない立場にある医師および歯科医師の持つべき倫理的思考過程について学習し、応用し自ら考えることでそれを構築・実践する。

文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成 28 年度改訂版)

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm

A-1-1)①②③

A-1-2)①②③④

A-1-3)①②③④⑤

A-3-1)⑥⑦⑧

A-4-1)③

A-4-2)①③④⑥⑦

A-5-1)①②③

A-6-1)①③④⑤

A-6-2)③

A-8-1)①②③④

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/18	10:05- 10:55	特別講 堂	生命倫理Ⅱ-1	研究倫理「臨床治験と倫理的 問題」	小池 竜司

2	4/18	11:10- 12:00	特別講 堂	生命倫理Ⅱ-2	研究倫理「ゲノム研究に関する倫理的問題」	江花 有亮
3	4/25	11:10- 12:00	特別講 堂	生命倫理Ⅱ-3	研究倫理「再生医療と生命倫理」	片野 尚子
4	5/9	11:10- 12:00	特別講 堂	生命倫理Ⅱ-4	研究倫理「研究不正」	江花 有亮
5	5/16	09:00- 09:50	特別講 堂	生命倫理Ⅱ-5	研究倫理「倫理審査ワークショップ(説明)」	江花 有亮
6	5/16	10:05- 10:55	特別講 堂	生命倫理Ⅱ-6	研究倫理「倫理審査ワークショップ」	江花 有亮
7	5/16	11:10- 12:00	特別講 堂	生命倫理Ⅱ-7	「到達度評価・乙」	江花 有亮

授業方法

講義・グループワーク

自分が実際に考えることが重要であるため、グループワーク、討論、発表といった、単なる座学ではなく、参加型の講義形式も予定している。諸君の積極的な参加を期待している。

授業内容

詳細は別授業日程表のとおり

臨床の課題はより現実的に考えることが重要であるため、できる限り当該臨床科目の履修時期にあわせて講義予定を組んでいる。

担当講師は、医療のさまざまな領域で活動する専門医、専門職の講師をはじめとして、医療以外の分野で活動している実務者にもそれぞれの立場からみた医療や研究について、すなわち他職種や医療者以外の倫理観を含めて問題提起あるいは情報提供を得て、医療者・研究者の倫理について実践的な講義を展開する。

成績評価の方法

講義への出席を単位取得の必要条件とし、第3学年の成績も含めて考慮し、第3学年前期の応用演習および第4学年前期の到達度評価乙(50～60%)、適宜実施する小テストおよび小レポート、プレゼンテーションおよびディスカッションへの参加、素行等(50～60%)をもとにあわせて総合的に評価する。

成績評価の基準

第3学年前期と第4学年前期の2回実施する応用演習・到達度評価乙の点数、適宜実施する小テストおよび小レポートの点数(医師および歯科医師の持つべき視点と倫理的思考過程について習得し、応用し自ら考えることができているかどうか)、プレゼンテーションおよびディスカッションへの参加の教員評価(積極的に参加しているか、適切な関与をおこなっているか)等を合計し、60点未満を不合格とする。尚、反プロフェッショナル行為(不正なコピー、試験の不正、出席の不正)がみられた場合は成績に関わらず不合格とする。

準備学習などについての具体的な指示

あらかじめ講義のトピックスについて少しインターネット等で調べて、そのトピックスに関連する倫理的問題に対して自分なりの見解をもって講義に臨むことが好ましい。また、「臨床倫理と基礎研究倫理」の前には自分の配属されるプロジェクトゼミスターでの研究の概略を把握しておくこと。

試験の受験資格

講義への出席が、講義時間数の3分の2以上であること。(第4学年前期の到達度評価乙については、第3学年前期の応用演習後から第4学年前期の到達度評価乙までの全13回(同一日の連続する時限についてはそれぞれ1時限で1回と

みなす)のうち、9回以上の出席であること。各回の講義についての出席の要件は、下記の履修上の注意を参照のこと)

教科書

教科書は使用せず、レジュメ・資料等をそのつど配布する。

履修上の注意事項

授業責任者からの連絡は、WebClassで行うので確認すること。「応用演習」「到達度評価乙」の回では、到達度を測る。定期試験は実施しないが、進級のためには全授業回数(2限連続は2回)の2/3以上の出席が必要。医師、歯科医師といった医療者に期待される倫理観を培うために、それぞれの講義時に自ら系統的に考えることが最も重要である。各回の講義について遅刻、早退は系統的に問題に対処する趣旨に反するため、原則的に認めない。また、出席等の手続きについての不正に対しては、医療者に期待される倫理観から著しく外れることから、厳正に対処する。

備考

○問い合わせ先(講義担当教員)

(教員名)(診療科・分野)

江花有亮 生命倫理研究センター ebnyk.bip@mri.tmd.ac.jp

時間割番号	011081		
科目名	医歯学基盤教育(臨床統計Ⅲ)		
担当教員			
開講時期	前期	対象年次	4

主な講義場所

歯科棟南4階 歯学部特別講堂

授業の目的、概要等

臨床統計Ⅰ・Ⅱで学習した統計学の臨床的意義と応用法をもとに実臨床につながる発展学習を行う。診療ガイドラインや臨床研究の創り方にも触れる。問題解決において必須となる情報収集を適切に効果的に行う能力を習得するほか、情報セキュリティと著作権にも触れる。

授業の到達目標

エビデンスを正しく読解し、実臨床に活用できる能力を習得する。具体的には、医療論文を実臨床に適応する手順を習得し、診療ガイドラインの適切な活用ができることを最低限の到達目標とする。

文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成28年度改訂版)

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm

B-1-1)①②③④

B-1-2)①②③

B-1-3)①②③④⑤⑥⑦

B-1-4)①④⑤

B-1-5)①②

B-2-2)①

B-3-1)①②③

B-4-1)⑬⑭

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/4	10:05- 10:55	特別講 堂	臨床統計Ⅲ-1	EBM/EBD発展	能登 洋
2	4/4	11:10- 12:00	特別講 堂	臨床統計Ⅲ-2	EBM/EBD発展	能登 洋
3	4/11	10:05- 10:55	特別講 堂	臨床統計Ⅲ-3	情報セキュリティと著作権	木下 淳博
4	4/11	11:10- 12:00	特別講 堂	臨床統計Ⅲ-4	情報セキュリティと著作権	木下 淳博
5	4/25	10:05- 10:55	特別講 堂	臨床統計Ⅲ-5	EBM/EBD発展	能登 洋
6	5/9	10:05-	特別講	臨床統計Ⅲ-6(試験)	応用演習	能登 洋

		10:55	堂	日)			
授業方法							
講義・演習による							
授業内容							
<ul style="list-style-type: none"> ・教育・研究と著作権・肖像権 ・様々なネットワークサービスとセキュリティ ・診療ガイドライン ・臨床研究の創り方 ・EBM/EBD の実践 							
成績評価の方法							
科目責任者が、応用演習を主として判定する。							
成績評価の基準							
科目責任者が、応用演習中に行う試験を主として判定する。追試・再試については原則として東京医科歯科大学試験規則に従う。							
準備学習などについての具体的な指示							
教科書を活用して予習・復習に役立てること。また、eラーニングシステムに事前掲載された資料に目を通し、指示がある場合は事前準備(Web Class へのログイン、資料のダウンロード、リンクサイトからの情報収集等)を行うこと。							
試験の受験資格							
臨床統計Ⅰ・Ⅱ単位取得済みであること。(履修上の注意事項参照)							
教科書							
スッキリわかる!臨床統計はじめの一步 : 統計のイロハからエビデンスの読み解き方・活かし方まで / 能登洋 著, 能登洋, : 羊土社, 2018							
参考書							
EBM の正しい理解と実践 Q&A : 一問一答で疑問解消, ケーススタディで即実践! / 能登洋 著, : 羊土社, 2003							
日常診療にすぐ使える臨床統計学 : ベストな診断と治療ができる! / 能登洋 著, : 羊土社, 2011							
2 週間でマスターするエビデンスの読み方使い方のキホン = 2 WEEKS TO MASTER THE BASICS OF EVIDENCE APPRAISAL AND APPLICATION : すぐにできる EBM 実践法 / 能登洋 著, : 南江堂, 2013							
誰でも分かる著作権 : 情報化・コンテンツ・教育関係者のために : この 1 冊で / 岡本薫 著, : 全日本社会教育連合会, 2005							
臨床統計はじめの一步 改訂版 / 能登洋 : 羊土社, 2018							
他科目との関連							
グローバルコミュニケーション・生命倫理と相互関連した講義内容である。							
履修上の注意事項							
<ul style="list-style-type: none"> ・予習課題や試験について事前連絡することがあるため, Web Class を受講前に確認すること ・「応用演習」の回では, 到達度を測る目的で試験を実施する。 ・進級のためには全授業回数(2限連続は2回)の2/3以上の出席が必要 ・各講義の遅刻・早退は原則的に認めない。また, 出席手続きなどの不正に対しては厳正に対処する。 							
備考							
担当教員: 能登 洋, 木下 淳博							

時間割番号	011082		
科目名	医歯学基盤教育(グローバル・コミュニケーションⅢ)		
担当教員	高田 和生, JANELLE RENEE MOROSS		
開講時期	前期	対象年次	4
<p>主な講義場所</p> <p>Class A: 演習室 5:1 号館西 6 階</p> <p>Class B: 演習室 6:1 号館西 6 階</p> <p>Class C: 演習室 7:1 号館西 6 階</p> <p>Class D: 演習室 8:1 号館西 6 階</p> <p>Class E: 演習室 9:1 号館西 6 階</p> <p>Class F: 演習室 10:1 号館西 6 階</p> <p>Class G: 演習室 11:1 号館西 6 階</p> <p>Class H: 演習室 1-2:1 号館西 6 階</p> <p>Class I: 第 1 ゼミナール室:1 号館東 7 階</p> <p>Class J: 第 3 ゼミナール室:1 号館 6 階</p> <p>Class K: 第 2 ゼミナール室:1 号館東 7 階</p> <p>Class L: 演習室 3:1 号館西 6 階</p>			
<p>主な講義場所</p> <p>教室について WebClass のファイルを確認してください。</p> <p>Please check the Class Division file on WebClass.</p>			
<p>授業の目的、概要等</p> <p>本学は、基本理念の一つに「国際性と指導力を備えた人材の育成」を掲げている。グローバル化が進む昨今、世界の共通言語である英語は、医学・歯学研究の最先端におけるコミュニケーションおよび情報発信ツールにとどまらず、国家・地域レベルでの健康向上のために医療をリードし、そして世界標準に沿った質の高い医療・歯科医療を提供するための情報収集・意見交換ツールとして、必要不可欠である。したがって、本学の基本理念達成には、世界規模で注目されている医療・健康問題に精通し、論理的な思考のもとに意見を持ち、国際舞台で世界共通言語である英語で議論を行うのに必要な「適切な基準や根拠に基づく、論理的で、偏りのない思考」、いわゆる「クリティカルシンキング」ができなくてはならない。そこで、本科目においては、到達目標を以下のように設定する。そして、並行して進む医歯学専門教育、生命倫理教育、臨床統計教育と本科目での学習内容を可能な範囲でリンクさせることにより、双方に対するの更なる学習動機づけおよび学習効果向上を図り、21 世紀の医療を担い、リードする医師、歯科医師に共通して必要とされる基盤資質の修得のための学習機会を提供する。</p> <p>General Course Information: This University has set "Training human resources with an excellent international sense and an awareness of international competitiveness" as their educational philosophy. With the recent progress of globalization, English proficiency is essential as a common world language; not limited to communication and information dissemination in state-of-the-art medicine and dentistry research, or to lead medical health improvement at the national and regional levels, but also important for information collection and exchange of opinions in order to provide high-quality medical and dental care along the lines of world standards.</p>			

In order to achieve this goal, this course aims to use English not as a mere language, but for students to become familiar with the medical and health issues that have been attracting attention on a global scale. Also, through these topics students will learn to state an opinion on the basis of logical thinking, which is necessary to carry out discussions in the international arena. This so-called "critical thinking" method is based on the use of appropriate criteria and rationale for logical, bias-free thinking.

In order for professional education to advance in medical and dental faculties and with an aim to further the learning motivation and learning effect, the content has been linked to clinical statistics and bioethics education. This course provides a learning opportunity for acquisition of the common basic skills required in the 21 Century for medical and dental leaders.

授業の到達目標

- 1) 適切な基準や根拠に基づく、論理的で、偏りのない思考(クリティカルシンキング)ができる
- 2) 世界共通言語である英語により発信される医学関連情報に対して、1)にもとづく吟味・口頭または文書での効果的な情報発信・議論ができる
- 3) 世界の医療・健康事情の把握とそれによる広い視野を持つ

Course Learning Objectives:

At the end of the course, students will have:

- 1) Logical, unbalanced thinking (critical thinking) based on appropriate standards and grounds
- 2) Scrutiny based on 1) on medically relevant information transmitted in English, which is a universal language in the world
· Efficient dissemination and discussion of information on verbal or written documents
- 3) Grasp the medical and health circumstances of the world and have a broad perspective based on it

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/4	09:00- 09:50		Telomeres	Group discussion	JANELLE RENEE M OROSS	教室について WebClass を確認してください。
2	4/11	09:00- 09:50		(Telomeres) Present information you found and discuss in your group	Presentation and Group discussion	JANELLE RENEE M OROSS	教室について WebClass を確認してください。
3	4/18	09:00- 09:50		Stem Cells and Teeth	Group discussion	JANELLE RENEE M OROSS	教室について WebClass を確認してください。
4	4/25	09:00- 09:50		(Stem Cells and Teeth) Present information you found and discuss in your group	Presentation and Group discussion	JANELLE RENEE M OROSS	教室について WebClass を確認してください。

5	5/9	09:00- 09:50		Vinegar Test for Cervical Cancer	Group discussion	JANELLE RENEE M OROSS	教室について WebClass を確 認してください。
---	-----	-----------------	--	-------------------------------------	------------------	-----------------------------	-----------------------------------

授業方法

授業における全ての学習活動は英語で行われる。

1. Small group discussion

医歯学専門知識修得ステージ／生命倫理および臨床統計学習内容に合わせたトピック・論点を選定し、2 から 4 人ずつの小グループにて議論を行う。毎回 Native level speaker(s)を講師兼 Moderator/facilitator として配する。議論のプロダクトを、文書または口頭にて発表する機会も用意する。クリティカルシンキングのための導入および振り返り機会を適宜用意する。※注：生徒は TOEFL スコアと学習意欲の証明に基づいてクラス分けされる。学生が授業のレベルを上下に変えたいという希望がある場合は、その理由を明記したメッセージをこのコースのディレクターに送ることで調整される場合もある。

2. 医学関連英語語彙・フレーズの習得

医歯学専門知識習得ステージに合わせたスケジュールを組み、発音も重視した学習を行う。毎回あらかじめ学習内容を指定し、授業において Vocabulary quiz という形で学習度の確認を行う。

Learning Methods:

All learning activities in class are conducted in English.

1. Small group discussion

Discussion on the selected topic, relevant to the acquisition of medical and dental expertise in bioethics and clinical statistics, learning is carried out in small groups of 2 to 4 students. Native level English speakers are employed in the role of lecturer, moderator/ facilitator. Opportunities to present outcomes of discussion are made available in either written or verbal form. Appropriate introduction to topic and opportunities for reflection of critical thinking are given. ※Note: Students are divided into classes based on TOEFL scores and proof of willingness to learn. If students have a desire to change class levels, either up or down, they should send a message to the directors of this course stating their reasons and positive action will be taken.

2. Medically Relevant English Vocabulary and Phrases

Selected specialized medical and dental vocabulary is given based on students' learning stage, the learning of correct pronunciation is also emphasized. The content is specified in advance and level of achievement is confirmed in the form of a vocabulary quiz in class.

授業内容

詳細は別表のとおり

Course Content: See course outline.

成績評価の方法

最終成績は以下にもとづき判定される。Final grade is determined based on the following:

- ・ Class participation (discussion/presentation/homework)
- ・ Optional essays

成績評価の基準

最終成績は下記比重による。Final grade is calculated as follows:

- ・ Class participation (discussion/presentation/ homework) (100%)注:グループディスカッションの準備と参加に基づいて、各セッションの成績が与えられる。
- ・ Optional essays (bonus)

準備学習などについての具体的な指示

指示に従いグループ議論、ディベート、口頭プレゼンテーションの準備をしてくる。その際、科目担当者からの指示(文書・口頭)に従うと共に、指定される資料だけでなく、インターネットなどを用いて議論を深めるために役立つ他資料や情報を主体的に収集し、準備に努めること。

Session Preparation: Prelearning and preparation, as per instructions, are necessary for group discussions, debates, and oral presentations. Also, following the verbal or written instruction of the course planner, students should strive to prepare information in addition to the assigned materials to assist in deepening class discussion, either through the Internet or other sources.

試験の受験資格

本科目においては最終試験は行わないが、進級のためには「欠席」が全セッションの3分の1以下であることを必要条件とする(十分条件ではない)。なお、本科目における出欠確認方法および出欠ルールを以下の通りとする。病気等による欠席は、診断書が提出されたとしても欠席として扱われる。

【出欠確認方法】

本科目ではカードリーダーによる出欠管理は行わず、授業を通して担当講師が出欠を確認する。出欠状況は毎セッション終了後にデータ整理後 WebClass に掲示する。出欠状況について授業責任者側から個別に連絡・注意することはしないため、各自で確認し適切に行動すること。確固たる証拠にもとづく事実相違がある場合は、授業責任者に相談すること。

【出欠ルール】

- ・ 授業開始時より授業終了時まで在室した場合を「出席」とする。
- ・ 授業開始時に在室していなかったが授業開始後 10 分以内に来室し、授業終了時まで在室した場合を「遅刻」とし、「遅刻」3 回を「欠席」1 回とカウントする。
- ・ 授業開始後 10 分経過時以降の来室(または授業終了時まで来室なし)、または、来室時間に限らず授業終了の前に退室した場合は、「欠席」とする。

Final Exam: Although there is no final exam in this course, absence of less than one third of all sessions is required in order to pass.

Attendance: Absences due to illness, etc. are not excused, but treated as an absence. (Even if you have a medical certificate from the doctor.) Attendance will be taken by the instructor, and posted on WebClass after the end of each session for students to keep track. If a discrepancy occurs, please provide evidence of attendance and talk with the instructor in charge of the class.

Rules: Tardiness is taken seriously in this course as it hinders the learning of the entire group as well as the person who is

late. Attendance means present from the start of the lesson until the end. If students arrive after the start of class up until 10 minutes after, they will be marked tardy. If students arrive after 10 minutes, they will be marked absent. (3 tardys = 1 absence)

参考書

最強のクリティカルシンキング・マップ : あなたに合った考え方をを見つけよう : critical thinking map / 道田泰司 著, : 日本経済新聞出版社, 2012

クリティカルシンキング : あなたの思考をガイドする40の原則入門編 / E. B. ゼックミスタ 著, 宮元 博章 訳, : 北大路書房

クリティカルシンキング : あなたの思考をガイドする 40 の原則 / Zechmeister, Eugene B., Johnson, James E., 宮元, 博章, 道田, 泰司, 谷口, 高士, 菊池, 聡, : 北大路書房, 1996

Please see WebClass

履修上の注意事項

遅刻は本人の学習の妨げになるほか、同じグループのメンバーの学習にも大きな迷惑となることから、厳しく取扱う。

Caution: Tardiness causes a major nuisance to other members of your group and is handled in a strict manner. Please come to class on time.

連絡先

高田 和生: takada.rheu@tmd.ac.jp

JANELLE RENEE MOROSS: jmoross.isc@tmd.ac.jp

オフィスアワー

高田 和生: オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡してから訪問すること。

JANELLE RENEE MOROSS: 毎週月曜日 PM 4:00-5:00 1号館-4階 教授室

時間割番号	011078				
科目名	自由選択学習				
担当教員					
開講時期	通年	対象年次	4	単位数	12
授業の目的、概要等					
受け入れ分野・施設での基礎研究。但し、患者と接する研究・研修は含まない。					
授業の到達目標					
<p>主な講義・試験及び基礎実習を終えた4年次に設定されている約5ヶ月の研究コース。興味を持った分野で指導教員とともに研究テーマを定め、自ら研究を行う。それを通じて、医学の理解に必要な科学的視点、問題点の抽出・解決能力、各種研究技術、研究チームの一員としての協調性、プレゼンテーション・レポート作成技法などを習得する。受け入れ教室は医学科に限らず、本学の諸講座(附属研究所を含む)の他、学外研究機関(要了承)、さらには国際交流協定校のインペリアルカレッジ(ロンドン・英国)、クリニカ・ラスコンデス(チリ)、ガーナ大学野口記念医学研究所(ガーナ)、チュラロンコン大学(タイ)、ソウル大学(韓国)、およびオーストラリア大学(オーストラリア)などがある。</p>					
成績評価の方法					
実験への取り組み、ポスター発表会への取り組み、レポートを総合的に評価する。					
準備学習などについての具体的な指示					
それぞれの指導教員の指示に従う。					
教科書					
<p>社会疫学 上 /リサ・F.バークマン,Berkman, Lisa F.,河内, 一郎,Glymour, M. Maria,高尾, 総司,藤原, 武男,近藤, 尚己,:大修館書店, 2017-09</p> <p>社会疫学 下/リサ・F.バークマン,Berkman, Lisa F.,河内, 一郎,Glymour, M. Maria,高尾, 総司,藤原, 武男,近藤, 尚己,:大修館書店, 2017-09</p> <p>受け入れ分野に相談のこと。</p>					
参考書					
受け入れ分野に相談のこと。					

第5学年

時間割番号	011105		
科目名	包括医療統合教育①		
担当教員			
開講時期	後期	対象年次	5
包括医療統合教育1:キャリア形成の考え方			
主な講義場所			
MD タワー4 階アクティブラーニング教室など。最新の時間割表を確認すること。			
授業の目的、概要等			
臨床実習中の最終学年を迎える時期に、医師としての将来のキャリアについて、様々な先輩医師達の体験談を元に、自ら考察する機会を設ける。			
授業の到達目標			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 医師としてのキャリア形成の概要について理解し、考察できる。 2. 情報化社会の発展に伴う未来の医療について認識し、体得すべき医師の思考や技術等について考察できる。 3. 臨床研修制度、専門研修制度について概説できる。 4. 自らの姿を客観的に理解し、将来のキャリア目標を考察することができる。 5. 将来のライフイベントを認識し、備える準備ができる。 			
授業方法			
6 回講義			
期間:2020 年 1 月 17 日(金)から毎週金曜日 17 時 30 分から 18 時 30 分			
2020 年 2 月 21 日(金)までの予定。			
最新の講義予定を必ず確認すること			
授業内容			
<ol style="list-style-type: none"> 1) キャリア選択の考え方:キャリア形成の基本的な考え方を学ぶ 2) 卒後 5 年:臨床研修、専門研修プログラム制度の仕組みや大学病院・一般病院の具体例について先輩医師から得る。 3) 卒後 15 年:大学医局での研鑽や、大学院への進学、医局に所属しないキャリアについて、本学や外部教員より体験談を学ぶ。 4) 未来の医療:AIの進歩や高度な情報化社会による医療制度の変化などの具体例と医師としてそれに備えることを学ぶ。 5) ライフイベント:出産・子育て・介護など男女とも直面する重大な影響を与えるライフイベントについて、環境を知り、経験談などを元に考察し解決方法について学ぶ。 6) 資産形成:仕事を開始するにあたり、医師人生に詳しいファイナンシャルプランナーから、資産形成の基本的リテラシーを学ぶ。 			
成績評価の方法			
包括医療統合教育①、②にて、2/3以上の出席、課題提出、参加態度			
準備学習などについての具体的な指示			
特になし。			

第6学年

時間割番号	011106					
科目名	包括医療統合教育②					
担当教員						
開講時期	前期	対象年次	6			
主な講義場所						
3号館2階医学科講義室1など。最新の時間割表を確認すること。						
授業の目的、概要等						
口腔医療、全身医療それぞれの進歩・複雑化により、高齢者や合併症や複雑な背景を抱える患者の医療には医、歯をはじめとした多職種間で連携性・協調性のとれた包括的医療が必要とされる。そのような観点から、本学では医療系総合大学の特性を生かし、学科横断、講座横断、および学年縦断的な医歯学融合教育の礎をつくる以下の6つの目的をかかげる。						
授業の到達目標						
①診療において、他の専門職、患者および患者家族に配慮し良好な関係を築くとともに、専門職種にふさわしい振る舞いができる。						
②基礎医学の知識をもとに疾患の病因・病態臨床徴候などを十分理解し、頻度の高い疾患や重篤な病態に関しては、適切な評価法を算定し所見を解釈すると同時に、診断および治療法に関する知識を診療に応用できる。						
③全身疾患と口腔疾患の関連を考慮した診療ができる。						
④高齢者包括的評価をおこなうことができる。						
⑤医療機関内の制度、資源や社会における医療福祉制度を理解する。						
⑥医学の様々な分野でフロンティアを切り開く創造能力を養う。						
⑦メンタルストレスに直面した際の適切な自己管理、通常時の自己研鑽、自己学習ができる						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	6/28	09:00-10:20	6階学生 実習室	模擬倫理審査 講義	長堀 正和	
2	6/28	10:30-11:50	6階学生 実習室	模擬倫理審査 実習	長堀 正和	
3	6/28	12:50-14:10	鈴木章夫 記念講堂	[医歯学融合] 薬害被害者の講演		
4	6/28	14:20-15:40	鈴木章夫 記念講堂	[医歯学融合] ワクチンに関わる倫理		
5	7/1	09:00-10:20		講義はない予定です		
6	7/1	10:30-11:50	共用講義 室1	プライマリ・ケア	和田 忠志	
7	7/1	12:50-14:10	共用講義 室2	医療保険	藍 真澄	
8	7/1	14:20-15:40	共用講義 室2	チーム医療入門 事前 討論		
9	7/2	09:00-09:50	鈴木章夫 記念講堂	チーム医療入門 オリ エンテーション		
10-11	7/2	10:00-11:50	医学科講 義室1,5 階学生実 習室,6階 学生実習 室	チーム医療入門 詳細 は実施要項を見ること		
12	7/2	12:50-16:00	医学科講 義室1,5 階学生実 習室,6階 学生実習 室	チーム医療入門 詳細 は実施要項を見ること		

			室			
13	7/3	09:00-10:00	鈴木章夫 記念講堂	チーム医療入門 詳細 は実施要項を見ること		
14	7/3	10:30-11:50	医学科講 義室 1,5 階学生実 習室 6階 学生実習 室	チーム医療入門 詳細 は実施要項を見ること		
15	7/3	12:50-16:00	医学科講 義室 1,5 階学生実 習室 6階 学生実習 室	チーム医療入門 詳細 は実施要項を見ること		
16	7/4	09:00-10:20	共用講義 室 1	医療政策	河原 和夫	
17	7/4	10:30-11:50	共用講義 室 1	医療経済	川淵 孝一	
18	7/4	12:50-13:40	共用講義 室 1	医事法 死後変化など	上村 公一	演習形式
19	7/4	13:50-14:40	共用講義 室 1	医事法 異状死、死体 検案書	上村 公一	
20	7/4	14:50-15:40	共用講義 室 1	医事法 医療事故	上村 公一	
21	7/5	09:00-10:20	共用講義 室 1	イノベーター regulatory science1	GEARY ED WARD STE WART	
22	7/5	10:30-11:50	共用講義 室 1	イノベーター regulatory science2	GEARY ED WARD STE WART	
23	7/5	12:50-14:10	医学科講 義室 1	population health	藤原 武男	
24	7/5	14:20-15:40	医学科講 義室 1	地域医療・総合診療 包 括医療統合教育の総括	竹村 洋典 中川 美奈	

授業方法

講義・グループ討論・自己学習とプレゼンテーションほか

成績評価の方法

参加態度、個人およびグループ課題、筆記試験で評価を行う。

準備学習などについての具体的な指示

- ・講義の前には授業内容を確認し、予習しておくこと。
- ・実習の前には要項に目を通し、予習しておくこと。また、実習に臨むにあたり、必要に応じて参考資料、補助教材を用い予習をおこなうこと。

試験の受験資格

講義: 2/3以上の出席、実習: 3/4以上の出席

履修上の注意事項

出席は講義:実習開始時の学生証による確認とする。出席に関する不正行為が発覚した場合は、試験の受験資格を失う事もある。遅刻は本人の学習の妨げになるほか、同じグループのメンバーの学習にも大きな迷惑となることから、厳しく取扱われ、正当な理由のない遅刻は欠席とみなす。実習に際しては、あらかじめ配布された手順を十分に予習して臨むこと。また、他実習同様に、守秘義務は徹底し、ツ

イッター等への投稿も厳に慎むこと。

備考

5年次および6年次に行われる本科目は、2つをあわせて1つの科目として評価する。

地域医療学習プログラム

時間割番号							
科目名	地域医療学習プログラム【茨城県】						
担当教員	石川 欽也						
開講時期	通年	対象年次	1～6				
英文名:							
主な講義場所	茨城県内各地						
授業の目的、概要等	<p>セミナー等に出席し、茨城県の地域医療を取り巻く様々な課題について議論を行うとともに、将来勤務することとなる医師不足地域の医療機関等を実際に見学する。また、今後同じように地域医療を担うことになる他大学の地域枠修学生との交流を深める。</p>						
授業の到達目標(SBOs)	<p>茨城の地域医療への理解を深めるとともに仲間を作り、将来、茨城の地域医療を担う意欲と熱意を持つ。</p>						
授業計画	※日付は予定であり、開催時に改めて通知する。						
	回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
	1	7/25		茨城県内	サマーセミナー(1～4年)	病院見学、意見交換会等	茨城県地域 医療支援セ ンターキャリ アコーディネ ーター、教育 インストラク ター等
	2	8/6 ～7		茨城県内	サマーセミナー(5年)	グループディスカッション、病院見 学、交流会	
	3	8/25		茨城県内	サマーセミナー(6年)	症例発表会、講演会	
	4	12/28		茨城県内	修学生の集い	症例発表会、学生企画、交流会	
	5	3/15		茨城県内	スプリングセミナー(1～5年)	病院見学、意見交換会等	
授業方法	セミナー、グループディスカッション、交流会等による。						
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・病院見学(研修医との意見交換含む) ・症例発表会または学生企画の聴講 ・他大学修学生や修学生医師、指導医等との交流 						
成績評価の方法	<p>セミナー等への出席状況及び欠席した場合に課せられるレポートの内容を踏まえ、年度ごとに茨城県地域医療支援センターキャリアコーディネーター又は教育インストラクターが評価を行い、それを元に担当教員が最終判定する。</p>						
成績評価の基準	<p>毎年度3回開催されるサマーセミナー(いずれか1回)、修学生の集い、スプリングセミナーに合計で2/3以上の回数出席すること(6年生はスプリングセミナーがないため2回開催、6年間で全17回開催)。</p> <p>※欠席した場合には、レポート提出により出席とみなす。</p> <p>※6年生については、カリキュラム内の診療参加型臨床実習を茨城県内医療機関で1週間以上行った場合には、2回出席とみなす。</p>						
準備学習などについての具体的な指示	<p>必要に応じて、セミナー等の開催前に県から資料等を送付するため、開催日までに目を通しておくこと。</p>						
試験の受験資格	<p>本学医学部医学科試験内規に準じる。</p> <p>なお、欠席した場合には、レポートの提出により出席扱いとする。</p>						
教科書	なし(病院見学等を開催することに県で用意)						
参考書	なし(病院見学等を開催することに県で用意)						
他科目との関連	なし						
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年度、3回開催されるセミナー及び修学生の集い(6年間で全17回)のうち2/3以上の出席が必要。 						

・セミナー等の日程のうち、一部のみ出席した場合の扱いについては、その都度、県が判断する。

・欠席した場合は、後日課されるテーマについてのレポートを提出することで出席とみなす。

備考

時間割番号					
科目名	地域医療学習プログラム【長野県】				
担当教員	宮坂 尚幸				
開講時期	通年	対象年次	1～6		
英文名:					
主な講義場所 信州大学医学部附属病院、同医学部講義室、長野県内病院 等					
授業の目的、概要等 長野県地域特別枠で入学した学生が、長野県が行う地域医療に関する研修会や長野県内の病院が実施する病院実習等に参加することにより、長野県内の地域医療に関する知識や技能を習得するとともに、将来、地域医療に従事する意識の醸成と県内への定着を図ることを目的とする。					
授業の到達目標(SBOs) 本プログラムを通じて、長野県の地域医療の実情について理解を深め、将来、自身が貢献すべきことを思考するとともに、他の修学資金貸与学生や医師との連帯・協力意識を養う。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	2019.6	10:30	信州大学医学部附属病院	スタートアップセミナー	信州大学医学部地域医療推進学教室教員
2	2019.6	終日	東京都内	レジナビ	県内臨床研修指定病院担当職員
3	2019.7	終日	信州大学医学部附属病院	医学生・研修医・医師交流会	信州大学医学部地域医療推進学教室教員 県内研修医、医師
4	2019.8	午後	市立大町総合病院	地域医療の現場研修	担当医師他
5	2019.8	10:30	信州大学医学部附属病院	夏季交流会	信州大学医学部地域医療推進学教室教員
6	2019.8	1泊2日	信州大学医学部附属病院、 県内病院	信州医療ワールド夏季セミナー	信州大学医学部地域医療推進学教室教員、 信州大学医学部附属病院医師
7	未定	終日	名古屋市内	レジナビ	県内臨床研修指定病院担当職員
8	2019.10	午後	信州大学医学部附属病院	女性医師キャリア形成支援イベント	信州大学医学部地域医療推進学教室教員、 医師
9	2019.10	午後	東京都内	秋季研修会	信州大学医学部地域医療推進学教室教員、 外部講師
10	2020.2	午後	金沢市内	レジナビ	県内臨床研修指定病院担当職員
11	2020.3	終日	東京都内	レジナビ	県内臨床研修指定病院担当職員
12	2020.3	10:30	諏訪中央病院	春季研修会	信州大学医学部地域医療推進学教室教員 担当医師
13	2020.3	午後	信州大学医学部附属病院	臨床研修病院合同説明会	県内臨床研修指定病院担当職員
14	随時	3日 以上	県内病院	病院実習	県内病院指導医
15	随時 (年10回程 度)	8:30	県内病院	総合医研修会(みんなの外来)	信州大学医学部総合診療科特任教授、 県内病院指導医
授業方法 講義形式、ワークショップ形式、実技研修、面談					
授業内容 ・修学資金貸与制度 ・貸与者、医師等との懇談、交流 ・シミュレーター研修 ・県内病院見学 ・各種講演会 ・女性医師が働きやすい職場環境等を考えるセミナー ・症例検討 ・病院実習					

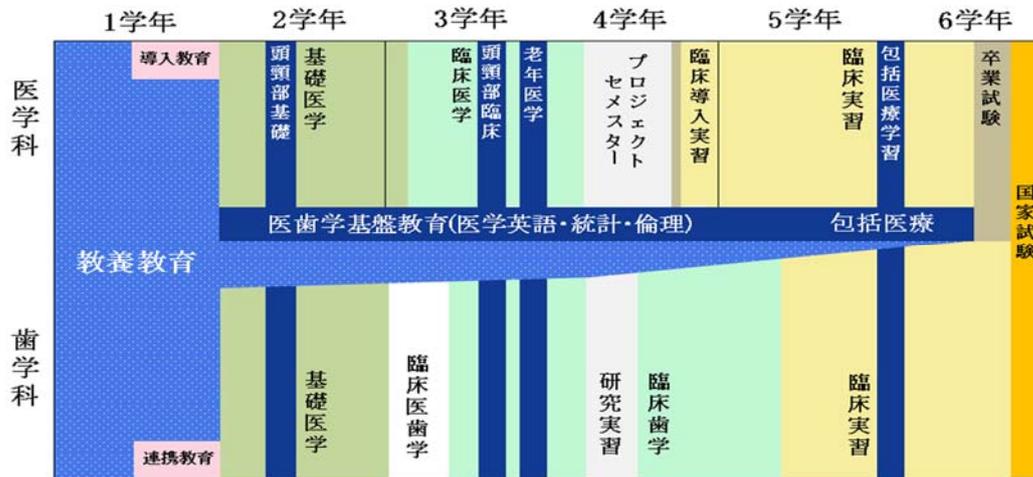
<p>成績評価の方法</p> <p>参加・出席で評価</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>長野県が行う面談及び研修会に以下のとおり出席すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面談・・・毎年1回以上 ・研修会等・・・毎年、次のいずれかのおとり出席し、在学中を通じて「講義研修」については「標準時間換算 32 時間以上」、「実技研修」については「標準時間換算 33 時間以上」受講。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 標準時間6時間以上の研修(1日研修): 1回以上 (2) 標準時間4時間以下の研修(半日研修): 2回以上、又は出席が1回の場合は長野県がテーマ等を指定する地域医療に関するレポート(2,000 字程度)を提出(ただし、レポート提出は在学中を通じて2回を限度とする。) <p>※一の年度における研修の受講回数が上記基準を満たさなかった者について、次年度において2年分併せて出席することを1回に限り認める。</p> <p>※一の年度において、面談を実施しなかった者で、かつ、研修を受講せず、翌年度において2年分受講する予定もない者については、大学が実施する追試を受験するものとする。</p>
<p>準備学習などについての具体的な指示</p> <p>長野県のホームページ等にて、長野県の医療に関して一定の知識を得ておくことが望ましい。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>本学医学部医学科試験内規に準じる。</p>
<p>教科書</p> <p>特になし</p>
<p>参考書</p> <p>特になし</p>
<p>他科目との関連</p> <p>特になし</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>修学資金貸与医師や他大学の学生と交流することにより、縦と横のつながりを在学中から構築していくことが、将来、長野県の地域医療に従事する際に重要であることから、可能な限り各種セミナー、講演会等に出席することが望ましい。</p> <p>また、長野県内の病院や地域医療の実情に直接触れることが重要であることから、県内病院で行う病院実習を積極的に活用すること。</p>
<p>備考</p> <p>「成績評価の基準」に用いている「標準時間数」の基本的な考え方は以下の通り。なお、標準時間の換算に当たっては、研修内容等により実時間数に3分の2を乗じて換算する場合もある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標準時間6時間以上の研修(1日研修)・・・実時間4時間超8時間以内の研修 ・標準時間4時間以下の研修(半日研修)・・・実時間2時間超4時間以内の研修

研究実践プログラム

時間割番号	011095				
科目名	研究実践プログラム I～V				
担当教員					
開講時期	前期	対象年次	2～6	単位数	10
英文名: Research Training Program					
授業の目的、概要等					
<p>第2学年開始時に、講義形式の教室(研究室)紹介を行い、その後配属先を登録する。 配属先分野で、授業時間外を利用して研究を実践する。 定期的に開催されるリサーチミーティングに参加して、学生同士で議論する。</p>					
授業の到達目標					
<p>基礎医学分野のみならず、臨床医学分野に進んだ場合でも、医学者として研究を行う機会が多い。いわゆるトランスレーショナルリサーチを行うにも、強力な基礎研究力が必要である。そのためには、研究に興味がある学生は在学中から積極的に研究に触れることが大切である。本プログラムは医学科基礎系研究室、歯学系基礎研究室、生体材料工学研究所研究室、難治疾患研究所研究室が責任を持って学生を受け入れ、通常カリキュラムの時間外に実際の研究を指導する選択実習科目である。</p>					
成績評価の方法					
<p>「研究実践プログラム」を選択科目として履修したい場合は、5月上旬(5日間程度)に設定された履修登録期間内に、医学教務係にて履修登録を行ってください。</p> <p>「研究実践プログラム」は第2学年から第6学年まで履修することができますが、履修登録は毎年度行う必要があります。前年度履修していても翌年度履修登録を行わなければ辞退したものとみなします。</p> <p>「研究実践プログラム」は毎年履修しても、一旦中断し、翌年度以降再度履修しても構いません。単位認定は毎年度末に行います(1年間の履修は2単位に相当)。</p>					
準備学習などについての具体的な指示					
それぞれの指導教員の指示に従う。					

● 医歯学融合教育

ますます進む高齢化や医療の進歩および複雑化により、これからの医療には多職種間で連携・協調のとれた包括的医療が必要とされます。そこで本学では、医学部と歯学部を併せ持つ医療系総合大学としての特色を活かし、複数学科の学生がともに共通目標に向かって学ぶ融合教育カリキュラムを開発しました。具体的には、複数学科、特に医学科と歯学科の学生が卒業時に獲得しておくべき知識・技能・態度のうち、共通するものであり共同で学ぶことにより学習効果が高まるもの、そして将来の連携・協調のものと包括的医療提供のための基盤となるものを教育対象とし、以下のように6年間を通して様々な学習段階とともに教え合いながら学ぶ機会を創出しました。



● 医歯学基盤教育(2年次～4年次まで)

医学歯学を学ぶ上で基盤となる「英語」「臨床統計」「生命倫理」に関し、2年次から4年次にわたってともに学びます。従来「統計」「倫理」は医歯学専門教育の始まる前に行われていましたが、今回それらに関連する内容の専門教育と並行して配置し、そして内容をリンクさせることにより、学習効果を高める工夫を行いました。

● 頭頸部ブロック(2年次:頭頸部基礎(7月) 3年次:頭頸部臨床(1月))

頭頸部領域は、医師・歯科医師ともに診療にかかわる領域であり、医歯学生の両者にとっても非常に重要な領域です。医科および歯科の教員がそれぞれの得意分野を生かし、両学科の学生に同一の教育を行い、両学科の学生のより充実した学習につなげます。

2年次に行われる頭頸部基礎ブロックでは、頭頸部(頸から上の脳を除いた領域)に関する正常な構造・機能に関して、両学科の解剖学・生理学の教員が講義を行います。並行して2学科合同の実習を行い、知識の定着につなげます。

3年次に行われる頭頸部臨床ブロックでは、主として眼科・耳鼻咽喉科・頭頸部外科・形成外科・口腔外科の臨床5科の教員が臨床講義を行います。講義の形態として、患者参加型講義や症例基盤型学習機会なども用意される予定です。頭頸部領域の疾患を理解するうえで必要となる歯科・脳神経外科の講義の一部や頭頸部領域の病理実習もこの期間に含まれます。

● 老年医学ブロック(3年次(2月))

高齢化が進む我が国の未来社会において、「高齢者」とその生理的变化、および、高齢者によくみられる病態を知ることは、医学科・歯学科両学生共に必須のこととなります。3年次に2週間で行われる老年医学ブロックでは、医学科・歯学科合同の講義・実習を通じて高齢者について学びます。

● 包括医療学習(6年次)

6年次の最初に行われる包括医療学習では、専門知識・技能習得が進んだ医学部・歯学部の各学科最終学年の学生が一同に会し、各学科学生の混在する少人数グループ教育を行います。ここでは、症例シナリオをもとに、各学生がそれまでに学んだ知識・技能を振り返りながら統合・応用してグループとして共通の目標にむけて問題解決に取り組み、多職種間で連携・協調のとれた包括的医療を提供できる医療人となるための資質を養います。

科目を履修して得られる能力
医学系コンピテンシーより

大領域	小領域	レベル	細目	レベル	細目	医歯学基盤教育			頭頸部・基礎	頭頸部・臨床	老年医学	
						生命倫理	臨床統計	グローバル・コミュニケーション				
国際人としての基盤	国際感覚/国際的視点	B	世界的に注目されている医学/歯学/健康に関する主たるトピックについて、議論できる			B	B	B	B	B	B	
	国際言語(英語)の運用力	B	科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる			B	B	B	B	B	B	
医学/科学の発展への貢献	科学的探求	A	医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる						A	A	A	
		C	基礎的および臨床的研究の倫理的事項を説明できる			C						
		B	臨床的あるいは科学的問題提起ができる			B	B	B	B	B	B	
		B	実習実験を実施して結果を得ることができる						B			
		B	実習実験により得られた結果の意義を、口頭あるいは書面で明確に説明できる						B			
プロフェッショナリズム	品位、礼儀	A	他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる			A	A	A	A	A	A	
		C	専門職にある者としての立場を理解している								C	
	自己管理	A	メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消を処置をとれる			A	A	A	A	A	A	
	患者との関係、職務上の優先性	C	患者との関係(情報漏洩、親密性、金品授受など)において適切な距離を維持する必要性を説明できる					C				C
		A	個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる			A	A	A	A	A	A	
		A	自立と監督・指導の必要性との適切なバランスを常に保つことができる						A			
	勤労習慣	A	時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる			A	A	A	A	A	A	
		A	文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる			A	A	A	A	A	A	
	法規、機関内規、専門職社会内規範	A	本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる			A	A	A	A	A	A	
	倫理	A	常に、誠実さ、正直さ、確実さをもって行動できる	B	常に、誠実さ、正直さ、確実さをもって行動する必要性を理解している	B			A		A	
		A	他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる			A	A	A	A	A	A	
		A	患者情報の守秘義務を守り、患者のプライバシーを尊重できる	B	守秘義務と患者プライバシーに関して説明できる	B		B			A	
		C	インフォームドコンセントの重要性およびその過程を説明できる			C						
		A	記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる	B	著作権侵害にあたる行動を列挙できる	BA	A	A	A	A	A	
		B	利益相反および回避するための行動を説明できる			B		B				
		B	企業との関係における倫理的な側面につき説明できる			B		B				
	振り返りを通した自己研鑽/生涯学習	A	自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる			A	A	A	A	A	A	
A		自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる			A	A	A	A	A	A		
A		他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる			A	A	A	A	A	A		
A		ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる			A	A	A	A	A	A		

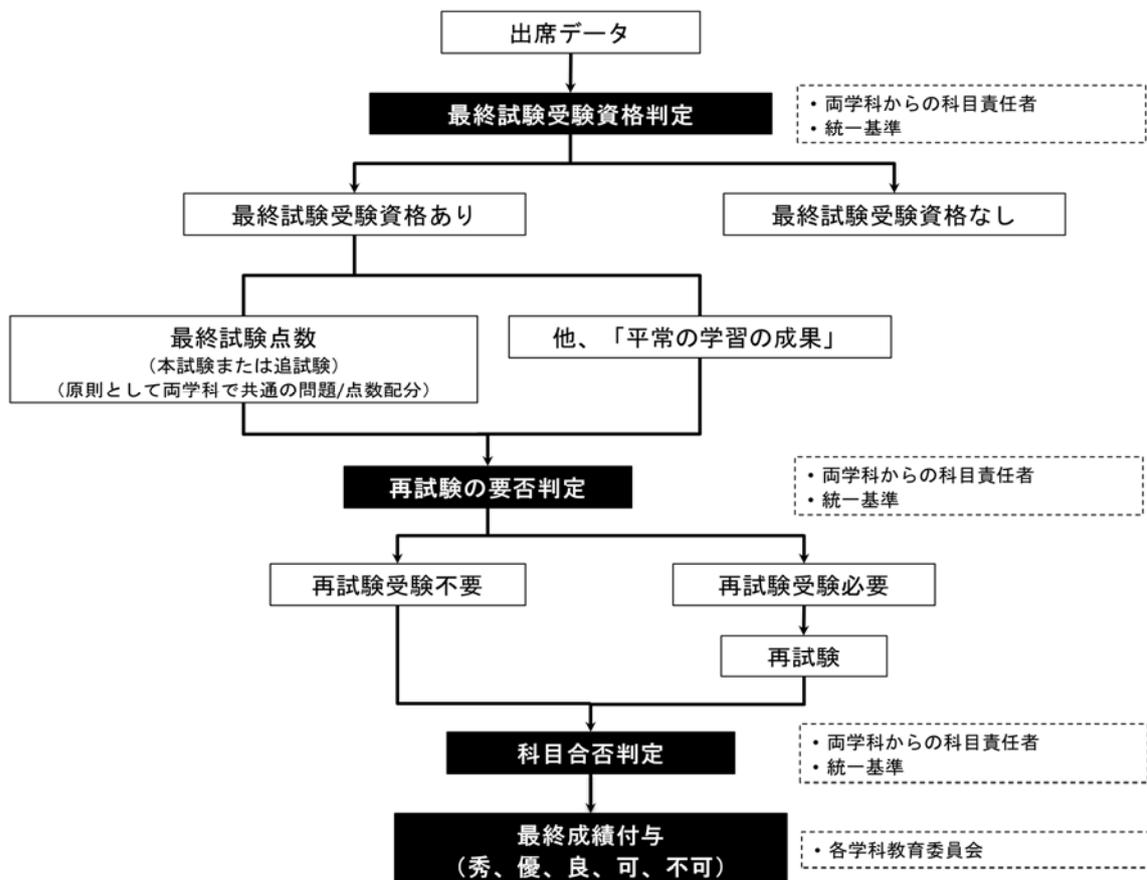
科目を履修して得られる能力
医学系コンピテンシーより

医歯学基礎教育			頭頸部・基礎	頭頸部・臨床	老年医学
生命倫理	臨床統計	コミュニケーション			

大領域	小領域	レベル	細目	レベル	細目							
コミュニケーション	医療チーム内/間コミュニケーション	B	書面にて、患者に関する臨床情報を統合し要約することができる							B	B	
		B	多学科チームのすべてのメンバーと、敬意を払って効果的な議論ができる	C	多学科チームでの学習の場で、敬意を払って話し、チームに貢献し学習できる	C	C	C	C	B	B	
	患者および家族とのコミュニケーション	B	患者の様々な背景や文化がどれだけ医者-患者間のコミュニケーションに影響するかを説明できる			B		B			B	
		B	重大で繊細な難しいトピック(sexual history、疾患名告知、退院計画議論、ターミナルケアなど)について患者や患者家族と議論する際に、配慮すべき点や重要な点を説明できる			B		B				
		C	患者中心の医療について説明できる			C		C				
知識とその応用	医学知識(基礎)	A	基礎医学の知識を疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に応用できる	B	疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に必要な基礎医学知識を提示できる				B	A	A	
	医学知識(臨床)	B	頻度の高い疾患について、疫学/病因/病理/病態/症候/予後を説明できる							B	B	
		C	症候/問題の原因評価において用いられる評価法についての知識(適応/合併症/限界)を提示できる							C	C	
		B	頻度の高い疾患に対する治療法(薬物療法、非薬物療法の双方を含む)に関する知識を提示できる							B	B	
	医療と社会	B	世界の健康の向上および増進のため、国際機関等の活動に参加する					B				
	予防と健康管理・増進	B	頻度の高い疾病についての予防戦略についての知識を提示できる							B	B	
歯科医学関連知識	B	診療上必要な歯科医学の知識を提示できる	C	歯科医学的側面を考慮した診療ができる					C	B		
	B	全身疾患と口腔疾患の関連を説明できる								B	B	
診療の実践	EBM/臨床推論	B	診療上必要な歯科医学の知識を提示できる					B				
		A	臨床上の問題を明確化し、解決のために最適な情報源を選定できる	B	臨床上の問題を明確化できる			BA				
		A	臨床研究の吟味において、研究デザインや統計的手法についての知識を応用できる	B	研究デザインや統計的手法についての知識を提示できる	B	BA					
		A	適切な用語を用いて、医学的介入の利点と欠点を説明できる	B	医学的介入(予防/治療)に関するエビデンス吟味に用いられる用語(NNT, NNHなど)を説明できる		BA					
		B	仮想症例の臨床判断に際し、関連するエビデンスの質を判断できる	C	入手したエビデンスのレベルを正確に説明できる		CB					
		B	診療ガイドラインにアクセスし、仮想症例の検討に活用できる				B					
		A	適切な用語を用いて、患者の疾患可能性にもとづく診断的検査の意義を検討できる	B	診断に関するエビデンス吟味に用いられる用語(感度、特異度、尤度比など)を説明できる		BA					
	C	主要な症候をきたす病態/疾患を列挙できる								C	C	
	身体診察	A	高齢者の機能的評価を行える									A
		C	臨床実習の学習項目に含まれる異常所見と、その診断的意義を説明できる								C	C
	医療・福祉制度の理解と応用	B	多学科チームでの仮想症例を通じたチーム医療学習の場で、多職種よりなるチーム医療を成立させる医療・福祉システムを活用できる。									B
		B	仮想症例検討において、病院、診療所、福祉施設など、様々な診療提供システム・機関を活用できる									B
		B	医療体制の主な構成要素(患者、多職種にわたる医療供給者、医療機関、保険者、行政、医療産業(製薬会社等)、診療報酬、薬価)について、役割・意義を説明できる									B
A		医療保険、コスト、医療の質、そして医療アクセスを考慮した診療を、指導/監督のもとで実践できる	B	医療アクセス、コスト、資源分配など、医療政策の重要な概念とそれらの関係、そして診療への影響を説明できる			B				A	
S		費用対効果研究、比較効果研究に関するエビデンスの批判的吟味ができ、診療への影響を説明できる				(S)						

医歯学融合教育科目における成績評価判定について

- 医歯学融合教育科目の受験資格判定、採点および合否判定は科目責任者が行う。
- 原則として、試験問題、採点および合否判定は両学科共通とする。
- 医学科・歯学科の各教育委員会で成績の判定をする。



コンピテンシー

大領域	小領域	細目(レベルS)	細目(レベルA=卒業時レベル)	細目(レベルB)	細目(レベルC)	細目(レベルD)	
国際人としての基盤	一般教養		健康/医療/歯科医療に貢献する者として必要な、幅広い教養と豊かな感性を持つ				
	国際感覚/国際的視点	国際的視野を持った上で、実際に海外での活動(留学を含む)に参加する	世界的に注目されている医学/歯学/健康に関する主たるトピックについて精通するよう情報収集する習慣を有し、議論できる	世界的に注目されている医学/歯学/健康に関する主たるトピックについて、議論できる	世界的に注目されている医学/歯学/健康に関する主たるトピックについて、説明できる。		
	国際言語(英語)の運用力	海外での研究・臨床実習に参加することができる英語力を有する	医学/歯学における最新の情報を入手し、また発信できる英語力を有する	科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる	非専門的(一般的)英語表現・英単語の表記・発音等ができる		
医学/科学の発展への貢献	科学的探求		医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる				
			基礎的および臨床的研究の倫理的事項に配慮して研究を実施できる	基礎的および臨床的研究の倫理的事項に配慮して実習を行える	基礎的および臨床的研究の倫理的事項を説明できる		
			未解決の臨床的あるいは科学的問題を認識し、仮説を立て、それを解決するための方法と資源を指導・監督のもとで見いだすことができる	臨床的あるいは科学的問題提起ができる			
			臨床や科学の興味ある領域での研究を、指導・監督のもとで実施できる	実習実験を実施して結果を得ることができる			
			自由研究で明らかになった新しい知見を、口頭および書面で明確に説明できる	実習実験により得られた結果の意義を、口頭あるいは書面で明確に説明できる			
プロフェッショナリズム	品位、礼儀		他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる				
			専門職にある者として適切な服装、衛生管理、言葉遣い、態度、行動をとることができる	専門職にある者として適切な服装、衛生管理、言葉遣い、態度、行動を説明できる	専門職にある者としての立場を理解している		
			専門職務非遂行時においても、専門職種にふさわしい振舞いができる	専門職務非遂行時においても専門職種にふさわしい振舞いを説明できる			
	専門職としての対人関係		患者側要素に配慮した最適なアプローチにて、常に良好な医師・患者関係を築くことができる	患者の、文化、人種、年齢、社会経済的状況、性別、性嗜好、信仰、障害、その他の多様性に配慮した対応が行える	患者の、文化、人種、年齢、社会経済的状況、性別、性嗜好、信仰、障害、その他の多様性に配慮した対応を説明できる		
			患者および家族と、共感、敬意、思いやりをもって接することができる				
			医療における他の専門職との交流に際して、尊敬、共感、責任能力、信頼性、誠実さを示すことができる				
			診療において、患者や患者家族とのラポール構築のために必要な行動をとることができる	患者や患者家族とのラポール構築のために必要な行動を説明でき、同僚らに提示できる	ラポールについて説明できる		
			患者との関係(情報漏洩、親密性、金品授受など)における適切な距離を維持することが困難な場合あるいは維持できなかった場合に、それを認識でき、相談し、解決策や予防策を立てることができる	患者との関係(情報漏洩、親密性、金品授受など)において適切な距離を維持することができる	患者との関係(情報漏洩、親密性、金品授受など)において適切な距離を維持する必要性を説明できる		
	患者との関係、職務上の優先性		個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる				

大領域	小領域	細目(レベルS)	細目(レベルA=卒業時レベル)	細目(レベルB)	細目(レベルC)	細目(レベルD)	
プロフェッショナリズム	患者との関係、職務上の優先性		自立と監督・指導の必要性との適切なバランスを常に保つことができる				
			臨床実習において、技能、知識、患者情報の欠如を認識し、必要に応じて援助を求めることができる				
	自己管理		メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる	メンタルストレスやその対処法を説明できる			
			医療従事者の健康管理(予防接種を含む)を実践できる	医学生としての健康管理(予防接種を含む)の重要性を説明できる			
	勤労習慣		時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる				
			文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる				
	法規、機関内規、専門職社会内規範		本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる				
	倫理			常に、誠実さ、正直さ、確実さをもって行動できる	常に、誠実さ、正直さ、確実さをもって行動する必要性を理解している		
				他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる			
				医療過誤、患者情報収集におけるエラーや、データの誤った説明などを、指導・監督者に報告できる	情報やデータ収集におけるエラーを認識し、学習グループのメンバーや指導・監督者に報告できる		
				他人による職務上の不正を認識し、省察やメンターや指導・監督者からの助言を得て倫理的に適切な対応を計画し、説明・遂行できる			
				患者情報の守秘義務を守り、患者のプライバシーを尊重できる	守秘義務と患者プライバシーに関して説明できる		
				臨床実習において、適切なインフォームドコンセントの取得に関与することができる	模擬患者から、インフォームドコンセントを取得することができる	インフォームドコンセントの重要性およびその過程を説明できる	
				記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる	著作権侵害にあたる行動を列挙できる		
				利益相反が生じる可能性を認識し、適切に対処できる	利益相反および回避するための行動を説明できる		
				企業とは倫理的に適切な関係を保つことができる	企業との関係における倫理的な側面につき説明できる		
	振り返りを通した自己研鑽/生涯学習			自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる			
				自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる	フィードバックの意義を説明でき、受容できる		

大領域	小領域	細目(レベルS)	細目(レベルA=卒業時レベル)	細目(レベルB)	細目(レベルC)	細目(レベルD)	
プロフェッショナリズム	振り返りを通じた自己研鑽/生涯学習		他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる				
			ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる				
コミュニケーション	医療チーム内/間コミュニケーション		口頭および書面にて、患者に関する全ての臨床情報を統合し、わかりやすく要約することができる	書面にて、患者に関する臨床情報を統合し要約することができる			
			様々な状況において、問題解決のための適切なアプローチ法を用いて、患者情報を系統的に、正確に、かつ論理的に提示でき、関連する情報にもとづきアセスメント・プランを考察し提示できる	様々な状況(回診か、症例検討会か)(網羅的なプレゼンテーションが求められているのか、的を絞ったプレゼンテーションか)に即した形式で、患者情報を系統的に、正確に、かつ論理的に提示することができる	患者情報を系統的に、正確に、かつ論理的に提示することができる		
			診療録、指示書、処方箋などの書類を、正確で読みやすく、期限に遅れることなく作成することができる	診療録、指示書、処方箋の意義、記載内容、記載方法を説明できる			
			多職種チームのすべてのメンバーと、敬意を払って効果的な議論ができる	多職種チームのすべてのメンバーと、敬意を払って効果的な議論ができる	多職種チームでの学習の場で、敬意を払って会話し、チームに貢献し学習できる		
			診療の引き継ぎ(ローテーション終了時、転科、転院等)に際して、引き継ぐ診療チーム・診療提供者に、臨床情報を包括的、効果的かつ正確に提供することができる	外来/病棟勤務終了時に、完了したもの、中途のものを含めたすべての臨床情報と業務について、診療チームに効果的に報告することができる			
	患者および家族とのコミュニケーション		患者や患者家族と、誠実で、常に患者/患者家族をサポートする姿勢を保ちながら、コミュニケーションをとることができる	患者の様々な背景や文化がどれだけ医者-患者間のコミュニケーションに影響するかを説明できる			
			重大で繊細な難しいトピック(sexual history、疾患名告知、退院計画議論、ターミナルケアなど)についての患者や患者家族との議論に、診療チームの一員として参加する	重大で繊細な難しいトピック(sexual history、疾患名告知、退院計画議論、ターミナルケアなど)についての患者や患者家族と議論する際に、配慮すべき点や重要な点を説明できる			
			監督・指導のもとに、患者や患者家族に提示すべき臨床所見/情報を列挙・整理し、診療計画を作成し、指導教員に説明することができる				
			患者の病いの捉え方や、患者がケアにおいて最も重要だと考える案件を理解し対処できる	患者の病いの捉え方や、患者がケアにおいて最も重要だと考える案件を、患者から会話において聞き出すために効果的な技能を提示できる	患者中心の医療について説明できる		
	知識とその応用	医学知識(基礎)		基礎医学の知識を疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に応用できる	疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に必要な基礎医学知識を提示できる		
		医学知識(臨床)		頻度の高い疾患について、疫学/病因/病理/病態/症候/予後の知識を診療に応用できる	頻度の高い疾患について、疫学/病因/病理/病態/症候/予後を説明できる		
				様々な症候/問題の原因評価において、適切な評価法を選定し、所見を適切に解釈できる	頻度の高い症候/問題の原因評価において、評価法についての知識(適応/合併症/限界)を応用できる	症候/問題の原因評価において用いられる評価法についての知識(適応/合併症/限界)を提示できる	
			様々な疾患に対する治療法(薬物療法、非薬物療法の双方を含む)に関する知識を診療に応用できる	頻度の高い疾患に対する治療法(薬物療法、非薬物療法の双方を含む)に関する知識を提示できる			
医療と社会				社会医学の知識を、医療・保健活動に応用できる	社会医学の知識を提示できる		
			世界の健康の向上および増進のため、国際機関等の活動に参加する	世界の保健・医療課題を、疾病の発生状況、資源、制度、環境の視点から説明できる	世界の保健・医療関連事象の推移と地域分布を説明できる		

大領域	小領域	細目(レベルS)	細目(レベルA=卒業時レベル)	細目(レベルB)	細目(レベルC)	細目(レベルD)
知識とその応用	予防と健康管理・増進		頻度の高い疾病についての予防戦略についての知識を診療に応用できる	頻度の高い疾病についての予防戦略についての知識を提示できる		
		地域および行政機関等において、人々の健康の向上および増進のための活動に参加する	住民の健康状態を把握し、その向上及び増進のために必要な医療および保健指導を説明できる	様々な集団や場に特有の健康問題を説明できる		
	歯科医学関連知識		歯科医学的側面を考慮した診療ができる	診療上必要な歯科医学の知識を提示できる	顎・口腔領域の構造と機能を説明できる	
			全身疾患と口腔疾患の関連を考慮した診療ができる	全身疾患と口腔疾患の関連を説明できる		
診療の実践	EBM/臨床推論		臨床において、情報技術を利用し、適切な情報源/エビデンスを活用できる	情報技術を利用し、関連する情報源/エビデンスを発見できる	E-learning, 文献検索エンジンなどを利用できる	
			臨床上の問題を明確化し、解決のために最適な情報源を選定できる	臨床上の問題を明確化できる		
			臨床研究の吟味において、研究デザインや統計的手法についての知識を応用できる	研究デザインや統計的手法についての知識を提示できる		
			適切な用語を用いて、医学的介入の利点と欠点を説明できる	医学的介入(予防/治療)に関するエビデンス吟味に用いられる用語(NNT, NNHなど)を説明できる		
			監督・指導のもとで、臨床判断に際し、関連するエビデンスの質を判断し、個々の患者への適用可能性を判断できる	仮想症例の臨床判断に際し、関連するエビデンスの質を判断できる	入手したエビデンスのレベルを正確に説明できる	情報の信頼性および有用性について、批判的視点を持つ
			診療ガイドラインにアクセスし、診療に活用できる	診療ガイドラインにアクセスし、仮想症例の検討に活用できる		
			適切な用語を用いて、患者の疾患可能性にもとづく診断的検査の意義を検討できる	診断に関するエビデンス吟味に用いられる用語(感度、特異度、尤度比など)を説明できる		
		実際の症例の診断的評価に際し、臨床推論を行い、得られた情報から適切で漏れのない鑑別疾患を挙げられ、適切な診断的検査法を選定でき、適切に検査所見を解釈でき、適切な臨床診断に到達することができる	仮想症例の診断的評価に際し、臨床推論を行い、得られた情報から適切で漏れのない鑑別疾患を挙げられ、適切な診断的検査法を選定でき、適切に検査所見を解釈でき、適切な臨床診断に到達することができる	主要な症候をきたす病態/疾患を列挙できる	臨床推論にもとづく診断過程を説明できる	
	病歴聴取		臨床実習の学習項目に挙げられる特定の状況(例、急性疼痛、高齢、小児、術前など)に応じた病歴を聴取できる	病歴聴取において、必要に応じて、患者/家族以外の情報源(プライマリケア提供医や、患者の診療に携わる他の医師・ケア提供者)も利用できる	病歴を網羅的に、系統立てて聴取し、標準書式にまとめることができる	患者から基本的情報を収集・統合し、病歴の標準書式にまとめることができる
			救急診療やコンサルテーション等に際して、臨床推論にもとづき、聴取すべき病歴要素を選定/調整し、的を絞った病歴聴取ができる			
	身体診察		身体診察を網羅的に、系統立てて、適切な順序で滑らかに効率よく行える	身体診察を網羅的に、系統立てて、適切な順序で行える	成人の身体診察を、基本的要素ごとに行える	
			高齢者の機能的評価を行える			
			小児の成長/発達の評価を行える			

大領域	小領域	細目(レベルS)	細目(レベルA=卒業時レベル)	細目(レベルB)	細目(レベルC)	細目(レベルD)	
診療の実践	身体診察		状況に応じた、的を絞った身体診察を、効率よく行える	臨床推論にもとづき、実施すべき身体診察要素を選定し、行える			
			診察において異常所見を認識・説明・記録でき、必要な病歴・診察を追加し、適切な鑑別疾患を列挙することができる	臨床実習の学習項目に含まれる異常所見を認識し、口頭で説明し、記録できる	臨床実習の学習項目に含まれる異常所見と、その診断的意義を説明できる	正常所見を説明できる	
	臨床手技		コアカリキュラムの学習項目としてあげられた臨床手技を実施できる	コアカリキュラムの学習項目としてあげられた臨床手技を呈示できる(シミュレータ/模擬患者などで)	コアカリキュラムの学習項目としてあげられた臨床手技の方法/適応/合併症を説明できる		
	診療録記載		初診時診療録/入院時要約/週間要約/退院時要約を、適切なフォーマットに沿って、適切なプロブレムリスト構築のもと、臨床推論をSOAP形式で反映させ、正確に記載できる	初診時診療録/入院時要約/週間要約/退院時要約を、適切なフォーマットに沿って、SOAP形式で記載できる			
			日々の診療録を、適切なフォーマットに沿って、日々の変化、適切な優先順位に配列したプロブレムリスト、そして臨床推論をSOAP形式で反映させ、正確に記載できる	日々の診療録を、SOAP形式で記載できる			
			再来受診の際の診療録を、適切なフォーマットに沿って、前回受診時からの変化、適切な優先順位に配列したプロブレムリスト、そして臨床推論をSOAP形式で反映させ、正確に簡潔に記載できる	再来受診の際の診療録を、SOAP形式で記載できる			
	患者管理		監督・指導のもとで、急性・慢性疾患を患う患者の、外来・病棟診療での管理ができる				
			安全で質の高い医療の提供の為に、状況に応じて指導医による監督・指導の必要性を適切に判断でき、求めることができる				
			監督・指導のもとで、退院計画や患者教育を含めた疾患管理・予防計画の策定ができる				
			診療の引き継ぎに際して、情報を効果的に伝えることができる	様々なセッティングにおける診療の引き継ぎに際して、伝えるべき情報とその形を説明できる			
	医療安全		感染に対する標準予防策(Standard precaution)にしたがい、清潔操作を行うことができる	感染に対する標準予防策(Standard precaution)を説明できる			
			感染患者隔離の必要な状況、および対処方法を説明できる	患者隔離の必要な感染症につき、感染経路や症候、予後、予防・治療を説明できる	感染患者隔離の対応に関する法的根拠を説明できる		
			針刺し事故、針刺し切創等を予防でき、かつ遭遇した際に適切に対処できる	針刺し事故、針刺し切創等の予防および遭遇した際の対処を説明できる	針刺し事故、針刺し切創等による感染症感染症につき、感染経路や症候、予後、予防・治療を説明できる		
			医療機関における医療安全管理体制の在り方を説明できる	医薬品、医療機器の安全管理体制を説明できる			
	様々な制度・資源を考慮した診療	医療機関内の制度・資源の理解と活用	医療機関内インフラ(医療情報、医学情報、様々な診療部門、運営/管理業務)を活用できる	医療機関内インフラ(医療情報、医学情報、様々な診療部門、運営/管理業務)を説明できる			

大領域	小領域	細目(レベルS)	細目(レベルA=卒業時レベル)	細目(レベルB)	細目(レベルC)	細目(レベルD)	
様々な制度・資源を考慮した診療	医療・福祉制度の理解と応用		多職種よりなるチーム医療を成立させる医療・福祉制度を、指導/監督のもと、活用できる	多学科チームでの仮想症例を通じたチーム医療学習の場で、多職種よりなるチーム医療を成立させる医療・福祉システムを活用できる。	急性期、慢性期、および長期的ケアを含む医療の向上に向けた、様々な専門分野の協力にもとづくアプローチについて、説明できる	診療チームを構成するメンバーを同定し、彼らの役割を説明できる	
			臨床実習において、指導/監督のもとで、病院、診療所、福祉施設など、様々な診療提供システム・機関を活用できる	仮想症例検討において、病院、診療所、福祉施設など、様々な診療提供システム・機関を活用できる	病院、診療所、福祉施設など、様々な診療提供システム・機関の役割を説明できる		
			様々な情報源(かかりつけ医、家族、地域の福祉職員や、入院および外来診療録など)から関連する情報を効果的に取得し、診療に活用することができる				
			医療体制の主な構成要素の役割・意義を理解・考慮した診療を、指導/監督のもとで実践できる	医療体制の主な構成要素(患者、多職種にわたる医療供給者、医療機関、保険者、行政、医療産業(製薬会社等)、診療報酬、薬価)について、役割・意義を説明できる			
			医療保険、コスト、医療の質、そして医療アクセスを考慮した診療を、指導/監督のもとで実践できる	医療アクセス、コスト、資源分配など、医療政策の重要な概念とそれらの関係、そして診療への影響を説明できる			
		費用対効果研究、比較効果研究に関するエビデンスの批判的吟味ができ、診療への影響を説明できる	医療政策の有効性が吟味でき、診療への影響を説明できる	医療制度や医療提供体制が、医療の質と量へ与える影響(特に異なる背景の患者間の格差、例：地域、年齢、医師の配置)を、説明できる	医療政策形成過程を説明できる		

別表 科目を履修して得られる能力(医学科第1学年)
医学科コンピテンシーより

医学
導入

大領域	小領域	細目	
国際人としての基盤	国際感覚/国際的視点	世界的に注目されている医学/歯学/健康に関する主たるトピックについて、議論できる	B
	国際言語(英語)の運用力	非専門的(一般的)英語表現・英単語の表記・発音等ができる	C
医学/科学の発展への貢献	科学的探求	医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる	A
		臨床的あるいは科学的問題提起ができる	B
プロフェッショナリズム	品位、礼儀	他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる	A
		専門職にある者としての立場を理解している	C
	専門職としての対人関係	医療における他の専門職との交流に際して、尊敬、共感、責任能力、信頼性、誠実さを示すことができる	A
		ラポールについて説明できる	C
	患者との関係、職務上の優先性	患者との関係(情報漏洩、親密性、金品授受など)において適切な距離を維持する必要性を説明できる	C
		個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる	A
		自立と監督・指導の必要性との適切なバランスを常に保つことができる	A
	自己管理	メンタルストレスやその対処法を説明できる	B
		医学生としての健康管理(予防接種を含む)の重要性を説明できる	B
	勤労習慣	時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる	A
		文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる	A
	法規、機関内規、専門職社会内規範	本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる	A
	倫理	常に、誠実さ、正直さ、確実さをもって行動する必要性を理解している	B
		他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる	A
		患者情報の守秘義務を守り、患者のプライバシーを尊重できる	A
		記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる	A
振り返りを通じた自己研鑽/生涯学習	自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる	A	
	フィードバックの意義を説明でき、受容できる	B	
プロフェッショナリズム	振り返りを通じた自己研鑽/生涯学習	他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる	A
		ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる	A
コミュニケーション	患者および家族とのコミュニケーション	患者の様々な背景や文化がどれだけ医者-患者間のコミュニケーションに影響するかを説明できる	B
		重大で繊細な難しいトピック(sexual history、疾患名告知、退院計画議論、ターミナルケアなど)について患者や患者家族と議論する際に、配慮すべき点や重要な点を説明できる	B
		患者中心の医療について説明できる	C
知識とその応用	医療と社会	世界の保健・医療関連事象の推移と地域分布を説明できる	B
診療の実践	EBM/臨床推論	E-learning, 文献検索エンジンなどを利用できる	C
		情報の信頼性および有用性について、批判的視点を持つ	D
		臨床推論にもとづく診断過程を説明できる	D
	病歴聴取	患者から基本的情報を収集・統合し、病歴の標準書式にまとめることができる	D
様々な制度・資源を考慮した診療	医療機関内の制度・資源の理解と活用	医療機関内インフラ(医療情報、医学情報、様々な診療部門、運営/管理業務)を説明できる	B
	医療・福祉制度の理解と応用	診療チームを構成するメンバーを同定し、彼らの役割を説明できる	D
		病院、診療所、福祉施設など、様々な診療提供システム・機関の役割を説明できる	C
		医療政策形成過程を説明できる	C

別表 科目を履修して得られる能力(医学科第2学年)
医学科コンピテンシーより

大領域	小領域	細目	学習方法	レベル	人体構造総論	細胞生物学	神経生理導入	生理学	組織学	人体解剖学	薬理学	生化学	分子遺伝学	神経解剖学	免疫学	神経科学・基礎	感染・基礎	東洋医学	病理学	医動物学	
国際人としての基盤	国際感覚/国際的視点	世界的に注目されている医学/歯学/健康に関する主たるトピックについて、議論できる	講義	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	
	国際言語(英語)の運用力	科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる	講義	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	
医学/科学の発展への貢献	科学的探求	医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる	講義・実習	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	
		基礎的および臨床的研究の倫理的事項に配慮して実習を行える	実習	B				B	B	B	B				B	B	B	B		B	
		臨床的あるいは科学的問題提起ができる	講義・実習	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
		実習実験を実施して結果を得ることができる	実習	B				B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B		B	B
		実習実験により得られた結果の意義を、口頭あるいは書面で明確に説明できる	実習	B				B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B		B	B
プロフェッショナリズム	品位、礼儀	他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる	講義・実習	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	
		患者との関係(情報漏洩、親密性、金品授受など)において適切な距離を維持する必要性を説明できる	実習	C						C											
	患者との関係、職務上の優先性	個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる	講義・実習	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	
		自立と監督・指導の必要性との適切なバランスを常に保つことができる	実習	A				A	A	A	A	A	A	A	A	A	A			A	
	自己管理	メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる	講義・実習	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	
		医学生としての健康管理(予防接種を含む)の重要性を説明できる	講義	B												B		B			
	勤労習慣	時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる	講義・実習	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	
		文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる	講義・実習	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	
	法規、機関内規、専門職社会内規範	本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる	講義・実習	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	
	倫理	常に、誠実さ、正直さ、確実さをもって行動できる	講義・実習	A				A	A	A	A	A	A	A	A	A	A			A	
		情報やデータ収集におけるエラーを認識し、学習グループのメンバーや指導・監督者に報告できる	講義・実習	B				B	B	B	B	B	B	B	B	B	B			B	
		他人による職務上の不正を認識し、省察やメンターや指導・監督者からの助言を得て倫理的に適切な対応を計画し、説明・遂行できる	講義・実習	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	
		記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる	講義・実習	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	
	振り返りを通じた自己研鑽/生涯学習	自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善のための学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる	講義・実習	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	
		自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる	講義・実習	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	
他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる		講義・実習	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A		
ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる		講義・実習	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A		
知識とその応用	医学知識(基礎)	疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に必要な基礎医学知識を提示できる	講義・実習	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B		
診療の実践	EBM/臨床推論	E-learning, 文献検索エンジンなどを利用できる	講義・実習	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C		
	医療安全	患者隔離の必要な感染症につき、感染経路や症候、予後、予防・治療を説明できる	講義	B													B				
		針刺し事故、針刺し創等による感染症感染につき、感染経路や症候、予後、予防・治療を説明できる	講義	C													C				

別表 科目を履修して得られる能力(医学科第3学年)
医学科コンピテンシーより

			腫瘍学	法医学	社会医学	衛生学	公衆衛生学	臨床医学導入	循環器	呼吸器	消化器	器	体液制御・泌尿	内分泌・代謝	血液・腫瘍	一般外科	神経科学・臨床	骨・関節・脊椎	皮膚・アレルギー・膠原病	感染・臨床	
大領域	小領域	細目	レベル																		
プロフェッショナリズム	振り返りを通じた自己研鑽/生涯学習	他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	
		ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
コミュニケーション	医療チーム内/間コミュニケーション	書面にて、患者に関する臨床情報を統合し要約することができる	B						B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	
	患者および家族とのコミュニケーション	患者の様々な背景や文化がどれだけ医者-患者間のコミュニケーションに影響するかを説明できる	B			B															
		重大で繊細な難しいトピック(sexual history、疾患名告知、退院計画議論、ターミナルケアなど)について患者や患者家族と議論する際に、配慮すべき点や重要な点を説明できる	B			B															
		患者中心の医療について説明できる	C			C		C													
知識とその応用	医学知識(基礎)	B: 疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に必要な基礎医学知識を提示できる A: 基礎医学の知識を疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に応用できる	BA	B					A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	
	医学知識(臨床)	頻度の高い疾患について、疫学/病因/病理/病態/症候/予後を説明できる	B						B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	
		症候/問題の原因評価において用いられる評価法についての知識(適応/合併症/限界)を提示できる	C						C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
		頻度の高い疾患に対する治療法(薬物療法、非薬物療法の双方を含む)に関する知識を提示できる	B						B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
	医療と社会	社会医学の知識を提示できる	B		B	B	B	B													
		B: 世界の保健・医療関連事象の推移と地域分布を説明できる A: 世界の保健・医療課題を、疾病の発生状況、資源、制度、環境の視点から説明できる	BA			BA		BA													
予防と健康管理・増進	頻度の高い疾病についての予防戦略についての知識を提示できる	B					B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	
	様々な集団や場に特有の健康問題を説明できる	B					B														
診療の実践	EBM/臨床推論	E-learning, 文献検索エンジンなどを利用できる	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	
		研究デザインや統計的手法についての知識を提示できる	B					B													
		D: 臨床推論にもとづく診断過程を説明できる C: 主要な症候をきたす病態/疾患を列挙できる	DC						D	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	
	病歴聴取	患者から基本的情報を収集・統合し、病歴の標準書式にまとめることができる	D						D												
	身体診察	成人の身体診察を、基本的要素ごとに行える	C							C											
		D: 正常所見を説明できる C: 臨床実習の学習項目に含まれる異常所見と、その診断的意義を説明できる	DC							D	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
	医療安全	感染に対する標準予防策(Standard precaution)を説明できる	B																		B
		C: 感染患者隔離の対応に関する法的根拠を説明できる B: 患者隔離の必要な感染症につき、感染経路や症候、予後、予防・治療を説明できる	CB						C			B	B								B
C: 針刺し事故、針刺し切創等による感染症感染につき、感染経路や症候、予後、予防・治療を説明できる B: 針刺し事故、針刺し切創等の予防および遭遇した際の対処を説明できる		CB										C									CB
診療の実践	医療安全	医薬品、医療機器の安全管理体制を説明できる	B			B															
		急性期、慢性期、および長期的ケアを含む医療の向上に向けた、様々な専門分野の協力にもとづくアプローチについて、説明できる	C			C												C	C		

別表 科目を履修して得られる能力(医学科第4学年)
医学科コンピテンシーより

大領域	小領域	細目	レベル	生殖・発達	救急・麻酔	自由選択学習	臨床導入実習
国際人としての基盤	国際感覚/国際的視点	A:世界的に注目されている医学/歯学/健康に関する主たるトピックについて精通するよう情報収集する習慣を有し、議論できる B:世界的に注目されている医学/歯学/健康に関する主たるトピックについて、議論できる	BA	B	B	A	
	国際言語(英語)の運用力	A:医学/歯学における最新の情報を入手し、また発信できる英語力を有する B:科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる	BA	B	B	A	
医学/科学の発展への貢献	科学的探求	医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる	A	A	A	A	
		基礎的および臨床的研究の倫理的事項に配慮して研究を実施できる	A			A	
		A:未解決の臨床的あるいは科学的問題を認識し、仮説を立て、それを解決するための方法と資源を指導・監督のもとで見いだすことができる B:臨床的あるいは科学的問題提起ができる	BA	B	B	A	
		臨床や科学の興味ある領域での研究を、指導・監督のもとで実施できる	A			A	
		自由研究で明らかになった新しい知見を、口頭および書面で明確に説明できる	A			A	
プロフェッショナリズム	品位、礼儀	他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる	A	A	A	A	A
		専門職にある者として適切な服装、衛生管理、言葉遣い、態度、行動を説明できる	B				B
		専門職務非遂行時においても専門職種にふさわしい振舞いを説明できる	B				B
	専門職としての対人関係	患者の、文化、人種、年齢、社会経済的状況、性別、性嗜好、信仰、障害、その他の多様性に配慮した対応が行える	B				B
		患者および家族と、共感、敬意、思いやりをもって接することができる	A				A
		医療における他の専門職との交流に際して、尊敬、共感、責任能力、信頼性、誠実さを示すことができる	A				A
プロフェッショナリズム	患者との関係、職務上の優先性	患者との関係(情報漏洩、親密性、金品授受など)において適切な距離を維持することができる	B				B
		個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる	A	A	A	A	A
		自立と監督・指導の必要性との適切なバランスを常に保つことができる	A			A	A
		臨床実習において、技能、知識、患者情報の欠如を認識し、必要に応じて援助を求めることができる	A				A
	自己管理	メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる	A	A	A	A	A
		医学生としての健康管理(予防接種を含む)の重要性を説明できる	B				B
	勤労習慣	時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる	A	A	A	A	A
		文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる	A	A	A	A	A
プロフェッショナリズム	法規、機関内規、専門職社会内規範	本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる	A	A	A	A	A
	倫理	常に、誠実さ、正直さ、確実さをもって行動できる	A			A	A
		他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる	A	A	A	A	A
		情報やデータ収集におけるエラーを認識し、学習グループのメンバーや指導・監督者に報告できる	B			B	
		他人による職務上の不正を認識し、省察やメンターや指導・監督者からの助言を得て倫理的に適切な対応を計画し、説明・遂行できる	A			A	
		守秘義務と患者プライバシーに関して説明できる	B				
		模擬患者から、インフォームドコンセントを取得することができる	B				B
		記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる	A	A	A	A	A
		企業とは倫理的に適切な関係を保つことができる	A			A	
	振り返りを通じた自己研鑽/生涯学習	自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる	A	A	A	A	A
		自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる	A	A	A	A	A
		他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる	A	A	A	A	A
		ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる	A	A	A	A	A
コミュニケーション	医療チーム内/間コミュニケーション	書面にて、患者に関する臨床情報を統合し要約することができる	B	B	B		B
		患者情報を系統的に、正確に、かつ論理的に提示することができる	C				C

別表 科目を履修して得られる能力(医学科第4学年)
医学科コンピテンシーより

				生殖・発達	救急・麻酔	自由選択学習	臨床導入実習
大領域	小領域	細目	レベル				
コミュニケーション	医療チーム内/間コミュニケーション	診療録、指示書、処方箋などの書類を、正確で読みやすく、期限に遅れることなく作成することができる)	B				B
	患者および家族とのコミュニケーション	患者や患者家族と、誠実で、常に患者/患者家族をサポートする姿勢を保ちながら、コミュニケーションをとることができる	A				A
		重大で繊細な難しいトピック(sexual history、疾患名告知、退院計画議論、ターミナルケアなど)について患者や患者家族と議論する際に、配慮すべき点や重要な点を説明できる	B				B
		患者の病いの捉え方や、患者がケアにおいて最も重要だと考える案件を、患者から会話において聞き出すために効果的な技能を提示できる	B				B
知識とその応用	医学知識(基礎)	基礎医学の知識を疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に応用できる	A	A	A	(A)	A
	医学知識(臨床)	頻度の高い疾患について、疫学/病因/病理/病態/症候/予後を説明できる	B	B	B		B
		B:頻度の高い症候/問題の原因評価において、評価法についての知識(適応/合併症/限界)を応用できる C:症候/問題の原因評価において用いられる評価法についての知識(適応/合併症/限界)を提示できる	CB	C	C		B
		頻度の高い疾患に対する治療法(薬物療法、非薬物療法の双方を含む)に関する知識を提示できる	B	B	B		B
	医療と社会	社会医学の知識を提示できる	B				B
	予防と健康管理・増進	頻度の高い疾病についての予防戦略についての知識を提示できる	B	B	B		B
		様々な集団や場に特有の健康問題を説明できる	B				B
歯科医学関連知識	診療上必要な歯科医学の知識を提示できる	B				B	
	全身疾患と口腔疾患の関連を説明できる	B				B	
診療の実践	EBM/臨床推論	情報技術を利用し、関連する情報源/エビデンスを発見できる	B				B
		臨床上の問題を明確化し、解決のために最適な情報源を選定できる	A				A
		臨床研究の吟味において、研究デザインや統計的手法についての知識を応用できる	A				A
		適切な用語を用いて、医学的介入の利点と欠点を説明できる	A				A
		仮想症例の臨床判断に際し、関連するエビデンスの質を判断できる	B				B
		診療ガイドラインにアクセスし、仮想症例の検討に活用できる	B				B
		適切な用語を用いて、患者の疾患可能性にもとづく診断的検査の意義を検討できる	A				A
	B:仮想症例の診断的評価に際し、臨床推論を行い、得られた情報から適切で漏れのない鑑別疾患を挙げられ、適切な診断的検査法を選定でき、適切に検査所見を解釈でき、適切な臨床診断に到達することができる C:主要な症候をきたす病態/疾患を列挙できる	CB	C	C		CB	
病歴聴取	A:臨床実習の学習項目に挙げられる特定の状況(例、急性疼痛、高齢、小児、術前など)に応じた病歴を聴取できる B:病歴聴取において、必要に応じて、患者/家族以外の情報源(プライマリケア提供医や、患者の診療に携わる他の医師・ケア提供者)も利用できる C:病歴を網羅的に、系統立てて聴取し、標準書式にまとめることができる	CBA				CBA	
	救急診療やコンサルテーション等に際して、臨床推論にもとづき、聴取すべき病歴要素を選定/調整し、的を絞った病歴聴取ができる	A				A	
診療の実践	身体診察	B:身体診察を網羅的に、系統立てて、適切な順序で行える C:成人の身体診察を、基本的要素ごとに行える	CB				CB
		高齢者の機能的評価を行える	A				A
		小児の成長/発達の評価を行える	A	A			A
		臨床推論にもとづき、実施すべき身体診察要素を選定し、行える	B				B
	臨床手技	B:臨床実習の学習項目に含まれる異常所見を認識し、口頭で説明し、記録できる C:臨床実習の学習項目に含まれる異常所見と、その診断的意義を説明できる	CB	C	C		B
		B:コアカリキュラムの学習項目としてあげられた臨床手技を呈示できる(シミュレータ/模擬患者などで) C:コアカリキュラムの学習項目としてあげられた臨床手技の方法/適応/合併症を説明できる	CB				CB
診療録記載	初診時診療録/入院時要約/週間要約/退院時要約を、適切なフォーマットに沿って、SOAP形式で、記載できる	B				B	
	日々の診療録を、SOAP形式で記載できる	B				B	
	再来受診の際の診療録を、SOAP形式で記載できる	B				B	
患者管理	様々なセッティングにおける診療の引き継ぎに際して、伝えるべき情報とその形を説明できる	B				B	
診療の実践	医療安全	感染に対する標準予防策(Standard precaution)にしたがい、清潔操作を行うことができる	A				A
		患者隔離の必要な感染症につき、感染経路や症候、予後、予防・治療を説明できる	B	B	B		B

別表 科目を履修して得られる能力(医学科第4学年)
医学科コンピテンシーより

大領域	小領域	細目	レベル	生殖・発達	救急・麻酔	自由選択学習	臨床導入実習
診療の実践	医療安全	B:針刺し事故、針刺し切創等の予防および遭遇した際の対処を説明できる C:針刺し事故、針刺し切創等による感染症感染につき、感染経路や症候、予後、予防・治療を説明できる	CB		C		B
		A:医療機関における医療安全管理体制の在り方を説明できる B:医薬品、医療機器の安全管理体制を説明できる	BA				BA
様々な制度・資源を考慮した診療	医療機関内の制度・資源の理解と活用	医療機関内インフラ(医療情報、医学情報、様々な診療部門、運営/管理業務)を説明できる	B				B
	医療・福祉制度の理解と応用	急性期、慢性期、および長期的ケアを含む医療の向上に向けた、様々な専門分野の協力にもとづくアプローチについて、説明できる	C	C	C		
		仮想症例検討において、病院、診療所、福祉施設など、様々な診療提供システム・機関を活用できる	B				B
		医療体制の主な構成要素の役割・意義を理解・考慮した診療を、指導/監督のもとで実践できる	A			(A)	
		医療保険、コスト、医療の質、そして医療アクセスを考慮した診療を、指導/監督のもとで実践できる	A			(A)	
	費用対効果研究、比較効果研究に関するエビデンスの批判的吟味ができ、診療への影響を説明できる	S			(S)		

別表 科目を履修して得られる能力(医学科第5・6学年)
医学科コンピテンシーより

(医歯融合)包括医療
統合教育
臨床実習

大領域	小領域	細目	レベル		
国際人としての基盤	国際感覚/国際的視点	世界的に注目されている医学/歯学/健康に関する主たるトピックについて精通するよう情報収集する習慣を有し、議論できる	A		A
	国際言語(英語)の運用力	医学/歯学における最新の情報を入手し、また発信できる英語力を有する	A		A
医学/科学の発展への貢献		基礎的および臨床的研究の倫理的事項に配慮して実習を行える	B		B
プロフェッショナリズム	品位、礼儀	他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる	A	A	A
		B:専門職にある者として適切な服装、衛生管理、言葉遣い、態度、行動を説明できる A:専門職にある者として適切な服装、衛生管理、言葉遣い、態度、行動をとることができる	BA	B	A
		B:専門職務非遂行時においても専門職種にふさわしい振舞いを説明できる A:専門職務非遂行時においても、専門職種にふさわしい振舞いができる	BA	B	A
	専門職としての対人関係	B:患者の、文化、人種、年齢、社会経済的状況、性別、性嗜好、信仰、障害、その他の多様性に配慮した対応が行える A:患者側要素に配慮した最適なアプローチにて、常に良好な医師・患者関係を築くことができる	BA	B	A
		患者および家族と、共感、敬意、思いやりをもって接することができる	A	A	A
		医療における他の専門職との交流に際して、尊敬、共感、責任能力、信頼性、誠実さを示すことができる	A	A	A
		診療において、患者や患者家族とのラポール構築のために必要な行動をとることができる	A		A
	患者との関係、職務上の優先性	患者との関係(情報漏洩、親密性、金品授受など)における適切な距離を維持することが困難な場合あるいは維持できなかった場合に、それを認識でき、相談し、解決策や予防策を立てることができる	A		A
		個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる	A	A	A
		自立と監督・指導の必要性との適切なバランスを常に保つことができる	A	A	A
		臨床実習において、技能、知識、患者情報の欠如を認識し、必要に応じて援助を求めることができる	A		A
	自己管理	メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる	A	A	A
		医療従事者の健康管理(予防接種を含む)を実践できる	A		A
	勤労習慣	時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる	A	A	A
		文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる	A	A	A
	法規、機関内規、専門職社会内規範	本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる	A	A	A
	倫理	常に、誠実さ、正直さ、確実さをもって行動できる	A		A
		他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる	A	A	A
		医療過誤、患者情報収集におけるエラーや、データの誤った説明などを、指導・監督者に報告できる	A	A	A
		他人による職務上の不正を認識し、省察やメンターや指導・監督者からの助言を得て倫理的に適切な対応を計画し、説明・遂行できる	A	A	A
		B:守秘義務と患者プライバシーに関して説明できる A:患者情報の守秘義務を守り、患者のプライバシーを尊重できる	BA	B	A
		C:インフォームドコンセントの重要性およびその過程を説明できる A:臨床実習において、適切なインフォームドコンセントの取得に関与することができる	CA	C	A
		記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる	A	A	A
		B:利益相反および回避するための行動を説明できる A:利益相反が生じる可能性を認識し、適切に対処できる	BA	B	A
		B:企業との関係における倫理的な側面につき説明できる A:企業とは倫理的に適切な関係を保つことができる	BA	B	A
		自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる	A	A	A
	振り返りを通した自己研鑽/生涯学習	自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる	A	A	A
他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる		A	A	A	
ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる		A	A	A	
		A	A	A	
コミュニケーション	医療チーム内/間コミュニケーション	B:書面にて、患者に関する臨床情報を統合し要約することができる A:口頭および書面にて、患者に関する全ての臨床情報を統合し、わかりやすく要約することができる	BA	B	A

別表 科目を履修して得られる能力(医学科第5・6学年)
医学科コンピテンシーより

(医歯薬)包括医療
統合教育
臨床実習

大領域	小領域	細目	レベル			
コミュニケーション	医療チーム内/間コミュニケーション	B:様々な状況(回診か、症例検討会か)(網羅的なプレゼンテーションが求められているのか、的を絞ったプレゼンテーションか)に即した形式で、患者情報を系統的に、正確に、かつ論理的に提示することができる A:様々な状況において、問題解決のための適切なアプローチ法を用いて、患者情報を系統的に、正確に、かつ論理的に提示でき、関連する情報にもとづきアセスメント・プランを考察し提示できる	BA		BA	
		診療録、指示書、処方箋などの書類を、正確で読みやすく、期限に遅れることなく作成することができる	A		A	
		B:多学科チームのすべてのメンバーと、敬意を払って効果的な議論ができる A:多職種チームのすべてのメンバーと、敬意を払って効果的な議論ができる	BA	B	A	
		B:外来/病棟勤務終了時に、完了したもの、中途のものを含めたすべての臨床情報と業務について、診療チームに効果的に報告することができる A:診療の引き継ぎ(ローテーション終了時、転科、転院等)に際して、引き継ぐ診療チーム・診療提供者に、臨床情報を包括的、効果的かつ正確に提供することができる	BA		BA	
	患者および家族とのコミュニケーション	患者や患者家族と、誠実で、常に患者/患者家族をサポートする姿勢を保ちながら、コミュニケーションをとることができる	A		A	
		B:重大で繊細な難しいトピック(sexual history、疾患名告知、退院計画議論、ターミナルケアなど)について患者や患者家族と議論する際に、配慮すべき点や重要な点を説明できる A:重大で繊細な難しいトピック(sexual history、疾患名告知、退院計画議論、ターミナルケアなど)についての患者や患者家族との議論に、診療チームの一員として参加する	BA		BA	
		監督・指導のもとに、患者や患者家族に提示すべき臨床所見/情報を列挙・整理し、診療計画を作成し、指導教員に説明することができる	A		A	
		患者の病いの捉え方や、患者がケアにおいて最も重要だと考える案件を理解し対処できる	A		A	
	知識とその応用	医学知識(基礎)	基礎医学の知識を疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に応用できる	A	A	A
		医学知識(臨床)	頻度の高い疾患について、疫学/病因/病理/病態/症候/予後の知識を診療に応用できる	A	A	A
様々な症候/問題の原因評価において、適切な評価法を選定し、所見を適切に解釈できる			A	A	A	
様々な疾患に対する治療法(薬物療法、非薬物療法の双方を含む)に関する知識を診療に応用できる			A	A	A	
医療と社会		社会医学の知識を、医療・保健活動に応用できる	A	A	A	
		世界の保健・医療課題を、疾病の発生状況、資源、制度、環境の視点から説明できる	A		A	
予防と健康管理・増進		頻度の高い疾病についての予防戦略についての知識を診療に応用できる	A	A	A	
		住民の健康状態を把握し、その向上及び増進のために必要な医療および保健指導を説明できる	A	A	A	
歯科医学関連知識		歯科医学的側面を考慮した診療ができる	A	A	A	
		全身疾患と口腔疾患の関連を考慮した診療ができる	A	A	A	
診療の実践	EBM/臨床推論	臨床において、情報技術を利用し、適切な情報源/エビデンスを活用できる	A		A	
		臨床上の問題を明確化し、解決のために最適な情報源を選定できる	A		A	
		臨床研究の吟味において、研究デザインや統計的手法についての知識を応用できる	A		A	
		適切な用語を用いて、医学的介入の利点と欠点を説明できる	A	A	A	
		監督・指導のもとで、臨床判断に際し、関連するエビデンスの質を判断し、個々の患者への適用可能性を判断できる	A	A	A	
		診療ガイドラインにアクセスし、診療に活用できる	A	A	A	
		適切な用語を用いて、患者の疾患可能性にもとづく診断的検査の意義を検討できる	A	A	A	
	B:仮想症例の診断的評価に際し、臨床推論を行い、得られた情報から適切で漏れのない鑑別疾患を挙げられ、適切な診断的検査法を選定でき、適切に検査所見を解釈でき、適切な臨床診断に到達することができる A:実際の症例の診断的評価に際し、臨床推論を行い、得られた情報から適切で漏れのない鑑別疾患を挙げられ、適切な診断的検査法を選定でき、適切に検査所見を解釈でき、適切な臨床診断に到達することができる	BA	B	A		
	病歴聴取	臨床実習の学習項目に挙げられる特定の状況(例、急性疼痛、高齢、小児、術前など)に応じた病歴を聴取できる	A		A	
		救急診療やコンサルテーション等に際して、臨床推論にもとづき、聴取すべき病歴要素を選定/調整し、的を絞った病歴聴取ができる	A		A	
身体診察	身体診察を網羅的に、系統立てて、適切な順序で滑らかに効率よく行える	A		A		
	高齢者の機能的評価を行える	A	A	A		

別表 科目を履修して得られる能力(医学科第5・6学年)
医学科コンピテンシーより

(医歯融合)包括医療
統合教育
臨床実習

大領域	小領域	細目	レベル			
診療の実践	身体診察	小児の成長／発達の評価を行える	A		A	
		状況に応じた、的を絞った身体診察を、効率よく行える	A		A	
		診察において異常所見を認識・説明・記録でき、必要な病歴・診察を追加し、適切な鑑別疾患を列挙することができる	A	A	A	
	臨床手技	コアカリキュラムの学習項目としてあげられた臨床手技を実施できる	A		A	
	診療録記載	初診時診療録/入院時要約/週間要約/退院時要約を、適切なフォーマットに沿って、適切なプロブレムリスト構築のもと、臨床推論をSOAP形式で反映させ、正確に記載できる	A	A	A	
		日々の診療録を、適切なフォーマットに沿って、日々の変化、適切な優先順位に配列したプロブレムリスト、そして臨床推論をSOAP形式で反映させ、正確に記載できる	A	A	A	
		再来受診の際の診療録を、適切なフォーマットに沿って、前回受診時からの変化、適切な優先順位に配列したプロブレムリスト、そして臨床推論をSOAP形式で反映させ、正確に簡潔に記載できる	A	A	A	
	患者管理	監督・指導のもとで、急性・慢性疾患を患う患者の、外来・病棟診療での管理ができる	A		A	
		安全で質の高い医療の提供の為に、状況に応じて指導医による監督・指導の必要性を適切に判断でき、求めることができる	A		A	
		監督・指導のもとで、退院計画や患者教育を含めた疾患管理・予防計画の策定ができる	A		A	
		診療の引き継ぎに際して、情報を効果的に伝えることができる	A	A	A	
	医療安全	感染に対する標準予防策(Standard precaution)にしたがい、清潔操作を行うことができる	A		A	
		感染患者隔離の必要な状況、および対処方法を説明できる	A		A	
		針刺し事故、針刺切創等を予防でき、かつ遭遇した際に適切に対処できる	A		A	
		医療機関における医療安全管理体制の在り方を説明できる	A	A	A	
	様々な制度・資源を考慮した診療	医療機関内の制度・資源の理解と活用	医療機関内インフラ(医療情報、医学情報、様々な診療部門、運営/管理業務)を活用できる	A		A
		医療・福祉制度の理解と応用	B:多学科チームでの仮想症例を通じたチーム医療学習の場で、多職種よりなるチーム医療を成立させる医療・福祉システムを活用できる。 A:多職種よりなるチーム医療を成立させる医療・福祉制度を、指導/監督のもと、活用できる	BA	B	A
			B:臨床実習において、指導/監督のもとで、病院、診療所、福祉施設など、様々な診療提供システム・機関を活用できる A:仮想症例検討において、病院、診療所、福祉施設など、様々な診療提供システム・機関を活用できる	BA	B	A
			様々な情報源(かかりつけ医、家族、地域の福祉職員や、入院および外来診療録など)から関連する情報を効果的に取得し、診療に活用することができる	A	A	A
			医療体制の主な構成要素の役割・意義を理解・考慮した診療を、指導/監督のもとで実践できる	A	A	A
医療保険、コスト、医療の質、そして医療アクセスを考慮した診療を、指導/監督のもとで実践できる			A	A	A	
A:医療政策の有効性が吟味でき、診療への影響を説明できる S:費用対効果研究、比較効果研究に関するエビデンスの批判的吟味ができ、診療への影響を説明できる			(S)A	(S)	A	

平成30年度
医学部医学科
学生周知事項

学生周知事項

1. 連絡・通知

すべての告示、通知、連絡（試験関係、休講、講義室変更、奨学金関係、健康診断、授業料の納付、呼び出し等）は、Webclass（電子掲示板）により行います。

新たに掲示があった場合はメーリングリストで周知するので、1日に1回はメールを確認するよう心がけ、見落としとして不利益を被らないよう十分注意してください。

2. 電話等による学生の呼び出し

電話等による学生の呼び出しは、緊急かつ重大な場合以外には行わないので、各関係者に説明しておいてください。

3. 学生証

学生証は、本学の学生であることを証明するものです。

入学時に交付したものを6年間使用しますので、紛失や破損等しないよう大切に取り扱いってください。

なお、学生証は、定期試験受験時や通学定期券の購入時に提示を求められたら速やかに提示できるよう、常に携帯してください。

(1) 再交付手続

学生証を紛失または破損した場合は、学務企画課（1号館西1階）に申し出て、再交付の手続きをとってください。再交付には費用を徴収し、再発行までに約1ヶ月近くかかりますので注意してください。

(2) 返却

卒業、退学または除籍となった場合は、直ちに学生証を学務企画課へ返却してください。なお、返却できない場合は、再交付時と同様に実費を徴収します。

4. 証明書等

証明書等は、医学部医学教務掛にて発行するものと、自動発行機にて発行するものがあります。

(1) 医学教務係（受付時間 8:30～17:15）

次に掲げるものは、医学教務係で発行しますので証明書交付願を提出してください。（交付は④を除き原則として交付願を受理した日の明後日となります。）

①成績証明書

②卒業見込証明書（第6学年在籍者のみ。）

③調査書

④英文の在学証明書（交付に1週間程度要します。）

⑤通学証明書（交通機関から請求された場合に限る。）

鉄道やバスの通学定期券を購入する場合は、住居の最寄り駅または大学の最寄り駅にて学生証を提示し、直接購入してください。

(2) 自動発行機（利用時間 8：30～21：00）

在学証明書は、学生談話室（5号館4階）に設置されている「自動発行機」にて発行します。（問い合わせ先）学務企画課企画調査係（03-5803-5074）

5. 学生旅客運賃割引証（学割証）

(1) 学生が課外活動や帰省などでJR線を利用する場合、乗車区間が片道100kmを超えるときに旅客運賃の割引（2割）受けることができます。

この制度は、修学上の経済的負担を軽減し、学校教育の振興に寄与することを目的とするものなので、計画的に使用すること。（年間使用限度は1人10枚、1回につき2枚までです。）

(2) 次に掲げる行為があったときは、普通運賃の2倍の追徴金を徴収されるばかりでなく、本学の全学生に対する学割証の発行が停止されることがありますので、乱用または不正使用のないよう注意してください。

①他人名義の学割証を使って乗車券を購入したとき。

②名義人が乗車券を購入し、それを他人に使用させたとき。

③使用有効期間を経過したものを使用したとき。

(3) 学割証は、学生談話室（5号館4階）に設置されている「自動発行機」にて発行します。（利用時間 8：30～21：00）

（問い合わせ先）学生支援事務室学生支援総括係（03-5803-5077）

6. 氏名・住所等の変更

本人または正副保証人の氏名または住所等（電話番号を含む。）に変更が生じた場合は、速やかに医学教務掛へ申し出て所定の手続きをとってください。

この手続きを怠った場合、大学から本人または保証人へ緊急に連絡する必要性が生じて、連絡が取れなくなる恐れがあるので注意してください。

7. 欠席、休学、復学、退学

(1) 授業の欠席

病気または家庭の事情等で授業を欠席する（した）場合は、欠席届を医学教務係へ提出してください。（病気の場合は、必ず医師の診断書を添付してください。）

(2) 休学

病気その他の事由により、引き続き3ヶ月以上休学する場合は、休学願（保証人連署）を医学教務係へ提出し、学長の許可を受けてください。（病気の場合は、必ず医師の診断書を添付してください。）

なお、休学するにあたっては、事前に担任教員等と面談し、休学事由および休学によって生じる修学上の諸問題について十分相談してください。

また、休学を許可される期間は、通算して2年以内です。

（特別の事情があるときは、更に1年以内の休学が許可されることがあります。）

(3) 復学

休学している学生が、休学許可期間の途中または満了時に復学を希望する場合は、復学願（保証人連署）を医学教務掛へ提出し、学長の許可を受けてください。（病気を理由に休学した場合は、復学可能である旨の医師の診断書を添付してください。）

疾病のため休学中の者が復学しようとするときは、保健管理センターを受診しなければなりません。

(4) 退学

病気その他の事由により、学業を継続することが困難となり、退学しようとする場合は、退学願（保証人連署）を医学教務係へ提出し、学長の許可を受けてください。なお、退学するにあたっては、事前に担任教員等と面談し、退学事由等について十分相談してください。

8. ロッカーの貸与

各人にロッカーを貸与します。（1年生は湯島キャンパスでの貸与はありません）ロッカーでの盗難が多発していますので、貴重品等の管理は厳重にしてください。また、各人の責による破損等については、各人の負担により原状に復してください。

9. 授業中（大学行事、課外授業を含む。）の事故等

入学時に加入した「学校教育災害傷害保険」（学研災）および「学生賠償責任保険」の対象となります。（詳細は「学生生活の手引き」を参照してください。）

なお、針刺し事故（B型・C型肝炎）が起こった場合は、医学教務係（03-5803-5120）へ連絡のうえ指示を受けた後、事故報告書を提出してください。

他人に対する針刺し事故については、上記の「学生賠償責任保険」保険の対象となります。

10. 遺失物および拾得物

学内での遺失物に関する問い合わせまたは拾得物の届け出は、下記のとおりです。

(1) 講義室、実習室、ロッカー室・・・医学部医学教務係

(03-5803-5120)

(2) 上記(1)以外・・・・・・・・・・医学部総務課

(03-5803-5096)

11. その他

(1) クラブ、サークル等宛の郵便物等は、学生支援課の窓口で保管していますので、責任者は適宜確認してください。

なお、個人宛の郵便物等は、大学に配達されないようお願いいたします。

(2) 事務の窓口

教務事務・・・・・・・・・・医学部医学教務係

(3号館6階・03-5803-5120)

授業料の納入・・・・・・・・・・財務部資金課収入管理係

(1号館西3階・03-5803-5048)

奨学金・授業料免除・・学生支援事務室学生支援総括係

(1号館西1階・03-5803-5077)

台風等の自然災害や交通機関運休による休講措置（湯島地区）

台風等の自然災害や交通機関運休に伴う湯島地区で行う授業、試験の休講措置等について

台風等の自然災害や交通機関運休に伴う授業の休講、試験の延長を決定した場合は、下記により本学のホームページ「学部・大学院」ニュース欄に掲載します。

○台風などで首都圏に直接災害が予想される場合

- ・ 午前の授業を休講、午前の試験を延期とする場合は、午前6時30分までに公示する。
- ・ 午後の授業を休講、午後の試験を延期とする場合は、午前10時までに公示する。
- ・ 夜間（午後6時以降）の授業を休講、夜間（午後6時以降）の試験を延期とする場合は、午後4時までに公示する。

○首都圏における交通機関（JR 及び大手私鉄・地下鉄など）が全面的に運転を休止している場合

- ・ 午前の授業を休講、午前の試験を延期とする場合は、午前6時30分までに公示する。
- ・ 午後の授業を休講、午後の試験を延期とする場合は、午前10時までに公示する。
- ・ 夜間（午後6時以降）の授業を休講、夜間（午後6時以降）の試験を延期とする場合は、午後4時までに公示する。

URL

<http://www.tmd.ac.jp/faculties/index.html>

諸 様 式

1 証明書交付願（自動発行機にて発行しているものを除く。）

証明書は、原則として請求日の翌日の午後以降発行する。（英文によるものを除く。）

2 住所・本籍地変更届

変更したことを証明する書類が必要です。（運転免許証、戸籍抄本）

3 改姓届（戸籍抄本添付）

4 保証人変更届

5 学生証紛失届・再交付願

6 紛失届

講義室，実習室，ロッカー室内での紛失物に関する届出

7 授業欠席届（病気の場合は「診断書」，忌引きの場合は「会葬状」添付）

病気その他特別な事情により授業を欠席する場合に提出。

8 追試験申請書（未提出者は，権利を喪失するので必ず提出すること。）

病気，他やむを得ない理由により定期試験を欠席した者は，原則当該定期試験終了後5日以内に医学教務係に提出

9 休学願

縦断チュートリアル担当教員又は教育委員の面談後，所定の欄に押印を受けてから提出

10 休学期間延長願

縦断チュートリアル担当教員又は教育委員の面談後，所定の欄に押印を受けてから提出

11 復学願

縦断チュートリアル担当教員又は教育委員の面談後，所定の欄に押印を受けてから提出

12 退学願

教育委員の面談後，所定の欄に押印を受けてから提出

医学部長	事務部長	次 長	課 長	課長補佐	掛 長	掛 員
専	専	専				

証 明 書 交 付 願

平成 年 月 日

医 学 部 長 殿

- 医学部医学科 第 学年
 医学部保健衛生学科 第 学年
 (学専攻)
 医学部医学科専攻生 (講座)
 医学部保健衛生学科専攻生
 (学専攻)

学籍番号

氏 名 _____
(Name)

生年月日 昭和・平成 年 月 日生
(Date of Birth)

下記により証明書（和文・英文）の交付をお願いいたします。
(If you need English writing certificate, please feel free to ask the Educational Affairs Section.)

記

証明書の種類	枚 数	※証明書番号	請求理由及び提出先
1. 成績証明書			(請求理由)
2. 卒業見込証明書 (M6・N4・MT4のみ発行)			
3. 在学証明書 (英文及び専攻生のみ)			(提出先)
4. 在学期間証明 (専攻生のみ)			
5. 終了証明書 (専攻生のみ)			
6.			
7.			(備考)

- 注) 1. 「※証明書番号」欄は記入しないこと。
2. 英文証明書を依頼する場合は、氏名欄にローマ字表記を合わせて記入すること。

医学部長	事務部長	次 長	課 長	課長補佐	掛 長	掛 員
専	専	専				

住 所 ・ 本 籍 地 変 更 届

平成 年 月 日

東京医科歯科大学医学部長 殿

- 医学部医学科 第 学年
- 医学部保健衛生学科 第 学年
(学専攻)
- 医学部医学科専攻生 (講座)
- 医学部保健衛生学科専攻生
(学専攻)

学籍番号

氏 名 _____

このたび、下記のとおり変更しましたのでお届けいたします。

記

変 更 者	<input type="checkbox"/> 本 人 <input type="checkbox"/> 保 証 人
<input type="checkbox"/> 住 所	〒 <input type="text"/> - <input type="text"/> TEL. _____
<input type="checkbox"/> 本 籍 地	

注) 変更該当個所の□をチェックしてください

教務システム	債権変更	学籍簿	台 帳	名 簿
<input type="checkbox"/>				

医学部長	事務部長	次 長	課 長	課長補佐	掛 長	掛 員
専	専	専				

改 姓 届

平成 年 月 日

東京医科歯科大学医学部長 殿

- 医学部医学科 第 学年
- 医学部保健衛生学科 第 学年
(学専攻)
- 医学部医学科専攻生 (講座)
- 医学部保健衛生学科専攻生
(学専攻)

学籍番号

氏 名 _____

このたび、下記のとおり改姓しましたのでお届けいたします。

記

(フリガナ) 旧 姓		(フリガナ) 新 姓	
(改姓理由)			

注) 戸籍抄本又は謄本を添付すること。

教務システム	債権変更	学籍簿	台 帳	名 簿

医学部長	事務部長	次 長	課 長	課長補佐	掛 長	掛 員
専	専	専				

保 証 人 変 更 届

平成 年 月 日

東京医科歯科大学医学部長 殿

- 医学部医学科 第 学年
- 医学部保健衛生学科 第 学年
(学専攻)
- 医学部医学科専攻生 (講座)
- 医学部保健衛生学科専攻生
(学専攻)

学籍番号

氏 名 _____ 印 _____

このたび、下記のとおり保証人（正・副）を変更しましたのでお届けいたします。

記

(フリガナ) 氏 名		学生との関係	
	印	職 業	
	年 月 日生	本 籍 地	
住 所	〒 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> TEL. _____		

注) 氏名欄に押印してください。

債 権 変 更	学 籍 簿

平成 年 月 日

保証人（住所）変更届出

経理責任者
国立大学法人 東京医科歯科大学財務施設部長 殿

平成 年度入学 第 学年

学 部 学 科
研 究 科
附属学校名 専攻名

学籍番号 第 号

氏 名 印

連帯保証人（父母等）住所に変更がありましたのでお届けします。

変更前	
-----	--

変更後	〒 Tel ()
-----	--------------

連帯保証人を変更しましたのでお届けします。

変更前	
-----	--

変更後	<p>上記の者の授業料債務について本人と連帯して、履行の責を負うことを保証します。</p> <p>連帯保証人 フリガナ 氏 名 印 (学生との関係：)</p> <p>住 所 〒 Tel ()</p>
-----	---

(該当する項目の□に、Vしてください。)

医学部長	事務部長	次 長	課 長	課長補佐	掛 長	掛 員
専	専	専				

学 生 証 紛 失 届 ・ 再 交 付 願

平成 年 月 日

東京医科歯科大学 長

- 医学部医学科 第 学年
 医学部保健衛生学科 第 学年
 (学専攻)
 医学部医学科専攻生 (講座)
 医学部保健衛生学科専攻生
 (学専攻)

学籍番号

氏 名 _____

生年月日 昭和・平成 年 月 日生

下記のとおり、学生証を紛失いたしましたので再交付方よろしく願いたします。
 今後は、取り扱いに十分注意いたします。
 なお、紛失した学生証を発見したときは、直ちに返納いたします。

記

1. 日 時 : 平成 年 月 日 時 分頃

2. 場 所 : _____

3. 紛失したときの状況 (具体的に記入すること。)

※ 過去の学生証発行状況 (事務記入欄)

再交付1回目 : 平成 年 月 日
 再交付2回目 : 平成 年 月 日
 再交付3回目 : 平成 年 月 日

注) 専攻生は、写真 (3×4 cm) 1枚を添付すること。

医学部長	事務部長	次 長	課 長	課長補佐	掛 長	掛 員
専	専	専				

紛 失 届

平成 年 月 日

医 学 部 長 殿

医学部医学科 第 学年

医学部保健衛生学科 第 学年
(学専攻)

学籍番号

氏 名 _____

下記のとおり、紛失しましたのでお届けいたします。

記

1. 紛失日時 : 平成 年 月 日 時 分頃

2. 紛失場所 :

3. 紛失物 :

4. 連絡先

医学部長	事務部長	次長	課長	課長補佐	掛長	掛員
専	専	専				

授業欠席届

平成 年 月 日

医学部長 殿

医学部医学科 第 学年

医学部保健衛生学科 第 学年
(学専攻)

学籍番号

氏 名 _____

下記のとおりに、授業を 欠席します のでお届けいたします。
欠席しました

記

1. 欠席期間 自 平成 年 月 日

至 平成 年 月 日

2. 欠席理由 (病気による場合は、医師の診断書を添付すること。)

医学部長	事務部長	次 長	課 長	課長補佐	掛 長	掛 員
専	専	専				

追 試 験 申 請 書

医 学 部 長 殿

平成 年 月 日

- 医学部医学科 第 学年
- 医学部保健衛生学科 第 学年
(学専攻)

学籍番号

氏 名 _____

下記のとおり定期試験を欠席しましたので、追試験を施行して下さいますようお願いいたします。

記

1. 試験科目名 : _____ (教官名 : _____)

平成 年 月 日施行

2. 欠 席 理 由 (病気による場合は、医師の診断書を添付すること。)

休学願

平成 年 月 日

東京医科歯科大学長 殿

教授認印

医学部 科 第 学年
(学専攻)

学籍番号

(フリガナ)
本人氏名 _____ 印

保証人氏名 _____ 印

下記のとおり休学したいので、ご許可くださいますようお願いいたします。

記

1. 休学理由 病気・怪我 経済的理由 出産・育児・介護 その他 ()

2. 休学期間 自 平成 年 月 日
至 平成 年 月 日 (ヶ月)

3. 休学中の連絡先

本人	〒 <input type="text"/> - <input type="text"/> TEL. _____
保証人	〒 <input type="text"/> - <input type="text"/> TEL. _____

注) 1. 休学理由は、できるだけ具体的に記入してください。

2. 休学理由が、病気を理由とする場合は、医師の診断書を添付してください。

財務管理課収入管理掛照合欄	
前期授業料	後期授業料

休学期間延長願

平成 年 月 日

東京医科歯科大学長 殿

教授認印

医学部 (科 第 学年
学専攻)

学籍番号

(フリガナ)
本人氏名 _____ 印

保証人氏名 _____ 印

下記のとおり休学期間を延長したいので、ご許可くださいますようお願いいたします。

記

1. 休学期間延長理由

2. 休学延長期間

平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日までのところ
平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日まで延長 (月)

3. 休学中の連絡先

本人	〒 <input type="text"/> - <input type="text"/> TEL. _____
保証人	〒 <input type="text"/> - <input type="text"/> TEL. _____

注) 1. 休学理由は、できるだけ具体的に記入してください。

2. 休学理由が、病気を理由とする場合は、医師の診断書を添付してください。

財務管理課収入管理掛照合欄	
前期授業料	後期授業料

復学願

平成 年 月 日

東京医科歯科大学長 殿

教授認印

医学部 (科 第 学年
学専攻)

学籍番号

(フリガナ)
本人氏名 _____ 印

保証人氏名 _____ 印

下記のとおり休学しておりましたが，平成 年 月 日付で復学したいので，
ご許可くださいますようお願いいたします。

記

1. 休学理由

2. 休学許可期間 自 平成 年 月 日
至 平成 年 月 日

注) 病気を理由として休学した場合は，医師の診断書を添付してください。

退 学 願

平成 年 月 日

東京医科歯科大学長 殿

教授認印

医学部 科 第 学年
(学専攻)

医学部 科 専攻生
(昭和・平成) 年 月入学
(学専攻)

学籍番号

--	--	--	--	--	--	--	--

(フリガナ)
本人氏名 _____ 印

保証人氏名 _____ 印

下記のとおり退学したいので、ご許可くださいますようお願いいたします。

記

1. 退学理由

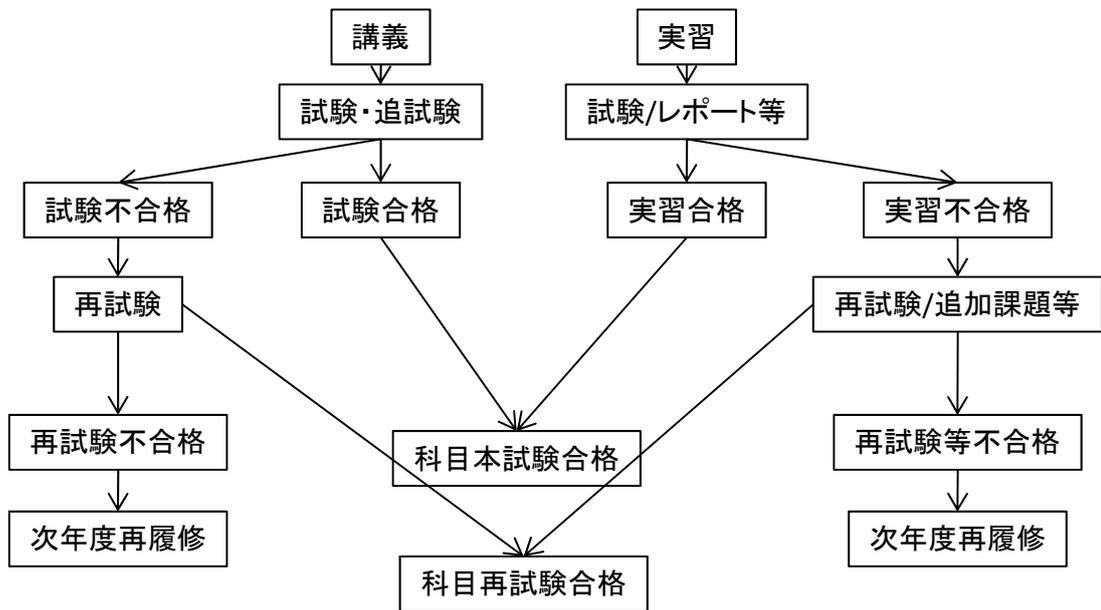
2. 退学日 平成 年 月 日付け

注) 退学理由は、できるだけ具体的に記入してください。

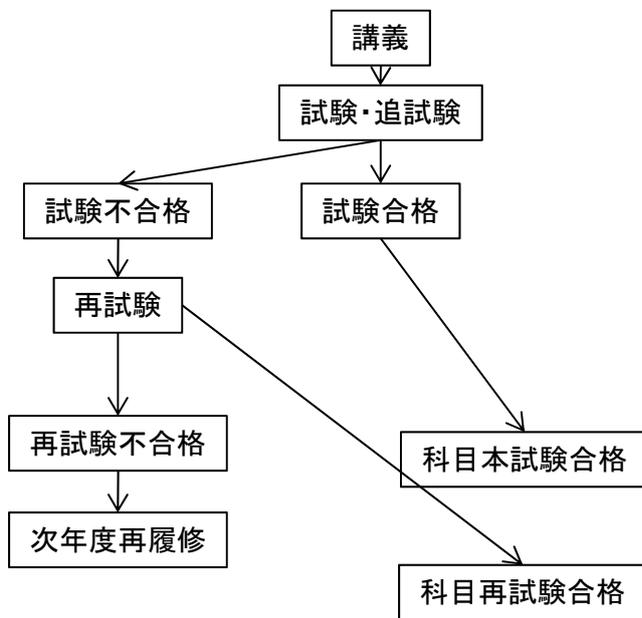
財務管理課収入管理掛照合欄	
前期授業料	後期授業料

第2学年進級判定

実習がある科目



実習がない科目



実習あり(9):

- 神経解剖学
- 感染・基礎
- 人体解剖学
- 組織学
- 頭頸部・基礎
- 生理学
- 生化学
- 薬理学
- 医動物学

実習なし(9):

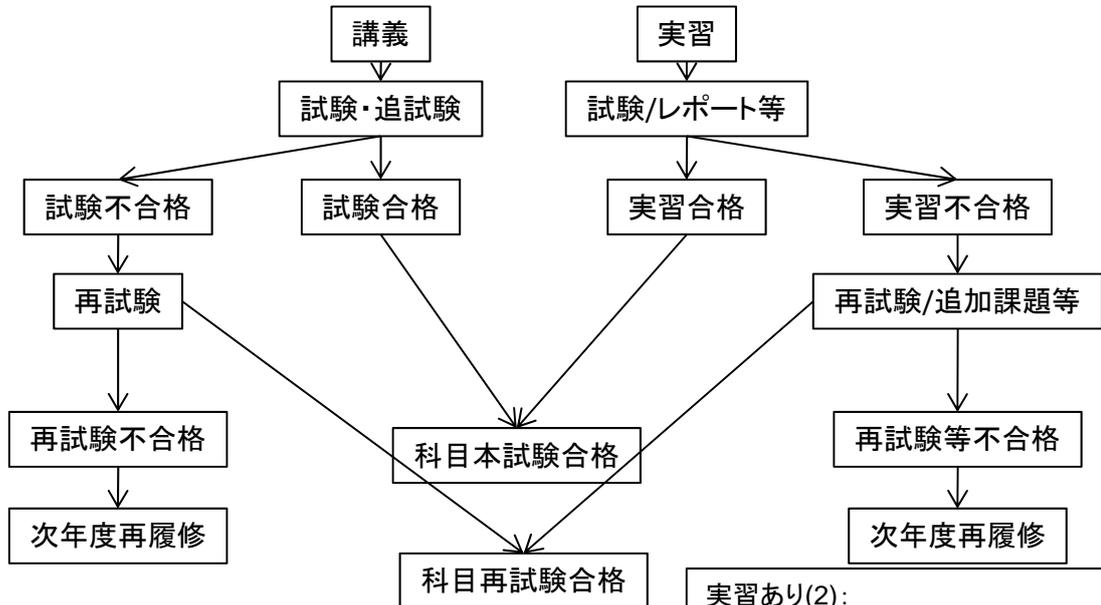
- 医歯学基盤教育(グローバル・コミュニケーション I)
- 医歯学基盤教育(臨床統計 I)
- 神経科学・基礎
- 免疫学
- 細胞生物学
- 人体構造総論
- 神経生理導入
- 病理学
- 分子遺伝学

科目の合格には現在発表されている学科試験のみの合格ではなく、実習の合格も必要である。再試験の合格判定を得るためには、上記18科目のうち10科目以上合格していることが必要になる。(第2学年では東洋医学は進級要件ではないため、科目数としない。)
 * 科目本試験の不合格科目数が9科目以上になった時点で、当該年度の再試験はすべて無効となる。

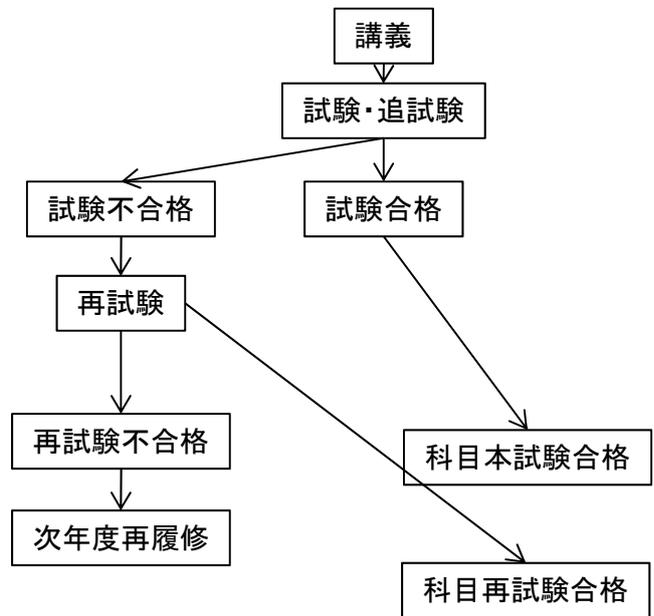
進級には18科目すべての合格が必要になる。
 ただし、不合格の原因に特別な事情があり、次年度の科目に加えて再履修科目も履修できると教育委員会によって判断された学生は、仮進級が認められることがある。

第3学年進級判定

実習がある科目



実習がない科目



- 実習あり(2):
 法医学
 衛生学

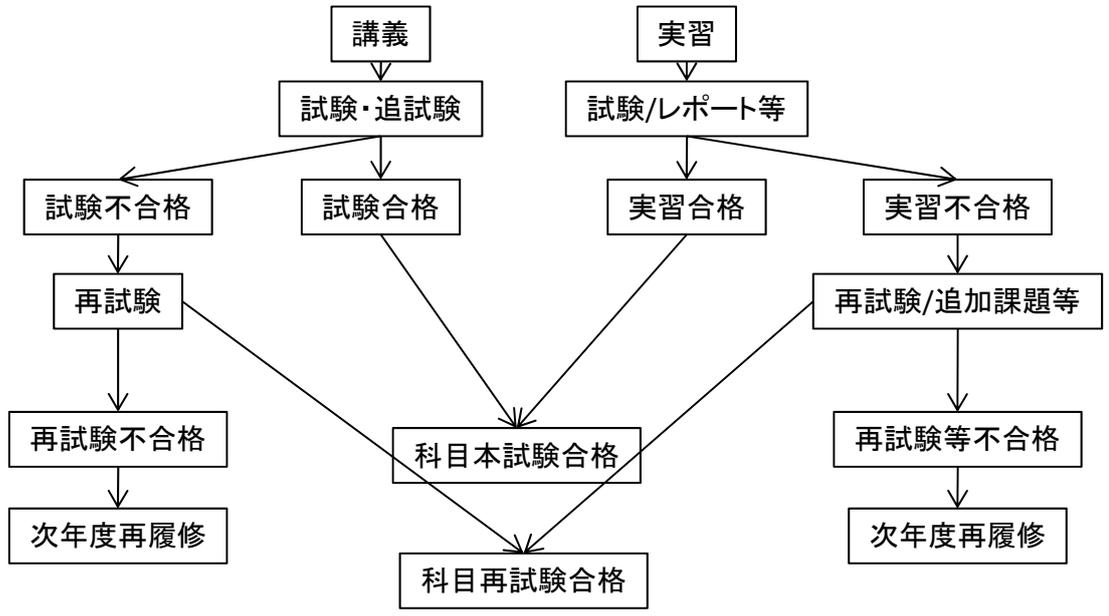
実習なし(21):
 医歯学基盤教育(グローバル・コミュニケーションⅡ)
 医歯学基盤教育(臨床統計Ⅱ)
 医歯学基盤教育(生命倫理Ⅰ)
 公衆衛生学(講義)
 腫瘍学
 神経科学・臨床
 感染・臨床
 循環器
 消化器
 呼吸器
 体液制御・泌尿器
 内分泌・代謝
 血液・腫瘍
 社会医学
 頭頸部・臨床
 老年医学
 皮膚・アレルギー・膠原病
 一般外科
 骨・関節・脊椎
 東洋医学
 臨床医学導入

科目の合格には現在発表されている学科試験のみの合格ではなく、実習の合格も必要である。
 再試験の合格判定を得るためには、上記23科目のうち12科目以上合格していることが必要になる。
 * 科目本試験の不合格科目数が13科目以上になった時点で、当該年度の再試験はすべて無効となる。

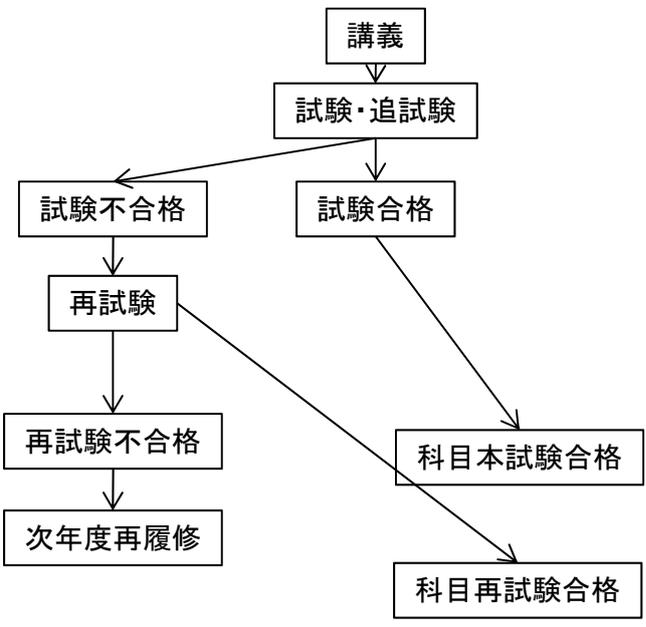
進級には23科目すべての合格が必要になる。
 ただし、不合格の原因に特別な事情があり、次年度の科目に加えて再履修科目も履修できると教育委員会によって判断された学生は、仮進級が認められることがある。

第4学年進級判定

実習がある科目



実習がない科目



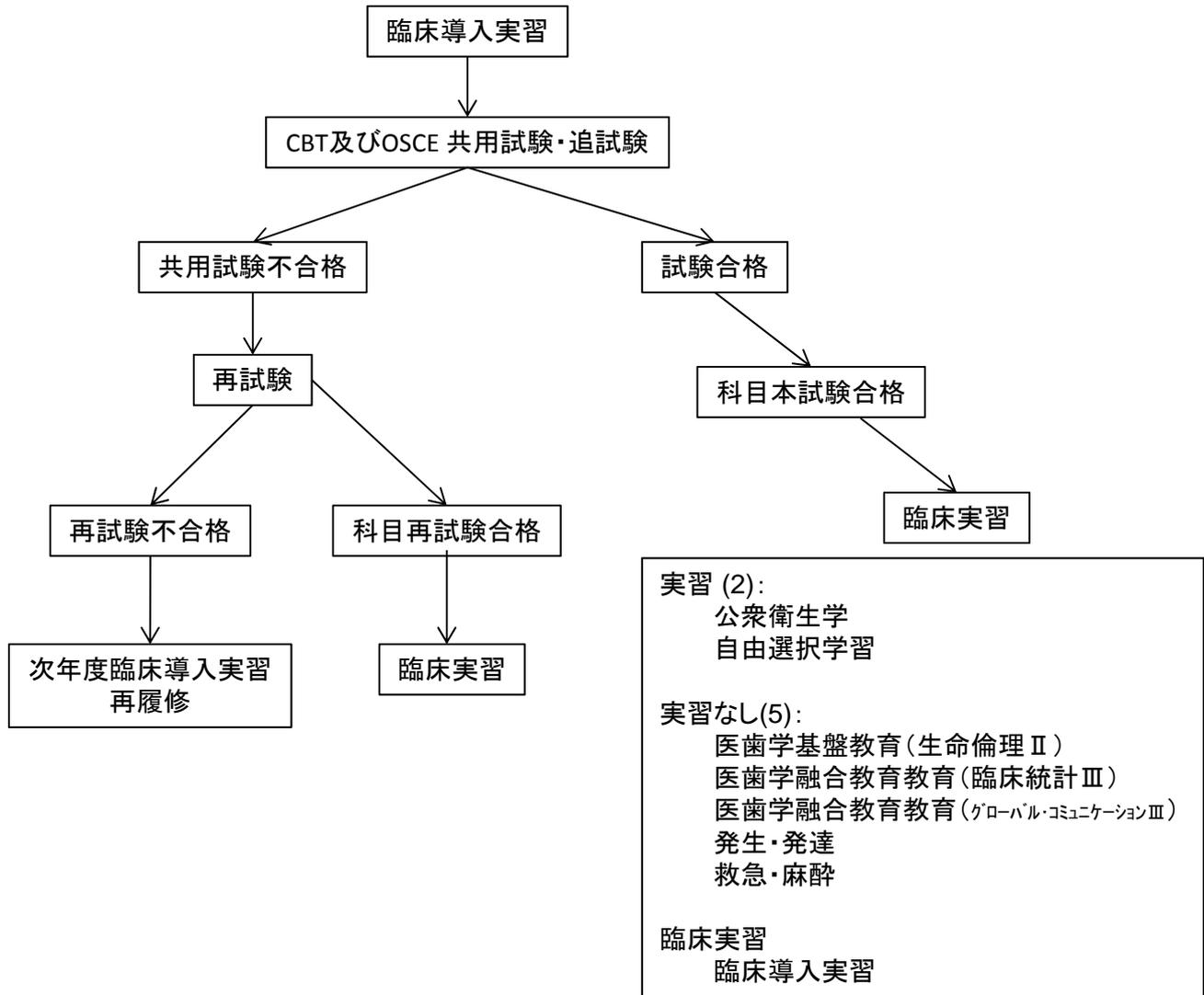
- 実習 (2):**
 公衆衛生学
 自由選択学習

実習なし (5):
 医歯学基盤教育(生命倫理Ⅱ)
 医歯学融合教育教育(臨床統計Ⅲ)
 医歯学融合教育教育(グローバル・コミュニケーションⅢ)
 発生・発達
 救急・麻酔

臨床実習
 臨床導入実習

第4学年進級判定

臨床導入実習



科目の合格には現在発表されている学科試験のみの合格ではなく、実習の合格も必要である。
再試験の合格判定を得るためには、上記7科目のうち4科目以上合格していることが必要になる。
* 科日本試験の不合格科目数が4科目以上になった時点で、当該年度の再試験はすべて無効となる。

臨床導入実習に進むためには7科目すべての合格が必要になり、進級には7科目すべての合格と臨床導入実習及び共用試験(CBT・OSCE)の合格が必要になる。
臨床導入実習が不合格になった場合には、翌年、臨床導入実習を再履修し、共用試験を受験する必要がある。

湯島キャンパス・駿河台キャンパス



1 1号館西
【1号館・管理棟】

2 2号館
【2号館・附属教育施設等】

3 1号館東
【歯科研究棟】

4 7号館
【歯学部校舎棟】

5 歯科棟北
【歯科棟】

6 歯科棟南
【歯科外来事務棟】

7 10号館
【総合教育研究棟】

8 旧3号館

9 医科A棟
【医科新棟】

10 医科B棟
【医科新棟】

11 3号館
【医歯学総合研究棟（I期棟）】

12 M&Dタワー
【医歯学総合研究棟（II期棟）】

13 5号館

14 6号館

15 8号館南
【共同研究棟】

16 8号館北
【RI実験施設棟】

17 生体材料工学研究所

18 難治疾患研究所駿河台棟

19 12号館
【駿河台臨床研究棟】

20 看護師宿舎
（レジデンス茗芳）